

# 日本赤十字九州国際看護大学 看護学部 【令和4年度】シラバス

## 哲学

更新日：2022/01/20 11:50:01

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHU101		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510100
担当教員	田中 康司						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

### 授業の目的

現代の保健医療に関連する問題を具体的に取り上げ、哲学の基本的な概念と方法で人間理解にどのようなアプローチができるかを学ぶ。

### 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

### 到達目標

1	現代の医療に関わる様々な問題が人間存在についての哲学的問いと密接に関連していることを理解することができる。
2	人間存在についての理解を深めることができる。
3	生と死の問題について自分で考えることができる。

### 授業計画

1	<b>哲学と医療の関係</b> 【授業方法】講義 【予習】45分：哲学という言葉の意味を調べる。 【復習】45分：医療の現場に哲学的問いが立ち現れる理由を考える。 【担当】田中
2	<b>なぜ安楽死が問題となるのか</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：安楽死の種類を調べて整理する。 【復習】30分：安楽死の問題性を理解できているかを確認する。 【担当】田中
3	<b>安楽死—患者の最善の利益</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：QOLとSOLについて調べる。 【復習】30分：自らの死生観を問い直す。 【担当】田中
4	<b>安楽死—患者の自己決定権</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：自分の身体は自分の所有物かを考察する。 【復習】30分：自分の身体を自由にしていよいかを考察する。 【担当】田中
5	<b>安楽死—作為・不作為説</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：殺すことと死なせることに道徳的違いはあるかを考察する。 【復習】30分：消極的安楽死と積極的安楽死に道徳的違いがあるか検討する。 【担当】田中
6	<b>安楽死—二重結果説</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：二重結果説について調べる。 【復習】30分：二重結果説を安楽死の問題に適用するとどうなるか考える。 【担当】田中
7	<b>安楽死の是非</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの授業をふまえて安楽死についての自分の考えを整理する。 【復習】30分：改めて安楽死に対する自分の立場及びその理由を確認する。 【担当】田中
8	<b>フィードバック～死とは何か～</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：死が怖い理由を考える。 【復習】30分：死の意味と生の価値を確認する。 【担当】田中

### 先行履修科目

なし

### テキスト

適宜プリント等を配布する。

## 参考文献

---

Hope, T. : Medical Ethics. 2004, 児玉聡・赤林朗訳：医療倫理. 岩波書店, 2007.

## 評価方法

---

定期試験(70%)および授業への参加態度(30%)によって評価する。

## 教員等の実務経験

---

## メッセージ

---

# 生命倫理

更新日：2022/03/01 13:09:45

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHU202		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510200
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修 授業形態：演習						

## 授業の目的

生死にまつわる医療・看護の問題の中でも、看護における倫理的な問題を見極め、人間の尊厳と患者の権利の尊重を基盤とした判断能力を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

## 到達目標

1	1. 生命倫理誕生の背景および歴史的な発展過程を認識し、生命倫理の学習する意味を説明できる。
2	2. 生命倫理として取り上げられる事例についてなにか問題であるかを説明できる。
3	3. 生命倫理の諸問題に対する議論状況を知り、自身の倫理的価値から導き出される判断・決定について述べるができる。
4	4. ニュース等報道に目を向け、新たな生命倫理問題を課題として検討することができる。

## 授業計画

1	<b>生命倫理について</b> 生命倫理を理解するための概要 【予習】60分 テキスト第1章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
2	<b>医療資源の配分</b> 限りある医療資源と公平な配分について 【予習】60分 テキスト第11章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
3	<b>医学研究の倫理</b> 研究における倫理について（歴史的背景を踏まえて） 【予習】60分 テキスト第5章・第14章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
4	<b>生命の始期と生命倫理（1）</b> 医療技術の活用または他者支援を得る家族形成について 【予習】60分 テキスト第2章・第3章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
5	<b>生命の始期と生命倫理（2）</b> いのちの選択について 【予習】60分 課題について 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
6	<b>生命の終期と生命倫理（1）</b> 人生の最終段階の迎え方について 【予習】60分 テキスト第8章・第9章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
7	<b>生命の終期と生命倫理（2）</b> 患者の権利について 【予習】60分 テキスト第10章・第13章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
8	<b>フィードバック：生命倫理の新たな課題</b> 最先端の技術と人改造について 【予習】60分 テキスト第12章・最終章の内容を整理する 【復習】30分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井

## 先行履修科目

なし

## テキスト

---

玉井真理子・大谷いづみ：はじめて出会う生命倫理.有斐閣，2011.

### 参考文献

黒崎剛・野村敏明：生命倫理の教科書：何が問題なのか，ミネルヴァ書房，2014.

小林亜津子：看護が直面する11のモラル・ジレンマ．ナカニシヤ出版，2010.

他、適宜紹介する。

### 評価方法

授業への参加度・提出物（50%）、課題レポート（50%）を合計して算出する。

### 教員等の実務経験

### メッセージ

授業は、予習によって倫理問題をあらかじめわかったとして参加ください。講義では、テキストの重要箇所の確認とテキストにはない事例や事件などを紹介しながら進めます。これを理解し、自身の考えを深めるためグループ討議を行います。

看護の対象では「人」です。しかし科学や医療の進歩・発展によって人の「生命」「健康」の概念が揺らいでいます。なぜ倫理が問われるのでしょうか。倫理的配慮とはどのようなものでなぜ大切なのでしょうか。本授業では、一人の人間として、医療保健の専門家として真剣に考えざるを得ない問題を、価値感の異なる他者の気持ちや意見を聞き、また推察しながら、公正・誠実な答えを導けるよう倫理的な思考と態度を養う場です。どれも難問ばかりですが、高い人権意識を育てよう積極的に参加してください。

## 心理学

更新日：2022/03/09 08:48:54

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHU102		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510300
担当教員	植村 善太郎						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

### 授業の目的

人間の認知、行動、そして個人差を理解するための理論、概念、方法を学習し、保健医療における各種場面の心理学的な援助の基礎能力を獲得する。

### 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

### 到達目標

1	さまざまな環境での人間の行動および心理について、心理学的に、理解し、説明できるようになること。
---	---

### 授業計画

1	<b>授業概要と心理学の基礎知識</b> 【授業方法】講義 【予習】120分：第1章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
2	<b>心の発達 乳幼児期の心の発達について学びます</b> 【授業方法】講義 (AL) 【予習】120分：第3章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
3	<b>知覚 私たちの知覚の仕組みについて学びます</b> 【授業方法】講義 (AL) 【予習】120分：第11章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく。錯視図形を探して持ってくる。 【担当】植村
4	<b>動機づけと情動 私たちの意欲や情動の仕組みについて学びます</b> 【授業方法】講義 (AL) 【予習】120分：第5章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
5	<b>ストレスとメンタルヘルス 個々の健康について考えます</b> 【授業方法】講義(AL) 【予習】120分：第8章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
6	<b>脳と心の生物学的基礎について学びます</b> 【授業方法】講義(AL) 【予習】120分：第15章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
7	<b>社会の中の人間 他者による影響と他者の認知について学びます</b> 【授業方法】講義 (AL) 【予習】120分：第17章を読んで、ポイント及び疑問点をノートにまとめておく 【担当】植村
8	<b>緊急事態の行動 緊急事態が発生した際の私たちの認知やコミュニケーションを学びます及びフィードバックを行います</b> 【授業方法】講義 (AL) 【予習】120分：実際に発生したパニックの事例をノートにまとめ、発生原因を考える 【担当】植村

### 先行履修科目

なし

### テキスト

長谷川寿一 他：はじめて出会う心理学 第3版。有斐閣、2020。

### 参考文献

Hock, R.R. : Forty Studies that changed Psychology: Explorations into History of Psychological Research (4th ed.) . 2002, 梶川達也, 花村珠美訳：心理学を変えた40の研究. ピアソン・エデュケーション, 2007.  
 古城和子編著：生活にかかず心理学ver.2. ナカニシヤ出版, 2002.

### 評価方法

毎回の提出物への評価 40%、期末試験 60%

### 教員等の実務経験

## メッセージ

---

内容を理解できないと学習は成り立ちません。しっかりと内容を理解するために、まずは教科書での予習を毎回地道に続けてください。内容がわかってくると、学問としての面白さ、有用性が伝わっていくと思います。しっかり準備をして、積極的な姿勢で授業に臨み、課題に取り組んで下さい。

# 人間関係論

更新日：2021/12/31 19:59:17

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHU103		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510400
担当教員	友清 由希子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

人間社会を形成する人と人との関係について理解し、対人関係づくりに必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	人間のコミュニケーションについて理解できる。
2	受容的、共感的関わり方のスキルについて理解できる。
3	チームの人間関係について理解できる。

## 授業計画

1	<b>人間関係とは</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの1, 2章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
2	<b>コミュニケーション</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの3, 4章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
3	<b>感情</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの5, 6章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
4	<b>ストレスと援助行動・援助要請</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの7, 8章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
5	<b>カウンセリング的アプローチと人間関係</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの9, 10章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
6	<b>モチベーションと人間関係</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの11, 13章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
7	<b>チームの人間関係</b> 【授業方法】講義と演習 【予習】30分：テキストの12, 14章を読む 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】友清
8	<b>コミュニケーションスキル・期末課題のフィードバック方法について</b> 【授業方法】講義と演習 【復習】60分：授業内容の復習 【担当】友清

## 先行履修科目

なし

## テキスト

山蔦圭輔・本田周二：メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論. 南山堂 2021



## 参考文献

---

## 評価方法

この授業は全8回です。毎回の授業時に行う課題や小テスト（10点×8回）（80%）と期末課題（20%）で評価します。課題やテストについては、毎回の授業で指示をします。

## 教員等の実務経験

---

## メッセージ

---

## 教育学

更新日：2022/01/19 17:21:55

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHU201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	510500
担当教員	川口 俊明						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

人間の生涯発達という視点から人間の成長・発達を理解し、教育の果たす役割について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	教育学の基礎的な知識／考え方を習得できる。
2	現代日本の学校・教育の在り方について、批判的に考えることができる。

## 授業計画

1	<b>授業内容と受講上の諸注意</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：シラバスを読み、テキストを確認する 【担当】川口
2	<b>終わらない教育格差</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（1章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
3	<b>教育格差について知っていること</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（1章）をもとに、「教育格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
4	<b>幼児教育</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（2章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
5	<b>幼児教育と格差</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（2章）をもとに、「幼児教育と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
6	<b>小学校教育</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（第3章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
7	<b>小学校と格差</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（3章）をもとに、「小学校と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
8	<b>中学校教育</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（4章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
9	<b>中学校と格差</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（4章）をもとに、「中学校と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口
10	<b>高校教育</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（5章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
11	<b>高校と格差</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト5章）をもとに、「高校と格差」について自身の考えを書く 【担当】川口

12	<b>教育格差社会</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（6章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
13	<b>教育格差社会をどう考えるか</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（6章）をもとに、「教育格差社会」について自身の考えを書く 【担当】川口
14	<b>私たちはどう生きるべきか</b> 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（7章）を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
15	<b>授業の総括（フィードバック）</b> 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：全体を通して提出したレポートを、あらためて自身で総括し、日本の教育と不平等について考察を深めておく。 【担当】川口

### 先行履修科目

なし

### テキスト

松岡亮二：教育格差，ちくま新書，2019.

### 参考文献

授業中に紹介する。

### 評価方法

課題の提出状況および質（70%） 発言や議論への参加など授業への貢献（30%）

※最終試験・レポートなどは課さない

### 教員等の実務経験

### メッセージ

授業中にMicrosoft Teams等のチャット機能を活用する予定です。スマートフォン・タブレット・PC等，チャットアプリが利用できる端末を用意しておいてください。

## アカデミック・ライティング

更新日：2021/12/10 16:18:13

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHU104		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510600
担当教員	高瀬 文広, 中村 茂徳						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

論理的批判的思考と他者との議論に基づいて、自己の見解や訴えを、他者に理解されるように明確に表現する文章を書く技能を高める。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	文章作成の目的とその前提条件を認識し、適切な構成と表現を企画することができる。
2	情報を収集し、その質を吟味して、論証の中に有機的に引用することができる。
3	自己または他者による批評を受容し、科学的学術的発信活動の改善に生かすことができる。
4	科学的学術的な文章に用いられる構造、語彙、表現に関する知識を活用することができる。

## 授業計画

1	<p><b>講義：科学的学術的文章を書く目的と要件（教科書第1章）要件（教科書第1章）</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか、テキストの第1章を読み、その要件と特徴を説明できるようにする。  【復習:120分】教科書第1章を読み「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか確認する。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
2	<p><b>講義：科学的学術的文章の構造一問いと主張と論証（教科書第2章）</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】教科書第2章を読み、科学的学術的文章の構造一問いと主張と論証について事前に読んでおく。  【復習:120分】★課題1：教科書p.51【練習問題2】（1）次の文章は、どこが論文と違うのかまとめて提出。  ①新聞のコラム（天声人語など）②読書感想文 ③映画のパンフレットの解説  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
3	<p><b>講義：科学的学術的文章を書く段取りーブレインストーミングと文献リスト（教科書第3章）</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション  【予習:60分】各自関心のあるトピックとその理由を、他者に説明できるようにしてくる。  【復習:60分】各自のトピックに関する文献検索・収集を進める。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
4	<p><b>講義：科学的学術的文章を書く段取り(1)ー文献検索と文献レビュー（教科書第4章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】各自関心のあるトピックについての関連文献のレビューを1編書く。  【復習:60分】★課題2：p.89【練習問題4】p.90の【ダメ要約】のリライトして提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
5	<p><b>講義：科学的学術的文章を書く段取り(2)ー情報・知識・知見の「既知」と「未知」の区画（教科書第4章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】各自関心のあるトピックについてどのような研究が行われているかを鳥瞰したうえで、テーマ別に研究の系統分類を行い、その見取り図をもとに他者に説明できるように準備する。  【復習:60分】文献検索・収集を充実させる。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
6	<p><b>講義：科学的学術的文章を書く段取り(3)ー着想・問い・視点のオリジナリティの明確化と問いの設定</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】前回の時点でグルーピング化した研究群から1つ、自分の関心テーマと視点を絞り、自分が執筆する科学的学術的文章のオリジナリティを明確にし、ワークシートに記入する。  【復習:60分】ワークシートのリライト。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
7	<p><b>講義：科学的学術的文章の執筆のためのアウトライン（教科書第5章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】自分が書く科学的学術的文章の執筆のためのアウトラインを書く。  【復習:60分】★課題3：教科書p.125の練習問題7：課題「死刑を存続させるか廃止すべきか」にアウトラインの作成と提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
8	<p><b>講義：「わかりやすい文章」とは？(1)ー論証方法（教科書第6章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】自分が書く科学的学術的文章の執筆のためのアウトラインを書く。  【復習:60分】★課題3：教科書p.125の練習問題7：課題「死刑を存続させるか廃止すべきか」にアウトラインの作成と提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>

9	<p><b>講義：「わかりやすい文章」とは？(2)－上位概念と下位概念（教科書第6章）</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション  【予習:60分】前回の授業時に課題として配布された文章をもとに、上位概念と下位概念を識別してくる。  【復習:60分】★課題4：教科書p.156のイラスト【妥当でない論証】はどこが間違っているか説明文提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
10	<p><b>講義：科学的学術的文章の基本単位－「パラグラフ」という概念と構造について（教科書第7章）</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション  【予習:60分】教科書第7章を読み、科学的学術的文章の基本単位「パラグラフ」という概念と構造を理解する。  【復習:60分】★課題5：教科書p.198の【練習問題12】ダメパラ3の問題点を指摘して、よりよいパラグラフに書きかえたものを提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
11	<p><b>講義：科学的学術的文章の機能－「一般」から「具体」へ（教科書第8章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】第7回授業時に作成したアウトランをもとに、本体部を執筆。  【復習:60分】相互評価に基づくリライト。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
12	<p><b>講義：科学的学術的文章の信頼性と妥当性－エビデンスベイスト（教科書第8章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。  【復習:60分】★課題6：教科書p.235【練習問題17】（1）機能後の漢字を使わないで書きかえ、提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
13	<p><b>講義：科学的学術的文章で用いるアイデアと剽窃（教科書第9章）</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習:60分】結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。  【復習:60分】★課題6：教科書p.235【練習問題17】（1）機能後の漢字を使わないで書きかえ、提出。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
14	<p><b>提出された課題について評価</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション  【予習:60分】引用と剽窃に焦点化して確認を行い、最終原稿を確認する。  【復習:60分】相互評価に基づく最終校正。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>
15	<p><b>提出された課題について評価・フィードバック</b>  【授業方法】講義・演習  【予習:60分】発表を評価する際のポイントをリストアップしてくる。  【復習:60分】論文執筆の構想から発表までの活動を振り返るワークシートの記入。  【担当】高瀬・中村（茂）</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

戸田山和久：論文の教室－レポートから論文まで。NHK出版、2012。

## 参考文献

小林康夫,大澤真幸：「知の技法」入門。河出書房新社、2014。

岩崎美紀子：「知」の方法論－論文トレーニング。岩波書店、2013。

Murray, R. : How to Write a Thesis. Open University Press, 2006.

## 評価方法

授業への参加度 30%、提出物 70%

## 教員等の実務経験

学会の学術雑誌の査読・編集活動、行政機関・研究機関の学術研究書等の執筆・翻訳・編集・監修・監訳活動、大学での倫理審査活動を経験している教員が講義をします。

## メッセージ

15回の講義を通して、レポート、卒業論文、研究論文等の作成方法を教授します。どの様なものが良い書き方なのか、どこに注意して書くのかについて実践的に詳しく学べます。

# プレゼンテーションスキルズⅠ

更新日：2022/03/08 10:46:54

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	LHU108		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510700
担当教員	中村 茂徳						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習						

## 授業の目的

看護者/保健医療専門家として、医療の対象者や連携すべき専門家の理解を得られるよう、明晰さと好みしさを備えた説明・発表を行う基礎力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて日本語と資料を準備して発表することができる：具体的には、ある疑問に答えるための情報を収集して妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を行うことができる。
2	他者の発信に対し、有意義な反応をすることができる（批評を行うこと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。

## 授業計画

1	<p>プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのリニアモデルとその仕組みおよび進行予定の確定</p> <p>【授業方法】講義（AL）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備</p> <p>【復習】30分：コミュニケーションのリニアモデルとその仕組みを説明できるようにする</p> <p>【担当】中村</p>
2	<p>マインドマップを使用した小プレゼンテーション①とその批評</p> <p>【授業方法】講義・演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備；①担当者は内省と分析</p> <p>【復習】30分：マインドマップとは何かを説明できるようにする</p> <p>【担当】中村</p>
3	<p>マインドマップを使用した小プレゼンテーション②とその批評</p> <p>【授業方法】講義・演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備；②担当者は内省と分析</p> <p>【復習】30分：マインドマップ作成方法を習得する</p> <p>【担当】中村</p>
4	<p>ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション③とその批評</p> <p>【授業方法】講義・演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備；③担当者は内省と分析</p> <p>【復習】30分：ブレインストーミングについて説明できるようにする</p> <p>【担当】中村</p>
5	<p>ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション④とその批評</p> <p>【授業方法】講義・演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）全員：最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備；④担当者は内省と分析</p> <p>【復習】30分：ブレインストーミング方法を習得する</p> <p>【担当】中村</p>
6	<p>P D C A サイクルとほうれんそうを使用した小プレゼンテーション⑤とその批評</p> <p>【授業方法】講義・演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備；⑤担当者は内省と分析</p> <p>【復習】30分：P D C A サイクルとほうれんそうについて説明できるようにする</p> <p>【担当】中村</p>
7	<p>P D C A サイクルとほうれんそうを使用した小プレゼンテーション⑥とその批評</p> <p>【授業方法】講義・演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備；⑥担当者は内省と分析</p> <p>【復習】30分：P D C A サイクル方法を習得する</p> <p>【担当】中村</p>
8	<p>最終発表 良いプレゼンテーションの構成要素及びフィードバック</p> <p>【授業方法】演習（AL・発表）</p> <p>【予習】90分：（全員）最終発表のための資料渉猟ならびに発表準備</p> <p>【復習】30分：良いプレゼンテーションを行うにはどうすれば良いかを説明できるようにする</p> <p>【担当】中村</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

プリントを配布する

## 参考文献

---

高瀬文広：日本語コミュニケーションI.ぎょうせい，2003.

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック.成文堂,2018

## 評価方法

---

授業への参加度24%、プレゼンテーションの完成度76%

## 教員等の実務経験

---

## メッセージ

---

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを、学びます。

# プレゼンテーションスキルズII

更新日：2022/01/27 16:27:41

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHU301		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510800
担当教員	中村 茂徳						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

保健医療専門家として、他分野の専門家やステーク・ホルダー全般の理解と信頼を得られる発表・説明のあり方に関する理解とそれを行う技能を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて適切な言語と十分な資料を使用して発表することができる：具体的には、ある課題に対する対処法や解決法の情報を収集して、妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を最大限に行うことができる。
2	他者の発信に対し、有意義な反応をすることができる（批評を行うことと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。

## 授業計画

1	プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのメカニズムおよび進行予定の確定 【授業方法】講義 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備 【復習:60分】コミュニケーションのメカニズムを説明できるようにする
2	P D C Aサイクルと「ほうれんそう」を使用した小プレゼンテーション①とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備;①担当者は内省と分析 【復習:60分】P D C Aサイクルとほうれん草について、説明できるようにする
3	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション②とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備;②担当者は内省と分析 【復習:60分】ブレインストーミングについて説明できるようにする
4	ディベートを使用した小プレゼンテーション③とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備;③担当者は内省と分析 【復習:60分】ディベート理論について説明できるようにする
5	ディベートを使用した小プレゼンテーション④とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備;④担当者は内省と分析 【復習:60分】ディベートの方法を習得する
6	文化人類学の問題を使用した小プレゼンテーション⑤とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備;⑤担当者は内省と分析 【復習:60分】文化人類学の問題について確認する
7	B A F A B A F Aを使用した小プレゼンテーション⑥とその批評 【授業方法】演習（AL・発表） 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備;⑥担当者は内省と分析 【復習:60分】B A F A B A F Aについて説明できるようにする
8	フィードバック：本科目によって学修したコミュニケーションに関する理論と実践方法について、フィードバックする 【授業方法】演習（発表）とフィードバック 【予習:60分】全員：最終発表のための資料渉猟⑧の担当者は個人発表準備;⑦担当者は内省と分析 【復習:60分】コミュニケーションに関する理論と実践方法の確認

## 先行履修科目

なし

## テキスト

必要に応じてプリントを配布する

## 参考文献

高瀬文広 他：日本語コミュニケーションI.ぎょうせい, 2003.  
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック.成文堂,2018.

## 評価方法



---

批評活動への参加度24%、プレゼンテーション76%

## 教員等の実務経験

---

### メッセージ

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを学びます。

## 基礎力総合ゼミナールⅠ

更新日：2022/02/04 13:43:10

開講年度	2022	学期	前期	シラバスコード	LHU105		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	510900
担当教員	中山 晃志, 高瀬 文広, 柳井 圭子, 木村 涼平, 倉岡 有美子, 櫻本 秀明, 原田 紀美枝, 宇都宮 真由子, 鎌田 ゆき, 高瀬 理恵子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考							

## 授業の目的

大学生としての学修方法を認識し、積極的に学ぶ姿勢を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	生活環境を整え、継続して学修に取り組むことができる。
2	看護職について理解し、資格取得に向けての大学生活を計画できる。
3	講義内容を理解し、要点をまとめることができる。
4	自分の考えや意見を積極的に記述・発信し、的確に表現することができる。

## 授業計画

1	<b>ガイダンス, 学長講話</b> 【授業方法】講義 【復習:30分】学長の講話を振り返って自己資料としてまとめる [第2回で使用] 【担当】中山
2	<b>学生生活を考える(1)</b> 【授業方法】演習：ゼミ別 【予習:30分】学生生活や将来像について考える 【復習:60分】演習からの学びを文章化する [次回, 提出] 【担当】ゼミ担当
3	<b>学生生活を考える(2)</b> 【授業方法】演習（発表、討議）：ゼミ別 【予習:30分】課題内容の発表準備をする 【担当】ゼミ担当
4	<b>看護職への道</b> 【授業方法】講義・演習：担当教員からの話題提供と課題 【復習:60分】講義からの学びを文章化する [次回, 提出] 【担当】柳井
5	<b>それぞれの看護職への道</b> 【授業方法】演習（発表、討議）：ゼミ別 【予習:30分】課題内容の発表準備をする 【担当】ゼミ担当
6	<b>マインドマップを考える</b> 【授業方法】講義・演習：担当教員からの話題提供と課題 【復習:60分】マインドマップを文章化する [次回, 提出] 【担当】高瀬
7	<b>それぞれのマインドマップ</b> 【授業方法】演習（発表、討議）：ゼミ別 【予習:30分】課題内容の発表準備をする 【担当】ゼミ担当
8	<b>感染症と開発(1)</b> 【授業方法】講義・演習：担当教員からの話題提供 【復習:30分】講義・演習からの学びを振り返る 【担当】宇都宮, 中山 他
9	<b>感染症と開発(2)</b> 【授業方法】講義：担当教員からの話題提供と課題 【復習:60分】講義からの学びを文章化する [次回, 提出] 【担当】宇都宮
10	<b>感染症と開発から看護を考える</b> 【授業方法】演習（発表、討議）：ゼミ別 【予習:30分】課題内容の発表準備をする 【担当】ゼミ担当
11	<b>児童虐待の発生と脳科学</b> 【授業方法】講義：担当教員からの話題提供と課題 【復習:30分】講義からの学びを振り返る 【担当】木村

12	<b>児童虐待を減らすための支援</b> 【授業方法】 講義・演習：担当教員からの話題提供と課題 【復習:60分】 講義からの学びを文章化する [次回, 提出] 【担当】 木村
13	<b>児童虐待について考える</b> 【授業方法】 演習（発表、討議）：ゼミ別 【予習:30分】 課題内容の発表準備をする 【担当】 ゼミ担当
14	<b>学習方法について：点検評価</b> 【授業方法】 演習 【予習:60分】 PROG基礎力測定テスト用の対策と学修 【復習:30分】 PROG基礎力測定テストの確認 【担当】 教務委員会（中山）
15	<b>フィードバック</b> 【授業方法】 講義 【復習:30分】 後期に向けての学修・生活にかかわる自己点検 【担当】 中山

#### 先行履修科目

なし

#### テキスト

適宜，配布・案内します。

#### 参考文献

#### 評価方法

授業への参加度 24%、レポート課題・発表 76%

#### 教員等の実務経験

#### メッセージ

本科目では「全体での学習」と担当教員別に分かれて行う小グループでの「ゼミナール（ゼミ別と記載）」とを組み合わせるため、日によって教室が異なります。毎回の確認を忘れないようにしてください。

## 基礎力総合ゼミナールII

更新日：2022/02/04 13:45:56

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LHU109		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	511000
担当教員	中山 晃志, 高瀬 文広, 柳井 圭子, 木村 涼平, 宇都宮 真由子, 伊藤 明子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	必修/選択：必修科目 事業形態：演習						

## 授業の目的

大学生としての学修スキルを身につけるために、各種情報の検索、文献の読解、文章の作成、プレゼンテーション、ディスカッション等の各技能を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	テーマに沿って、適切な情報を収集することができる。
2	周囲とコミュニケーションを取りながら、協力して取り組むことができる。
3	建設的なディスカッションをすることができる。
4	個人やグループの考えをまとめ、明確に記述・発表することができる。
5	自己の振り返りができ、今後の計画を的確に立てることができる。

## 授業計画

1	ガイダンス、前期の振り返りと後期計画 【授業方法】講義・演習 【予習:30分】前期の内省をし、後期の課題を検討する 【担当】中山
2	図書館情報検索について 【授業方法】講義・演習（ICT支援） 【予習:30分】図書館の概要と使用手続きについて 【復習:60分】レポート作成の倫理について小テスト 【担当】図書館司書（中山）
3	文献検索 【授業方法】演習（ICT支援、PBL）：ゼミ別 【予習:30分】前回の情報検索について振り返る 【担当】ゼミ担当
4	文献の読解・まとめ 【授業方法】演習：ゼミ別 【復習:60分】文献についてまとめる [次回, 提出] 【担当】ゼミ担当
5	文献を紹介する 【授業方法】演習（発表・討議）：ゼミ別 【予習:30分】課題内容の発表準備をする 【担当】ゼミ担当
6	災害対策について 【授業方法】講義 【復習:30分】講義からの学びを振り返る 【担当】伊藤
7	災害対策を考える(1) 【授業方法】演習（GW、フィールドワーク）：グループ別 【復習:30分】フィールドワークからの学びを自己資料としてまとめる 【担当】伊藤、中山、木村、宇都宮 他
8	災害対策を考える(2) 【授業方法】演習（GW、フィールドワーク）：グループ別 【復習:30分】フィールドワークからの学びを自己資料としてまとめる 【担当】伊藤、中山、木村、宇都宮 他
9	災害対策マップ作成 【授業方法】演習（GW）：グループ別 【予習:30分】前回のフィールドワークを振り返る 【復習:30分】課題内容の発表準備をする 【担当】伊藤、中山、木村、宇都宮 他
10	地域の災害対策(1) 【授業方法】演習（GW、発表、討議） 【復習:30分】全体の発表を通しての学びを振り返る 【担当】伊藤、中山、木村、宇都宮 他

11	<b>地域の災害対策(2)</b> 【授業方法】 演習 (GW、発表、討議) 【復習:30分】 全体の発表を通しての学びを振り返る 【担当】 伊藤、中山、木村、宇都宮 他
12	<b>振り返りと今後の計画(1)</b> 【授業方法】 演習：ゼミ別 【予習:30分】 これまでの学生生活を振り返る 【担当】 ゼミ担当
13	<b>振り返りと今後の計画(2)</b> 【授業方法】 演習 (発表)：ゼミ別 【予習:30分】 課題内容の発表準備をする 【担当】 ゼミ担当
14	<b>振り返りと今後の計画(3)</b> 【授業方法】 演習 (発表)：ゼミ別 【予習:30分】 課題内容の発表準備をする 【担当】 ゼミ担当
15	<b>フィードバック</b> 【授業方法】 講義・演習：ゼミ別 【復習:30分】 2年生に向けての学修・生活にかかわる自己点検 【担当】 ゼミ担当

#### 先行履修科目

なし

#### テキスト

適宜、配布・案内します。

#### 参考文献

#### 評価方法

授業への参加度 40%、レポート課題・発表 60%

#### 教員等の実務経験

#### メッセージ

本科目は「全体」「ゼミナール」に加え、ゼミナールとは異なる「グループ」でも演習を行ってまいります。グループ内での協力・協同が大切になり、率先して動ける力も重要となりますので、意識して少しずつ培ってってください。  
 日によって時間割が異なることがあるかもしれませんので、毎回の確認を忘れないようにしてください。

# 人体の構造と機能 I

更新日：2022/01/30 09:54:18

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHU106		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	511100
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（消化器系）を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

## 授業計画

1	<b>体表から触知する人体の構造／人体の構造と区分／部位と器官／人体の階層性</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 （第1章）人体の成り立ち、人体構造の階層性と人体を構成する系 【復習】60分 講義で出てきたキーワード（解剖学用語）を整理する。
2	<b>細胞／細胞膜／細胞の増殖と染色体</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 （第1章）細胞と膜の持つ意義について 【復習】60分 細胞の概観、細胞膜の機能について整理する。
3	<b>細胞内小器官と細胞骨格</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 （第1章）細胞内小器官と細胞骨格 【復習】60分 細胞内小器官と細胞骨格について整理する。
4	<b>細胞を構成する物質とエネルギーの生成</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 （第1章）細胞の化学成分、エネルギー変換とATP産生、核酸とタンパク質の合成 【復習】60分 細胞を構成する物質やエネルギー変換、ATP産生などについて整理する。
5	<b>分化した細胞がつくる組織の特徴とその機能：結合組織／神経組織／筋組織／上皮組織</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 上皮組織の構造と機能 【復習】60分 上皮組織の持つ特徴とその機能について整理する。
6	<b>皮膚の構造と機能：臓器としての皮膚／生体を守るための皮膚の機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 皮膚の構造と機能 【復習】60分 臓器としての皮膚の構造と機能について整理する。
7	<b>体温とその調節</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 体温の意味とその調節メカニズム 【復習】60分 体温の意味とその測定方法について整理する。

8	<b>栄養の消化と吸収：消化器系の構造</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 消化器系の構造 【復習】60分 消化器系、上皮と分泌について整理する。
9	<b>胃、小腸の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 消化器の機能 【復習】60分 消化酵素や消化管ホルモンについて整理する。
10	<b>大腸の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 大腸の消化機能、排便機序 【復習】60分 大腸の消化機能、排便機序について整理する。
11	<b>膵臓の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 膵臓の構造と機能 【復習】60分 消化酵素とそれを調節する消化管ホルモンについて整理する。
12	<b>胆嚢の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 胆嚢の構造と機能 【復習】60分 胆嚢の構造と機能について整理する。
13	<b>肝臓の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 肝臓の構造と機能 【復習】60分 肝臓の構造と機能について整理する。
14	<b>消化器系の構造と機能の理解を踏まえた栄養素の面から見た消化と吸収</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 消化管の構造と機能、栄養の代謝 【復習】60分 栄養代謝と消化管の関係を整理する。
15	<b>フィードバック：細胞／組織／外皮系／消化器系について肉眼的・組織学的にまとめる。</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 細胞、組織、外皮系、消化器系の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

### 先行履修科目

なし

### テキスト

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.

### 参考文献

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson : Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学(原著11版). 丸善出版, 2020.

Richard, L.D. et al : Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学(原著第3版). エルゼビア・ジャパン, 2016.

Kim, E.B. et al : Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学(原著25版). 丸善, 2017.

Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

### 評価方法

定期試験80% 小テスト20%

### 教員等の実務経験

医学部で人体解剖等の実績のある教員が講義します。

### メッセージ

講義の順序性から、人体の構造と機能Ⅰのあと人体の構造と機能Ⅱを開講します。





# 人体の構造と機能 II

更新日：2022/01/30 09:55:23

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHU107		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	511200
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（循環器系・呼吸器系）を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

## 授業計画

1	<b>血液の循環とその調節：循環器系の構成／心臓の構造</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 心臓の構造 【復習】60分 心臓の立体構造と内部構造について整理する。
2	<b>心臓の血管と神経：冠状血管系／冠状循環</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 体循環、肺循環、冠状動脈の構造と機能 【復習】60分 体循環と肺循環、冠状動脈の構造と機能について整理する。
3	<b>心臓の拍出機能：心臓の興奮とその伝播</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 刺激伝導系と心収縮のメカニズム、心電図 【復習】60分 刺激伝導系と心収縮のメカニズム、心電図について整理する。
4	<b>心臓の収縮：心周期と心内圧</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 心周期と心内圧 【復習】60分 心臓のポンプ機能と心周期、心内圧について整理する。
5	<b>心負荷と心不全の関係及びそれを調節する神経・ホルモンについて</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 心負荷と心不全、これらを調節する神経・ホルモン 【復習】60分 心負荷と心不全について整理する。
6	<b>末梢循環系の構造</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 血管の構造、動静脈の名称 【復習】60分 動静脈の名称について整理する。
7	<b>特殊な循環：頭部／門脈／胎児</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 ウィリス動脈輪、門脈、胎児の循環 【復習】60分 ウィリス動脈輪、門脈、胎児の循環について整理する。

8	<b>血液の循環の調節</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 血管の特性と血圧発生のメカニズム、その調節機構 【復習】60分 血管の特性と血圧発生のメカニズム、その調節機構について整理する。
9	<b>微小循環（毛細血管における物質交換）</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 毛細血管における物質交換機能 【復習】60分 毛細血管における物質交換機能について整理する。
10	<b>呼吸と血液のはたらき：呼吸器の構造（上気道と下気道）</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 呼吸器の構造 【復習】60分 呼吸器の構造について整理する。
11	<b>肺の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 肺の構造と機能 【復習】60分 肺の構造と機能について整理する。
12	<b>呼吸：肺が膨らむメカニズム／呼吸運動の調節</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 胸郭と横隔膜…ボイル・シャルルの法則、呼吸運動（大気中の酸素を体内に取り込む機序：対流・拡散による換気） 【復習】60分 胸郭と横隔膜…ボイル・シャルルの法則、呼吸運動（大気中の酸素を体内に取り込む機序：対流・拡散による換気）について整理する。
13	<b>呼吸気量／ガス交換（酸素と二酸化炭素）とガスの運搬</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 肺、末梢組織でのガス交換、分圧の法則 【復習】60分 肺、末梢組織でのガス交換、分圧の法則について整理する。
14	<b>肺の循環と血流：肺循環／換気血流比</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 肺循環・換気血流比 【復習】60分 肺循環・換気血流比について整理する。
15	<b>フィードバック：循環器・呼吸器の構造のまとめ</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 循環器・呼吸器の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

## 先行履修科目

なし

## テキスト

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.

## 参考文献

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson : Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版, 2020.

Richard, L.D. et al : Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学（原著第3版）. エルゼビア・ジャパン, 2016.

Kim, E.B. et al : Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学（原著25版）. 丸善, 2017.

Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

## 評価方法

定期試験80% 小テスト20%

## 教員等の実務経験

医学部で人体解剖等の実績のある教員が講義します。

## メッセージ

講義の順序性から、人体の構造と機能Ⅰのあと人体の構造と機能Ⅱを開講します。



# 人体の構造と機能Ⅲ

更新日：2022/01/30 10:10:57

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHU112		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	511300
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（神経系・筋骨格系・感覚器系）を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

## 授業計画

1	<b>身体の支持と運動：骨格系とは</b> 【授業方法】講義 【予習】60分 肉眼的骨格系の機能と組織学的特徴、（体の支持、臓器の保護という面から見た構造、カルシウム代謝や血球産生という面から見た顕微鏡的構造と骨の成長メカニズム） 【復習】60分 肉眼的骨格系の機能と組織学的特徴、（体の支持、臓器の保護という面から見た構造、カルシウム代謝や血球産生という面から見た顕微鏡的構造と骨の成長メカニズム）について整理する。
2	<b>骨の連結：関節／骨格筋</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 関節の構造と機能、骨格筋の構造 【復習】60分 関節の構造と機能、骨格筋の構造について整理する。
3	<b>体幹の骨格と筋／上肢の骨格と筋</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 体幹・上肢の骨格と筋の構造と機能 【復習】60分 体幹・上肢の骨格と筋の構造と機能について整理する。
4	<b>下肢の骨格と筋／頭頸部の骨格と筋</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 下肢・頭頸部の骨格と筋の構造と機能 【復習】60分 下肢・頭頸部の骨格と筋の構造と機能について整理する。
5	<b>筋の収縮</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 骨格筋の収縮機構、種類と特性、不随意筋の収縮の特徴 【復習】60分 骨格筋の収縮機構、種類と特性、不随意筋の収縮の特徴について整理する。
6	<b>情報の受容と処理：神経系の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 神経系の構造と機能 【復習】60分 神経系の構造と機能について整理する。
7	<b>ニューロンでの興奮の伝導／シナプスでの興奮の伝導</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 神経での情報伝達の方法 【復習】60分 神経での情報伝達の方法について整理する。

8	<b>脳の構造と機能：脳幹／小脳／間脳／大脳</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 大脳の構造と局所機能 【復習】60分 大脳の構造と局所機能について整理する。
9	<b>脳の構造と機能：脳室と髄膜／脳脊髄液の循環／脳の高次機能：睡眠／記憶／本能行動／情動行動</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 脳脊髄液の機能、感覚、運動、思考と記憶を司る脳の機能 【復習】60分 脳脊髄液の機能、感覚、運動、思考と記憶を司る脳の機能について整理する。
10	<b>末梢神経：脳神経（12脳神経の機能）</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 脳神経の名称と機能 【復習】60分 脳神経の名称と機能について整理する。
11	<b>脊髄と脊髄神経：運動機能と下行伝導路／感覚機能と上行伝導路</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 脊髄の構成と末梢神経（情報伝達路）の名称と機能、骨格筋の運動との関連 【復習】60分 脊髄の構成と末梢神経（情報伝達路）の名称と機能、骨格筋の運動との関連について整理する。
12	<b>自律神経による内臓機能の調節：交感神経／副交感神経</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 自律神経の働き 【復習】60分 自律神経の働きについて整理する。
13	<b>体性感覚・特殊感覚の構造と機能：味覚と嗅覚／痛み（疼痛）</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 触覚・味覚・痛覚受容体の構造と機能、痛み（疼痛） 【復習】60分 触覚・味覚・痛覚（疼痛）受容体の構造と機能、痛み（疼痛）について整理する。
14	<b>眼と耳の構造と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 眼と耳の構造と機能 【復習】60分 眼と耳の構造と機能について整理する。
15	<b>神経・運動器系、感覚器系を統合的に理解するためのフィードバック</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 筋骨格系、神経系、感覚器系の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

### 先行履修科目

なし

### テキスト

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.

### 参考文献

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson : Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学(原著11版) . 丸善出版, 2020.  
 Richard, L.D. et al : Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学(原著第3版) . エルゼビア・ジャパン, 2016.  
 Kim, E.B. et al : Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学(原著25版) . 丸善, 2017.  
 Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

### 評価方法

定期試験80% 小テスト20%

### 教員等の実務経験

医学部で人体解剖等の実績のある教員が講義します。

### メッセージ

講義の順序性から、人体の構造と機能IIIのあと人体の構造と機能IVを開講します。



# 人体の構造と機能IV

更新日：2022/02/25 16:01:17

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHU113		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	511400
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（血液系・内分泌系・腎泌尿器系）を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	人体の構造を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
2	人体の機能を細胞や組織レベルから器官系レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し科学的視点から生命現象を説明することができる。

## 授業計画

1	<b>血液：血液の組成と機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 血液の成分 【復習】60分 血液の成分について整理する。
2	<b>血漿タンパク質と赤血球沈降速度／血液の凝固と線維素溶解／血液型</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 血漿タンパク質と赤血球沈降速度／血液の凝固と線維素溶解／血液型 【復習】60分 血漿タンパク質と赤血球沈降速度／血液の凝固と線維素溶解／血液型について整理する。
3	<b>生体防御機構：非特異的防御機構／特異的防御機構</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 免疫のメカニズム 【復習】60分 免疫のメカニズムについて整理する。
4	<b>リンパとリンパ管／生体防御の関連臓器</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 リンパ系の構造と機能、生体防御機構 【復習】60分 リンパ系の構造と機能、生体防御機構について整理する。
5	<b>内臓機能の調節：内分泌系による調節</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 内分泌機構の概要、視床下部と脳下垂体の関係 【復習】60分 内分泌機構の概要、視床下部と脳下垂体の関係について整理する。
6	<b>甲状腺と副甲状腺</b> 【授業方法】講義 【予習】60分 甲状腺の構造と機能・カルシウム代謝機構 【復習】60分 甲状腺の構造と機能・カルシウム代謝機構について整理する。
7	<b>膵臓／副腎／性腺</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 膵臓・副腎髄質・副腎皮質、性腺から分泌されるホルモンのはたらき 【復習】60分 膵臓・副腎髄質・副腎皮質、性腺から分泌されるホルモンのはたらきについて整理する。

8	<b>体液の調節と尿の生成：腎臓</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 腎臓の肉眼的構造と組織構造、糸球体と傍糸球体装置 【復習】60分 腎臓の肉眼的構造と組織構造、糸球体と傍糸球体装置について整理する。
9	<b>傍糸球体装置／クリアランスと糸球体濾過／腎臓から分泌される生理活性物質</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 傍糸球体装置のはたらき、腎機能の評価（糸球体濾過とクリアランス）、エリスロポエチン 【復習】60分 傍糸球体装置のはたらき、腎機能の評価（糸球体濾過とクリアランス）、エリスロポエチンについて整理する。
10	<b>排尿路／体液の調節</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 排尿路の構造、尿の貯蔵と排尿、体液の調節 【復習】60分 排尿路の構造、尿の貯蔵と排尿、体液の調節について整理する。
11	<b>体液の調節、酸塩基平衡</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 体液調節機構、酸塩基平衡 【復習】60分 体液調節機構、酸塩基平衡について整理する。
12	<b>男性の外生殖器と内生殖器の構造と内分泌的な機能</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 男性生殖器の構造と機能 【復習】60分 男性生殖器の構造と機能について整理する。
13	<b>女性の外生殖器と内生殖器の構造と受精するための内分泌的・構造的変化</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 女性生殖器の構造と機能 【復習】60分 女性生殖器の構造と機能について整理する。
14	<b>受精と発生</b> 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 受精と発生 【復習】60分 受精と発生について整理する。
15	<b>フィードバック：血液系、泌尿器系、生殖器系</b> 授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 血液系、泌尿器系、生殖器系の構造と機能 【復習】60分 小テストの内容整理

### 先行履修科目

なし

### テキスト

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.

### 参考文献

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson : Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学(原著11版). 丸善出版, 2020.  
 Richard, L.D. et al : Gray's Anatomy for students(3rd). 2015, 塩田浩平 他訳：グレイ解剖学(原著第3版). エルゼビア・ジャパン, 2016.  
 Kim, E.B. et al : Ganong's Review of Medical Physiology (25th). 2015, 岡田泰伸 監訳：ギャノン生理学(原著25版). 丸善, 2017.  
 Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017.

### 評価方法

定期試験80% 小テスト20%

### 教員等の実務経験

医学部で人体解剖等の実績のある教員が講義します。

### メッセージ

講義の順序性から、人体の構造と機能IIIのあと人体の構造と機能IVを開講します。





# 生化学

更新日：2022/03/09 09:23:55

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LHU111		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	511500
担当教員	田中 紀之						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

基本的な化学現象について理解を深め、生体成分の化学性状と物質・エネルギー代謝について理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	自分の身体の構成成分である化学物質の構造と性状を説明できる。
2	生体内で生じている代謝について記述できる。
3	栄養の生化学、病気の生化学的観点を持てる。

## 授業計画

1	<b>イントロダクション（講義のスタンス、授業目的の明示と授業内容の概説）</b> 【授業方法】講義 【予習】90分：高校の化学、生物の教科書で、炭水化物、脂質(油脂)、タンパク質、代謝について復習しておく 【復習】90分：講義内容を踏まえ、再度（予習）の内容の学習を行う 【担当】田中
2	<b>糖質の化学</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-1に目を通しておく 【復習】40分：教科書本文および講義内容を理解し、定着させる 【担当】田中
3	<b>脂質の化学</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-2に目を通しておく 【復習】40分：同上 【担当】田中
4	<b>アミノ酸・タンパク質の化学</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-3に目を通しておく 【復習】60分：同上 【担当】田中
5	<b>ビタミン</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第2章-5に目を通しておく 【復習】60分：同上 【担当】田中
6	<b>糖質の代謝</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第5章-1,2に目を通しておく 【復習】90分：同上 【担当】田中
7	<b>脂質の代謝</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第5章-3に目を通しておく 【復習】60分：同上 【担当】田中
8	<b>これまでのまとめとフィードバック：アミノ酸・タンパク質の代謝</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：教科書第5章-4に目を通しておく 【復習】同上 【課題】180分：レポート提出のため、講義内容の重要ポイントを「理解」しておく 【担当】田中

## 先行履修科目

なし

## テキスト

関周司 編著：生化学 第4版．三共出版，2020．

## 参考文献

---

- ①Voet D.他：Biochemistry. (第4版) . Wiley, (2010)
- ②田宮信雄他訳：ヴォート：生化学．東京化学同人，上(2012) ，下(2013)

## 評価方法

---

出席で受験資格を得た学生について試験で評価（100%）します。  
通常授業に関連する評価は、合否の最終判断の際に参考とします。  
再試験は行いません。

## 教員等の実務経験

---

## メッセージ

---

○パワーポイントを使用して講義しますが、教科書の該当箇所によって進行しますので、教科書の予習復習が重要です。

☆自然科学の学習では、内容を「理解」することが最も重要です。勉強というのはおぼえることだ、と思っている人はその考えを「一掃」し、授業中は、講義内容を「理解」することに集中して下さい。おぼえる必要はありません。

# 遺伝学

更新日：2022/02/07 13:15:49

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHU110		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	511600
担当教員	西野 秀昭						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 教員等の実務経験：実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

遺伝性疾患を理解するために必要な遺伝学の基礎知識を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	遺伝子とDNAの関係を理解できる。
2	染色体の分類と主な染色体異常症の症状を理解できる。
3	遺伝病の発症メカニズム（遺伝形式など）と代表的疾患を理解できる。
4	生活習慣病などを含む疾患の遺伝学的意義について理解できる。
5	遺伝カウンセリングでの留意点を理解できる。
6	正確に家系図を書くことができる。

## 授業計画

1	<p><b>人体の成り立ちと遺伝情報 私たちのからだとゲノム</b> 【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちのからだ：細胞とタンパク質</li> <li>・生命の設計図：ゲノム</li> <li>・遺伝子発現と私たちのからだー受精から器官形成の過程</li> <li>・ゲノムのもう一つの媒体（伝達手段）ーミトコンドリアDNA</li> </ul> <p>【授業方法】講義 【予習】45分：テキストChapter1を熟読 【復習】45分：細胞の構造を説明できる、ゲノムの構造と染色体と遺伝子の関係性を説明できる、受精から器官形成の過程について説明できることを確認 【担当】西野</p>
2	<p><b>人体の成り立ちと遺伝情報 多様性・継承性とゲノム</b> 【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲノムの多様性</li> <li>・細胞から細胞への継承：細胞分裂ー体細胞分裂と減数分裂</li> <li>・遺伝子継承の規則：メンデルの法則</li> </ul> <p>【授業方法】講義 【予習】45分：テキストChapter2を熟読 【復習】45分：ゲノムの多様性にもとづく個人の多様性について概説でき、細胞周期と細胞分裂を説明でき、遺伝の基本的機序を説明できることを確認 【担当】西野</p>
3	<p><b>疾病の成り立ちと遺伝情報 疾病の成り立ちとゲノムー遺伝性疾患</b> 【詳細】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝性疾患</li> <li>・病的変異ー生殖細胞系列変異と体細胞変異の違い</li> <li>・がんと遺伝子変異</li> <li>・遺伝学的検査（生殖細胞系列遺伝子検査）と体細胞遺伝子検査ー検体の選択</li> <li>・ゲノム解析の手法ー解析する大きさ</li> </ul> <p>【授業方法】講義 【予習】45分：テキストChapter3を熟読 【復習】45分：主な遺伝性疾患を分類でき、生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、がんの原因や遺伝子変化を説明でき、遺伝学的検査や体細胞遺伝子検査の目的と適用を説明できることを確認 【担当】西野</p>

4	<p><b>疾病の成り立ちと遺伝情報 家族歴と家系図</b>  【授業方法】講義  【詳細】  ・ 遺伝性疾患の特徴－表現型と家族集積性  ・ 近親度：家系内での遺伝情報共有割合  ・ 家族歴  ・ 家系図  ・ 家族歴からの家系図の作成と評価  【予習】45分：テキストChapter4を熟読  【復習】45分：家族歴を聴取し、家系図を作成、評価でき、遺伝性疾患における未発症者、保因者の位置づけを説明できることを確認  【担当】西野</p>
5	<p><b>疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝性疾患①1遺伝子レベルの変化が関わる疾病－単一遺伝子疾患</b>  【詳細】  ・ 単一遺伝子（メンデル遺伝）疾患、  ・ メンデルの法則に則る継承のタイプ－遺伝形式、・家系内での評価－再発率・再発リスク、・未発症者と保因者  【授業方法】講義  【予習】45分：テキストChapter5を熟読  【復習】45分：主な遺伝性疾患（単一遺伝子疾患）を説明でき、代表的な疾患を列挙できることを確認  【担当】西野</p>
6	<p><b>疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝性疾患② 遺伝要因と環境要因が関わる疾病</b>  【詳細】  ・ 疾病の原因－遺伝要因と環境要因  ・ 多因子遺伝疾患－疾患易罹性（病気のなり易さ）  ・ 胎児の発育に影響する疾患  ・ 先天性疾患  ・ ミトコンドリア病  【授業方法】講義  【予習】45分：テキストChapter6を熟読  【復習】45分：疾病や障害の遺伝要因と環境要因について説明でき、主な多因子遺伝疾患を列挙でき、遺伝的多様性をふまえたうえで、環境と健康・生活との関連について説明できることを確認  【担当】西野</p>
7	<p><b>疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝性疾患③ 染色体レベルの変化が関わる疾病－染色体異常症</b>  【詳細】  ・ 染色体異常  ・ がんにおける染色体異常  ・ 染色体検査  【授業方法】講義  【予習】45分：テキストChapter7を熟読  【復習】45分：主な遺伝性疾患（染色体異常）を説明でき、代表的な疾患を列挙でき、染色体検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できることを確認  【担当】西野</p>
8	<p><b>疾病の成り立ちと遺伝情報 遺伝医療・ゲノム医療 これまでのまとめとフィードバック</b>  【詳細】  ・ 遺伝性疾患に対する医療の特徴－遺伝医療  ・ 遺伝医療に関わる社会資源  ・ 遺伝カウンセリング  ・ 遺伝医療からゲノム医療へ  ・ ゲノム医療における看護職の役割  【授業方法】講義  【予習】45分：テキストChapter8を熟読  【復習】45分：遺伝医療・ゲノム医療の特性を説明でき、遺伝・ゲノム医療において関係機関・職種と連携する重要性を説明でき、遺伝性疾患に関わる社会資源を概説でき、薬物の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説でき、遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できることを確認  【担当】西野</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

中込さと子，西垣昌和，渡邊淳：基礎から学ぶ遺伝看護学「継承性」と「多様性」の看護学．羊土社，2019．（最新の修正版を教科書として用いる。古い版は使わないこと）

## 参考文献

必要に応じて紹介

## 評価方法

期末の筆記試験により評価（100%）します。

## 教員等の実務経験

科目担当者は、遺伝学の授業を長年担当してきた。医学部の基礎講座等において遺伝子工学的手法を駆使した研究に従事し、臨床医との共同研究の実績も有する。

## メッセージ



## 生物／化学（基礎）

更新日：2022/03/08 10:34:10

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LEN108		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520150
担当教員	野黒美 俊介, 富永 剛史						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

人体の構造と機能および看護基礎科目の理解を促進するための生物、化学の基礎的知識を理解する

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	【生物】細胞の構造・呼吸のしくみについて理解できる。
2	【生物】体内環境の維持について理解できる。
3	【生物】動物の反応と行動（眼・神経・筋肉）について理解できる。
4	【化学】物質の性質や変化をもとに、原子の構造や化学結合、化学変化等の基礎知識を理解できる。
5	【化学】中和反応や酸化還元反応などの基本的な化学反応について理解できる。

## 授業計画

1	<b>【生物1】細胞の構造と機能（1）細胞の構造・呼吸</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：細胞の構造・呼吸のしくみについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
2	<b>【生物2】細胞の構造と機能（2）生体膜・膜タンパク質</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：生体膜の構造・膜タンパク質・細胞接着について、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
3	<b>【生物3】体内環境の維持（1）循環系・血液凝固</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：心臓・血液循環・血液凝固のしくみについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
4	<b>【生物4】体内環境の維持（2）生体防御</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：免疫のしくみについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
5	<b>【生物5】体内環境の維持（3）肝臓・腎臓</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：肝臓と腎臓のはたらきについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
6	<b>【生物6】体内環境の維持（4）恒常性</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：自律神経系と内分泌系のはたらきについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
7	<b>【生物7】動物の行動と反応（1）受容器・神経</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：眼とニューロンの構造について、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美
8	<b>【生物8】動物の行動と反応（2）神経・筋肉、これまでのフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：神経を興奮が伝わるしくみと筋収縮について、教科書で概要を把握しておく 【復習】30分：授業内容の復習に取り組む 【担当】野黒美

9	<b>【化学1】 原子の構造(1)</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 ・原子の構造・同位体・電子配置 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
10	<b>【化学2】 原子の構造(2)</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 ・イオン・電気陰性度 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
11	<b>【化学3】 化学結合</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 ・原子間の結合・化学結合とその結晶 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
12	<b>【化学4】 物質と化学反応式</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 ・物質・化学反応式・溶液の濃度 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
13	<b>【化学5】 酸や塩基, 中和反応(1)</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 ・酸や塩基の定義・中和反応 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
14	<b>【化学6】 酸と塩基, 中和反応(2)</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 塩の性質と反応 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
15	<b>【化学7】 酸化還元反応(1)</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 ・酸化や還元の定義・酸化剤や還元剤 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永
16	<b>【化学8】 酸化還元反応(2) これまでのまとめとフィードバック</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 酸化還元反応 【復習】 90分：講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】 富永

### 先行履修科目

なし

### テキスト

【生物】 高畑 雅一 他：生物学 第10版.医学書院,2019.

【化学】 授業内容を関するプリントを配布します。

### 参考文献

【化学】 参考文献は適宜紹介します。また、高等学校で使用した「化学基礎・化学」の教科書やそれに関する資料集や図説などがあれば参考にして欲しいと思います。

### 評価方法

筆記試験(100%)

### 教員等の実務経験

### メッセージ

【生物】 大手予備校から医進系の中小予備校まで、大学受験生物の指導を専門とした授業をしています。高校生物の範囲に絞った授業を行っていきますので、大学での専門的な生物の学習に入る前の準備として、この授業で生物の基本を身に付けてください。



## 物理

更新日：2022/01/28 10:04:03

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LEN103		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520300
担当教員	鈴木 優太郎						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択 授業形態：講義						

### 授業の目的

保健医療専門職に就くものの教養として、身近な物理現象の基礎知識を理解する。

### 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

### 到達目標

1	力、力のモーメント、圧力等单位の表現の違いを理解し、医療機器に対応できる知識を身につける。
2	放射線による人体への影響などが理解できる。

### 授業計画

1	<b>速度と加速度（速さ、速度、等加速度直線運動）</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：速さと速度の違い、加速度という内容の意味を掴むことができる。 【担当】鈴木
2	<b>重力加速度と力について</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：力とその表し方について、その例と計算問題演習により理解度を深める。 【担当】鈴木
3	<b>ニュートン力学の3法則（慣性の法則、運動の法則、作用・反作用の法則）</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：ニュートンの3法則について、計算問題演習により理解度を深める。 【担当】鈴木
4	<b>力のモーメントとエネルギー保存則</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：身の回りの「力のモーメント」「エネルギー保存則」について、計算問題演習により理解度を深める。 【担当】鈴木
5	<b>身近な圧力（圧力、気圧、入浴とベッドの水圧効果）</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：トリチェリーの実験から、圧力等单位の表現の理解を図る。 【担当】鈴木
6	<b>気体の状態方程式（ボイル・シャルルの法則）</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：圧力が体積や温度と関係していることを、問題演習を通して、理解を深める。 【担当】鈴木
7	<b>血流とオームの法則、レンズによる像</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：オームの法則の理解とレンズによる作図、実像と虚像の意味を理解する。 【担当】鈴木
8	<b>放射線の特性、これまでのまとめとフィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：目に見えないものの怖さ、放射線とはどのようなものなのか、放射性物質の取り扱いなどの理解を図る。 【担当】鈴木

### 先行履修科目

なし

### テキスト

東京書籍編集部：改訂 新編 物理基礎．東京書籍，2021

### 参考文献

佐藤和良：看護学生のための物理学 第6版．医学書院，2022．

### 評価方法

筆記試験(100%)

### 教員等の実務経験

東海大学付属福岡高等学校 特任教諭として「化学」「物理」を指導

## メッセージ

---

## 生物／化学（ヒトの生命現象）

更新日：2022/03/01 10:27:44

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	LEN106		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520400
担当教員	野黒美 俊介, 富永 剛史						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

人の生命現象を科学的に理解するうえで必要となる生物学、化学の標準的な知識を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	【生物】 1) 細胞の構造とそのはたらきについて理解できる。
2	【生物】 2) 遺伝子発現とその調節について理解できる。
3	【生物】 3) 遺伝子の分配と生殖について理解できる。
4	【生物】 4) 遺伝のしくみについて理解できる。
5	【化学】 溶液に関する基礎知識を理解できる。
6	【化学】 酸や塩基に関する基礎知識を理解できる。
7	【化学】 酸化還元反応に関する基礎知識を理解できる。
8	【化学】 生体を構成する物質に関する基礎知識を理解できる。

## 授業計画

1	<b>【生物】 1回 細胞の構造と機能 (1) 細胞・細胞骨格</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：細胞の構造・細胞骨格・細胞内輸送について、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美
2	<b>【生物】 2回 細胞の構造と機能 (2) タンパク質・酵素</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：タンパク質・酵素のはたらきについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美
3	<b>【生物】 3回 遺伝情報の発現 (1) ゲノム・複製</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：ゲノム・DNAの複製について、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美
4	<b>【生物】 4回 遺伝情報の発現 (2) セントラルドグマ・突然変異</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：転写と翻訳・突然変異について、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美
5	<b>【生物】 5回 遺伝情報の発現 (3) 遺伝子発現の調節・バイオテクノロジー</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：遺伝子発現の調節・バイオテクノロジーについて、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美
6	<b>【生物】 6回 遺伝情報の分配 (1) 細胞分裂</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：生殖・体細胞分裂と減数分裂について、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美
7	<b>【生物】 7回 遺伝情報の分配 (2) 生殖・発生</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：配偶子形成・受精・発生について、教科書で概要を把握しておく 【復習】 60分：授業の復習に取り組む 【担当】 野黒美

8	<b>【生物】8回 遺伝情報の分配(3) 遺伝, これまでのフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】30分: 遺伝のしくみについて, 教科書で概要を把握しておく 【復習】60分: 授業の復習に取り組む 【担当】野黒美
9	<b>【化学】1回 原子の構造・物質質量・溶液の濃度</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
10	<b>【化学】2回 酸と塩基・中和反応・水素イオン濃度</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
11	<b>【化学】3回 酸化還元反応</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
12	<b>【化学】4回 溶液の性質(溶解度・希薄溶液の性質・コロイド溶液)</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
13	<b>【化学】5回 生命の化学(1)・有機化合物の基礎</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
14	<b>【化学】6回 生命の化学(2)・糖質</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
15	<b>【化学】7回 生命の化学(3)・脂質</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永
16	<b>【化学】8回 生命の化学(4)・核酸(フィードバック)</b> 【授業方法】講義 【復習】90分: 講義内容の復習と復習問題に取り組む 【担当】富永

#### 先行履修科目

なし

#### テキスト

高畑 雅一 他: 生物学 第10版. 医学書院, 2019.

#### 参考文献

【生物】なし

【化学】参考文献は適宜紹介します。また、高等学校で使用した「化学基礎・化学」の教科書やそれに関する資料集や図説などがあれば参考にして欲しいと思います。

#### 評価方法

筆記試験(100%)

#### 教員等の実務経験

#### メッセージ

# 社会学

更新日：2022/01/27 16:29:03

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LEN107		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520500
担当教員	中村 茂徳						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

社会学の基本的な考え方、概念、方法について学び、人間の行動や、人と人の関係性を社会的に理解できる。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	人間が社会的存在であるとは何かとしての個人とは何かを考えることができる。
2	個人と社会との相互作用の諸相を理解することができる。
3	個人（自分）を取り巻く今日的課題の多様性を把握することができる。

## 授業計画

1	<b>科学としての社会学</b> 【授業方法】講義 【復習】100分：第1回目の講義をもとにして社会学の学問的位置づけを理解する。
2	<b>個人を取り巻く現代的課題(1)</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：現代社会における特徴を調べる。 【復習】60分：社会に暮らす人々に関する事象を再確認する。
3	<b>個人を取り巻く現代的課題(2)</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：現代社会における特徴を調べる。 【復習】60分：社会に暮らす人々に関する事象を再確認する。
4	<b>グローバル化とローカル化の意味(1)</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：グローバル化・ローカル化にかかわる概念を調べる。 【復習】60分：グローバル化・ローカル化の事象を整理する。
5	<b>グローバル化とローカル化の意味(2)</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：グローバル化・ローカル化に関する他の事象を調べる。 【復習】60分：グローバル化・ローカル化のこれまでの事象を整理する。
6	<b>コミュニティの変化(1)</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：コミュニティの変化について調べる。 【復習】60分：コミュニティの変化の背景を整理する。
7	<b>コミュニティの変化(2)</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：コミュニティの変化に関する他の事象を調べる。 【復習】90分：コミュニティの変化に関するこれまでの事象を整理する。
8	<b>フィードバック（社会学の基礎概念の整理と個人を取り巻く現代的課題再考） まとめとして</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：自分から見た現代的課題とは何かをまとめてみる。 【復習】60分：講義で得た知識をもとにして、個人と社会のかかわり方を考える。

## 先行履修科目

なし

## テキスト

必要に応じて資料を適宜示す。

## 参考文献

適宜指示する。

## 評価方法

---

授業参加 24% 期末テスト 76%

## 教員等の実務経験

---

## メッセージ

---

様々なジャンルの本を読むことをお勧めします。素晴らしい人々と出会うようなものです。視野を広げませんか？

# 日本国憲法

更新日：2022/01/22 13:25:51

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LEN104		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	520600
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

憲法改正が議論される現代、日本国憲法の基本構造、全体像から憲法の姿と本質を理解するとともに、法の世界での物事の考え方について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	憲法とは何か、どのような理念に基づき制定されているかを理解し、日本国憲法の構造について説明することができる。
2	憲法が国民に対してどのような権利を保障しているかを理解し、社会で生じている人権問題を憲法の保障の観点から検討することができる。
3	憲法の保障する人権を具体的に保障するための国の統治形態について理解し、保健医療福祉行政の在り方について述べるすることができる。

## 授業計画

1	<b>講義ガイダンス、法とは何か、国家と法との関係</b> 【授業方法】：講義（テキスト第0章） 【予習】30分：ニュースや新聞等で憲法的话题を1つ取り上げ要点を整理する。 【復習】20分：講義内容を振り返る。 【担当】柳井
2	<b>日本国憲法の誕生 日本国憲法の基本原理</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第1章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
3	<b>象徴天皇制と国民主権</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第2章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
4	<b>基本的人権の尊重</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第4章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
5	<b>法の下での平等</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第5章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
6	<b>精神的自由</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第6章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
7	<b>経済的自由・人身の自由</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第7章第8章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
8	<b>社会権</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第9章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
9	<b>参政権・国務請求権</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第10章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井

10	<b>国会</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第11章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
11	<b>内閣</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第12章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
12	<b>裁判所</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第13章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
13	<b>平和主義</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第3章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
14	<b>憲法改正</b> 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第15章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
15	<b>地方自治</b> 【授業方法】：講義、フィードバック 【予習】30分：テキスト第14章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井

## 先行履修科目

なし

## テキスト

毛利徹：グラフィック憲法入門 補訂版.新世社，2016.

## 参考文献

池上彰：超訳日本国憲法.新潮新書,2015.

長谷部恭男：憲法とは何か.岩波新書，2006.

西村祐三編：判例で学ぶ日本国憲法（第二版）.有信堂，2016.

他、講義で紹介します。

## 評価方法

各講義の小テスト（60％）、課題レポート（40％）

## 教員等の実務経験

## メッセージ

法の学習は、条文を覚えることと思いませんか。一人で生きていくことができれば法は必要ないかもしれません。しかし、多くの人とともに生きるには、決まりごとを決めておくことが必要になります。無用な争いを避けるため、また争いが生じたときに解決するため、法はそのための道具です。その道具の中で、社会の根幹を決めているのが憲法です。社会の中で身近に起こる様々な問題を例に法を学んでみませんか。多くの法律の根拠となる日本国憲法は、何であるか、そして何が書かれているのか、一緒に考えてみませんか。日本国憲法の改正の是非が議論されています。答えとこれからの未来は、皆さんの憲法に対する理解と自らの権利を守るという意味にかかっています。



## 法と看護

更新日：2022/03/01 12:50:16

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LEN401		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520700
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

日本国憲法の学習を踏まえ国民の健康にかかわる法律と看護職者としての法的諸問題を理解し、看護における法的視点を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	保健師助産師看護師法、医師法、医療法をはじめとし医療行為にかかわる法規について学び、看護職の役割と限界について実践と結び付けて説明できる。
2	社会人としての個人、看護者としての権利と義務について述べるができる。
3	安全で秩序ある社会で生きるための権利と義務について考えることができる。

## 授業計画

1	<b>日本国憲法と保健師助産師看護師法</b> 看護職者の法的位置づけと役割について 【授業方法】講義 【予習】60分 保健師助産師看護師法の条文を振り返る。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
2	<b>保健師助産師看護師法（2）</b> 看護職者の義務と責任について 【授業方法】グループ討議 【予習】60分 看護者の3つの義務を復習する。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
3	<b>医療法（1）</b> 医療提供施設について 【授業方法】グループ討議 【予習】60分 医療提供システムを復習する。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
4	<b>医療法（2）</b> 社会保障制度について 【授業方法】グループ討議 【予習】60分 保健・医療・福祉の連携について復習する。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
5	<b>子どもの人権と法</b> 出産から子育てに関する法と看護について 【授業方法】グループ討議 【予習】60分 母子、親子関係を定める法について復習する。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
6	<b>高齢・多死社会と法</b> 高齢から死に関する法と看護について 【授業方法】グループ討議 【予習】60分 人生最期のあり方に関する法について復習する。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
7	<b>労働者としての権利と義務について</b> 看護労働の権利と義務について 【授業方法】グループ討議 【予習】60分 労働者の権利と義務について復習する。 【復習】30分 講義内容を整理する。 【担当】柳井

8	<b>法と看護 フィードバック</b> 裁判との関わりについて <b>【授業方法】</b> グループ討議 <b>【予習】</b> 60分 就労する看護職者の問題を検討する（課題配布）。ポータルを活用してフィードバックを行う <b>【担当】</b> 柳井
---	--

### 先行履修科目

なし

### テキスト

指定しない

### 参考文献

野崎和義・柳井圭子：看護のための法学[第5版].ミネルヴァ書房,2020.  
 田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版.日本看護協会出版会,2015.  
 看護行政研究会 編：看護六法2019年版；,新日本法規出版, 2019.  
 加納尚美・李節子・家吉望み：フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで, 医歯薬出版株式会社,2016.

### 評価方法

議論参加（50％）、課題レポート（50％）で評価する。

### 教員等の実務経験

A協議会高齢者人権擁護研修会講師  
 フォレンジック看護学会理事  
 SANE - J（日本性暴力対応看護師）  
 A医療施設内倫理審査委員会委員

### メッセージ

授業は、最近のニュースで事件や事故を題材に、検討します。実習などで疑問に思った倫理（例えば、身体拘束、医療者の対応、患者の意思決定、理不尽な患者）また看護者になった場合、労働者としての権利はどこまで保障されるのか、ハラスメントやいじめにあった場合は、どうなるのか、どうするのか、等、実際の事例を基に検討します。

一人の人として、また看護職者として社会に出るまでに、社会の法制度（システム）を学んでおきましょう。「知は力なり」。

対象者を擁護する看護職は、法によって、「特権」を与えられています。その力を十分に発揮することが求められています。その力を、与えていく根拠となる法についての学習です。

また看護職も、人として保障される権利があることを再認識しましょう。犬も歩けば棒に当たるといいますが、人は歩けば「法」に当たります。社会の秩序は法によって成り立っています。職場、人間関係、私生活で遭遇するあらゆるトラブルをどう回避し、どう乗り越えるのか。法の適用と限界を知れば、よりよく生きる道になります。

# 社会福祉学

更新日：2022/02/25 15:29:39

開講年度	2022	学期	後期	ｼﾞﾊﾞｽｺｰﾄﾞ	LEN202		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520800
担当教員	荒木 剛						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

社会福祉の基本的枠組み及び基本的考え方について理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

## 到達目標

1	現代社会において生じている生活問題や支援を必要とする人々（クライアント＝利用者や患者）について社会的文脈から把握することができる
2	クライアントの生活問題を解決・支援するための社会福祉のしくみや専門職、ソーシャルワーク実践の基礎的な知識を習得することができる
3	社会福祉および看護の両職種が連携することの意義を理解することができる

## 授業計画

1	<b>社会福祉の定義と体系</b> 【授業方法】講義 【授業内容】わが国の社会福祉の定義と法制度の体系について理解する。 【復習】30分：社会福祉（問題）の捉え方や現在の法制度の概要について整理する。 【担当】荒木
2	<b>社会福祉の理念と概念</b> 【授業方法】講義 【授業内容】ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、自己決定の尊重、クライアント主体など、社会福祉の主要な理念・概念について理解する。 【予習】30分：社会福祉の理念や概念を調べ、社会福祉専門職に必要な価値・倫理について考える。 【復習】30分：社会福祉専門職と看護職の価値・倫理について、共通点や相違点を整理する。 【担当】荒木
3	<b>社会福祉を取り巻く状況</b> 【授業方法】講義 【授業内容】人口構造、世帯数、出生数、平均寿命、就業構造など、社会福祉の問題が生じる背景について理解する。 【予習】30分：わが国に生じている社会福祉の問題について考える。 【復習】30分：現代の社会状況と社会福祉の問題の関連について整理する。 【担当】荒木
4	<b>社会福祉の実施体制</b> 【授業方法】講義 【授業内容】社会福祉に関わる行政機関、施設・事業所、団体等の現状と福祉サービスの提供システムについて理解する。 【予習】30分：身近にある社会福祉の行政機関や施設・事業所、団体について調べる。 【復習】30分：社会福祉のサービス提供者とその利用方法について整理する。 【担当】荒木
5	<b>社会福祉を支える人びと</b> 【授業方法】講義 【授業内容】社会福祉専門職の資格制度と支援・業務内容について理解する。また、民生委員や各種相談員などの非専門職について理解する。 【予習】30分：社会福祉専門職の資格制度、職名、支援・業務内容について調べる。 【復習】30分：社会福祉専門職の特性と役割を踏まえ、看護職との連携のあり方について整理する。 【担当】荒木
6	<b>社会福祉援助の援助方法（ソーシャルワーク）</b> 【授業方法】講義 【授業内容】ソーシャルワークの体系（ミクロ・メゾ・マクロ）、対象、視点、展開プロセスについて理解する。 【予習】30分：社会福祉専門職のうち、ソーシャルワーカーと呼ばれる職種とその支援・業務内容を調べる。 【復習】30分：ソーシャルワークの体系、求められる視点、支援の展開方法について整理する。 【担当】荒木
7	<b>ソーシャルワークの実践</b> 【授業方法】講義 【授業内容】ソーシャルワークの支援事例から、具体的な課題解決の方法を理解する。 【予習】30分：事例を読み、課題解決の方法を考える。 【復習】30分：事例を振り返り、そこで活用された知識と技術、必要となる視点と価値について整理する。 【担当】荒木

8	<b>まとめ（フィードバック）</b> 【授業方法】 講義 【授業内容】 これまでの授業の振り返るとともに、社会福祉専門職と看護職の連携の意義について理解する。 【予習】 30分：これまでの授業を振り返り、社会福祉専門職と看護職の連携の意義・必要性について考える。 【復習】 30分：社会福祉専門職と看護職が連携する際に求められる姿勢、視点、考え方について整理する。 【担当】 荒木
---	--

### 先行履修科目

なし

### テキスト

特に指定しない

### 参考文献

鬼崎信好他：コメディカルのための社会福祉概論。講談社，2018。

### 評価方法

授業参加度や授業毎のコメントカード（30%）、期末試験（70%）で評価します。

### 教員等の実務経験

社会福祉の現場経験を活かし、具体的な事例を用いながら社会福祉およびソーシャルワークの実際について講義します。

### メッセージ

## 保健医療福祉行政論

更新日：2022/02/09 09:55:59

開講年度	2022	学期	前期	シバースト*	LEN301		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	520900
担当教員	緒方 文子, 宮川 淳子, 小野 ミツ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

保健医療福祉に関する法制度や関係法規の基礎知識を学ぶとともに、保健医療福祉に関する行政施策の基本となる考え方を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	わが国の保健医療福祉行政の理念と仕組みについて説明できる。
2	保健医療福祉行政における地方公共団体の役割が理解できる。
3	保健医療福祉機関の役割と機能が理解できる。
4	保健医療福祉行政における政策化のプロセスを説明できる。

## 授業計画

1	<b>保健医療福祉行政の基本</b> 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テキスト1章を熟読（保健医療福祉行政の基本となるもの） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】緒方
2	<b>保健医療福祉制度の変遷</b> 【授業方法】講義、プレゼンテーション 【予習】30分：テキスト2章を熟読（公衆衛生の基盤形成、保健医療福祉行政の動向） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】緒方
3	<b>保健医療福祉行政・財政の理念としくみ</b> 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テキスト3章を熟読（国・都道府県・市区町村の行政のしくみと役割、行政における保健師の役割と活動、保健医療福祉の財政、公衆衛生に関する国際的な活動） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】宮川
4	<b>地域保健行政と保健師活動</b> 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テキスト4章を熟読（地域保健に関する公的機関、関係機関との連携） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】宮川
5	<b>社会保障制度と政策</b> 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テキスト5章を熟読（社会保障制度の理念としくみ、医療制度と政策、介護保険制度、社会保障・社会福祉の制度） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】小野
6	<b>保健医療福祉の計画と評価①</b> 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テキスト6章を熟読（地方公共団体の保健医療福祉計画、保健計画の策定プロセス、保健計画の推進と評価） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】緒方
7	<b>保健医療福祉の計画と評価②</b> 【授業方法】グループワーク 【予習】30分：テキスト6章を熟読（保健事業の立案プロセスを学ぶ：演習ABC） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】小野、緒方、宮川
8	<b>保健医療福祉の計画と評価③、フィードバック</b> 【授業方法】プレゼンテーション 【予習】30分：テキスト6章を熟読（保健事業の立案プロセスを学ぶ：演習ABC） 【復習】30分：テキスト及び講義資料を熟読 【担当】小野、緒方、宮川

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

---

藤内修二 他 著：標準保健師講座・別巻1. 保健医療福祉行政論 第5版. 医学書院、2021.

## 参考文献

---

野村陽子 他：保健学講座 保健医療福祉行政論. メテカルフレンド社、2022  
厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊, 国民衛生の動向2021/2022. 厚生労働統計協会、2021.  
厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊, 保険と年金の動向2021/2022. 厚生労働統計協会、2021.  
厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊, 国民の福祉と介護の動向2021/2022. 厚生労働統計協会、2021.  
保健医療福祉行政論ML (マイクロレクチャー) <https://ph-nursing.blogspot.com/>

## 評価方法

---

定期試験 (50%)、課題 (40%)、授業参加度 (10%)

## 教員等の実務経験

---

保健師の臨床経験のある教員が、保健医療福祉制度について講義を担当します。

## メッセージ

---

保健・医療・福祉・行政は相互に関連して社会を構成しています。それぞれの考え方を深く学ぶために、新聞や雑誌、ニュースなどから国内外の動向について情報収集を行いましょ。

## 看護・医療情報

更新日：2022/01/22 13:24:56

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LEN201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	521000
担当教員	柳井 圭子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

ヘルスケアサービスの実践に必要な情報とは何か、またITを活用した情報管理の実際と課題、情報倫理の考え方と法的根拠について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	ヘルスケアサービスの実践に必要な情報について説明できる。
2	ITを活用した情報管理の実際を知り、その課題について述べるができる。
3	情報倫理の考え方と法的根拠について説明できる。
4	医療現場での情報の意義を理解したうえで、情報の適正な取り扱いに向けた行動について述べるができる。

## 授業計画

1	<b>看護・医療と情報</b> 【内容】看護・医療での情報の取り扱いの概要・現状、定義について 【予習】60分 報道で話題になっている医療情報について話題を見つける。 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
2	<b>医療における自己決定権について</b> 【内容】インフォームドコンセントについて 【予習】60分 インフォームドコンセントに関する話題を見つける 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
3	<b>患者の知る権利について</b> 【内容】ヘルスリテラシーについて 【予習】60分 ヘルスリテラシーに関する話題を見つける 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
4	<b>看護記録について</b> 【内容】看護記録の位置づけ、内容について（医師法との違い） 【予習】60分 看護記録の内容を検討する 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
5	<b>看護師の守秘義務と情報開示との調整について</b> 【内容】看護師の守秘義務、その性質、知る権利との調整について 【予習】60分 看護記録の内容を検討する 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
6	<b>個人情報保護法について</b> 【内容】個人情報保護法の概要と情報主体の権利について 【予習】60分 個人情報保護法を検討する 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
7	<b>医療情報の活用について</b> 【内容】ビッグデータに関する法について 【予習】60分 医療のビッグデータに関する話題を見つける 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
8	<b>フィードバック・医療情報の活用と倫理について</b> 【内容】医療情報に関する事例検討について 【予習】60分 事例の検討 ポータルサイトを利用して、フィードバックを行う 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井

## 先行履修科目

なし

## テキスト

---

特に指定しない

### 参考文献

中山和弘：系統看護学講座 別巻 看護情報学。医学書院，2012。  
金谷孝之・服部建大：基礎から学ぶ医療情報。共立出版，2014。  
中村健壽・森由紀：医療従事者のための情報リテラシー。日経社，2015。  
宮川祥子・藤井千枝子：情報科学。ヌーヴェルヒロカワ，2008。

### 評価方法

授業への参加度（50%）、最終レポート（50%）を総合して評価する。

### 教員等の実務経験

A県情報公開委員会委員

### メッセージ

高度情報化社会は、医療のかたちも変えようとしています。将来、ビックデータの活用によって効果的・効率的な医療を提供できるでしょう。また医療者とのアクセスはICTを介して行うことになり、医療施設ではなく住み慣れた場で最期を迎えるまで療養を迎えることも可能になるでしょう。看護の対象である人は膨大で様々な情報から成り立っています。その情報を適切に取り扱い、医療の専門的知識と技術で対応するためにも、情報とは何か、どのように活用していけるのか、本授業で考えてみましょう。そのためには安全で信頼ある情報の取り扱いが基本となります。情報の利活用そして適切な保護、この両者を兼ね備えた適正な取り扱いについて学びます。



## 情報機器の操作

更新日：2022/01/11 16:22:41

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LEN105		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	521100
担当教員	古川 健一						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

授業における各課題解決を通じて情報機器やインターネット等の操作や仕組み等を理解し、大学における学修や情報社会で求められている情報活用能力を身につける。

### 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

### 到達目標

1	情報機器を活用して、図表、レポート、プレゼンテーションを作成できる
2	インターネットの基本的な仕組みと情報セキュリティ、情報モラル等について理解し、説明できる。
3	場面に応じて情報機器やソフトウェアを判断し適切に活用できる。

### 授業計画

1	Windows10の基本操作、アプリケーションソフトの基本操作、情報システムの基本操作 【授業方法】講義（ICT） 【復習】60分：電子メールによるレポート提出方法 【担当】古川
2	インターネットの活用、情報倫理（ネチケット、著作権） 【授業方法】演習（ICT） 【復習】60分：指定された情報セキュリティビデオ①を視聴し課題提出 【担当】古川
3	日本語ワープロ（Word）の活用（1）、基本的な文章の構成、PDFファイルの作成 【授業方法】演習（ICT） 【復習】60分：指定された情報セキュリティビデオ②を視聴し課題提出 【担当】古川
4	日本語ワープロ（Word）の活用（2）、表を活用した文章の作成 【授業方法】演習（ICT） 【予習】書式設定・原稿用紙設定 【復習】60分：Wordによる各種文書作成（お知らせの作成） 【担当】古川
5	日本語ワープロ（Word）の活用（3）、画像を活用した文章の作成 【授業方法】演習（ICT） 【予習】図・表の挿入、段組み設定 【復習】60分：Wordによる各種文書作成（保健だより、表彰状） 【担当】古川
6	表計算ソフト（Excel）の活用（1）、表計算の基本操作、簡単な演算 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：表計算ソフトの基本操作 【復習】30分：簡単な表の作成 【担当】古川
7	表計算ソフト（Excel）の活用（2）、数字と文字の処理、関数の利用、罫線 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：数字と文字列、罫線の使い方 【復習】30分：Excelによる各種処理「保健室来室記録簿①の作成」 【担当】古川
8	表計算ソフト（Excel）の活用（3）、グラフの作成、条件判定 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：関数SUM,AVERAGE,MAX,MIN 【復習】30分：Excelによる各種処理「飲料水出荷比較表の作成」、各種関数 【担当】古川
9	表計算ソフト（Excel）の活用（4）、関数を利用した検索、Excelの便利な機能 【授業方法】演習（ICT） 【予習】30分：フィルタ機能、関数COUNTIF, COUNTIFS 【復習】30分：Excelによる各種処理「保健室来室記録簿②の作成と集計」 【担当】古川

10	<p><b>プレゼンテーションソフトの活用（１）、プレゼンテーションソフトの基本操作、プレゼンテーションの作成</b>  【授業方法】 演習（ICT）  【予習】 30分：パワーポイントの基本操作  【復習】 30分：スライド作成「自己紹介スライド」  【担当】 古川</p>
11	<p><b>プレゼンテーションソフトの活用（２）、アニメーション効果、図形と図の活用</b>  【授業方法】 演習（ICT）  【予習】 30分：基本図形の描画、図の挿入  【復習】 30分：アニメーション効果の追加、スライド切替え効果  【担当】 古川</p>
12	<p><b>プレゼンテーションソフトの活用（３）、フォトアルバムの作成、動画保存</b>  【授業方法】 演習（ICT）  【予習】 30分：デジタル写真の準備（20枚）  【復習】 30分：フォトアルバム作成・スライドショー操作・動画保存の流れ  【担当】 古川</p>
13	<p><b>プレゼンテーションソフトの応用（１）動作設定ボタンによるスライド操作</b>  【授業方法】 演習（ICT）  【予習】 30分：最終課題のための構想  【復習】 30分：動作設定ボタンの効果的な使い方  【担当】 古川</p>
14	<p><b>プレゼンテーションソフトの応用（２）プレゼンテーション操作方法最終課題に対する質疑応答</b>  【授業方法】 演習（ICT）  【予習】 30分：プレゼンテーション操作方法  【復習】 30分：プレゼンテーションの作成・操作練習  【担当】 古川</p>
15	<p><b>情報機器の操作のまとめ ～これまでの小課題に関するフィードバック～ 情報活用能力を高めるための方法</b>  【授業方法】 演習（ICT）  【復習】 60分：情報活用能力を高めるための方法と実践  【担当】 古川</p>

#### 先行履修科目

なし

#### テキスト

実教出版編修部：30時間でマスター Office2019（Windows10対応）．実教出版，2019．

#### 参考文献

#### 評価方法

授業への積極的参加態度（30％）、小課題提出（30％）、最終課題（プレゼンテーション）（40％）を総合して評価します。

#### 教員等の実務経験

大学の基幹情報システム、基幹ネットワークシステムの管理・運用経験のある教員が、その経験を活かして、大学や情報社会で必要な情報活用能力に関する授業を行います。

#### メッセージ

日々変わりつつある情報技術を習得するためには、毎日使い慣れることが一番です。本授業で習得した内容をしっかりと身に付けるためにも、復習（小課題の提出）を欠かさず、他の授業等で活用することも重要です。

授業課題等の提出や保存用のUSBメモリ又はポータブルハードディスク等（8GB以上）を必ず準備してください。

## 医療概論

更新日：2022/01/11 11:18:07

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHE101		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530100
担当教員	榎本直樹						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

現代医療についての単なる概説や入門ではなく、人の生死や病いにかかわる医療の背景にある考え方や医療の抱える問題・課題を理解した上で、「医療とは何か」「医療と看護はどうかかわるのか」等について批判的に考える。

### 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

### 到達目標

1	現代医療の現状および課題を多角的な視点から捉え、考えることができる。
2	これからの医療・看護のあり方について自分自身の考えを明確にし、言語化できる。

### 授業計画

1	導入：医療とは何か、概論とは何か 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：健康とはどういう状態のことかについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
2	現代医療の歴史と背景：人間観、社会観の移り変わり 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：高齢社会の実態について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
3	科学的医療観と人間観 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：自然科学と医療の関係、脳死・臓器移植について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
4	医療者中心から患者中心の医療／看護へ① 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：「自己決定（権）」をめぐる議論について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
5	医療者中心から患者中心の医療／看護へ② 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：「インフォームド・コンセント」とはどのようなものかについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
6	患者の自己決定を支えることと全人的医療 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：ホスピスの現状、ならびに「全人的苦痛」とは何かについて調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
7	医療におけるケアの視点 【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：NBM(Narrative-Based Medicine)について調べておく（予習）／講義中に出された課題を作成する（復習） 【担当】榎本
8	講義全体のまとめとフィードバック：現代医療における看護の役割 【授業方法】講義 【予習】【復習】120分：現代医療において看護に何が求められているのかについて、自己の考えをまとめておく（予習）／これまでの講義全体をふり返り、試験の準備をする（復習） 【担当】榎本

### 先行履修科目

なし

### テキスト

適宜資料等を配布する。

### 参考文献

ナーシングサブリ編集委員会編：事例でまなぶケアの倫理。メディカ出版，2015。  
霜田 求 編：テキストブック 生命倫理。法律文化社，2018。

## 評価方法

---

各講義ごとの課題提出（20%）と定期試験（80%）により評価する。

## 教員等の実務経験

---

倫理学を専門とし、様々な医療・看護系大学および専門学校で教育の経験のある非常勤講師が近年の動向なども紹介しつつ、講義します。

## メッセージ

---

講義を受ける際は、ただ話を聞くだけでなく、自分であればどう考えるか、その根拠は何か、など考えながら受講してください。

## 健康行動論

更新日：2022/02/01 14:00:25

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHE201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530200
担当教員	山本 孝治, 鈴鹿 綾子						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

人間の健康に関する行動の変容と維持に関連する理論と考え方を理解し、自分たちの具体的な健康問題を基に行動変容プログラムを実践し、行動変容について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	様々な健康の概念を基に、人間の健康と健康行動について考察し考えを述べるができる。
2	人間がよりよい健康に向かうための行動変容と維持に関連する概念・理論について説明ができる。
3	健康行動に関連する理論を活用し、身近な健康課題を明確にし、生活習慣や価値・信念を考慮した行動変容計画を立案できる。
4	健康行動に関連する理論を活用し、事例に対する健康課題を明確にし行動変容計画を作成できる。

## 授業計画

1	<p>科目オリエンテーション、「人間の健康とは」「健康行動」「動機づけ」、「アドヒアランス」と「コンプライアンス」</p> <p>【授業方法】講義（ICT支援）</p> <p>【予習】40分：WHOの健康の定義について調べる、テキストのはじめに（piii～iv）</p> <p>【復習】45分：授業で学んだWHOの健康の定義や様々な概念をもとに、自分が考える「健康」について言語化する。コンプライアンス、アドヒアランスについて例をあげて理解を深める。</p> <p>【担当】山本</p>
2	<p>健康行動に関する諸理論(1)：ヘルス・ベリーフ・モデル、計画的行動理論</p> <p>【授業方法】講義・演習（GW、発表、ICT支援）</p> <p>【予習】45分：テキスト第1章、第4章</p> <p>【復習】40分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する</p> <p>【担当】山本</p>
3	<p>健康行動に関する諸理論(2)：自己効力感</p> <p>【授業方法】講義・演習（GW、発表、ICT支援）</p> <p>【予習】45分：テキスト第2章</p> <p>【復習】40分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する</p> <p>【担当】鈴鹿</p>
4	<p>健康行動に関する諸理論(3)：変化のステージモデル、コントロール所在</p> <p>【授業方法】講義・演習（GW、発表、ICT支援）</p> <p>【予習】50分：テキスト第3章・第7章</p> <p>【復習】40分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する</p> <p>【担当】山本</p>
5	<p>健康行動に関する諸理論(4)：ストレスとコーピング、ソーシャルサポート（社会支援）</p> <p>【授業方法】講義（GW、発表、ICT支援）</p> <p>【予習】45分：テキスト第5章・第6章</p> <p>【復習】40分：オンデマンドで配信された資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する</p> <p>【担当】鈴鹿</p>
6	<p>行動変容計画作成：既習の理論を計画の根拠として活用する</p> <p>【授業方法】講義・演習（GW、討議）</p> <p>【予習】50分：自身または身近な人の健康、生活習慣の課題を記述する</p> <p>【復習】40分：行動変容計画の作成</p> <p>【担当】山本、鈴鹿</p>
7	<p>行動変容計画のピア・レビュー、フィードバック</p> <p>【授業方法】演習（GW、発表）</p> <p>【予習】50分：行動変容計画の作成</p> <p>【復習】40分：ピア・レビューでメンバーが発表した理論を読み返し復習する</p> <p>【担当】鈴鹿、山本</p>
8	<p>全体のまとめ・各回で提示した課題についてフィードバック</p> <p>【授業方法】講義（ICT支援）</p> <p>【予習】50分：学習してきた理論について再復習、行動変容計画の修正</p> <p>【復習】40分：諸理論の振り返り</p> <p>【担当】山本、鈴鹿</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎—生活習慣病を中心に。医歯薬出版，2002。

## 参考文献

松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編—生活習慣病の予防と治療のために。医歯薬出版，2002。

宗像恒次：最新行動科学からみた健康と病気。メチカルフレンド社.1996.

日本健康教育士養成機構：新しい健康教育 理論と事例から学ぶ健康増進への道。保健同人社,2011.

Karen Glanz, et al.: Health Behavior and Health Education ; Theory, Research and Practice, 3rd edition. 2002, 曾根智史他訳：健康行動と健康教育 理論，研究，実践。医学書院,2006.

Bandura, A. : Self-efficacy in changing societies. 1995, 本明寛, 野口京子監訳：激動社会の中の自己効力。金子書房，1997。

## 評価方法

定期試験実施の場合：試験（60％）、課題提出<ルーブリック評価>（30％）、授業への取り組み（10％）

## 教員等の実務経験

産業保健師および、糖尿病内科病棟にて看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、健康や行動変容に対する支援についての講義をします。

## メッセージ

皆さんは普段、「健康」について意識することはありますか？看護職を目指す人にとって、「健康」の概念の理解は欠かすことができません。この科目では、「健康」について深く考え、またよりよい健康を目指すための支援について学びます。健康管理には行動をどう変容させるのが重要で、そのためにも人の行動の特徴を捉えることが必要です。

第6～7回では、前半で学んだ諸理論を活用し、自身、もしくは身近な人の健康の課題を明確化した後、その対象がより健康になるための行動変容計画を作成していきますので、主体的な学習を期待します。

COVID-19の感染状況によって、授業内容・授業形態の変更が生じる可能性があります。

## 運動機能論

更新日：2022/01/21 13:33:50

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LHE103		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	530300
担当教員	樋口 善之						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

スポーツ科学の基本的な概念と方法を学び、それらに基づいた住民や患者を対象とした運動教授法を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【3-1. チームで働く力】 集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

## 到達目標

1	演習を通してスポーツや身体運動時のメカニズムや機能に関する理論、その実施方法を身につけ、運動と健康の関連についての確に意味づけることができる。	
	秀	スポーツや運動時のメカニズムを十分に理解し、その実践力が高く、健康と運動の関連についての確に意味づけることができている。
	優	スポーツや運動時のメカニズムを理解し、その実践力があり、健康と運動の関連について意味づけることができている。
	良	スポーツや運動時のメカニズムをある程度理解し、その実践力が一部あり、健康と運動の関連について意味づけることが部分的にできています。
	可	スポーツや運動時のメカニズムを必要最低限理解し、その実践力が必要最低限あり、健康と運動の関連について意味づけることが必要最低限できています。
	不可	スポーツや運動時のメカニズムの理解が十分でなく、その実践力も乏しく、健康と運動の関連について意味づけることができていない。
2	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について理解し、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることができる。	
	秀	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について十分理解し、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることが十分できる。
	優	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について理解し、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることができている。
	良	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項についてある程度理解し、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることがある程度できている。
	可	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について必要最低限理解し、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることが必要最低限できている。
	不可	他者への運動支援を可能にするための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について理解できておらず、日常的に運動を行うための具体的な計画を立てることができていない。

## 授業計画

1	オリエンテーション 運動。スポーツの捉え方 【授業方法】 演習 【予習】 60分：シラバスを参照し、授業計画全体をとらえる。 【担当】 樋口
2	運動機能演習①（バドミントン） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：バドミントンのルールについて予習する。 【担当】 樋口
3	運動機能演習②（バドミントン） 【授業方法】 演習（実技） 【復習】 60分：バドミントンのルールについて復習する。 【担当】 樋口
4	運動機能演習③（ドッチボール） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：ドッチボールの基本的ルールについて予習する 【担当】 樋口
5	運動機能演習④（ドッチボール） 【授業方法】 演習（実技） 【復習】 60分：ドッチボールを楽しむための様々な工夫について復習する 【担当】 樋口
6	運動機能演習⑤（バレーボール） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：バレーボールの基本的ルールについて予習する 【担当】 樋口

7	<b>運動機能演習⑥（バレーボール）</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：バレーボールの基本的ルールについて復習する 【担当】樋口
8	<b>運動機能演習⑦（エクササイズ運動）</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：エクササイズ運動の方法について予習する 【担当】樋口
9	<b>運動機能演習⑧（エクササイズ運動）</b> 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：エクササイズ運動の効果について復習する 【担当】樋口
10	<b>運動と計画</b> 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：これまでの活動内容を整理しておく 【担当】樋口
11	<b>運動の計画と支援①</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：運動のための計画と支援方法について予習する 【担当】樋口
12	<b>運動の計画と支援②</b> 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：運動の計画と支援方法について復習する 【担当】樋口
13	<b>運動の計画と支援③</b> 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：運動の計画と支援方法について復習する 【担当】樋口
14	<b>運動と健康</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：運動と健康の関連について復習する 【担当】樋口
15	<b>運動機能論総括 運動支援に関する演習および課題のフィードバック</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：授業全般を振り返る 【担当】樋口

## 先行履修科目

なし

## テキスト

特になし・適宜資料を配付する

## 参考文献

九州大学健康科学センター編：実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学．大修館書店，2008．  
東京大学身体運動科学研究室編：教養としての身体運動・健康科学．東京大学出版会，2009．

## 評価方法

授業への参加度（40%）  
レポート（運動計画と振り返り30%，運動と健康についての理解30%）

## 教員等の実務経験

教員養成系大学にて、保健体育に関する実技科目および講義を担当している。

## メッセージ

実技・演習を通じて運動機能やスポーツ実践について理解を深めてもらいたい。活動時は楽しく安全に行うため、運動に適した服装等の準備、注意事項の遵守をお願いしたい。

なお、今後のコロナウイルス感染状況によっては、授業方法が変更になる可能性があります。その場合は、遠隔による講義・演習を別途実施します。



## 病態生理学

更新日：2022/02/02 09:12:10

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHE104		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530400
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

人体の構造と機能で学習した、ひとに備わる正常な生命の維持に関する知識をもとに、その正常性の破綻により生じる疾病の成因や発症・進行に伴う生体の形態や機能の変化、症状や徴候の発生機序について理解する。本授業は、今後学ぶ各疾病の理解の基礎となると共に、看護実践の根拠となるものである。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	疾病に伴う生体の構造と機能の変化について説明できる。
2	症状や徴候の発生メカニズムを説明できる。
3	ヒトが生命を維持するための反応について科学的視点から考察することができる。

## 授業計画

1	<p>徴候と疾患の関係、身体の不調はどう現れるか（1）：徴候と疾患／身体の不調とは／炎症と修復 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 細胞・組織の構造と機能、体液、循環器系の構造と機能 【復習】40分 講義内で提示したキーワードが病態生理学の共通言語となるので理解に繋がるよう整理する。</p>
2	<p>徴候と疾患の関係、身体の不調はどう現れるか（2）：血行障害／細胞の適応 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 細胞・組織の構造と機能、体液、循環器系の構造と機能 【復習】40分 講義内で提示したキーワードが病態生理学の共通言語となるので理解に繋がるよう整理する。</p>
3	<p>徴候と疾患の関係、身体の不調はどう現れるか（3）：腫瘍と過形成／免疫および免疫疾患 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 免疫系、遺伝、内分泌器の機能、ホルモン分泌の調節機構 【復習】40分 講義内で提示したキーワードが病態生理学の共通言語となるので理解に繋がるよう整理する。</p>
4	<p>症候（1）咳嗽・喀痰・咯血／吐血・下血／出血傾向 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 呼吸器・循環器・消化器の構造と機能 【復習】40分 咳嗽・喀痰・咯血／吐血・下血／出血傾向のメカニズムについて整理する。</p>
5	<p>症候（2）呼吸困難／胸痛／チアノーゼ／貧血 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 呼吸器・循環器・造血器の構造と機能 【復習】40分 呼吸困難／胸痛／チアノーゼ／貧血のメカニズムについて整理する。</p>
6	<p>症候（3）不整脈／ショック 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 消化器系（特に消化管）の構造と機能 【復習】40分 不整脈／ショックのメカニズムについて整理する。</p>
7	<p>症候（4）食欲不振／嘔気・嘔吐 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】60分 中枢神経・末梢神経、消化器の構造と機能 【復習】40分 食欲不振／嘔気・嘔吐のメカニズムについて整理する。</p>

8	<p>症候（5）意識障害／頭痛／痙攣とてんかん／要点整理とフィードバック</p> <p>【授業方法】講義（ICT双・ICT支援）</p> <p>【予習】60分</p> <p>中枢神経系の構造と機能</p> <p>【復習】80分</p> <p>意識障害／頭痛／痙攣とてんかん／第1回～第7回講義について整理する。</p>
---	---

### 先行履修科目

なし

### テキスト

山内豊明：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第5版．メディカ出版，2021．

### 参考文献

讃井将満 他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護①呼吸器 第1版．メディカ出版，2021．  
 野原隆司 他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護②循環器 第1版．メディカ出版，2021．  
 三原 弘 他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護③消化器 第1版．メディカ出版，2021．  
 田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）．医学書院，2021．  
 大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）．医学書院，2021．  
 Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

### 評価方法

定期試験100%

### 教員等の実務経験

医学部で人体解剖等の実績のある教員が講義します。

### メッセージ

# 感染と防御

更新日：2021/12/23 12:05:59

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	LHE105		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530500
担当教員	中山 浩次						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

国内外の感染症の現状、感染症の原因となる病原微生物、生体の感染防御機構、感染性疾患の病態、治療、予防、対策（消毒・滅菌、ユニバーサルプレコーション、感染経路別対策、法律）についての基礎知識を修得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	個々の病原微生物の有する性状・特徴・病原性が理解できる。
2	滅菌・消毒法を理解できる。
3	感染予防における標準予防策・感染経路別対策を理解できる。
4	生体の感染防御免疫を理解できる。

## 授業計画

1	<b>感染症の歴史、微生物とはどのような生物か（細菌）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：感染症研究の歴史、細菌のアウトライン 【担当】中山
2	<b>微生物とはどのような生物か（ウイルス（プリオンを含む）、真菌、原虫、蠕虫）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：ウイルス（プリオンを含む）、真菌、原虫、蠕虫のアウトライン 【担当】中山
3	<b>国内外の感染症の現状（COVID-19を中心に）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：COVID-19などの感染症の現状 【担当】中山
4	<b>感染症関連の法律、化学療法と免疫療法</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：感染症に関わる法律（感染症法など）および感染症の化学治療薬と耐性化の機構 【担当】中山
5	<b>感染症の予防とコントロール（消毒&amp;滅菌、標準予防策・感染経路別対策）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：滅菌の方法、消毒薬の種類、感染経路毎の感染対策法 【担当】中山
6	<b>生体の感染防御機構Ⅰ（総論）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：免疫（自然免疫、獲得免疫）の仕組み 【担当】中山
7	<b>生体の感染防御機構Ⅱ（アレルギー、自己免疫疾患、免疫学的検査法、ワクチン）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：免疫機構の暴走による疾患、ワクチン効果としての免疫 【担当】中山
8	<b>細菌感染症・各論Ⅰ（グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌、グラム陰性通性桿菌）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：ブドウ球菌、溶連菌、肺炎球菌、淋菌、髄膜炎菌等による感染症、腸管感染症 【担当】中山
9	<b>細菌感染症・各論Ⅱ（カンピロバクター属、ヘリコバクター属、グラム陰性桿菌、抗酸菌、放線菌、嫌気性菌）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：グラム陰性桿菌、抗酸菌、嫌気性菌等による感染症、細菌性食中毒、性感染症 【担当】中山
10	<b>細菌感染症・各論Ⅲ（スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：一般細菌・リケッチア・クラミジア・マイコプラズマの違い、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマによる感染症 【担当】中山

11	<b>ウイルス感染症・各論Ⅰ</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：DNAウイルス、RNAウイルス（一部）による感染症 【担当】中山
12	<b>ウイルス感染症・各論Ⅱ（プリオン病を含む）</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：RNAウイルス、肝炎ウイルス、レトロウイルスによる感染症、プリオン感染症 【担当】中山
13	<b>真菌感染症、原虫・蠕虫感染症</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：病原真菌、原虫、蠕虫による感染症 【担当】中山
14	<b>海外の原虫・蠕虫感染症</b> 【授業方法】講義 【復習】90分：国内ではみられない原虫・蠕虫感染症 【担当】中山
15	<b>「感染と防御」のフィードバック</b> 【授業方法】演習 【復習】90分：国家試験過去問題等を解答することで全体を整理する 【担当】中山

### 先行履修科目

なし

### テキスト

増澤俊幸：感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学．羊土社，2020．

### 参考文献

### 評価方法

筆記試験（100%）

### 教員等の実務経験

嫌気性菌を中心とした微生物研究に長年従事した経験のある教員が、その経験を活かして国内外の感染症の現状、感染症の原因となる病原微生物、生体の感染防御機構、および感染性疾患の病態、治療、予防および対策について講義します。

### メッセージ

# 人体と薬物

更新日：2022/02/25 15:31:56

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHE202		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530600
担当教員	柳原 延章, 高橋 浩二郎						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

薬物の体内動態と薬理作用について学習し、看護に必要な臨床薬理学の基礎知識を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	個々の薬物、あるいは一群の薬物について生体のどの部位に作用するのか説明出来る。
2	薬物の薬理作用およびその作用機序を説明出来る。
3	薬物の臨床応用について説明出来る。
4	薬物の使用にともなう副作用の症状とその対策について説明出来る。

## 授業計画

1	末梢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：自律神経系と薬の作用・交感神経作用薬(1) 【授業方法】講義 【予習】60分：自律神経作用薬について予習 【復習】30分：交感神経作用薬について復習 【担当】柳原
2	末梢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：副交感神経作用薬・筋弛緩薬局所麻酔薬(2) 【授業方法】講義 【予習】60分：自律神経作用薬について予習 【復習】30分：副交感神経作用薬の復習 【担当】柳原
3	中枢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：全身麻酔薬・催眠薬・抗不安薬・麻薬性鎮痛薬(3) 【授業方法】講義 【予習】60分：中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分：麻酔薬、抗不安薬、麻薬性鎮痛薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】高橋(浩)
4	中枢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：抗精神病薬・抗うつ薬・パーキンソン症候群治療薬・抗てんかん薬(4) 【授業方法】講義 【予習】60分：中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分：抗精神病薬・抗うつ薬・抗てんかん薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】高橋(浩)
5	抗アレルギー薬・抗炎症薬(5) 【授業方法】講義 【予習】60分：抗アレルギー薬・抗炎症薬の予習 【復習】30分：オータコイドによるアレルギーや炎症反応に対する治療薬の復習 【担当】柳原
6	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物(6) 【授業方法】講義 【予習】60分：呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物の予習 【復習】30分：臓器別治療薬の復習 【担当】柳原
7	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅰ)：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬(7) 【授業方法】講義 【予習】60分：循環器系薬物の予習 【復習】30分：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】高橋(浩)
8	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅱ)：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬・血液に作用する薬物(8) 【授業方法】講義 【予習】60分：循環器系薬物の予習 【復習】30分：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】高橋(浩)

9	<b>物質代謝に作用する薬物（9）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：物質代謝に作用する薬物の予習 【復習】30分：ホルモン等の物質代謝に影響する薬物の復習 【担当】柳原
10	<b>抗感染症（10）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：抗感染症の予習 【復習】30分：抗生物質等の感染症治療薬の復習 【担当】柳原
11	<b>薬理学総論（Ⅰ）（11）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：薬理学総論の予習 【復習】30分：臨床薬理学の基礎(Ⅰ)の復習 【担当】高橋（浩）
12	<b>薬理学総論（Ⅱ）（12）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：薬理学総論の予習 【復習】30分：臨床薬理学の基礎(Ⅱ)の復習 【担当】高橋（浩）
13	<b>抗がん剤・免疫治療薬（13）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：抗がん剤・免疫治療薬の予習 【復習】30分：癌や免疫治療薬の復習 【担当】柳原
14	<b>薬害問題（14）</b> 【授業方法】講義 学生による自主学習の発表 【予習】60分：過去の薬害事件についての自主学習 【復習】30分：過去の薬害の復習 【担当】柳原
15	<b>まとめとフィードバック（15）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの全般的な講義の予習 【復習】30分：薬物治療学全般の復習 【担当】柳原

## 先行履修科目

なし

## テキスト

吉岡充弘 他：系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③，  
医学書院，2019．（14版2019年）

## 参考文献

加藤隆一 他：NEW薬理学．南江堂，2017．

## 評価方法

定期試験(90%)、授業態度や授業参加度(10%)。  
試験後に、ポータルサイトを使ってフィードバックします。

## 教員等の実務経験

医学部薬理学の科目担当教授(柳原)や大学病院薬剤部長(高橋)の実務経験を生かして、病態生理学に基づいた薬物治療の基礎をわかりやすく講義します。

## メッセージ

臨床の現場で働く看護師にとって薬物の薬理作用や副作用の知識は、とても大切です。その薬物の基礎知識をわかりやすく解説し、さらに過去の国家試験問題を講義の中に取り入れた授業を行います。

# 疾病と治療 I

更新日：2022/02/25 16:00:32

開講年度	2022	学期	後期	シラバスコード	LHE106		
学年	1	曜日/時限	一	単位数	1.0	科目コード	530700
担当教員	木村 涼平, 向井 靖, 河合 俊輔, 増田 征剛, 松川 龍一, 大坪 俊夫, 平川 克哉, 工藤 哲司						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

生命の維持にかかわる疾病とその治療について学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	循環器系の疾病とその治療法について説明できる。
2	呼吸器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	消化器系の疾病とその治療法について説明できる。

## 授業計画

1	<p>循環器疾患について理解する：心臓・血管の基礎知識と心疾患</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】向井（福岡赤十字病院）</p>
2	<p>循環器疾患について理解する：心拍動の仕組み～不整脈とその治療・ペースメーカー</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河合（福岡赤十字病院）</p>
3	<p>循環器疾患について理解する：虚血性心臓病～動脈硬化とはなにかを学ぼう</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】増田（福岡赤十字病院）</p>
4	<p>循環器疾患について理解する：心不全～血行動態とはなにかを学ぼう</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】松川（福岡赤十字病院）</p>
5	<p>循環器疾患について理解する：高血圧症と関連臓器障害を学ぼう</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】大坪（福岡赤十字病院）</p>
6	<p>呼吸のしくみと防御機能について理解する：呼吸不全、呼吸器系の症状と検査と治療</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河口（福岡赤十字病院）</p>
7	<p>呼吸器系疾患について理解する：呼吸器感染症（かぜ、インフルエンザ、気管支炎、肺炎、結核などの抗酸菌症、真菌・寄生虫疾患を含む日和見感染）について</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河口（福岡赤十字病院）</p>
8	<p>呼吸器系疾患について理解する：間質性疾患、気道疾患（喘息・気管支拡張症）、COPD、肺気腫について</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河口（福岡赤十字病院）</p>
9	<p>呼吸器系疾患について理解する：呼吸不全、肺腫瘍、環境・職業と関連する疾患、縦隔・胸膜疾患などについて</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河口（福岡赤十字病院）</p>
10	<p>消化器系疾患について理解する：消化器系疾患の総論、症状のおこるメカニズム</p> <p>【授業方法】講義 【予習】【復習】60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】平川（福岡赤十字病院）</p>

11	<b>消化器系疾患について理解する：食道、胃など上部消化管の疾患と検査・治療</b> 【授業方法】講義 【予習】 【復習】 60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】平川（福岡赤十字病院）
12	<b>消化器系疾患について理解する：十二指腸、小腸、大腸、直腸など下部消化管の疾患と検査・治療</b> 【授業方法】講義 【予習】 【復習】 60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】工藤（福岡赤十字病院）
13	<b>消化器系疾患について理解する：肝臓疾患</b> 【授業方法】講義 【予習】 【復習】 60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】早田（福岡赤十字病院）
14	<b>消化器系疾患について理解する：胆嚢、膵臓疾患</b> 【授業方法】講義 【予習】 【復習】 60分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】早田（福岡赤十字病院）
15	<b>まとめ（フィードバック）</b> 【授業内容】循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】 60分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患の講義内容の振り返り 【復習】 60分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について整理する。 【担当】木村

## 先行履修科目

なし

## テキスト

讀井將満 他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護①呼吸器 第1版。メディカ出版，2021。  
 野原隆司 他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護②循環器 第1版。メディカ出版，2021。  
 三原 弘 他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護③消化器 第1版。メディカ出版，2021。

## 参考文献

坂井建雄，岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】。医学書院，2022。  
 Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）。丸善出版，2020。  
 山内豊明：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第5版。メディカ出版，2021。  
 田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）。医学書院，2021。  
 大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）。医学書院，2021。

## 評価方法

定期試験（100%）

※配点の内訳は、コマ数によって配分します。

## 教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

## メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性があります。  
 ★講師は2022年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。



## 疾病と治療Ⅱ

更新日：2022/02/02 09:08:24

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHE203		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530800
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

慢性的な経過をたどる疾病とその治療について学習する。

### 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

### 到達目標

1	内分泌系の疾病とその治療法について説明できる。
2	腎・泌尿器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	自己免疫系の疾病とその治療法について説明できる。
4	血液・リンパ系の疾病とその治療法について説明できる。

### 授業計画

1	<b>内分泌疾患について理解する：内分泌機能の概論と典型的な異常</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕第2章 内分泌・代謝疾患の構造と機能、第3章 病状とその病態生理 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】佐々木（福岡赤十字病院）
2	<b>糖尿病の発症機序と治療方針</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕糖尿病 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】佐々木（福岡赤十字病院）
3	<b>内分泌疾患の機能亢進と機能低下症を中心に各内分泌器官別に理解する</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕第4章 検査、第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井元（福岡赤十字病院）
4	<b>甲状腺、副腎について</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔6〕甲状腺、副腎 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井元（福岡赤十字病院）
5	<b>腎疾患について理解する：腎臓の機能</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第2章 腎の構造と機能 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】徳本（福岡赤十字病院）
6	<b>腎疾患について理解する：急性腎炎</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療、第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】徳本（福岡赤十字病院）
7	<b>腎疾患について理解する：慢性腎炎</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療、第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】中井（福岡赤十字病院）
8	<b>腎疾患について理解する：急性・慢性腎不全、透析、移植</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療、第5章 疾患の理解 第6章C透析治療を受ける患者の看護 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】中井（福岡赤十字病院）

9	<b>泌尿器・生殖器系疾患について理解する：①尿路・生殖系の機能</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第2章 泌尿器の構造と機能 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】清島（福岡赤十字病院）
10	<b>泌尿器・生殖器系疾患について理解する：②尿路の閉塞性疾患③尿路の炎症、男性の生殖器疾患</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔8〕第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療・処置 第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】清島（福岡赤十字病院）
11	<b>代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：全身性エリテマトーデス、関節リウマチ</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔11〕膠原病 第2章 自己免疫疾患とその機序 第3章 症状とその病態生理 第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井上（福岡赤十字病院）
12	<b>代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：シェーグレン症候群、ベーチェット病 他</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔11〕膠原病 第3章 症状とその病態生理 第5章 疾患の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】井上（福岡赤十字病院）
13	<b>血液リンパ系疾患について以下の事項を理解する：①造血器疾患概論と検査②貧血の分類と特徴</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔4〕第2章 血液の生理と造血の仕組み 第3章 検査・診断と症候・病態生理 第4章疾患と治療の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】谷本（福岡赤十字病院）
14	<b>③白血球系の異常（白血病）とその他の骨髄増殖疾患。悪性リンパ腫と脾・網内系疾患④出血性および血栓性疾患、輸血・骨髄移植</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト〔4〕第2章 血液の生理と造血の仕組み 第3章 検査・診断と症候・病態生理 第4章疾患と治療の理解 【復習】30分：上記についてまとめる 【担当】谷本（福岡赤十字病院）
15	<b>まとめ（フィードバック）</b> 【授業内容】内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患について整理する。 【担当】木村

## 先行履修科目

なし

## テキスト

吉岡成人 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔6〕 内分泌・代謝。医学書院，2021。  
 大東貴志 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔8〕 腎・泌尿器。医学書院，2021。  
 岩田健太郎 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔11〕 アレルギー・膠原病・感染症。医学書院，2021。  
 飯野京子 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔4〕 血液・造血器。医学書院，2021。

## 参考文献

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 第11版【電子版】。医学書院，2022。  
 Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）。丸善出版，2020。  
 山内豊明：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第5版。メディカ出版，2021。  
 田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）。医学書院，2021。  
 大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）。医学書院，2021。

## 評価方法

定期試験（100％）

※配点の内訳は授業の回数によって配分します。

## 教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

## メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性があります。  
 ★講師は2022年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。

## 疾病と治療III

更新日：2022/02/02 09:08:45

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHE204		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	530900
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

加齢に伴う変化に関わる疾病とその治療について学習する。

### 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

### 到達目標

1	運動器系の疾患とその治療法について説明できる。
2	脳神経系の疾患とその治療法について説明できる。
3	皮膚科系の疾患とその治療法について説明できる。
4	女性生殖器系の疾患とその治療法について説明できる。
5	眼科系の疾患とその治療法について説明できる。
6	耳鼻咽喉科系の疾患とその治療法について説明できる。

### 授業計画

1	<p>運動器系疾患について理解する：①運動器疾患概論，運動器の症候・観察・検査，治療，リハビリテーション</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】泊（福岡赤十字病院）</p>
2	<p>運動器系疾患について理解する：②骨折・脱臼，変形性関節症</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】泊（福岡赤十字病院）</p>
3	<p>運動器系疾患について理解する：③脊椎・脊髄疾患，加齢性疾患，悪性疾患</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】泊（福岡赤十字病院）</p>
4	<p>脳神経系疾患について理解する：①脳・神経疾患概論，中枢神経・末梢神経</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】継（福岡赤十字病院）</p>
5	<p>脳神経系疾患について理解する：②脳神経疾患の主要症候，観察，検査，脳・神経疾患の治療（侵襲的治療）③脳卒中，脳腫瘍，頭部外傷</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】継（福岡赤十字病院）</p>
6	<p>脳神経疾患について理解する④神経変性疾患，脱髄性疾患，機能的疾患（癲癇）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】北山（福岡赤十字病院）</p>
7	<p>脳神経系疾患について理解する⑤認知症，感染性疾患，筋疾患，末梢神経障害</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】北山（福岡赤十字病院）</p>
8	<p>皮膚科系疾患について理解する：皮膚の主要症候，検査，治療，主要疾患（湿疹・皮膚炎・感染症・悪性腫瘍）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく</p> <p>【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する</p> <p>【担当】竹下（福岡赤十字病院）</p>

9	<p><b>女性生殖器系疾病について理解する：女性生殖器の診察・検査，侵襲的治療，女性ライフサイクル（AYA世代，更年期）に伴う疾病，不妊症</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】遠城（福岡赤十字病院）</p>
10	<p><b>妊娠合併症について理解する：妊娠前疾患（心疾患，糖尿病，甲状腺疾患，精神疾患，腎・泌尿器疾患），妊娠中に発症する疾患（妊娠糖尿病，妊娠悪阻，妊娠高血圧症候群）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】遠城（福岡赤十字病院）</p>
11	<p><b>眼科系疾病について理解する：①視機能（視力・順応・視野・色覚），眼の検査・治療，結膜疾患</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】吉山（福岡赤十字病院）</p>
12	<p><b>眼科系疾病について理解する②網膜・硝子体疾患，水晶体疾患，緑内障</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】吉山（福岡赤十字病院）</p>
13	<p><b>耳鼻咽喉系疾病について理解する：①耳鼻咽喉の主要症候（耳/難聴・聴覚障害・めまい，鼻/鼻出血・嗅覚障害，咽頭・喉頭/構音障害・嚥下障害），耳鼻咽喉の検査</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩（福岡赤十字病院）</p>
14	<p><b>耳鼻咽喉系疾病について理解する②耳鼻咽喉主要疾患（炎症性疾患・悪性腫瘍）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩（福岡赤十字病院）</p>
15	<p><b>まとめ（フィードバック）</b> 【授業内容】運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について整理する。 【担当】木村</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

田中 栄 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔10〕 運動器。医学書院，2021。  
井手隆文 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔7〕 脳・神経。医学書院，2021。  
大鹿哲郎 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔13〕 眼。医学書院，2021。  
小松浩子 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔14〕 耳鼻咽喉。医学書院，2021。  
渡辺晋一 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔12〕 皮膚。医学書院，2021。  
末岡 浩 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学〔9〕 女性生殖器。医学書院，2021。

## 参考文献

坂井建雄，岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 第11版【電子版】。医学書院，2022。  
Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）。丸善出版，2020。  
山内豊明：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第5版。メディカ出版，2021。  
田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）。医学書院，2021。  
大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）。医学書院，2021。

## 評価方法

定期試験（100%）

※配点の内訳は、コマ数によって配分します。

## 教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

## メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。  
★講師は2022年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。



# 疾病と治療Ⅳ

更新日：2022/02/02 09:08:59

開講年度	2022	学期	前期	シバースト*	LHE205		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531000
担当教員	木村 涼平						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

小児特有の疾病とその治療について学習する。精神疾患とその治療について学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	小児科系の疾病とその治療法について説明できる。
2	精神科系の疾病とその治療法について説明できる。

## 授業計画

1	<p>1. 小児疾患について以下の事項を理解する①新生児疾患：新生児の分類と疾患の特徴、ハイリスク児の病態と管理②新生児疾患：新生児仮死、呼吸器疾患、循環器疾患、TORCH症候群③先天性代謝異常</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第2章、第3章） 【担当】長友（福岡赤十字病院）</p>
2	<p>④小児特有の心疾患：先天性心疾患（心室中隔欠損、心房中隔欠損、ファロー四徴症）、後天性心疾患</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：主に第8章） 【担当】長友（福岡赤十字病院）</p>
3	<p>⑤小児特有の感染症疾患、⑥小児特有の呼吸器疾患：ウイルス感染症（麻疹、風疹、水痘、ムンプス、突発性発疹、RSウイルス感染症）、細菌感染症（マイコプラズマ感染症）</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第6章、第7章） 【担当】小野山（福岡赤十字病院）</p>
4	<p>⑦小児特有のアレルギー疾患：気管支喘息、アトピー性皮膚炎</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第5章、第19章） 【担当】小野山（福岡赤十字病院）</p>
5	<p>⑧小児特有の消化器疾患：食道、胃十二指腸疾患（食道閉鎖症、肥厚性幽門狭窄症）、小腸・結腸・肛門疾患（腸重積、直腸肛門奇形、ヒルシュブルグ病）、横隔膜・腹壁疾患（横隔膜ヘルニア、鼠経ヘルニア）、胆道系疾患（胆道閉鎖症）</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：主に第9章） 【担当】波多江（福岡赤十字病院）</p>
6	<p>⑨小児特有の腎疾患・泌尿器疾患：糸球体疾患（ネフローゼ症候群、IgA腎症）、全身性疾患に伴う腎疾患（紫斑病性腎炎）、先天性腎尿路奇形（膀胱尿管逆流症、尿道下裂）</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：主に第12章） 【担当】波多江（福岡赤十字病院）</p>
7	<p>⑩小児特有の神経疾患、遺伝性疾患、染色体異常：脳性麻痺、多嚢胞性脳軟化症、低酸素脳症、てんかん、13トリソミー、18トリソミー、21トリソミー</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（小児臨床看護各論：第1章、第13章 ※熱性けいれんは第8回で取り扱う） 【担当】松倉（福岡赤十字病院）</p>
8	<p>⑪小児特有の救急疾患：熱性けいれん、溺水、熱傷、誤嚥、中毒、熱中症、⑫小児特有の代謝性疾患</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（主に第19章、第13章の一部） 【担当】松倉（福岡赤十字病院）</p>
9	<p>2. 精神科的疾患について以下の事項を理解する。①統合失調症と妄想性障害</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第12章） 【担当】佐藤（九州大学）</p>
10	<p>②気分(感情)障害</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要(標準精神医学 第13章) 【担当】佐藤（九州大学）</p>

11	<b>③ 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害</b> 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第9章） 【担当】宮田（シエスタ荒木医院／本学学校医）
12	<b>④ 発達障害</b> 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第14章） 【担当】宮田（シエスタ荒木医院／本学学校医）
13	<b>⑤ 人格障害、摂食障害、物質関連障害、てんかん</b> 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第10章） 【担当】佐藤（九州大学）
14	<b>⑥ 脳の機能と薬物療法</b> 【授業方法】講義 【予習】30分【復習】30分：授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要（標準精神医学 第9章） 【担当】佐藤（九州大学）
15	<b>まとめ（フィードバック）</b> 【授業内容】小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】60分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】60分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について整理する。 【担当】木村

### 先行履修科目

なし

### テキスト

奈良間美保 他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論．医学書院，2021．

尾崎 紀夫 他：標準精神医学 第8版．医学書院，2021．

### 参考文献

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能〔1〕 解剖生理学 第11版【電子版】．医学書院, 2022.

Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷彦彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

山内豊明：ナースング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第5版．メディカ出版，2021．

田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）．医学書院，2021．

大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）．医学書院，2021．

### 評価方法

定期試験（100%）

※配点の内訳は、コマ数によって配分します。

### 教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

### メッセージ

★講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性があります。

★講師は2022年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。

★授業終了後は必ず学修課題に記載された学修方法で復習を深めてください。



## 疾病と治療 V

更新日：2022/02/09 11:39:44

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LHE401		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531100
担当教員	千原 明美						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

学習した知識と臨床で学んだ実際を関連させながら、様々な疾病の治療を理解する能力を獲得する。

### 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

### 到達目標

1	人体の構造と機能で学修した、解剖・生理学の知識を理解した上で疾病の病態・症状の関連を述べることができる。
2	疾病の検査・診断・治療を理解し、科学的根拠に基づいた看護展開に必要なアセスメントを述べるができる。

### 授業計画

1	<p>【ガイダンス】人体の構造と機能と疾病の成り立ちの知識を、治療・検査・看護に結び付ける学修方法についてA.運動器系・感覚器系の構造・機能及び疾病（骨・関節疾患、筋・神経接合部疾患、視覚・聴覚障害について）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：運動器系、感覚器の構造・機能について教科書を読んで、骨折（各世代に多い骨折）、緑内障・白内障の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
2	<p>B. 脳神経系の構造・機能及び疾病（中枢神経系疾患、末梢神経系疾患について）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：脳・神経の構造・機能について教科書を読んで、脳出血・脳梗塞、パーキンソン病の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
3	<p>C. 循環器系の構造・機能及び疾病（心疾患、血管系疾患について）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：循環器の構造・機能について教科書を読んで、心不全・虚血性心疾患の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
4	<p>D. 呼吸器系の構造・機能及び疾病（炎症性疾患、慢性閉塞性肺疾患・肺腫瘍について）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：呼吸器の構造・機能について教科書を読んで、肺炎・COPD・肺がんの病態・検査・治療方法を調べて説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
5	<p>E. 内分泌系の構造・機能及び疾病（内分泌系疾患、代謝異常の疾患について）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：内分泌系の構造・機能について教科書で読んで、甲状腺疾患、糖尿病、脂質異常症についての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
6	<p>F. 消化器系の構造・機能及び疾病（消化器疾患について）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：消化器系の構造・機能について教科書を読んで、上部・下部消化管悪性腫瘍、肝臓・胆嚢・膵臓の悪性腫瘍の病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
7	<p>G. 腎・泌尿器系・生殖系系の構造・機能および疾病（腎・尿路系疾患、女性生殖器疾患、乳腺疾患、生殖機能障害、）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：腎・泌尿器、生殖系系の構造・機能について教科書を読んで、慢性腎臓病、尿路系悪性腫瘍、子宮がん、乳がん、前立腺肥大がんについての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>
8	<p>F. 血液系・免疫系の構造・機能及び疾病（血液・造血器疾患、自己免疫疾患、アレルギー疾患について、1～8回講義についてのフィードバック</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：血液系・免疫系の構造・機能について教科書を読んで、貧血、白血病、SLE、アレルギー性疾患について調べ、説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】60分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。</p> <p>【担当】千原</p>



---

## 先行履修科目

なし

## テキスト

人体の構造と機能、疾病と治療、治療検査と看護などの既習科目のテキスト・資料

## 参考文献

浅野喜延/吉山直樹 編集：看護のための臨床病態学 改定4版，南山堂，2020

坂井建雄/岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学，第10版，2018

医療情報科学研究所 編：「病気がみえる」シリーズ，Vol.消化器，Vol.2.循環器，Vol.3.糖尿病・代謝・内分泌，Vol.4.呼吸器，Vol.5.血液，Vol.6.免疫・膠原病・感染症，Vol.7.脳神経，Vol.8.腎・泌尿器，Vol.9.婦人科・乳腺外科，Vol.11.運動器・整形外科，Vol.12.眼科，Vol.13.耳鼻咽喉科，Vol.14.皮膚科，各第1版から5版，メディックメディア，2013～2021年

## 評価方法

各回講義時確認テスト40%，定期試験60%

## 教員等の実務経験

各疾病の急性期・慢性期の検査・治療を受ける患者の看護を臨床で実践してきた、看護教員が担当します。

## メッセージ

看護の専門職として、必要な知識は科学的根拠に基づくものになります。

最終学年でもう一度、人体の構造と機能の知識を再復習した上で、臨床でもよくみられる疾患の病態・検査・治療についての知識の再確認を行い、臨床での看護展開に活かすことができるように、主体的・積極的に学びましょう。

## 統計学

更新日：2022/01/07 09:06:30

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHE206		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531200
担当教員	中山 晃志						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するための基本的な概念と方法を学習し、マクロ的に把握する視点を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	データの種類の把握し、基本統計量を求めることができる。
2	データ間の関連について、図表や数値を用いて口述することができる。
3	統計検定の流れを把握し、正しく検定結果の解釈ができる。
4	目的に沿った検定手法を用いることができる。

## 授業計画

1	母集団と標本（記述統計と推測統計），データの種類の把握 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：統計学の概要とデータの種類の把握について理解する。
2	1 変数データの記述 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：集計データの記述方法（図表）について理解する。
3	1 変数データの記述－代表値 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：データの特性を表す「代表値」について理解する。
4	1 変数データの記述－散布度 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：データの特性を表す「散布度」について理解する。
5	2 変数データの記述－量×量－ 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：2つの量的データを同時に記述したり、関連性を調べる方法を理解する。
6	2 変数データの記述－質×質 他－ 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：2つの質的データを同時に記述したり、関連性を調べる方法を理解する。
7	記述統計のまとめ 【授業方法】講義・中間試験 【予習】60分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学習する。 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。
8	確率・確率分布 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：推測統計を考えるうえで必要となる確率・確率分布について理解する。
9	推定論 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：推定論の概要を理解する。
10	検定の流れ 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：検定論の基本となる「検定の流れ」について理解し、正しい結果の解釈ができるようになる。
11	検定手法各論(1) 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】60分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。

12	<b>検定手法各論(2)</b> 【授業方法】 講義・演習 【予習】 30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】 60分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。
13	<b>検定手法各論(3)</b> 【授業方法】 講義・演習 【予習】 30分：前回講義を振り返っておく。 【復習】 60分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。
14	<b>推測統計のまとめ</b> 【授業方法】 講義・演習 【予習】 60分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学修する。 【復習】 60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。
15	<b>試験に対するフィードバック</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：試験内容について振り返っておく。 【復習】 60分：試験の結果から弱点を確認し、振り返りをおこなう。

### 先行履修科目

なし

### テキスト

白戸亮吉，鈴木研太：ていねいな保健統計学．羊土社，2018．

### 参考文献

稲葉由之：プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学．弘文堂，2012．

### 評価方法

中間試験50%、定期試験50%

### 教員等の実務経験

### メッセージ

毎回の講義内容が連続しています。講義で出てきた用語や流れなどはしっかり復習し、理解するようにしてください。

## 疫学 I

更新日：2022/01/28 15:18:15

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	LHE207		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531300
担当教員	吉田 大悟						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

保健医療領域における原因追究の方法として、疫学の基本的な概念と方法を学習し、疫学的に考える視点を身につけ、EBMの基礎についても理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	疫学指標の意義を理解し、使いこなすことができる。
2	相関関係と因果関係を区別し、因果関係の立証過程を洞察できる。
3	横断研究・症例対照研究・コホート研究などの方法を課題にあわせて提案できる。
4	介入研究の方法を課題にあわせて提案できる。
5	スクリーニングの考え方を理解できる。
6	疫学的視点で、看護領域での課題を場面にあわせて指摘できる。

## 授業計画

1	<p>疫学の概念：疫学の定義、疫学の三要素、ジョン・スノー、高木兼寛、ナイチンゲール</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の1章（疫学の概念）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
2	<p>集団の健康状態の把握：有病率、罹患率、累積罹患率、死亡率、致命率、発症率、がん登録</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）と5章（疾病登録）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
3	<p>疾患のリスクに関する指標：相対危険度、寄与危険割合、集団寄与危険割合、オッズ比</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
4	<p>因果関係と相関関係：原因と結果、相関と因果の違い、相関と交絡、多要因原因説、多要因モデル</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
5	<p>誤差と偏り：偶然誤差と系統誤差、信頼性と妥当性、選択の偏り、情報の偏り</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
6	<p>疫学的研究手法：記述研究、生物学的研究の手法と長所・短所</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
7	<p>疫学的研究手法：横断研究の手法と長所・短所</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>
8	<p>疫学的研究手法：症例対照研究の手法と長所・短所、マッチング、オッズ比</p> <p>【授業方法】講義・演習（PBL）</p> <p>【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。</p> <p>【復習】30分：授業内容を復習する。</p> <p>【担当】吉田</p>

9	<b>疫学的研究手法：コホート研究の手法と長所・短所、追跡調査、罹患率、人年法</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
10	<b>疫学的研究手法：コホート研究の実例紹介、疫学研究の進め方、疫学研究の体制と実務について</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
11	<b>疫学的研究手法：介入研究の手法と長所・短所、介入群と対照群、二重盲検法、インフォームド・コンセント／アセント</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
12	<b>スクリーニング検査：カットオフポイント、感度、特異度、陽性反応的中率、陰性反応的中率、ROC曲線の考え方</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
13	<b>おもな疾患の疫学：生活習慣と生活習慣病、母子保健、学校保健、産業保健、精神保健、感染症の疫学</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】吉田
14	<b>疫学と公衆衛生看護：地域診断、健康政策、PDCAサイクル、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の7章（疫学と公衆衛生看護）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】吉田
15	<b>疫学的な考え方のまとめ、フィードバック</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】20分：過去14回の講義資料に目を通す。 【復習】40分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】吉田

## 先行履修科目

なし

## テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻2 疫学・保健統計学。医学書院。

## 参考文献

- ・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊,国民衛生の動向2022/2023.
- ・中村好一著：基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版。医学書院

## 評価方法

各回の提出物（演習シートまたはミニテスト）40%、授業参加度20%、筆記試験40%

## 教員等の実務経験

国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

## メッセージ

疫学は単に研究について学ぶ学問ではなく、看護師や保健師の業務でも必須な学問です。疫学研究で得られた知見を科学的根拠（エビデンス）と呼び、臨床ではエビデンスに基づいた看護実践が求められます。また疫学を学ぶと物事を論理的に考え、数値を正しく理解できることにつながりますので、本講義で疫学の基礎をしっかりと学んでおきましょう。

## 疫学Ⅱ

更新日：2022/01/28 15:01:29

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHE402		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531400
担当教員	吉田 大悟						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康問題の原因追究のアプローチを理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	疫学の概念と方法を多様な課題に適用して理解できる。
2	疫学研究成果を批判的に吟味でき、成果を地域や集団に応用して考えられる。

## 授業計画

1	<b>保健統計のまとめ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：該当箇所について教科書や参考書等を用いて勉強する。 【復習】30分：該当箇所を復習する。 【担当】吉田
2	<b>疫学研究方法のまとめ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：自分で方法を使う場合の条件や予想される結果を考える。 【担当】吉田
3	<b>相関関係と因果関係のまとめ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：相関関係と因果関係の実例を考える。 【担当】吉田
4	<b>疫学指標のまとめ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を再度確認する。 【担当】吉田
5	<b>スクリーニングの考え方と数値指標のまとめ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：感度、特異度、偽陽性率、偽陰性率などの具体例を考える。 【担当】吉田
6	<b>標準化の考え方と保健活動</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：年齢調整死亡率、標準化死亡比の考え方をチェックする。 【復習】30分：関心のある市町につき、自分で計算してみる。 【担当】吉田
7	<b>疫学与公衆衛生看護：地域診断、健康政策、PDCAサイクル、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の7章（疫学与公衆衛生看護）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】吉田
8	<b>看護実践と疫学、フィードバック</b> 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：全7回の講義資料に目を通す。 【復習】30分：直近の実習で経験した事例を疫学的エビデンスの視点で振り返る。 【担当】吉田

## 先行履修科目

なし

## テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻2 疫学・保健統計学．医学書院．

## 参考文献

---

・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊,国民衛生の動向2022/2023.

## 評価方法

---

各回提出物40%、授業参加度20%、レポート40%

## 教員等の実務経験

---

国内外で、疫学的手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

## メッセージ

---

疫学は保健師が地域で保健活動するときの必須の方法論です。保健師国家試験に合格し、保健師として働くためにも、この方法論をしっかりと身につけてください。

## 保健統計学

更新日：2022/03/02 12:32:16

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LHE208		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531500
担当教員	中山 晃志						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

公衆衛生の課題解決に向かう保健統計の考え方を理解し、それらの概念と方法を様々な集団に応用し、看護職者に必要なエビデンスに基づいた集団へのアプローチを習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	人口に関する統計および指標について説明することができる。
2	出生や死亡の傾向および特徴について説明することができる。
3	人口動態調査や国民生活基礎調査、患者調査など様々な保健統計調査について特徴を説明することができる。
4	人口動態調査や国民生活基礎調査、患者調査など様々な保健統計調査で得られる保健指標について説明することができる。

## 授業計画

1	<b>保健統計の概要と用語</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】30分：用語の意味や使い方について理解する。
2	<b>統計資料（データ、図表）の見方</b> 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：前期「統計学」で出てきた図表に関して見直しておく。 【復習】60分：図表から傾向や特徴を読み取る。
3	<b>人口静態統計</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：人口調査の種類や人口構成について用語、値、傾向などを理解する。
4	<b>人口動態統計</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：人口動態（死亡、出生、死産、婚姻、離婚）について用語、値、傾向などを理解する。
5	<b>死亡指標の標準化、生命表</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：年齢調整死亡率および標準化死亡比の特徴や生命表の用語、値、傾向などについて理解する。
6	<b>主な疾患の死亡統計</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：年齢階級別の死因順位や疾患による死亡の特徴や傾向などについて理解する。
7	<b>人口静態統計と人口動態統計のまとめ</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。
8	<b>基幹統計</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査などの医療福祉に関連する基幹統計について特徴などを理解する。
9	<b>基礎的な統計調査 他</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】60分：感染症発生動向調査や国民健康・栄養調査など医療福祉に関連する統計調査について特徴などを理解する。
10	<b>基幹統計や他の保健統計調査のまとめ</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。
11	<b>医療現場における情報システム</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：病院情報システムおよび遠隔医療システムの概要や情報の流れを理解する。
12	<b>保健統計の基礎知識</b> 【授業方法】演習 【復習】30分：保健統計で重要となる保健医療情報（データ）について確認する。
13	<b>課題：保健統計調査のまとめ表の作成</b> 【授業方法】演習 【復習】30分：まとめきれなかった保健統計調査について確認する。



14	<b>課題：保健医療情報の収集</b> 【授業方法】演習 【復習】30分：探しきれなかった最新データの所在をweb上で確認する。
15	<b>試験に対するフィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：試験の結果から弱点を確認し、振り返りをおこなう。

### 先行履修科目

なし

### テキスト

白戸亮吉, 鈴木研太：ていねいな保健統計学. 羊土社, 2018.  
 厚生労働統計協会編：国民衛生の動向 2022/2023. 厚生労働統計協会, 2022.

### 参考文献

福富和夫, 橋本修二：保健統計・疫学（改訂6版）. 南山堂, 2018.  
 牧本清子 他：標準保健師講座 疫学・保健統計学 別巻2（第3版）. 医学書院, 2015.

### 評価方法

試験70%, 小テストおよび提出課題30%

### 教員等の実務経験

### メッセージ

講義内で出てきた様々な調査の特徴や保健指標を自分で表にまとめるなどして、調査や指標について整理するよう復習をしてください。

## 人間工学

更新日：2022/03/01 10:30:21

開講年度	2022	学期	後期	シバースコード	LHE107		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531600
担当教員	大貝 知子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

人間の能力・特性に適合した機械装置や設備環境について学習し、保健医療分野への応用を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	患者の健康をサポートする環境作り、また看護ケアの質を向上させる環境作りについて、学生が人間工学の基礎的知識を活用し、多面的に考察することの重要性を理解できる。
---	---

## 授業計画

1	人間工学とは 【授業方法】講義 【復習】40分：教科書内容の学習、自身が愛用する製品を、人間工学を通して考察・レポート作成 【担当】大貝
2	看護・介護と人間工学 【授業方法】講義 【復習】60分：教科書内容の学習、人間工学を活用したものづくりなど、例を通して考察・レポート作成 【担当】大貝
3	身体の動き 【授業方法】講義 【復習】30分：教科書内容の学習・講義内容に関連する動画サイトの閲覧 【担当】大貝
4	安全性と人間工学 【授業方法】講義 【復習】60分：医療や看護における安全対策の例を通じて、機器と看護との関連などを考察し、レポート作成。 【担当】大貝
5	医療施設空間・介護施設空間と人間工学 【授業方法】講義 【復習】60分：看護や介護ロボットなどを通して、人間工学を活用した機器の進化と看護との関連などを考察し、レポート作成。 【担当】大貝
6	健康をサポートする環境 【授業方法】講義 【復習】90分：ナイチンゲールの覚え書き（部分）を活用し、看護と人間工学との関わりを考察し、レポート作成 【担当】大貝
7	住宅等の福祉環境（1）日常生活の危険性について 【授業方法】講義 【復習】30分：高齢者の行動を観察し、高齢者の身体特性について考察し、レポート作成。 【担当】大貝
8	住宅等の福祉環境（2）バリアフリー改修などについて 【授業方法】講義 【復習】30分：加齢による身体特性のカバーの多様な実例を基に、身近な高齢者の動作を考察。 【担当】大貝
9	バリアフリー体験（1）場所：校内 方法：高齢者体験キット、妊婦キット着用、車椅子を利用し、校内のバリアフリーの状況点検 【授業方法】演習 【復習】20分：通常の状態と、高齢者体験、妊婦体験、車椅子体験等の動作の違いを確認する。 【担当】大貝

10	<p>バリアフリー体験（1）続き・体験から、日常で気付けない事を学ぶ。グループによる体験まとめの発表</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】90分：体験から学習した内容を整理し、考察し、プレゼンテーション資料を作成。グループ毎の発表に備える。</p> <p>【担当】大貝</p>
11	<p>都市環境におけるユニバーサルデザインの導入</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】30分：道路、交通環境・機関施設等、日常利用空間の取り組みを理解する。</p> <p>【担当】大貝</p>
12	<p>バリアフリー体験（2）場所：大学周辺 方法：高齢者体験キット、車椅子を利用し、学外のバリアフリーの状況点検</p> <p>【授業方法】演習</p> <p>【復習】90分：体験から学習した内容を整理・考察し、プレゼンテーション資料を作成。グループ毎の発表に備える。</p> <p>【担当】大貝</p>
13	<p>バリアフリー体験（3）場所：調理室 方法：耳栓・手袋着用により、細かな作業を行い、日常における高齢者などの不便さを体験。</p> <p>【授業方法】演習</p> <p>【予習】20分：授業内容を理解し、グループで役割などの準備を行う。</p> <p>【担当】大貝</p>
14	<p>バリアフリー体験（3）続き 場所：調理室・各自の体験の感想や、バリアフリーなどに関する意見交換。</p> <p>【授業方法】演習・講義</p> <p>【復習】180分：身近な住宅空間や、公共施設のバリアまたはバリアフリーなどの状況を観察・分析し、プレゼンテーション資料を作成発表に備える。</p> <p>【担当】大貝</p>
15	<p>レポートの発表・各自の住まいや施設のバリアなどのレポートを通し、考えの幅を広げる。及び、全体フィードバック</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】60分：多様な発表を傾聴し、考えの幅を広げる。全体を通し、人間工学と看護の関わりを自分なりに捉える。</p> <p>【担当】大貝</p>

#### 先行履修科目

なし

#### テキスト

小川鑛一 他：看護・介護のための人間工学入門。東京電機大学出版局、2006. .

#### 参考文献

平田雅子：新体系看護学全書 基礎科目 物理学。メテカルフレンド社、2008。  
 柳澤忠 監修：健康デザイン 健康をサポートする環境づくり。医歯薬出版、2000。  
 大河原千鶴子 他 編集：ヘルス・ケア・ワークを支える看護の人間工学。医歯薬出版、2002。

#### 評価方法

定期的な課題レポート(90%)、授業参加度(10%)で総合的に評価する。

#### 教員等の実務経験

#### メッセージ

# 栄養学

更新日：2022/02/25 15:22:51

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LHE102		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531700
担当教員	沖田 千代						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

五大栄養素（糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラル）の種類、機能およびその代謝について理解し、健康を保持・増進するための食生活および疾病別食事療法について学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	摂取した食物の消化・吸収およびその後の栄養素の体内での代謝と生理的役割を理解し、食物摂取の意義を自ら考えることができる。
2	妊娠期から高齢期までの各ライフステージの栄養と健康の関わりを理解し、健康を保持・増進するための食生活を自ら考え、実践することができる。
3	疾病の予防・治療を目的とした総合的な栄養管理の考え方を理解することができる。
4	チーム医療における栄養管理の重要性を理解することができる。

## 授業計画

1	食は生命を律する～医療スタッフの1人として、栄養状態改善を必要とする患者様の存在とそのサポートを目的とした栄養学的視点の必要性 【授業方法】講義 【予習】20分：テキストの通読
2	オリエンテーション&エネルギー代謝 摂取エネルギーと消費エネルギーの計算、メッツの計算 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：●テキスト第4章エネルギー代謝について読む ●自分の一日の生活動作を記録し持参する。 【復習】40分：課題—食事・生活記録から摂取・消費エネルギーの理解と計算
3	食事と食品 栄養の概念 医療と栄養 栄養状態の評価 五大栄養素の種類と働き 【授業方法】講義・演習 【予習】40分：テキスト第5章「食事と食品」、第1章「人間栄養学と看護」を読む 【復習】30分：五大栄養素について復習する。食事・生活記録を1日間記録する（課題提出）
4	食物の消化 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章の糖質について読む 【復習】30分：糖質の種類・消化・吸収の復習
5	栄養素の吸収（糖質の種類とはたらき）、血糖 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章のたんぱく質について読む 【復習】30分：たんぱく質の種類・消化・吸収の復習
6	栄養素の吸収（脂質、タンパク質の種類とはたらき） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章、第3章の脂質について読む 【復習】30分：脂質の種類・消化・吸収の復習
7	ビタミン、ミネラルの種類とはたらき、食物繊維、水 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第2章のビタミン、ミネラル、食物繊維、水について読む 【復習】30分：各ビタミン、ミネラルの生理機能、欠乏症、含有食品について表にまとめる。食物繊維の種類と働きを整理する。
8	栄養素の代謝 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第3章Dについて読む 【復習】30分：肝臓の働きについて整理する
9	エネルギー代謝 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第4章を振り返る 【復習】30分：エネルギー代謝の流れを確実に把握・理解する
10	食事と食品、栄養ケアマネジメント、栄養アセスメント 【授業方法】講義・演習 【予習】20分：テキスト第5章、6章、7章について読む 【復習】30分：要点を復習する

11	<b>ライフステージ別栄養1 妊娠期（胎児期）・授乳期・乳幼児期・学童期・思春期における食生活と健康</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第8章ライフステージ別栄養について読む 【復習】30分：講義中のスライドの復習、胎児期～思春期までの栄養法と問題点を考察する
12	<b>ライフステージ別栄養2 成人期・更年期・高齢期における食生活と健康</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト第8章ライフステージ別栄養、第9章について読む 【復習】30分：講義中のスライドの復習、成人期～高齢期までの栄養法と問題点を考察する
13	<b>臨床栄養 糖尿病食品交換表の使い方 献立の作成法と調理の基本</b> 【授業方法】講義・演習 【予習】30分：第9章臨床栄養について読む 【復習】献立の立て方・成分表の使い方、食品成分表・食品交換表を用いての献立作成の理解と応用（課題提出）
14	<b>病院食</b> 【授業方法】講義・演習 【予習】第9章Bを読む 【復習】20分：自己評価、調理の際の衛生管理
15	<b>まとめとフィードバック ・ 疾病の予防・治療を目的とした総合的な栄養管理の考え方と重要性の理解 ・ 試験後のまとめ授業</b> 【授業方法】講義 【予習】20分：第10章を読む。及び14回までの授業内容の確認・振り返り 【復習】30分：総合的な個々人の栄養管理の重要性の理解

### 先行履修科目

なし

### テキスト

中村丁次 他：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能③栄養学 第12版、医学書院、(年版は最新の年版を使用する)。

### 参考文献

食品解説つき 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版 大修館書店 2017.  
日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版、文光堂、2013.  
厚生労働省策定：日本人の食事摂取基準[2020年版]、第一出版、2019.

### 評価方法

定期試験35%、課題提出35%、授業参加度30%

### 教員等の実務経験

### メッセージ

課題の提出は科目「栄養学」の単位に関係します。確実に提出ください。  
また、課題を自分が提出しているか否かについての教員への質問・確認は受け付けません。自分で確実に管理してください。それも単位の1つと考えます。

## 食生活論

更新日：2022/02/25 15:35:57

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	LHE209		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	531800
担当教員	白石 美恵						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

基礎栄養学の知識を基に、健康を保持・増進するための食生活の実際について学ぶ。  
さらに、疾患別栄養食事療法を理解し、医療における栄養ケアについて学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】 集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

## 到達目標

1	健康を保持・増進し、疾病の予防に繋がる食生活とはどのような事かを事例と共に理解することができる。
2	調理実習を経験することにより食品の衛生・安全の管理法を理解することができる。
3	疾患別栄養食事療法の実際について理解することができる。

## 授業計画

1	<b>健康の保持・増進のための食生活 ライフステージ別栄養と常食</b> 【授業方法】 講義 【予習】 120分：テキスト①栄養学の復習 参考①栄養食事療法 第1,14～17章を読む（予習） テキスト①栄養食事療法 第2,3章を読む（予習） 栄養指導の集団・個人指導の実際について解説する。 【担当】 白石
2	<b>病人食の分類と形態 食生活指導 (1) 集団指導 (2) 個人指導 学生同士の栄養指導の実際</b> 【授業方法】 講義・演習 (GW) 【予習】 60分：テキスト②食品成分表参照 調理実習に向け、食品の衛生・安全を理解する。 【復習】 60分：学生同士の栄養指導のまとめ 【担当】 白石
3	<b>調理実習1 健康の保持・増進のための食事 (1)</b> 【授業方法】 演習 (実技) 【予習】 60分：実習献立から栄養価や栄養バランスを考え、実際に常食の献立作成が出来る様に理解する。 【担当】 白石
4	<b>調理実習1 健康の保持・増進のための食事 (2)</b> 【授業方法】 演習 (実技) 【予習】 90分：実習レポート (提出1) 【復習】 90分：調理実習後の考察・まとめ報告献立作成・栄養価計算 【担当】 白石
5	<b>調理実習2 栄養食事療法の実際 (1) 疾患別栄養食事療法 症例報告と対策</b> 【授業方法】 演習 (実技) 【予習】 30分：参考①栄養食事療法 第3～9章について読む 【復習】 30分：常食との相違点を考え、理解する 【担当】 白石
6	<b>調理実習2 栄養食事療法の実際 (2) 疾患別栄養食事療法 症例報告と対策</b> 【授業方法】 演習 (実技) 【予習】 60分：実習レポート (提出2) 参考①栄養食事療法 第12,13章について読む 【復習】 60分：症例報告に対する自分の考えをまとめる 【担当】 白石
7	<b>調理実習3 循環器疾患・栄養代謝性疾患患者の食事療法 (1)</b> 【授業方法】 演習 (実技) 【予習・復習】 60分：治療食献立の調理実習と試食を通して調理法や献立を学習し、他の疾患の食事療法について応用出来るように理解する。 【担当】 白石
8	<b>調理実習3 循環器疾患・栄養代謝性疾患患者の食事療法 (2) 調理実習後フィードバック</b> 【授業方法】 演習 (実技) 【復習】 180分：実習レポート (提出3) 治療食献立作成・栄養価計算 調理実習後の考察・まとめ報告 (復習) 【担当】 白石

## 先行履修科目

なし

## テキスト

- ①中村丁次 他：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能③栄養学 第12版. 医学書院, 2015.  
②新しい食生活を考える会：食品解説つき 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版. 大修館書店, 2016.  
③日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版. 文光堂, 2013.

## 参考文献

---

- ①中村丁次 他：系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 第3版．医学書院，2015．
- ②本田佳子編：新臨床栄養学 栄養ケアマネジメント第3版．医歯薬出版,2016．

## 評価方法

---

課題提出50%、授業参加度50%

## 教員等の実務経験

---

## メッセージ

---

## 英語 I

更新日：2022/03/02 09:15:25

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL101		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540100
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

国際的なコミュニケーションの主たる手段である英語を「読み」「書き」「聞き」「話し」「考える」ための基礎力を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	情報リテラシー (ICT)を活用したe-learningを使用して英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	知識の習得から実践力(4技能)を強化できる。
3	自立した学習者を目指す自己学習法を習得できる。
4	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。

## 授業計画

1	<p><b>オリエンテーション Unit 1 動詞の形① 現在形・過去形</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.20-p.34)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  (課題) 動詞の形に関するL&amp;S R&amp;W 動詞の形に関する文法  Unit 001 Unit 001  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
2	<p><b>Unit 2 動詞の形② 未来の表し方・進行形</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.35-p.50)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  (課題) 動詞の形に関するL&amp;S R&amp;W 動詞の形に関する文法  Unit 002 Unit 002  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
3	<p><b>Unit 3 Unit 3 動詞の形③ 完了形</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.51-p.66)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  (課題) 動詞の形に関するL&amp;S 動詞の形に関するR&amp;W 文法  Unit 003 Unit 001  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
4	<p><b>動詞復習 NA NEXT</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：動詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識  (課題) 動詞の形に関するL&amp;S R&amp;W 動詞の形に関する文法  Unit 004 Unit 003  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
5	<p><b>Unit 4 受動態① 受動態の基本・助動詞が入った受動態・進行形/完了形の受動態</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.67-p.82)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  (課題) 受動態に関するL&amp;S R&amp;W 受動態に関する文法  Unit 005 Unit 004  Review 001  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
6	<p><b>Unit 5 受動態② 授与動詞のある文の受動態・注意すべき受動態etc."</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.83-p.98)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  (課題) 受動態に関するL&amp;S 受動態に関するR&amp;W 文法  Unit 006 Unit 002  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>



7	<p><b>"受動態復習 NA NEXT"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】受動態の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 受動態に関するL&amp;S R&amp;W 受動態に関する文法 Unit 007 Unit 005 Review 001</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
8	<p><b>"Unit 6 助動詞① 助動詞の基本"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：テキスト(p.99-p.114)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 助動詞に関するL&amp;S R&amp;W 助動詞に関する文法 Unit 008 Unit 006</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
9	<p><b>"Unit 7 助動詞② 推量や可能性を表す助動詞・助動詞+have+過去分詞"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：テキスト(p.115-p.130)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 助動詞に関するL&amp;S 助動詞に関するR&amp;W 文法 Unit 009 Unit 003</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
10	<p><b>"助動詞復習 NA NEXT"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：助動詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 助動詞に関するL&amp;S R&amp;W 助動詞に関する文法 Unit 010 Unit 007 Review 002</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
11	<p><b>"Unit 8 仮定法① 仮定法の基本"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：テキスト(p.131-p.146)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 仮定法に関するL&amp;S R&amp;W 仮定法に関する文法 Unit 011 Unit 008</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
12	<p><b>"Unit 9 仮定法② should/were to・ifの省略・仮定法現在"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：テキスト(p.147-p.162)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 仮定法に関するL&amp;S 仮定法に関するR&amp;W 文法 Unit 012 Unit 004</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
13	<p><b>"仮定法復習 NA NEXT"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：仮定法の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 仮定法に関するL&amp;S R&amp;W 仮定法に関する文法 Unit 013 Unit 009</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
14	<p><b>"Unit 10 不定詞① 不定詞の基本・否定語の位置"</b></p> <p>【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業・グループワーク・プレゼンテーション</p> <p>【予習】60分：テキスト(p.163-p.178)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 不定詞に関するL&amp;S 不定詞に関するR&amp;W 文法 Unit 014 Unit 005</p> <p>【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
15	<p><b>不定詞復習 NA NEXTとフィードバック</b></p> <p>【授業方法】講義・演習・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブ授業</p> <p>【予習】 (課題) 不定詞に関するL&amp;S 不定詞に関するR&amp;W 不定詞に関する文法 Unit 015 Review 001 Unit 010 Review 003</p> <p>【復習】90分：不定詞の復習、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 授業のフィードバック</p> <p>【担当】高瀬、授業担当補助者</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

木村達也.英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 コメブン1.アルク.2013  
その他 配布プリント。

## 参考文献

赤尾好夫編：英語の総合的研究．旺文社，2010．（復刻版）  
豊永彰：英文法ビフォー&アフター．南雲堂，2009．  
中原道喜：新英文読解法．聖文新社，2003．

## 評価方法

クラスでの活動評価（小テスト等）30%、試験及びe-learningの課題達成度 40%、授業への参加度 30%

## 教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

## メッセージ

本科目では、全員がe-learningで学修しながら、①英語で発信するための基礎となる英文法と英文の構造を着実に理解し、②英文を理解する力、リスニング力を伸ばす。③TOEICに対応できる能力を獲得します。

授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで400点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

## 英語Ⅱ

更新日：2022/03/02 09:19:57

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	LGL105		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540200
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

英語Ⅰで身につけた基礎力を基に、英文を読む力と英語で発信する力を向上させるとともに、自己学習能力を高める。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	2～4年で自分が行う英語学習の目標と計画を立てることができる。
2	英語の基礎の定着と応用力の習得ができる。
3	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して知識の習得と英語の実践力（4技能）を強化できる。
4	自立した学習者を目指し、自己学習法を習得することができる。

## 授業計画

1	<p><b>Unit 11 不定詞② 意味上の主語・原形不定詞・完了不定詞・不定詞の受動態と進行形 etc.</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.179-p.194)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
2	<p><b>不定詞復習 NA NEXT</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：不定詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識  （課題）不定詞に関連したL&amp;S R&amp;W 不定詞に関連した文法  Unit 012 Unit 04  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
3	<p><b>Unit 12 動名詞① 動名詞の基本・意味上の主語・完了動名詞・動名詞の受動態 etc.</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.195-p.210)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  （課題）動名詞に関連したL&amp;S R&amp;W 動名詞に関連した文法  Unit 013 Unit 09  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
4	<p><b>Unit 13 動名詞② 動詞+to不定詞または動名詞</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.211-p.226)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
5	<p><b>動名詞復習 NA NEXYT</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：動名詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識  （課題）動名詞に関連したL&amp;S R&amp;W 動名詞に関連した文法  Unit .14 Unit 009  Review 004  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
6	<p><b>Unit 14 分詞① 限定用法と叙述用法</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.227-p.242)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  （課題）分詞に関連したL&amp;S R&amp;W 分詞に関連した文法  Unit 015 001 Unit 010  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>
7	<p><b>Unit 15 分詞② 分詞構文・with+独立分詞構文 etc.</b>  【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブの講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】60分：テキスト(p.243-p.258)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識  【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読  【担当】高瀬、授業担当補助者</p>

8	<b>分詞復習 NA NEXT</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：分詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 分詞に関連したL&S R&W 分詞構文に関連した文法 Unit 016 006 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
9	<b>Unit 16 関係詞① 関係代名詞の基本・thatが好まれる場合</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.259-p.274)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 017 Unit 011 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
10	<b>Unit 17 関係詞② 前置詞＋関係代名詞・what・限定用法と非制限用法</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.275-p.290)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 018 Unit 012 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
11	<b>Unit 18 関係詞③ 関係副詞・複合関係詞</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.291-p.306)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
12	<b>関係詞復習 NA NEXT</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：関係詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 019 Unit 007 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
13	<b>Unit 19 比較① 比較の基本・比較級／最上級の協調・各級間の書き換え</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL) 【予習】60分：テキスト(p.307-p.322)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 比較に関連したL&S R&W 比較に関連した文法 Unit 020 Unit 013 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
14	<b>Unit 20 比較② さまざまな比較表現</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキスト(p.323-p.338)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
15	<b>比較復習 NA NEXTとフィードバック</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー (ICT)を活用したリアルタイムのライブの講義・演習 (AL)と全15コマのフィードバック 【予習】60分：比較の復習、辞書を使用して不明部分の認識 (課題) 比較に関連したL&S R&W 比較に関連した文法 Unit 021 Unit 14 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者

## 先行履修科目

なし

## テキスト

木村達也.英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 ユメブン1.アルク.2013  
その他 配布プリント。

## 参考文献

斎藤兆史：これが正し英語学習法。筑摩書房（ちくまプリマー新書），2007。  
竹内 理：「達人」の英語学習法。思想社，2007。  
鳥飼玖美子：国際共通語としての英語。講談社（現代新書），2011。  
中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい！。筑摩書房（ちくま文庫），2008。

## 評価方法

授業への参加度 30%、クラスでの活動評価（小テスト等）30%、試験およびe-learningの課題達成度 40%

## 教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

## メッセージ

本科目では、全員がe-learningで学修しながら、①英語で発信するための基礎となる英文法と英文の構造を着実に理解し、②英文を理解する力、リスニング力を伸ばす。③TOEICに対応できる能力を獲得します。

授業は4クラス制で行い、教材は、「英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 ユメブン1」という共通教材と、担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。

TOEIC L&R テストまたはTOEICの模擬テストで500点とれる学力をつけることができるように努力してください。

## 英語Ⅲ

更新日：2022/01/27 11:21:51

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540300
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

国際活動や留学に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけるため、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に高める。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	医療・科学的な英文記事・エッセイを読み、内容を理解し、英語で要約することができる。
2	英語の授業を聞き、内容を聞き取ることができる。
3	英語でエッセイを書くことができる。
4	英語でプレゼンテーションができ、プレゼンの内容について質疑応答ができる。
5	異なる文化的背景を持つ人と英語で討議ができる。
6	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

## 授業計画

1	<b>Unit 1 Medical truth 医学的な真実</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：テキストのChapter 1(p.1-p.4)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 1の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
2	<b>Unit 2 TV Makes You Fat テレビを見ると太る？</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 2(p.5-p.8)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 2の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
3	<b>Unit 3 Melatonin and Jet Lag メラトニンと時差ボケ</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 3(p.9-p.12)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 3の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
4	<b>Unit 4 Fever 人体の不思議-発熱</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 4(p.13-p.16)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 4の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
5	<b>Unit 5 How Maggots Cure ウジ虫を使った治療</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 5(p.17-p.20)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 5の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
6	<b>Unit 6 Titan 土星の第6衛星タイタン</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 6(p.21-p.24)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 6の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
7	<b>Unit 7 The ABC of CPR 心肺機能蘇生法</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 7(p.25-p.28)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：テキストのChapter 7の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬

8	<b>Unit 8 Light Travels Awfully Fast 先人たちの努力-光の速度をはかる</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 8(p.29-p.32)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:テキストのChapter 8の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
9	<b>Unit 9 History of Coffee コーヒーの歴史</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 9(p.33-p.36)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:Cテキストのchapter 9の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
10	<b>Unit 10 Melatonin メラトニン</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 10(p.37-p.40)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:テキストのChapter 10の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
11	<b>Unit 11 Gravity Force 重力をコントロールできれば</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 11(p.41-p.44)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:テキストのChapter 11の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
12	<b>Unit 12 Caffeine カフェインは危険なアルカイド?</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 12(p.45-p.48)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:テキストのChapter 12の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
13	<b>Unit 13 How You Regulate Heat 人体の不思議-体温</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 13(p.49-p.52)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:テキストのChapter 13の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
14	<b>Unit 14 TV Lies Well テレビではうそが分かりにくい</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分:与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 14(p.53-p.56)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分:テキストのChapter 14の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
15	<b>レポート提出とプレゼンテーション、フィードバック</b> 【授業方法】レポート提出とプレゼンテーション・講義・演習 テキストの"New Moments in Science"についての授業のフィードバック 【予習】60分:レポート作成、与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 【復習】60分:New Moments in Scienceについての授業のフィードバック 【担当】高瀬

## 先行履修科目

なし

## テキスト

Karl Kruszelnicki &amp; Hidehiko Konaka. "New Moments in Science". Seibido. 2012.

## 参考文献

Langan, John. "College Writing Skills". Fifth Edition. McGraw-Hill. 2000.  
吉田友子. アカデミックライティング入門-英語論文作成法. 第2版. 慶應義塾大学出版会, 2015.  
鳥飼玖美子. 話すための英語力. 講談社, 2017.  
ロッシェル・カップ, 大野和基. 英語の品格. 集英社, 2017.  
植田一三, 妻鳥千鶴子. 英語で意見を論理的に述べる-技術とトレーニング. 第14版. ベレ出版, 2004.

## 評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度(e-learning等)30%、定期試験または課題レポート 40%

## 教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネーター、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

## メッセージ

本コースでは、さまざまな英文を通して英語を学び、TOEIC L&Rテスト500点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテストまたは模擬テストにおいて500点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト500点突破コースを受講し、TOEIC L&Rテストまたは模擬テストで500点を得点できるように努力してください。



## 英語Ⅳ

更新日：2022/03/02 09:29:54

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL301		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540400
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

保健医療関連の学術文章や思弁の内容を含む文章を理解し、日本の諸事情を大まかに説明する技能を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	英語で書かれた保健医療関連の学術文章等を積極的に読み、理解する姿勢と態度を身に着けることができる。
2	保健医療関連の学術文章等や思弁の内容の英語を理解することができる。
3	まとまった量の英文、医療保健についての専門的文章を読むことができる。
4	日本における保健医療関連の諸事情を理解しやすく説明できる。

## 授業計画

1	<b>オリエンテーション と 1. "Making Connections": Health and Welfare in an Interconnected World</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：Chapter 1(p.1-p.5)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 1の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
2	<b>2. Welfare for the Elderly: News Challenges, New Ideas</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 2(p.6-p.10)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 2の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
3	<b>3. Allergies: Are We Getting Too Clean for Our Health?</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 3(p.11-p.15)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 3の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
4	<b>4. The STD Family: Time for a Refresher Course</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 4(p.16-p.20)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 4の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
5	<b>5. ADHD and ADD: Troublemakers? Or Children with Hope?</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 5(p.21-p.25)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 5の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
6	<b>6. Dementia and Alzheimer's Disease</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 6(p.26-p.30)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 6の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬
7	<b>7. Hospices and Palliative Care</b> 【授業方法】講義・演習(発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 7(p.31-p.35)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】60分：Chapter 7文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】高瀬

8	<b>8. Physical Therapists: Partners in Finding the Way Back to Health</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 8(p.36-p.40)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 8の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
9	<b>9. Overweight and Obesity: Our World's Eating Epidemic</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 9(p.41-p.45)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 9の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
10	<b>10. Genetic Testing and Technology: Designing Our Future?</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 10(p.46-p.50)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 10の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
11	<b>11. Child Abuse: A Cry for Welfare Reform</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 11(p.51-p.55)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 11の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
12	<b>12. Cosmetic Surgery and Health: The Gray Area between Medicine and Fashion</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 12(p.56-p.60)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 12の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
13	<b>13. Slow Food for a Fast World: Health and Welfare We Can Taste</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 13(p.61-p.65)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 13の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
14	<b>14. Taking the World's Temperature: Getting a Fever - or the Chills?</b> 【授業方法】 講義・演習 (発表・AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 14(p.66-p.70)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 14の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
15	<b>フィードバック</b> 【授業方法】 演習(発表)と15コマの授業のフィードバック 【予習】 60分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 【復習】 90分：英語IVで使用したテキストの既習部分を読み返し、病院・医療・人体と健康に関する諸問題を英文で表現したり、英語を使用して論じて、フィードバックを行う 【担当】 高瀬

## 先行履修科目

なし

## テキスト

Bruce Allen & Makoto Shishido : Making Connections. SEIBIDO. 2009  
および、担当者が配布するもの。

## 参考文献

鳥飼玖美子：国際共通語としての英語。講談社（現代新書），2011。  
中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい！－英語負け組からの華麗なる脱出法。筑摩書房（ちくま文庫），2008。

## 評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度 (e-learning等) 30%、課題レポート 40%

## 教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネーター、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

## メッセージ

本コースでは、さまざまな英文を通して英語を学び、TOEIC L&Rテスト600点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテストまたは模擬テストにおいて600点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト600点突破コースを受講し、TOEIC L&Rテストまたは模擬テストで600点を得点できるように努力してください。

## 看護・医療英語

更新日：2021/12/10 16:18:35

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	LGL401		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540500
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

国際的な現場で働く看護職者に必要なコミュニケーション技能を認識し、その習得に必要な学習スキルを獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	公的・技術的伝達と個人的・対人的伝達の違いが理解できる。
2	日本語において優位である伝達ストラテジーと英語におけるその違いが理解できる。
3	「異文化」による価値観の違いに起因する解釈のずれの可能性について理解できる。
4	速読の技術、音声化の技術、医療用語の知識を獲得し、使用することができる。
5	情報リテラシー (ICT)を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

## 授業計画

1	<b>Part 1: General Background Information Unit 1 The Human Body</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：テキスト(p6-p.9)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
2	<b>Part 1: General Background Information Unit 2 Nutrition and Fitness</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.10-p.13)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
3	<b>Part1: General Background Information Unit 3 Communicable Disease</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.14-p.17)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
4	<b>Part1: General Background Information Unit 4 Hygiene and Public Health</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.18-p.21)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
5	<b>Part1: General Background Information Unit 5 Reforming Japanese Healthcare Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.22-p.25)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
6	<b>Part1: General Background Information Unit 7 Dr.Kitasato and the Development of Medicine in Japan</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.26-p.29)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
7	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 8 The Medical Laboratory Technologist</b> 【授業方法】講義・演習 (AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.30-p.33)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬

8	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 9 Clinical Engineering</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.34-p.37)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
9	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 10 Radiological Technology</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.38-p.41)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
10	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 11 Physical Therapy</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.42-p.45)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
11	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 12 Working in Occupational Therapy</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.46-p.49)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
12	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 13 Speech-Language Therapy as a Vocation</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.50-p.53)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
13	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 14 Orthoptics and Visual Science</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.54-p.57)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
14	<b>Part II: Special Medical Technologists Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessar?</b> 【授業方法】講義・演習(AL)・グループワーク・プレゼンテーション 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.58-p.61)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬
15	<b>フィードバック</b> 【授業方法】講義・演習 (AL)と15コマの授業のフィードバック 【予習】90分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 授業で使用したテキストの既習部分を読み返し、病院・医療・人体と健康に関する英語の専門用語や表現を確認して、フィードバックを行う。 【復習】90分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬

## 先行履修科目

なし

## テキスト

高津昌宏 他, The Hospital Team English for Medical Specialists, 南雲堂, 2016

## 参考文献

高橋順一・渡辺文夫・大淵憲一：人間科学 研究法ハンドブック。ナカニシヤ出版, 1998。

小林隆児・西研（編）：人間科学におけるエヴィデンスとは何か。新曜社, 2015

斎藤兆史：英語達人列伝。中央公論社（中公新書），2000。

リチャードニスベット：木を見る西洋人森を見る東洋人。ダイヤモンド社, 2004。

Rita S. Bruase：Writing your Doctoral Dissertation. Falmer Press, New York, 2000。

## 評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度（e-learning等）40%、定期試験または課題レポート 30%

## 教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

## メッセージ

本コースでは、医療や看護に関する英文を通して医療関係の英語を学び、TOEIC L&Rテスト730点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できるように努力してください。

## 異文化間コミュニケーション

更新日：2022/03/02 09:23:53

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LGL106		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540600
担当教員	高瀬 文広						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

外国の大学生と合議する経験を通して、異文化に対する観察力および想像力ならびに自文化への内省および分析力を涵養する。併せて、英語学習の動機を高める。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	国際的文脈でコミュニケーションをする力を伸ばすための学習技能を活用することができる。
2	コミュニケーションにおける文化の役割と影響について知り、それに配慮するための行動を取ることができる。
3	複数の人々と協力して、「適切な発表の準備と実行」を行うことができる。
4	体験を内省し記録することを通じて、内省から新たな目標を認識する態度と能力を活用することができる。

## 授業計画

1	<p><b>研修準備1：目標および活動内容の確認と計画：文化・文明・コミュニケーションとは何かについて</b>  【授業方法】講義：オリエンテーション  【予習】本科目を受講して達成すべき個人の目的・目標を明確にする。  【復習】海外に出る上での基本的手続きと学習活動内容を確認し、必要な準備を認識する。これに基づいて、発表および交流活動の準備を始める。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>
2	<p><b>研修準備2：発表主題探索：コミュニケーションのリニアモデルについて</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】相手国の学生との活発な議論を誘発すると思われる話題や論点を考え、情報を収集して、主題案を構想する。  【復習】発表の主題を文章化する。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>
3	<p><b>研修準備3：主題および論点の決定：ほうれんそうとPDCAサイクル</b>  【授業方法】講義・演習・グループワーク・プレゼンテーション  【予習】主題を決定し、議論の展開を予測して構成を考える。  【復習】具体的な発表資料を作成する。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>
4	<p><b>研修準備4：発表案の検討：署名と印鑑</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション  【予習】発表案を他のグループに示し、相互にコメントする  【復習】コメントに基づいて修正する。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>
5	<p><b>研修準備5：発表・挨拶予行：西欧人の名前の起源</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション  【予習】予行で明らかになった問題に対し必要な修正を行う。  【復習】さらに練習を積む。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>
6	<p><b>研修活動1：開講式、挨拶、自己紹介など：自分を知る・右脳と左脳、心理学</b>  【授業方法】講義・演習・プレゼンテーション  【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表の練習をする。  【復習】印象、活動結果、所感を記録する。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>
7	<p><b>研修活動2：Session 1 A班、B班の発表およびQA：ジョハリの窓</b>  【授業方法】講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション  【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。  【復習】印象、活動結果、所感を記録する。  【取組時間】予習30分 復習1時間  【担当】高瀬</p>

8	<b>研修活動3：Session 1 C班、D班の発表およびQA：映画を利用した異文化理解</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
9	<b>研修活動4：Session 1 E班の発表およびQA相互評価：BAHABAHAによる異文化体験</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
10	<b>研修活動5：Session 2 A班、B班の発表およびQA：アメリカの映画にみられる日本人への偏見</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
11	<b>研修活動6：Session 2 C班、B班の発表およびQA：\$10プロジェクト①</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
12	<b>研修活動7：Session 2 E班の発表およびQA相互評価：\$10プロジェクト②</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
13	<b>研修活動8：閉校式、スピーチ 諸施設訪問でのインタビュー：DEBATEによる異文化体験①</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
14	<b>内省と記録：報告書作成計画、個人および共働活動の内省と執筆：DEBATEによる異文化体験②</b> 【授業方法】 講義・演習・ディスカッション・プレゼンテーション 【予習】 相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】 班および全体としての活動に関する内省を共有する。報告書の構成と編集方法を定める。班としての報告文の分担部分および個人としての報告文を作成する。 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬
15	<b>フィードバック（執筆原稿にもとづき、成果と理解が不十分な点を中心に説明する）とまとめ</b> 【授業方法】 演習とフィードバック 【予習】 相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】 授業の振り返り 【取組時間】 予習30分 復習1時間 【担当】 高瀬

## 先行履修科目

なし

## テキスト

テキストは指定しない。

## 参考文献

E. T. ホール：沈黙の言葉。南雲堂,1996年。  
リチャード・ルイス：文化が衝突するとき。南雲堂,1996年。  
井上逸兵：伝わるしくみと異文化間コミュニケーション。南雲堂,1999年。  
金子光茂、リチャード・H・シンプソン：英語脳の鍛え方。南雲堂,1996年。  
久米昭元・長谷川典子：ケースで学ぶ異文化コミュニケーション。有斐閣, 2007年。  
八代京子他：異文化トレーニング。三修社、2009年。

## 評価方法

授業への積極的参加（30%）  
国際交流への積極的参加とプレゼンテーション等の完成度（40%）  
レポートの完成度（30%）

## 教員等の実務経験

海外で開催される国際学会での発表、海外渡航などの多くの経験を持つ教員が講義をします。



## メッセージ

「国際的」であるとはどういうことなのか―国際的な視点と思考、国際的な精神、国際的な姿勢・態度などについて、概念化し、国際的な場での的確な行動がとれるようにすることを目指してください。海外もしくは国内の学生との交流を計画していますが、コロナ禍の影響でできない場合があります。

## フランス語Ⅰ

更新日：2022/01/31 21:58:53

開講年度	2022	学期	後期	シバスコド*	LGL107		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540700
担当教員	河野 敦子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

フランス語文法の基礎を学び、フランス語圏の文化に触れるとともに、簡単な文章を組み立てる能力を養うことができる。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
---	-------------------------------------

## 授業計画

1	<b>オリエンテーション：身近にあるフランス語</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：身近にあるフランス語を探してみましょう。 【復習】30分：alphabetをフランス語で言きましょう。
2	<b>0課：フランス語で足し算と引き算をしてみましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：0課 【復習】30分：0～100までの数字をフランス語で言きましょう。
3	<b>1課：フランス語で挨拶しましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：1課 【復習】30分：フランス語の挨拶を覚えましょう。
4	<b>2課：パンを買きましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：2課 【復習】30分：毎日使う不規則動詞 être を覚えましょう。
5	<b>3課：国籍を伝えましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：3課 【復習】30分：疑問文の作り方と答え方を確認しましょう。
6	<b>3課：今日授業があるか尋ねましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：3課 【復習】30分：毎日使う不規則動詞 avoir を覚えましょう。
7	<b>3課：出身都市や今いる場所、体調を伝えましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：3課 【復習】30分：être と avoir の使える表現を身につけましょう。
8	<b>4課：話せる言葉を確認しましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：4課 【復習】30分：フランス語の動詞の中で最多の第1群規則動詞 -er動詞を覚えましょう。
9	<b>4課：好きなものを言きましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：4課 【復習】30分：不定冠詞・部分冠詞・定冠詞を区別しましょう。
10	<b>5課：市場で食べたいものを買きましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：5課 【復習】30分：数量表現をたくさん身につけましょう。
11	<b>6課：どちらか好きなホテルを選びましょう。</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：6課 【復習】30分：2番目に数の多い第2群規則動詞 -ir動詞を覚えましょう。

12	6課：家族を紹介しましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：6課 【復習】30分：形容詞と指示形容詞・所有形容詞を使いこなしましょう。
13	まとめ：筆記試験と口述試験の準備 【授業方法】演習 【予習】60分：0課～6課 【復習】30分：フランス語でどんなことが言えるようになったか確認しましょう。
14	口述試験：自己紹介 【授業方法】演習 【予習】60分：口述試験の準備 【復習】30分：自己紹介できるようになりましょう。
15	これまでのまとめとフィードバック：1課から6課までの復習 【授業方法】演習 【予習】60分：1課から6課までの復習 【復習】30分：フランス語の基本を身につけましょう。

## 先行履修科目

なし

## テキスト

有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子 著：なびふらんせ1ーパリをめぐるー, 朝日出版社, 2016年

## 参考文献

中條屋進, 丸山義博, ガブリエル・メランベルジェ, 吉川一義 編：ディコ仏和辞典 (新装版), 白水社, 2016年

## 評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。

筆記試験40% + 口述試験20% + ミニ・テスト20% + レポート20% = 100%

筆記試験は定期試験で行う学習内容の100点満点の試験から40% (最高40点)。

口述試験は14回目の授業中に行うフランス語による自己紹介 (最高20点)。

ミニ・テストは毎回の授業で身につけたフランス語の確認 (最高20点)。

レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献(書名・著者名・出版社名・発行年など)を明記し、結論を作成し、11月30日水曜12時(正午)までに提出することで20点。

## 教員等の実務経験

## メッセージ

### 講義概要

テキスト『なびふらんせ1ーパリをめぐるー』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真を見ながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するように努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語が使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。このテキストはフランス語学習サポート教材Web<なびふらんせ1>を利用することができ、授業内容に沿って学習内容を振り返りながらゲームをするように語学学習を進めて行くことができるようになっています。フランス語Iではテキスト前半6課まで進みます。

### 受講上の留意点

『ル・ディコ』などの仏和辞典を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。

6月と11月に行われる仏検で5級・4級合格を目指し、1年後にフランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

## フランス語Ⅱ

更新日：2022/01/31 22:08:26

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL202		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540800
担当教員	河野 敦子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

フランス語文法の基礎を踏まえ、簡単なフランス語会話技能を身につけ、フランス語圏の人々と交流できるようになる。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
---	-------------------------------------

## 授業計画

1	オリエンテーション：口述試験の準備 【授業方法】演習 【予習】60分：フランス語Ⅰで学んだことの復習 【復習】30分：フランス語の作品を何度も声に出して読みましょう。
2	7課：どこに行くのか伝えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：7課 【復習】30分：必ず使う動詞 aller と venir を使いこなしましょう。
3	8課：どこで何を食べるのか相談しましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：8課 【復習】30分：便利な動詞 prendre を身につけましょう。
4	8課：フランスに出発する日を言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：8課 【復習】30分：日付を言えるようにしましょう。
5	9課：今日のパリの天気を教えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：9課 【復習】30分：天気の状態を身につけましょう。
6	9課：今の正確な時間を教えましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：9課 【復習】30分：時間の表現を身につけましょう。
7	10課：旅行で使える表現を使いこなしましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：10課 【復習】30分：便利な動詞を使いこなしましょう。
8	10課：デパートで服を買いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：10課 【復習】30分：欲しい色や素材などを伝えることができるようになりましょう。
9	10課：1番おいしい葡萄酒を探しましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：10課 【復習】30分：比較の表現を身につけましょう。
10	11課：1日にすることを言いましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：11課 【復習】30分：フランス人が毎日使う動詞を覚えましょう。
11	11課：道案内をしましょう。 【授業方法】演習 【予習】60分：11課 【復習】30分：場所の表現を身につけましょう。

12	1 2 課：昨日したことを言いましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：1 2 課 【復習】 30分：過去のことを言えるようにしましょう。
13	1 2 課：レストランで食事をしましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：1 2 課 【復習】 30分：コース料理を注文しましょう。
14	口述試験：フランス語の作品を暗誦しましょう。 【授業方法】 演習 【予習】 60分：口述試験の準備 【復習】 30分：美しいフランス語を身につけましょう。
15	これまでのまとめとフィードバック：7 課から 1 2 課までの復習 【授業方法】 演習 【予習】 60分：7 課から 1 2 課までの復習 【復習】 30分：フランス語で言えるようになったことを確認しましょう。

## 先行履修科目

なし

## テキスト

有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子 著：なびふらんせ 1ーパリをめぐるー, 朝日出版社, 2016年

## 参考文献

中條屋進, 丸山義博, ガブリエル・メランベルジェ, 吉川一義 編：ディコ仏和辞典 (新装版), 白水社, 2016年

## 評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。

筆記試験 40% + 口述試験 20% + ミニ・テスト 20% + レポート 20% = 100%

筆記試験は定期試験で行う学習内容の100点満点の試験から40% (最高40点)。

口述試験は14回目の授業中に行うフランス語の作品の暗誦 (最高20点)。

ミニ・テストは毎回の授業で身につけたフランス語の確認 (最高20点)。

レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献(書名・著者名・出版社名・発行年など)を明記し、結論を作成し、6月1日水曜12時(正午)までに提出することで20点。

## 教員等の実務経験

## メッセージ

### 講義概要

テキスト『なびふらんせ 1ーパリをめぐるー』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真を見ながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するように努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語が使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。このテキストはフランス語学習サポート教材 Web <なびふらんせ 1> を利用することができ、授業内容に沿って学習内容を振り返りながらゲームをするように語学学習を進めて行くことができるようになっています。フランス語 II ではテキスト後半 7 課から進みます。

### 受講上の留意点

『ル・ディコ』などの仏和辞典を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。

6月と11月に行われる仏検で5級・4級合格を目指し、1年後にフランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

## スペイン語Ⅰ

更新日：2022/03/01 16:00:25

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	LGL108		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	540900
担当教員	アルフレッド アンドレー						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

スペイン語圏の文化に触れ国際的コミュニケーションを高めるとともに、スペイン語の基礎を学び簡単な文章を組み立てる能力を養う。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	スペイン語圏の国々の文化と習慣に親しむことができる
2	スペイン語発音と初歩文法を習得することができる
3	簡単な文章を組み立てて、日常のやり取りをスペイン語でできる

## 授業計画

1	導入、自己紹介、アルファベットと発音Ⅰ、国と国籍Ⅰ、数詞Ⅰ 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：アルファベットと自己紹介（1-3頁） 【担当】アルフレッド
2	発音Ⅱ、国籍Ⅱ（男性・女性形、複数形）、挨拶、主格人称代名詞、 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：発音（1-3頁）と国籍（17頁下） 【担当】アルフレッド
3	名詞Ⅰ：周りのもの、名詞と不定冠詞の単数形、数詞Ⅱ 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：プリント、クラスノート 【担当】アルフレッド
4	名詞Ⅱ：ものの位置、名詞と定冠詞の複数形、動詞“ser”と動詞“estar” 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：クラスノート、テキスト42-43頁 【担当】アルフレッド
5	気持ちや状態を表す形容詞、全体疑問文と部分疑問文、基本の接続詞 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト65頁（上）、クラスノート 【担当】アルフレッド
6	直説法現在 規則動詞、-AR動詞に基づいた会話、家族 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト25-26頁、クラスノート 【担当】アルフレッド
7	-ER動詞に基づいた会話、疑問詞、所有詞Ⅰ 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト25-26頁、34頁、クラスノート 【担当】アルフレッド
8	-AR・-ER動詞のまとめ、天気の実現 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト25-26頁、73頁 【担当】アルフレッド
9	-IR動詞に基づいた会話、数詞Ⅲ 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト25-26頁、49頁 【担当】アルフレッド
10	動詞“estar”と“hay”、指示代名詞Ⅰ、場所を表す名詞と副詞 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト42-43頁 【担当】アルフレッド
11	動詞“ser”と“estar”、形容詞、指示代名詞Ⅱ 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト17頁、41-42頁 【担当】アルフレッド

12	<b>好み、間接目的語の人称代名詞</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 合計100分（50分+50分）：テキスト65-68頁 【担当】 アルフレッド
13	<b>総復習</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 合計100分（50分+50分）：クラスノート、プリント 【担当】 アルフレッド
14	<b>期末試験</b> 【授業方法】 演習 【担当】 アルフレッド
15	<b>定期試験のフィードバック</b> 【授業方法】 演習 【予習】 40分：事前に理解不十分な箇所を学習しておく 【担当】 アルフレッド

## 先行履修科目

なし

## テキスト

辻博子、野村明衣：彩（いろど）リスペイン語、朝日出版社、2021.  
アルフレッドオリジナル教材のカードやプリント

## 参考文献

宮城昇・山田善郎 監修：現代スペイン語辞典、白水社、1999.  
高橋覚二他：¿ケ・テ・パサ？ 初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に、朝日出版社、2009.

## 評価方法

期末試験（50%）、宿題・レッスン積極的参加（50%）

## 教員等の実務経験

## メッセージ

## スペイン語Ⅱ

更新日：2022/03/08 10:55:17

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL203		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541000
担当教員	アルフレッド アンドレー						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

## 授業の目的

スペイン語文法の基礎を踏まえ、簡単なスペイン語会話技能を身につけ、スペイン語圏の人々と交流できるようになる。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	使用単語を増やして、辞書を引きながら、スペイン語文が読めるようになる。
2	スペイン語圏の文化について調べ、スペイン語で簡単な紹介をすることができるようになる。
3	一つのテーマについてスペイン語文を組み立てて、短い発表ができるようになる。

## 授業計画

1	導入、1年次の復習（自己紹介・挨拶・基本会話） 【授業方法】演習 【復習】合計100分（50分+50分）：自己紹介（1頁）、プリント 【担当】アルフレッド
2	職業と国籍、スペイン語で計算（数詞） 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：職業（9頁）、国籍（17頁） 【担当】アルフレッド
3	数えられる・数えられない名詞に基づいた会話 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：プリント 【担当】アルフレッド
4	場所の前置詞と副詞、天気と気候 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：場所の前置詞（41頁）、天気と気候（73頁） 【担当】アルフレッド
5	規則動詞、時間の副詞と副詞句、 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：規則動詞、時間の表現（25頁） 【担当】アルフレッド
6	規則動詞Ⅱ、食べ物、飲み物、時間の表し方、疑問詞 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：時間の表現（25-26頁）疑問詞（27頁） 【担当】アルフレッド
7	家族と人間関係、日常生活についての会話、動詞"tener" 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：プリント、テキスト65頁 【担当】アルフレッド
8	お店、動詞"estar", "ser", "hay"に基づいた会話、形容詞 【授業方法】演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト41-45頁 【担当】アルフレッド
9	動詞"gustar"の使い方、間接目的格人称代名詞 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト65-68頁 【担当】アルフレッド
10	直接法現在 不規則動詞Ⅰの活用と会話 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト49-50頁 【担当】アルフレッド
11	直接法現在 不規則動詞Ⅱの活用と会話 【授業方法】講義・演習 【復習】合計100分（50分+50分）：テキスト57-58頁 【担当】アルフレッド



12	<b>直接目的格人称代名詞、不規則動詞IIIの活用と会話</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 合計100分（50分+50分）：テキスト51頁 【担当】 アルフレッド
13	<b>再帰動詞</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 合計100分（50分+50分）：テキスト81頁 【担当】 アルフレッド
14	<b>これまでの総復習による試験</b> 【授業方法】 演習 【復習】 60分：1～13回 【担当】 アルフレッド
15	<b>定期試験のフィードバック</b> 【授業方法】 演習 【予習】 50分：事前に理解不十分な箇所を学習しておく 【担当】 アルフレッド

### 先行履修科目

なし

### テキスト

辻博子、野村明衣：彩（いろど）りスペイン語、朝日出版社、2021.  
アルフレッドオリジナル教材のカードやプリント

### 参考文献

宮城昇・山田善郎 監修：現代スペイン語辞典、白水社、1999.  
高橋覚二他：¿ケ・テ・パサ？ 初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に、朝日出版社、2009.

### 評価方法

期末試験（50%）、宿題・レッスン積極的参加（50%）

### 教員等の実務経験

### メッセージ

## 韓国語Ⅰ

更新日：2022/01/13 23:29:28

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LGL109		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541100
担当教員	張 慧珍						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

韓国語文法の基礎を学び、朝鮮半島の現代文化に触れるとともに、簡単な文章を組み立てる能力を養う。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	コミュニケーション能力の向上及び韓国文化への理解を深めることができる。
2	「ハングル」の構造について理解できる。
3	「ハングル」の日本語表記（名前・地名など）ができる。
4	簡単な挨拶表現ができる。

## 授業計画

1	韓国語について①と挨拶表現 【授業方法】講義 【復習】90分：ハングルとは 【担当】張
2	基本母音と合成母音（1） 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 【担当】張
3	基本子音と合成子音 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 【担当】張
4	合成母音（2）と文字の構造 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 【担当】張
5	パッチム（받침） 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 パッチム表 【担当】張
6	発音のコツ 【授業方法】講義 【復習】90分：連音化・濃音化・激音化・有声音化・口蓋音化 【担当】張
7	日本語のハングル表記について 【授業方法】講義 【復習】90分：カナダラ表 ハングル表記表 【担当】張
8	私は～です。① 【授業方法】講義 【復習】90分：～は、～です。～ます 【担当】張
9	私は～です。②「かしこまった丁寧形」の作り方 【授業方法】講義 【復習】90分：～です。～ます。 【担当】張
10	私は～です。③自己紹介 【授業方法】講義 【復習】90分：挨拶表現と自己紹介の会話練習 【担当】張

11	<p>私は～ではありません。①</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】90分：～が、「～です。～ます」のかしこまった表現</p> <p>【担当】張</p>
12	<p>私は～ではありません。②</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】90分：～を、「～です。～ます」のかしこまった表現</p> <p>【担当】張</p>
13	<p>約束があります。①</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】90分：～に ～も ～があります。/ありません。</p> <p>【担当】張</p>
14	<p>約束があります。②</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】90分：～と ～があります/ありません。、位置関係語彙</p> <p>【担当】張</p>
15	<p>これまでのまとめとフィードバック</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】90分：「～です。～ます」のかしこまった表現</p> <p>～に ～も ～があります。/ありません。</p> <p>位置関係語彙</p> <p>【担当】張</p>

### 先行履修科目

なし

### テキスト

2021年度後期は毎回の授業の際、プリントをお配りします。

### 参考文献

民衆書林編集局：NEWポータブル日韓・韓日辞典。三修社，2003。

### 評価方法

授業参加度（20％）・課題ワークシート（20％）・定期試験（60％）

### 教員等の実務経験

大学において長年韓国語教育に携ってきた経験を生かし、実践的な韓国文化及びハングルを楽しく見につける講義を行います。

### メッセージ

毎回、積極的に講義に臨めるよう心かけましょう。

## 韓国語Ⅱ

更新日：2022/03/08 10:56:13

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL204		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541200
担当教員	張 慧珍						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

韓国語文法の基礎を踏まえ、簡単な韓国語会話技能を身につけ、韓国の大学生と交流できるようになる。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	外国語能力の向上及び韓国文化への理解とともに国際化におけるコミュニケーションの応用ができる。
2	正確な発音と文法を学び語彙を増やすことができる。
3	簡単な挨拶表現ができる。
4	韓国旅行会話を楽しく覚えることができる

## 授業計画

1	<b>韓国語Ⅱの授業案内及び韓国語Ⅰの復習①</b> 【授業方法】講義 【お知らせ】45分－課題・小テスト・定期試験及びフィードバックについて 【復習】45分 韓国語Ⅰ（挨拶表現及びハングルの構造について） 【担当】張
2	<b>韓国語Ⅰの復習②</b> 【授業方法】講義 資料 「子音・母音・パッチム」 「かしこまった丁寧形の作り方」「打ち解けた丁寧形の作り方」 【予習】45分（私は～です。時間ありますか。） 【復習】45分「かしこまった丁寧形の作り方」「打ち解けた丁寧形の作り方」のフィードバック 【担当】張
3	<b>会社員ではありません。①</b> 【授業方法】講義 否定形の作り方（後置き否定文と前置否定文）A・V・N 【予習】45分 否定文 指示代名詞（これーそれーあれーどれ） 【復習】45分（私は～です。ガールフレンドがいますか。） 【担当】張
4	<b>会社員ではありません。②</b> 【授業方法】講義 疑問詞「何・どこ・いつく・誰」・職業名 【予習】45分「～해요」形の過去形と一日の日課の言葉の使い方 【復習】45分（課題・品詞ことの否定文 指示代名詞（これーそれーあれーどれ）とフィードバック） 【担当】張
5	<b>数字の読み方（固有数詞①）</b> 【授業方法】講義 固有数詞の読み方と使い方 【予習】45分（職業と趣味に関する語彙を覚えましょう。） 【復習】45分「～해요」形の過去形と一日の日課の言葉の使い方 【担当】張
6	<b>数字の読み方（漢字数詞②）</b> 【授業方法】講義 漢字数詞の読み方と使い方 「電話番号・お金の勘定・時計の読み方」 【予習】45分（固有数詞の読み方と使い方） 【復習】45分（課題・小テストとフィードバック） 【担当】張

7	<p><b>年月日・曜日・祝日の言い方について</b>  【授業方法】講義  自分の日課を紹介してみましょう。  【予習】45分（日常生活のパターンを書いてみましょう。）  【復習】45分（課題・「電話番号・お金の勘定・時計の読み方」）  （小テストとフィードバック）  【担当】張</p>
8	<p><b>打ち解けた丁寧形の作り方①</b>  【授業方法】講義  会話体の打ち解けた丁寧形を覚えましょう。  【予習】45分（「電話番号・お金の勘定・時計の読み方」）  【復習】45分（課題・テストフィードバック）  【担当】張</p>
9	<p><b>打ち解けた丁寧形の過去形の作り方②</b>  【授業方法】講義  会話体の打ち解けた丁寧形の過去形を覚えましょう。  位置関係を覚えましょう。  【予習】45分（「～해요形の現在形の過去形」・位置関係ことば）  【復習】45分（会話練習及び小テストのフィードバック）  【担当】張</p>
10	<p><b>何が好きですか。</b>  【授業方法】講義  ～好きですか。～いいです。  【予習】45分（～好きですか을/를 좋아해요.～いいです. 이/가 좋아요. ）  【復習】45分（課題・打ち解けた丁寧形の過去形の作り方）  （小テストフィードバック）  【担当】張</p>
11	<p><b>～できます。～上手です。～下手です。～たい</b>  【授業方法】講義  可能形・得意・不得意の言い方  【予習】45分（～できます。～上手です。～下手です。～たい）  【復習】45分（～好きですか을/를 좋아해요.～いいです. 이/가 좋아요. ）  （課題・小テストフィードバック）  【担当】張</p>
12	<p><b>変則用言を覚えましょう。「ㄹ」 「ㅂ」 「ㄷ」</b>  【授業方法】講義  変則用言の作り方を覚えましょう。AV  【予習】45分（変則用言を覚えましょう。「ㄹ」 「ㅂ」 「ㄷ」）  【復習】45分（可能形・得意・不得意・希望の言い方）  （課題・小テストフィードバック）  【担当】張</p>
13	<p><b>尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」</b>  【授業方法】講義  尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」  特別な尊敬語を覚えましょう。  【予習】45分（尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」）  【復習】45分（変則用言を覚えましょう。「ㄹ」 「ㅂ」 「ㄷ」）  （課題・小テストフィードバック）  【担当】張</p>
14	<p><b>韓国の文化Ⅰ・Ⅱ</b>  【授業方法】講義  韓国語文化－文化の相違点・類似点について考えてみましょう。  【予習】45分  【復習】45分（グループワークの後、発表）  【担当】張</p>
15	<p><b>韓国の文化Ⅱ・韓国語会話練習・全体フィードバック</b>  【授業方法】講義  韓国語文化－文化の相違点・類似点について考えてみましょう。  【予習】90分  【会話練習】人体用語・看板・メニュー表などを当てながら  会話練習を行います。  【担当】張</p>

### 先行履修科目

なし

### テキスト

毎回の授業の際、授業資料をお配りします。

### 参考文献

民衆書林編集局：NEWポータブル日韓・韓日辞典。三修社，2003。

## 評価方法

課題ワークシート (20%) ・小テスト (20%) ・レポート (60%)

## 教員等の実務経験

大学において長年韓国語教育に携ってきた経験を生かし、実践的な韓国文化及びハングルを楽しく見につける講義を行います。

## メッセージ

毎回の授を受けながらご自分で進んで学習して下さい。

なお、授業課題ワークシートと小テストは必ずご提出して下さい。

授業課題ワークシートのご提出する際には授業日時と課題目及び学籍番号、お名前のご記入上PDFファイル化してご提出下さい。なお、小テストにつきましてはフォームに答えてそのまま送信して下さい。

提出期限が設定されておりますので、期限厳守をお願いいたします。

## 赤十字概論

更新日：2022/02/10 08:40:20

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL102		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	541300
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

赤十字の理念・歴史・活動を人道科学の確立と実践という視点から理解し、国際的視野から今後の課題と展望について理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

## 到達目標

1	赤十字の理念および活動の基本原則を説明できる。
2	国際赤十字および日本赤十字社の成り立ち・使命を説明できる。
3	世界各地で起こっている人道的危機と赤十字の活動について説明できる。
4	赤十字の活動の限界と可能性を考察できる。

## 授業計画

1	<b>赤十字思想の誕生とその背景</b> 【授業内容】赤十字誕生までの歴史的背景-アンリ・デュナンの生涯と赤十字 【授業方法】講義 【復習】30分：アンリ・デュナンが赤十字創設に至った経緯をまとめる 【担当】小川、宇都宮
2	<b>赤十字の理念について（1）</b> 【授業内容】赤十字の理念「人道」の意味について 【授業方法】講義 【予習】30分：赤十字の理念・人道の意味を調べる 【担当】小川、宇都宮
3	<b>赤十字の理念について（2）</b> 【授業内容】赤十字の理念「人道」の意味について 【授業方法】講義 【復習】30分：人道の意味を考える 【担当】小川、宇都宮
4	<b>赤十字の理念について（3）</b> 【授業内容】赤十字の理念「人道」の意味について 【授業方法】講義 【復習】30分：人道の意味を考える 【担当】小川、宇都宮
5	<b>人道について（1）グループワーク</b> 【授業内容】人道についてグループで考える。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】30分：人道とは何か、自分の考えをまとめる。 【担当】小川、宇都宮
6	<b>人道について（2）プレゼンテーション</b> 【授業内容】人道についてグループで考え、発表する。 【授業方法】演習（発表） 【復習】30分：人道とは何か、グループワーク内容をまとめる。 【担当】小川、宇都宮
7	<b>赤十字の基本原則</b> 【授業内容】赤十字の基本原則について 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字の基本原則についてまとめる。 【担当】小川
8	<b>国際人道法について</b> 【授業内容】国際人道法とは何か 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際人道法についてまとめる 【担当】小川

9	<b>国際赤十字のしくみ</b> 【授業内容】 国際赤十字の組織とその役割について 【授業方法】 講義 【復習】 30分：講義内容から国際赤十字の組織とその役割をまとめる 【担当】 小川
10	<b>赤十字の国際活動（赤十字国際委員会）</b> 【授業内容】 赤十字国際委員会の活動について 【授業方法】 講義 【復習】 30分：赤十字国際委員会の活動について調べる 【担当】 小川
11	<b>赤十字の国際活動（国際赤十字・赤新月社）</b> 【授業内容】 国際赤十字・赤新月社の役割と活動について 【授業方法】 講義 【復習】 30分：国際赤十字・赤新月社の活動について調べる 【担当】 小川
12	<b>日本赤十字社の成り立ちと歴史、活動について</b> 【授業内容】 日本赤十字社の成り立ちと歴史的背景、活動について 【授業方法】 講義 【復習】 30分：日本赤十字社創立の経緯や活動をまとめる 【担当】 宇都宮
13	<b>赤十字活動「血液センターの実際」について</b> 【授業内容】 血液事業について 【授業方法】 講義 【予習】 30分：献血・血液センターの仕組みを調べ、まとめる。 【担当】 小川、宇都宮 ゲストスピーカー：九州ブロック血液センター 担当者
14	<b>赤十字活動について グループワーク</b> 【授業内容】 赤十字活動についてグループワークで深める。 【授業方法】 演習（グループワーク） 【復習】 30分：グループで取り上げた赤十字の活動について、理念や原則との関連、活動の意義や課題についてグループや自分の意見をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
15	<b>赤十字活動について 発表（プレゼンテーション）とフィードバック</b> 【授業内容】 グループ発表しフィードバックをもらう。 【授業方法】 演習（発表） 【復習】 30分：講義全般をふまえ、赤十字の理念、原則、赤十字の活動について復習する。 【担当】 小川、宇都宮

## 先行履修科目

なし

## テキスト

特に指定しない

## 参考文献

日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和4年度版．日本赤十字社，2022．  
アンリ・デュナン著，木内利三郎訳：ソルフェリーノの思い出．日赤出版普及会，1969．  
ジャン・ピクテ著，井上益太郎訳：赤十字の諸原則．日本赤十字社，1958．  
ジャン・ピクテ著，井上忠男訳：解説赤十字の基本原則—人道機関の理念と行動規範．東信堂，2006．  
吉川龍子：日赤の創始者佐野常民．吉川弘文館，2001．  
この他、授業中に適宜紹介する。

## 評価方法

授業への参加度10%、プレゼンテーション40%、課題レポート50%を総合して評価する。

## 教員等の実務経験

赤十字の教育機関で学び赤十字病院で勤務しながら赤十字国際委員会で国際救援活動をしていた教員が、その経験をふまえ赤十字について講義・演習を担当します。

## メッセージ

九州は、日本赤十字社創立に縁の深いところです。本学で看護を学ぶ学生として、創立に寄与した人々が生きた時代や思いに触れ、自分の目指すべき方向を考える力を養ってください。



## 赤十字活動Ⅰ

更新日：2022/02/08 09:44:54

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LGL103		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541400
担当教員	宇都宮 真由子, 伊藤 明子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

赤十字の理念に基づく活動を見学し、社会における赤十字の活動意義・役割を理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

## 到達目標

1	各学習課題を理解し、積極的に参加できる。
2	計画書の作成、講座の運営ができる。
3	グループワークや講座の成果をまとめ、発表できる。
4	発表会での意見交換や文献を活用して「社会における赤十字活動意義と役割」について考察できる。

## 授業計画

1	<p><b>オリエンテーション、赤十字の活動について</b>  【授業内容】赤十字活動を概観し、演習の方向性を示す。  【授業方法】講義  【予習】30分：赤十字とは何かを調べておく。  【担当】宇都宮・伊藤</p>
2	<p><b>赤十字の活動について①グループワーク</b>  【授業内容】  どのような活動が行われているかを調べ、まとめ、発表の準備を行う。  【授業方法】演習 グループワーク  【予習】30分：興味・関心を持っている赤十字活動について調べておく  【担当】宇都宮・伊藤</p>
3	<p><b>赤十字の活動について②グループワーク</b>  【授業内容】  どのような活動が行われているかを調べ、まとめ、発表の準備を行う。  【授業方法】演習（グループワーク：GW）  【予習】30分：自分の明らかにしたい課題を整理しておく。  【担当】宇都宮・伊藤</p>
4	<p><b>赤十字の活動について①プレゼンテーション</b>  【授業内容】赤十字の活動について①  グループワーク成果発表  【授業方法】演習（プレゼンテーション）  【予習】30分：発表の準備を行う。  【担当】宇都宮・伊藤</p>
5	<p><b>赤十字の活動について②プレゼンテーション</b>  【授業内容】赤十字の活動について②  グループワーク成果発表  【授業方法】演習（プレゼンテーション）  【予習】30分：まとめたことを整理しておく。  【担当】宇都宮・小川</p>
6	<p><b>計画書の作成①グループワーク</b>  【授業内容】  1) グループで明らかにしたい課題を明確にする。  2) 当日講座を運営できるように計画書を作成・調整する。  【授業方法】演習（グループワーク）  【予習】60分：発表内容を振り返り、自分の明らかにしたい課題を明確にしておく。  【担当】宇都宮・伊藤</p>
7	<p><b>計画書の作成②グループワーク</b>  【授業内容】  1) グループで明らかにしたい課題を明確にする。  2) 当日講座を運営できるように計画書を作成・調整する。  【授業方法】演習（グループワーク）  【予習】60分：発表内容を振り返り、自分の明らかにしたい課題を明確にしておく。  【担当】宇都宮・伊藤</p>

8	<p><b>計画書の作成③グループワーク</b> 【授業内容】 1) グループで取り組み課題、自分があきらかにしたい課題を明確にする。 2) 当日講座を運営できるように計画書を作成・調整する。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】60分：発表内容を振り返り、自分の明らかにしたい課題を明確しておく。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
9	<p><b>講座を開催する①</b> 【授業内容】 1) 講座開催チーム：講座を計画書に沿い、運営する。 2) 講座開催しないチーム：開催の準備をする。  【授業方法】演習 【予習】60分：開催の準備をする。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
10	<p><b>講座を開催する②</b> 【授業内容】 1) 講座開催チーム：講座を計画書に沿い、運営する。 2) 講座開催しないチーム：運営した内容を振り返り、まとめる。  【授業方法】演習 【予習】60分：開催の準備をする。 【復習】講座について、振り返りをしまとめる。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
11	<p><b>講座の学びをまとめる①グループワーク</b> 【授業内容】講座で学んだことをグループでまとめ、発表準備を行う。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】60分：講座を振り返り、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
12	<p><b>講座の学びをまとめる②グループワーク</b> 【授業内容】講座で学んだことをグループでまとめ、発表準備を行う。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】60分：講座を振り返り、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
13	<p><b>講座での学びについて①プレゼンテーション</b> 【授業内容】グループでまとめたことを発表する。 【授業方法】演習（プレゼンテーション） 【予習】30分：発表の準備を行う。 【復習】60分：レポートにつなげられるように、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
14	<p><b>講座での学びについて②プレゼンテーション</b> 【授業内容】グループでまとめたことを発表する。 【授業方法】演習（プレゼンテーション） 【予習】30分：発表の準備を行う。 【復習】60分：レポートにつなげられるように、自分の考えをまとめる。 【担当】宇都宮・伊藤</p>
15	<p><b>フィードバック、まとめ</b> 【授業内容】まとめ、フィードバックを行う。 【授業方法】講義 【予習】60分：発表後の質疑・応答を整理しておく。 文献を利用し、課題レポートをまとめる。 【担当】宇都宮・伊藤</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

特に指定しない。

## 参考文献

「赤十字概論」で配布した資料  
日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和3年度版。日本赤十字社，2021。  
授業中に適宜紹介する。

## 評価方法

授業への参加度30% 提出物（計画書・フィールドワークでの記録・発表資料）30%  
課題レポート40%

## 教員等の実務経験

赤十字教育機関で学び、または赤十字病院に勤務していた教員が、その経験をふまえ赤十字について講義・演習を担当します。

## メッセージ

赤十字に関する理解を深めることは、看護師として基盤となる人間力を高めることにつながります。興味・関心を持っている赤十字活動について調べ、活動の場を知ることで、脈々と続く赤十字の精神とは何か、さらに理解を深めてみませんか。

## 赤十字活動Ⅱ

更新日：2022/02/10 09:16:07

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	LGL304		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541500
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

赤十字の理念に基づく活動を企画・実践し、社会における赤十字の活動意義・役割を考察する。

## 本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

## 到達目標

1	グローバル社会が直面する人道危機および健康課題とその要因を説明できる。
2	グローバル社会が直面する人道危機や健康課題への取り組みについて、国・地域・分野を超えて説明することができる。
3	人々の生命・健康・生活を守るために赤十字および看護が果たす役割について考察できる。

## 授業計画

1	<b>研修の準備活動</b> 【授業内容】コースガイダンス、事前学習 【授業方法】講義 【予習】30分：研修訪問地域、訪問施設、研修活動の概要を考える 【復習】60分：研修訪問地域や施設について調べる（統計指標、活動概要など） 【担当】小川、宇都宮
2	<b>研修テーマに関する議論（1）</b> 【授業内容】研修テーマについて、国や地域の実情や課題について討議する 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】120分：日本の歴史、政治・経済・文化、災害、保健医療等について調べる 【復習】120分：討議結果をふまえ、グローバル社会が直面する災害について調べる 【担当】小川、宇都宮
3	<b>研修テーマに関する議論（2）</b> 【授業内容】（1）での議論をふまえ、課題解決に向けた取り組みについて討議する 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】120分：災害と看護について、英語で討議できるよう学習する 【復習】120分：日本から世界に発信できる災害への取り組みについて考える 【担当】小川、宇都宮
4	<b>研修施設訪問</b> 【授業内容】赤十字施設の訪問 【授業方法】演習（GW） 【予習】120分：災害と赤十字の活動について、英語で説明できるように準備する 【復習】120分：災害時の赤十字の対応と課題について考える 【担当】小川、宇都宮
5	<b>研修訪問地区の地区踏査（1）</b> 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習（フィールドワーク） 【予習】120分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】120分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川、宇都宮
6	<b>研修訪問地区の地区踏査（2）</b> 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習（フィールドワーク） 【予習】120分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】120分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川、宇都宮
7	<b>現地研修①</b> 【授業内容】現地調査① 【授業方法】演習（フィールドワーク） 【予習】90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】120分：調査の結果をまとめる 【担当】小川、宇都宮

8	<b>現地研修②</b> 【授業内容】 現地調査② 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査の結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
9	<b>現地研修③</b> 【授業内容】 現地調査③ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
10	<b>現地研修④</b> 【授業内容】 現地調査④ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
11	<b>現地研修⑤</b> 【授業内容】 現地調査⑤ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
12	<b>現地研修⑥</b> 【授業内容】 現地調査⑥ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 90分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 120分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、宇都宮
13	<b>研修の振り返り（1）</b> 【授業内容】 研修での学びと課題について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 90分：研修での学びを整理する 【復習】 120分：グループワークでの話し合いを英語でまとめる 【担当】 小川、宇都宮
14	<b>研修の振り返り（2）</b> 【授業内容】 研修での学びをふまえ、災害がもたらす人道危機や健康課題について考え、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 90分：発表資料の準備（英語） 【復習】 120分：グループワークでの話し合いについて、英語でまとめる 【担当】 小川、宇都宮
15	<b>研修成果の発表/フィードバック</b> 【授業内容】 研修成果を発表し、災害に備えるために、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（発表、討議） 【予習】 90分：発表資料の準備（英語） 【復習】 120分：発表をふまえ、レポートを作成する 【担当】 小川、宇都宮

## 先行履修科目

なし

## テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

## 参考文献

「赤十字活動Ⅰ」「国際保健・看護Ⅰ」、「災害と看護」に挙げている文献や資料には必ず目を通す。対象地域に関連する文献を読む。

## 評価方法

事前学習30% 研修への参加度（発表を含む）30% レポート40%

## 教員等の実務経験

国内外において、赤十字の救援活動に従事していた教員が、講義・演習を担当します。

## メッセージ

本科目は、国際看護コースの選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ、Ⅲ」の単位を修得していることが望ましいです。

グローバル社会が直面する「災害」に着目し、国際交流協定校の学生とともに分野を超えて、人々の生命、尊厳、健康、生活を守るために私たちがすべきこと、そして赤十字の使命について考えます。



## 赤十字救護・援助法

更新日：2022/03/04 11:05:33

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LGL104		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541600
担当教員							
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

具体的な救急法の知識、技術を習得し、災害・事故防止の思想と互いに助け合うボランティアの精神を理解し、行動する能力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

## 到達目標

1	赤十字の事業を理解できる。
2	一次救命処置に関する知識と技術を習得できる。
3	応急手当に関する知識と技術を習得できる。
4	グループで役割を把握し協力して活動することができる。

## 授業計画

1	<p>【赤十字救急法基礎講習】赤十字救急法について（救急法を実践する際の心得など）、手当の基本、観察の基本</p> <p>【授業方法】講義・演習(GW)</p> <p>【予習】60分：日本赤十字社が救急法を普及する目的、救急法の基本的な知識と技術及び赤十字の行う事業について</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
2	<p>一次救命処置（BLS）（心肺蘇生法）（実技）</p> <p>【授業方法】演習(実技)</p> <p>【予習】60分：一次救命処置（BLS）の手順を予習する。参考文献に記載したインターネット動画【日本赤十字社】一次救命処置（BLS）～心肺蘇生とAED～を見る。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
3	<p>一次救命処置（BLS）（AEDを用いた除細動、気道異物除去）（実技）実技検定、学科検定</p> <p>【授業方法】講義・演習(実技)</p> <p>【予習】60分：一次救命処置（BLS）（AEDを用いた除細動、気道異物除去）の手順について、動画で予習する。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
4	<p>【赤十字救急法講習】赤十字救急法救急員について、急病について</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習・復習】60分：赤十字救急法救急員を養成する目的、期待する意識、能力及び行動、日常生活の中で緊急度や頻度の高い病気の症状について予習・復習する。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
5	<p>けがについて</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習・復習】60分：外傷・骨折に対する適切な手当について予習・復習する。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
6	<p>きずの手当について</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習・復習】60分：きずに対する手当の方法について予習・復習する。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
7	<p>止血の仕方、三角巾の使い方（実技）</p> <p>【授業方法】演習(実技)</p> <p>【予習・復習】60分：正しい方法で、確実に止血ができるように予習・復習する。参考文献に記載した赤十字WEB CROSS-電子講習室-を見る。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
8	<p>止血の仕方、三角巾の使い方（実技）</p> <p>【授業方法】演習(実技)</p> <p>【予習・復習】60分：正しい方法で、確実に止血ができるように、動画で予習・復習する。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
9	<p>骨折の手当</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：骨折に対する手当について予習する。</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>
10	<p>搬送、救護</p> <p>【授業方法】演習(実技)</p> <p>【復習】60分：搬送は傷病の手当と同様に重要であること、また、災害時の対応について日本赤十字社の災害救護と防災ボランティアについて理解し、積極的に参加していく必要性を復習する</p> <p>【担当】福岡県支部職員</p>

11	<b>骨折の手当（実技）</b> 【授業方法】 演習(実技) 【予習・復習】 60分：骨折に対する手当の方法について、動画で予習・復習する。 【担当】 福岡県支部職員
12	<b>搬送、救護（実技）</b> 【授業方法】 演習(実技) 【予習】 60分：基本的な実技を身につけ、状況に応じた搬送ができるよう動画で予習する 【担当】 福岡県支部職員
13	<b>救護（総合実技）</b> 【授業方法】 演習(実技) 【復習】 60分：急法で身につけた基本的な実技を総合的に活用し、災害時などに適切な手当を実践することの大切さを総合実技の場面設定を通して体験し、実技後に振り返りを行う 【担当】 福岡県支部職員
14	<b>きず、骨折の手当（実技・復習）</b> 【授業方法】 演習(実技) 【復習】 60分：正しい方法で、確実に止血や応急手当ができるよう講習を通して復習する。 【担当】 福岡県支部職員
15	<b>実技検定、学科検定 検定のフィードバック</b> 【授業方法】 講義 【予習・復習】 60分：講習で学んだ学科・実技の振り返りを行うことにより、講習の目的をより深く理解し、現場において確実に実践できるよう予習・復習を行う。 【担当】 福岡県支部職員

### 先行履修科目

なし

### テキスト

日本赤十字社 編：赤十字救急法基礎講習教本、株式会社 日赤サービス  
 日本赤十字社 編：赤十字救急法講習教本、株式会社 日赤サービス  
 ※その他、『救急教材セット』等が必要である。

### 参考文献

日本赤十字社講習内容 <http://www.jrc.or.jp/activity/study/safety/>  
 日本赤十字社電子講習室 <http://www.tokyo.jrc.or.jp/application/webcross/>

### 評価方法

学科試験50%・実技試験50%

### 教員等の実務経験

赤十字救急法の指導者であり、県内外の講習会で講師として豊富な経験を持ち、かつ災害救護活動の経験もある日本赤十字社の支部職員が担当する。

### メッセージ



## ボランティア論

更新日：2022/02/25 15:41:09

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	LGL110		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541700
担当教員	小田 哲也						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習						

## 授業の目的

国際交流・支援、災害救援・支援、地域の活動などに必要なボランティアの考え方とNGO・NPO・地域の活動について学習し、理解を深め、実践力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	ボランティアに関する様々な捉え方とその多様な形態を理解し、説明することができる。
2	様々なボランティア実践者の話を聞き、ワークショップ等を通して自分の考えを整理しながら、ボランティアに必要な感性を身につけることができる。
3	演習を通してボランティア活動を行うための実践力を養うと共に、各自のボランティア観を形成し、社会課題の解決に取り組むことができる。

## 授業計画

1	オリエンテーション：グループ分け、学生との意見交換 ボランティアとは？（1）：一般的なイメージと本来の意味 【授業方法】講義（GW） 【予習】30分：ボランティアとは何か自分なりに考えておく 【復習】30分：ボランティアの概念について理解 【担当】小田 哲也
2	ボランティアとは？（2）：歴史と文化的・宗教的背景、現代的課題、NPO／NGOについて 【授業方法】講義（GW） 【復習】30分：ボランティアの歴史と現代的課題について整理 【担当】小田 哲也
3	ボランティアとは？（3）：多様な形態とその意義について（国内／海外、短期／長期、緊急援助／開発協力等） 【授業方法】講義（GW） 【復習】30分：ボランティアの形態や意義について整理 【担当】小田 哲也
4	ボランティアの実際（1）：地域でのボランティア活動事例 【授業方法】講義 【予習】30分：ゲストスピーカーの活動の事前調査 【復習】30分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】ゲストスピーカー
5	ワークショップ（1）：地域でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】60分：地域でのボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】小田 哲也
6	ボランティアの実際（2）：被災地でのボランティア活動事例 【授業方法】講義 【予習】30分：ゲストスピーカーの活動の事前調査 【復習】30分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】ゲストスピーカー
7	ワークショップ（2）：被災地でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】60分：被災地でのボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】小田 哲也
8	ボランティアの実際（3）：海外でのボランティア活動事例 【授業方法】講義 【予習】30分：ゲストスピーカーの活動の事前調査 【復習】30分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】ゲストスピーカー（NGO／GO）
9	ワークショップ（3）：海外でのボランティア活動事例 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】60分：海外でのボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】小田 哲也

10	<b>ボランティアの実際（４）：医療に特化したボランティア活動事例</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：ゲストスピーカーの活動の事前調査 【復習】 30分：具体的なボランティア活動を理解 【担当】 ゲストスピーカー
11	<b>ワークショップ（４）：医療に特化したボランティア活動事例</b> 【授業方法】 講義・討議（GW） 【予習】 60分：医療ボランティア活動について自分の考えを整理 【担当】 小田 哲也
12	<b>事例演習（１）：ボランティア活動計画表の説明・事前学習</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 60分：活動計画表の理解と活動計画書作成の事前準備 【担当】 小田 哲也
13	<b>事例演習（２）：問題意識と課題設定</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 60分：自分の問題意識と課題設定について整理 【担当】 小田 哲也
14	<b>事例演習（３）：既習内容のまとめと講義</b> 【授業方法】 講義・演習 【復習】 60分：ボランティア活動計画表の完成 【担当】 小田 哲也
15	<b>グループ毎に演習の発表 課題レポートへのフィードバック</b> 【授業方法】 講義・発表 【予習】 60分：各グループで発表の準備 【担当】 小田 哲也

### 先行履修科目

なし

### テキスト

必要に応じてプリントを配布

### 参考文献

- 1) 岡本 栄一：学生のためのボランティア論． 社会福祉法人 大阪ボランティア協会，2006
- 2) 柴田 謙治・原田 正樹・名賀 亨一：ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ．（株）みらい，2010
- 3) 桜井 政成：コミュニティの幸福論 助け合うことの社会学. 明石書店，2020．
- 4) 國井 修：国家救済医 私は破綻国家の医師になった 角川書店，2012
- 5) 島田 恒：NPOという生き方 PHP新書，2005

### 評価方法

授業への取り組み50%、プレゼンテーション10%、課題レポート40%

### 教員等の実務経験

### メッセージ

「ボランティア」という言葉が持つ幅広い意味を体系的に理解し、社会活動におけるその必要性や可能性を体感して欲しいと考えています。ボランティア活動は基本的に「必要な場面」で「できること」を「自発的」に行なうものです。その実践において「対話」「信頼関係」「協働」を意識することで、支援者・被支援者が共にその成果を喜び、お互いが成長することができる活動となります。

## 医療人類学

更新日：2022/01/21 16:22:32

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	LGL305		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541800
担当教員	星野 普						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

保健医療にかかわる文化の多様性を学び、文化が人間集団の多様な価値観やライフスタイルにどのように影響しているのかを理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	文化人類学および医療人類学の視点、概念、方法論の特長を説明できる	
	秀	文化的多様性を踏まえた文化人類学の視点と方法の特徴を説明できる
	優	文化を定義し、自文化の相対化について説明できる
	良	文化を定義できる
	可	文化の多様性の例を挙げられる
不可	文化の多様性の例を挙げられない	
2	病気、健康、医療について、医療人類学的視点から説明できる	
	秀	病気が概念であることを説明できる
	優	病気が生活や社会や文化などと深く関わっていることを説明できる
	良	国際保健・医療協力でなぜ文化摩擦が起こるかを説明できる
	可	病気とそのケアが文化によって異なることを例示できる
不可	病むことをめぐる文化的多様性の例を挙げられない	
3	医療専門職と生活者の「病むこととケア」をめぐる考え方の相違（文化差）を説明できる	
	秀	医療専門職と患者・利用者の摩擦を回避・解消するためにはどのような視点・態度が必要か考えを述べられる
	優	医療専門職と患者・利用者の病むことやケアの捉え方の質的なちがいを説明できる
	良	医療専門職の病気とケアの捉え方の特殊性について説明できる
	可	病むことの語りについて説明できる
不可	病むことの語りについて説明できない	
4	超高齢化と人口減をもたらす医療環境および医療専門職のあり方の変化について説明できる	
	秀	少子高齢化・人口減に関わる保健・医療の在り方について提案ができる
	優	少子高齢化・人口減に関わる保健・医療政策の動向について説明できる
	良	少子高齢化・人口減が医療の在り方に与える影響について説明できる
	可	日本を含む東アジアの少子高齢化・人口減の動向について解説できる
不可	少子高齢化・人口減の動向について説明できない	
5	具体的な臨床事例について、医療人類学的解釈にもとづき、解決案を提案できる	
	秀	医療人類学的視点を踏まえて書かれた事例をもとに現状分析や方向性を決めるディスカッションができる
	優	医療人類学的視点・方法を踏まえて自ら事例を読み書きできる
	良	与えられた事例について、社会文化的な要因を読み取ることができる
	可	医療専門職の視点で事例を読み書きできる
不可	事例から課題を読み取れない	

## 授業計画

1	文化人類学および医療人類学の視点と方法	
	【授業方法】講義（ICT）	
	【予習】 60分：文化が異なるとはどういうことか、考えおく。	
	【復習】 30分：講義で提供した資料をもとに文化人類学・医療人類学の視点と方法を整理する。	
	【担当】星野	

2	<b>文化と医療：国際保健における文化摩擦の事例から</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：文化と医療の関係について考えておく。 【復習】 30分：講義の内容を振り返り、文化と医療の関係について理解しておく。 【担当】 星野
3	<b>解剖実習と医学的まなざし</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：西洋医療の特長を考えておく 【復習】 30分：講義で取り上げた現代医療の文化的特性および医療者の職業的アイデンティティ形成について再確認する。 【担当】 星野
4	<b>サファリングとケア：シャーマニズムの事例から</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：病むことをめぐる宗教と医療のアプローチちがいと関係について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたサファリングと病むこと、宗教と医療の関係について再確認する。 【担当】 星野
5	<b>病むことの語り</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：医療専門職と生活者の病むことやケアに対する捉え方のちがいについて考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたナラティブや生活者にとっての「病むこととケア」について再確認する。 【担当】 星野
6	<b>くらしの現場のケア</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：医療専門職と病者やその家族のすれちがいと回避について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げた医療者－病者関係を異文化間コミュニケーションとする捉え方を再確認する。 【担当】 星野
7	<b>高齢化する日本社会における医療環境の変化</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：高齢社会白書等に目を通し、高齢化や人口減が日本の医療環境におよぼす影響を考えておく。 【復習】 30分：日本の医療環境の変化の動向を踏まえて、今後の医療専門職のあり方について再確認する。 【担当】 星野
8	<b>事例検討・総括(フィードバック)</b> 【授業方法】 講義 (ICT) 【予習】 60分：提供されている臨床事例の課題解決方法について検討してくる。 【復習】 60分：全体を振り返り、医療人類学的な視点や方法が自身の将来の臨床にどのように関係するかを整理・再確認する。 【担当】 星野

## 先行履修科目

なし

## テキスト

指定テキストはない。必要な資料は講義中に適宜紹介する。

## 参考文献

波平恵美子 編：系統看護学講座 基礎9 文化人類学。医学書院，2011。  
錦織宏・飯田淳子 編：医師・医学生のための人類学・社会学－臨床症例／事例で学ぶ。ナカニシヤ，2021。  
江口重幸，斎藤清二，野村直樹 編：ナラティブと医療。金剛出版，2006。

## 評価方法

授業参加（毎回のコメントや宿題レポートを含む）40%、期末レポート60%から総合的に判断

## 教員等の実務経験

## メッセージ

自身の経験と照らし合わせながら、とにかく自分の頭で考えてください。そして視点を変えると、自分の生きている世界の見え方が変わることを楽しんでください。そのことが将来、病者や家族に対する理解を助け、みなさんの臨床を豊かなものにします。

## ジェンダー論

更新日：2022/03/01 10:14:25

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	LGL302		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	541900
担当教員	倉富 史枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

社会的歴史的に形成されたジェンダー概念を理解し、自分の生き方と結び付けて、学問や社会への批判的な視点を獲得することを目的とする。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	ジェンダーの視点をを用いて、看護をはじめ社会の様々な分野に潜むジェンダー問題に気づくことができる。
2	ジェンダーをめぐる問題を自分の生き方と結びつけて、学問や社会への批判的な視点を獲得することができる。
3	ジェンダー問題の解決のために、国際的な視野に立って分析し考察ができる。

## 授業計画

1	<b>セックス/ジェンダーの定義、性の多様性</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、身の回りの事象に潜むジェンダー問題を考える。 【担当】倉富
2	<b>子どもの社会化とジェンダー 作られる&lt;男らしさ&gt;&lt;女らしさ&gt;</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、これまでの成長過程で影響を受けたジェンダー問題を考える。 【担当】倉富
3	<b>ジェンダー問題に敏感な教育 教育とメディアリテラシー</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、学校教育で受けた影響を振り返り、メディアに潜むジェンダーバイアスを読み解く。 【担当】倉富
4	<b>恋愛の女性学・男性学</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、「恋愛」の社会的、歴史的背景を考える。デートDV防止について医療者の立場で何ができるかを考える。 【担当】倉富
5	<b>労働におけるジェンダー格差とこれからの働き方</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、性別役割分業の成り立ちとワークライフバランスのとれた人間らしい働き方を理解する。 【担当】倉富
6	<b>多様な家族に向かって近代家族規範と実態の乖離</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、ケア役割をめぐる近代家族規範の画一性を理解し、これからの多様な家族の在り方を考える。 【担当】倉富
7	<b>国際化の中の女性問題・男性問題</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：授業内容に基づき、日本のジェンダー格差を世界の動きから考察する。 【担当】倉富
8	<b>男女共同参画社会基本法が目指すもの及び全体フィードバック</b> 【授業方法】講義・演習 【復習】90分：ジェンダーに関する基礎概念の整理 【担当】倉富

## 先行履修科目

なし

## テキスト

伊藤公雄他：女性学・男性学—ジェンダー論入門（3版）．有斐閣，2019．  
内閣府・男女共同参画推進連携会議：ひとりひとりが幸せな社会のために 令和2年版データ  
担当者が配布する資料

## 参考文献

適宜指示する。

## 評価方法

各授業での課題提出率 10%、課題に対する誠実さ 30%、課題の回答内容の総合評価 60%

## 教員等の実務経験

福岡県男女共同参画センターでジェンダー研究を行い、その後、民間のシンクタンクを創設し、男女共同参画行政に政策提言をしています。

## メッセージ

日常の様々な場面での出来事やメディア表現などをジェンダーの視点で問い直し、個人的な問題の背景にある社会構造を読み解く力を身に付けてください。

## 国際開発論

更新日：2022/03/01 13:37:48

開講年度	2022	学期	前期	シバースト*	LGL303		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	542000
担当教員	小川 里美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

## 授業の目的

開発途上国の貧困解決と開発に関するさまざまな課題を学習し、開発と国際協力について理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	国際社会が抱える課題を探究し、説明できる。
2	開発とは何かを理解し、説明することができる。
3	社会と人間の開発について説明できる。

## 授業計画

1	様々な視点から国際社会を概観する。 【授業方法】講義 【予習】 30分：地理的・社会的・政治的・経済的な観点からの世界を概観する 【担当】 小川里美
2	多様な世界の現実 (1) 文化の側面 【授業方法】講義 【復習】 30分：生活様式から見た文化の多様性を再確認する。 【担当】 小川里美
3	多様な世界の現実 (2) 経済の側面 【授業方法】講義 【復習】 30分：経済的視点からみた世界の多様性を整理し、理解する。 【担当】 小川里美
4	多様な世界の現実 (2) 政治の側面 【授業方法】講義 【復習】 30分：政治体制から見た世界の多様性を整理する 【担当】 小川里美
5	貧しさと豊かさについて考える 【授業方法】講義 【予習】 30分：貧しさと豊かさを示す指標について調べる 【担当】 小川里美
6	貧困と格差について考える 【授業方法】講義 【予習】 30分：格差と人間の生活、健康、環境への影響を調べる。 【担当】 小川里美
7	開発とは何か 【授業方法】講義 【復習】 30分：開発援助の具体例を調べる 【担当】 小川里美
8	援助と自立について考える 【授業方法】講義 【予習】 30分：人間開発指数上位国と最下位国の差の要因を考える。 【担当】 小川里美
9	開発と国際協力について 【授業方法】講義 【予習】 30分：国際協力機関と具体例を調べる。 【担当】 小川里美
10	開発事例①(東南アジア諸国) 【授業方法】講義 【予習】 30分：東南アジア諸国の実情を調べる。 【担当】 小川里美

11	<b>開発事例②（アフリカ諸国）</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：アフリカ諸国の実情を調べる。 【担当】 小川里美
12	<b>事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する①</b> 【授業方法】 グループワーク 【予習】 30分：自分の興味のある開発分野と具体例について調べる 【担当】 小川里美
13	<b>事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する②</b> 【授業方法】 グループワーク 【予習】 30分：開発事例の成果と課題についてまとめる 【担当】 小川里美
14	<b>開発事例の成果と課題、展望について議論する</b> 【授業方法】 プレゼンテーション 【予習】 30分：発表資料を準備する。 【担当】 小川里美
15	<b>「開発」再考 これまでの学びからのフィードバック</b> 【授業方法】 講義、まとめとフィードバック 【復習】 30分：人間にとって開発とは何かを再考し、自分が個人として、医療従事者としてどのようにかかわることができるのか（あるいはできないのか）を考えてみる。 【担当】 小川里美

### 先行履修科目

なし

### テキスト

特に指定しない

### 参考文献

斎藤文彦：国際開発論．日本評論社，2005．  
山本一巳・山形辰史 編：国際協力の現場から一開発にたずさわる若き専門家たち．岩波ジュニア新書，2007．  
アマルティア・セン：貧困の克服－アジア発展の鍵は何か．集英社新書，2002．  
西川 潤：人間のための経済学．岩波書店，2000．  
坪井ひろみ：グラミン銀行を知っていますか？．東洋経済新報社，2006．  
佐藤寛：開発援助の社会学．世界思想社，2005．  
佐藤寛 編：テキスト社会開発．日本評論社，2007．  
青柳まちこ 編：『開発の文化人類学』．古今書院，2000．

### 評価方法

授業への参加度 10% プレゼンテーション40% レポート50%

### 教員等の実務経験

赤十字やJICAで国際協力に携わった教員が講義を担当します。

### メッセージ

3年生対象の講義なので、自らの経験などを含めて意見のやり取りが行なえる講義になると興味深いと思われる。



## 看護学概論

更新日：2022/01/18 16:25:42

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	NFU101		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	610100
担当教員	本田 多美枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

統合的な人間理解に基づき、看護の基本となる概念や歴史の変遷、看護独自の役割・機能について学び、「看護とは何か」について探究する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	保健医療福祉を取り巻く状況について説明できる
2	看護提供者の位置づけについて説明できる
3	人間の尊厳を擁護するために必要となる視点を説明できる
4	看護の基本となる概念について説明できる
5	「看護とは何か」について、自己の考えを述べるができる

## 授業計画

1	<p><b>本授業の位置づけと全体像を概観する／看護を学ぶにあたって自己の出発点を確認する</b>  【授業内容】カリキュラムの中での本科目の位置づけ、看護を学ぶにあたって必要となる視点、看護に対する自己の考えの出発点の確認  【授業方法】講義（討論）  【予習】20分：「学生便覧/履修の手引き」および「シラバス」にてカリキュラムの中での本科目の位置づけを確認しておく  【復習】20分：テキスト1) p.2-8 必読。現時点における自己の看護に対する考えをまとめておく</p>
2	<p><b>看護提供者の位置づけについて理解する</b>  【授業内容】わが国の看護提供者（看護職）の資格と養成制度、就業状況、ジェネラリストとスペシャリスト  【授業方法】講義  【予習】40分：テキスト1) p.150-168必読  【復習】20分：疑問点を追加学習する</p>
3	<p><b>保健医療福祉を取り巻く状況と、その中での看護の役割について考える</b>  【授業内容】保健医療福祉を取り巻く状況（国民の健康状態、ライフサイクル、地球規模で生じている健康課題等）とその中での看護の役割  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1) p.115-136必読。保健医療関連の気になるニュースを調べ、まとめておく  【復習】20分：疑問点を追加学習する</p>
4	<p><b>生命（いのち）と人間の尊厳について考える（1）</b>  【授業内容】現代医療における倫理的問題、医療をめぐる倫理の歴史的経緯、患者の権利、なぜ倫理について学ぶ必要があるのかを考える  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1) p.186-199、p.374-376必読  【復習】20分：疑問点を追加学習しておく</p>
5	<p><b>生命（いのち）と人間の尊厳について考える（2）</b>  【授業内容】職業倫理としての看護倫理（国際看護師協会「ICN看護師の倫理綱領」、日本看護協会「看護者の倫理綱領」）、看護の本質としての看護倫理、看護職は人の生命と尊厳にどのように関わるのかを考える  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1) p.199-218、p.370-376必読  【復習】20分：疑問点を追加学習しておく</p>
6	<p><b>&lt;看護の基本となる概念①&gt;看護の対象である「人間」について理解する（1）</b>  【授業内容】事例を通して対象理解の重要性や看護の視点から「人間」を捉える必要性について考える  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1) p.78-106必読  【復習】20分：疑問点を追加学習しておく</p>
7	<p><b>&lt;看護の基本となる概念①&gt;看護の対象である「人間」について理解する（2）</b>  【授業内容】人間を理解する諸側面（全体的存在、基本的欲求、成長発達、生活者としての人間）  【授業方法】講義  【予習】40分：テキスト1) p.78-106必読  【復習】20分：疑問点を追加学習しておく</p>
8	<p><b>&lt;看護の基本となる概念②&gt;看護の目標となる「健康」について理解する</b>  【授業内容】健康の捉え方（定義、権利としての健康、捉え方の変遷）、健康と生活、クオリティオブライフ（QOL）  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1) p.108-115必読。自分にとってどのような状態が健康であるか、健康でないかを考えておく  【復習】20分：疑問点を追加学習する</p>

9	<p>&lt;看護の基本となる概念③&gt;人間を取り巻く「環境」について理解する  【授業内容】環境の捉え方（定義、環境を捉える視点）、環境への適応機構（ホメオスタシス、コーピング、防衛機制）、看護と環境  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1）p.81-91必読  【復習】20分：環境の変化によって生じた自己の反応を知識を活用して分析する</p>
10	<p>&lt;看護の基本となる概念④&gt;看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（1）  【授業内容】看護活動の場、場を規定する法律、看護活動の場の拡大と課題（看護の継続性、チーム医療、多職種との連携・協働）  【授業方法】講義  【予習】40分：テキスト1）p.223-246、p.59-76必読  【復習】20分：疑問点を追加学習する</p>
11	<p>&lt;看護の基本となる概念④&gt;看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（2）  【授業内容】看護独自の役割機能を法律・看護理論家・看護職能団体の見解から捉える（1）、レポートのフィードバック  【授業方法】講義  【予習】120分：本時までにテキスト2）および3）を読み、&lt;筆者の主張&gt;と&lt;その主張に対する自己の考え&gt;をレポートにまとめておく  【復習】20分：レポートの不足部分を追加学習する</p>
12	<p>&lt;看護の基本となる概念④&gt;看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（3）  【授業内容】看護独自の役割機能を法律・看護理論家・看護職能団体の見解から捉える（2）  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：テキスト1）p.20-45必読  【復習】30分：看護とは何か、自己の考えをまとめる</p>
13	<p>看護の歴史の変遷について理解し、これからの看護の目指すべき方向性について考える  【授業内容】歴史にみる看護の形態の変化、看護の専門職化に向けての動き（アメリカ）、日本の職業としての看護の変遷  【授業方法】講義  【予習】40分：テキスト1）p.138-150を必読し、日本の職業としての看護はどのようにして形づくられてきたのか概要を整理しておく  【復習】20分：疑問点を追加学習する</p>
14	<p>看護理論の発展経緯と代表的な看護理論の概要を理解する  【授業内容】看護理論とは、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯、主な看護理論の焦点  【授業方法】講義  【予習】40分：テキスト1）p.23-46、354-359必読  【復習】20分：疑問点を追加学習する</p>
15	<p>看護とは何か、これから看護学をどのように学んでいくかを考える  【授業内容】将来のキャリア像、看護に対する自己の考え、授業目標の達成状況、試験のフィードバック等から、各自がこれから看護学をどのように学んでいくかを考える  【授業方法】講義（討論）  【予習】40分：科目全体の学習内容について、各自でまとめをしておく  【復習】20分：試験で理解できていなかった箇所をノートにまとめておく</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔1〕看護学概論（第17版）．医学書院，2020．
- 2) Nightingale, F. : Notes on Nursing:What It Is, and What It Is Not. 1860, 湯槇ます他訳：看護覚え書（改訂第7版）．現代社，2011．
- 3) Henderson, V. : Basic Principles of Nursing Care. 1977, 湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの（再新装版）．日本看護協会出版会，2016．

## 参考文献

適宜、文献を紹介する。

## 評価方法

学修課題・授業への取り組み（50%）、定期テスト（50%）にて総合的に評価する。

## 教員等の実務経験

看護師としての臨床経験のある教員が、その経験を事例として活用しながら、看護とは何かを各自が探究できるように授業を行う。

## メッセージ

看護職者は何をする人でしょうか？社会の人たちが看護職者に求めていることはどのようなことでしょうか？ 皆さんは、これから看護学を学ぶ者として主体的に授業に参加し、自分自身の考えを深めていく姿勢を養ってください。

## 看護理論の基礎

更新日：2022/01/18 16:31:13

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NFU205		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	610200
担当教員	本田 多美枝						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

看護の歴史の変遷を捉え、看護理論が創出されてきた背景と経緯について理解する。また、主要な看護理論について学び、これらの理論が看護実践、研究、教育を発展させる可能性について考える。

### 本科目で育成するDPの力

【5-1看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

### 到達目標

1	看護理論を学ぶ意義について説明できる
2	看護の現象に迫る主要理論を複数列挙することができる
3	事例分析を通して、看護理論の理解を深めることができる

### 授業計画

1	<b>看護理論とは</b> 【授業内容】看護理論とは何か、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯、小テスト 【授業方法】講義 【予習】40分：看護学概論で学習した内容について復習しておく。教科書p2～17を読む 【復習】20分：疑問点を調べる
2	<b>主要理論の理解（1）ニード/セルフケア理論</b> 【授業内容】オレムのセルフケア理論、事例分析 【授業方法】講義（討論） 【予習】40分：教科書p76～86を読み、オレムとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる
3	<b>主要理論の理解（2）相互作用/人間関係理論</b> 【授業内容】トラベルビーの人間対人間の看護、事例分析 【授業方法】講義（討論） 【予習】40分：教科書p144～156を読み、トラベルビーとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる
4	<b>主要理論の理解（3）全体性理論</b> 【授業内容】M.ニューマンの拡張する意識としての健康、事例分析 【授業方法】講義（討論） 【予習】40分：教科書p172～183を読み、M.ニューマンとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる
5	<b>主要理論の理解（4）システム理論</b> 【授業の内容】ロイの適応モデル、事例分析 【授業方法】講義（討論） 【予習】40分：教科書p184～192を読み、ロイとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる
6	<b>主要理論の理解（5）ケアリング理論①</b> 【授業内容】ワトソンのケアリング理論、事例分析 【授業方法】講義（討論） 【予習】40分：教科書p219～232を読み、ワトソンとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる
7	<b>主要理論の理解（6）ケアリング理論②</b> 【授業内容】ベナー看護論、事例分析 【授業方法】講義（討論） 【予習】40分：教科書p246～257を読み、ベナーとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】20分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。疑問点を調べる
8	<b>これからの看護と看護理論の可能性について考える</b> 【授業内容】これからの看護と看護理論の可能性について考えたことを意見交換する 【授業方法】講義（討論）、提出物・小テスト・レポートへのフィードバック 【予習】40分：看護理論の意義や可能性について自己の考えをまとめておく 【復習】20分：授業全体のまとめをしておく

### 先行履修科目

なし

## テキスト

筒井真優美編：看護理論 看護理論21の理解と実践への応用（改訂第3版）.南江堂，2019.

## 参考文献

筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価（第2版）. 医学書院，2020.  
野川道子編：看護実践に活かす中範囲理論（第2版）. メテカルフレンド社，2016.  
黒田裕子監修：ケースをとおしてやさしく学ぶ看護理論 改訂4版. 日総研，2017.  
初回授業時に、文献リストを配布する。その他、授業で配布する文献・資料

## 評価方法

各回の提出物（50%）、レポート（50%）から総合的に評価する

## 教員等の実務経験

看護師としての臨床経験のある教員が、その経験を活かして、理論家の背景、理論の内容、看護実践への活用について授業を行う。

## メッセージ

看護理論は難解というイメージが強いのではないだろうか。この授業では、理論家その人や理論の背景にある考え方を理解することによって、看護理論の面白みや深みを知ること、そして看護実践への活用について、事例をもとに考える機会にしたい。

## 看護過程

更新日：2022/03/02 13:38:36

開講年度	2022	学期	前期	シバースト	NFU201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	610300
担当教員	阿部 オリエ, 小手川 良江						
学部/学科	大学看護学部						
備考	指導教員：阿部 オリエ、小手川 良江、鬼丸 美紀、隈井 寛子、添田 梨香、吉原 駿、菊池 さよ 選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護の対象をホリスティックに捉え、対象の持つ健康上の課題を科学的にアプローチするための看護過程について、基盤となる知識と方法を学ぶ。また、演習を通して看護過程を展開するための基礎的能力を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	看護過程とは何かについて説明できる。
2	看護の本質と看護過程との関係について説明できる。
3	看護過程の各段階について説明できる。
4	看護過程を展開するための基礎的能力を身につけることができる。
5	看護実践における看護過程の意義について考察できる。

## 授業計画

1	看護過程とは何か（1）：定義と特徴、意義、諸段階 【授業方法】講義 【予習】90分：テキストp218-238までを読み、ポイントをおさえる。 【担当】阿部
2	看護過程とは何か（2）：看護の発展と看護過程、看護診断の考え方 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp238-270を読み、ポイントをおさえる 【担当】阿部
3	看護過程を展開していくための事例学習を深める（1） 【授業方法】講義 【予習】90分：事前学習課題について春休み期間中にノートにまとめる。事例に関連した人体の構造と機能、疾患等について学習する 【復習】60分：不足していた学習を行いノートにまとめる 【担当】小手川
4	看護過程を展開していくための事例学習を深める（2） 【授業方法】講義 【予習】60分：事例の病態・基本情報について様式3-1,3-2にまとめる 【復習】60分：様式3-1,3-2の追加修正 【担当】小手川
5	看護の本質と看護過程との関係：看護における人間の捉え方、ゴードンの機能的健康パターン 【授業方法】講義 【予習】60分：ゴードンの機能的健康パターンについて調べる 【担当】阿部
6	第一段階：アセスメントの理解と実践 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp238-252を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：「栄養/代謝」のクラスタに取り組む 【担当】阿部
7	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】演習、討議 【予習】60分：「栄養/代謝」に取り組む 【復習】60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】担当教員
8	第一段階：アセスメント演習 【授業方法】演習、討議 【予習】60分：「活動/運動」に取り組む 【復習】60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】担当教員

9	<b>第一段階：アセスメント演習</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：「健康知覚/健康管理」「排泄」に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
10	<b>第一段階：アセスメント演習</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
11	<b>第一段階：アセスメント演習</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ストレス耐性」「価値/信念」に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
12	<b>第一段階：アセスメント演習</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：全クラスターを完成させる 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 担当教員
13	<b>第一段階：アセスメントの統合（関連図と全体像）</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp238-252を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：関連図と全体像に取り組む 【担当】 阿部
14	<b>第一段階：アセスメントの統合（関連図と全体像）</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：関連図・全体像に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 科目担当教員
15	<b>第一段階：アセスメントの統合（関連図と全体像）</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：関連図・全体像に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 科目担当教員
16	<b>第二段階：看護問題の明確化</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp316-326を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：看護問題に取り組む 【担当】 小手川
17	<b>第二段階：看護問題の明確化</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：看護問題に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 科目担当教員
18	<b>第二段階：看護問題の明確化</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：看護問題に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 科目担当教員
19	<b>第三段階：看護計画の立案</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp326-330までを熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：看護計画に取り組む 【担当】 小手川
20	<b>第三段階：看護計画の立案</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：看護計画に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 科目担当教員
21	<b>第三段階：看護計画の立案</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：看護計画に取り組む 【復習】 60分：質疑応答・教員からのフィードバックにより追加修正する 【担当】 科目担当教員
22	<b>第四段階：実施、第五段階：評価、看護記録</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキストp331-341までを熟読し、ポイントをおさえる 【担当】 小手川

23	<b>看護実践における看護過程の意義について考察する、まとめ（フィードバック）</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：事例演習評価表を用いたの評価 【担当】 阿部
----	--

### 先行履修科目

なし

### テキスト

茂野香おる 他：系統看護学講座 専門分野1基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ（第18版）．医学書院，2021．

### 参考文献

- 1)渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント（第3版）．ヌーヴェルヒロカワ，2011．
- 2)NANDA International：Nursing Diagnoses Definitions：Definitions & Classification 2021-2023 12th. 2021, 上鶴 重美訳：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版．医学書院，2021．  
開講時、文献リストを配布する。

### 評価方法

演習の取り組み姿勢（40％）、看護過程の記録物（60％）により総合的に評価する。なお、遅刻（1点減点）や欠席（3点減点）についても厳重に評価する。

### 教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、看護職にとって必要不可欠な方法論となる『看護過程』について講義・演習を行います。

### メッセージ

看護の対象となる人間を捉え、必要な看護援助を見出していくためには、人体のメカニズムを理解しておくことが不可欠となります。事例患者の病態、治療等については既習内容を活用しながら、自己学習を行い、学習ノートに適宜まとめてください。また、テキストの該当ページを予習したうえでオンデマンド授業を受講してください。演習はリアルタイムで行います。自己学習を行った上で演習に参加してください。演習では、看護過程および関連科目で習った知識を活用し、主体的、計画的に課題に取り組みましょう。積極的に質問を行い、自己の視点を広げ、教員からのフィードバックを積極的に求め、看護過程の展開能力を育成していくことが重要となります。春休みの課題も含め、一歩ずつ学習を積み上げてほしいと思います。



# フィジカルアセスメント

更新日：2022/02/10 08:49:36

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NFU104		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	610400
担当教員	小手川 良江, 隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 添田 梨香						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護ケアの必要性を判断するフィジカルアセスメントの理論と方法を理解し、基本的診察技法を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	フィジカルアセスメントにおける原理・原則を述べることができる
2	フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を習得することができる
3	得られた情報から対象者の状態を判断することができる
4	看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけることができる

## 授業計画

1	<b>フィジカルアセスメントの総論</b> 【授業方法】講義 【予習】60分 フィジカルアセスメントの総論：テキスト1)p128-132、テキスト2)p2-6の熟読 フィジカルアセスメントの基礎知識（胸骨角、基準線、腹部の9区分）：テキスト1)p194、221-222、テキスト2)p108-109、p170-171 【復習課題】90分 臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分について調べ臓器Tシャツを作成する 【担当】小手川
2	<b>フィジカルアセスメントの基礎知識</b> 【授業方法】演習 【予習】60分 フィジカルアセスメントの総論：テキスト1)p128-132、テキスト2)p2-6の熟読 フィジカルアセスメントの基礎知識（胸骨角、基準線、腹部の9区分）：テキスト1)p194、221-222、テキスト2)p108-109、p170-171 【復習課題】90分 臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分について調べ臓器Tシャツを作成する 【担当】小手川
3	<b>フィジカルアセスメントに必要な診察技術</b> 【授業方法】演習 基本的診察技術：問診、視診、打診、触診、聴診 【予習】60分 テキスト1)p132-154、テキスト2)p2-23を熟読し、問診、視診、打診、触診、聴診の診察技術を熟読し、提示課題に取り組む 【復習】30分 提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
4	<b>生命徴候（バイタルサイン）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト1)p154-176、テキスト2)p34-80を熟読し、看護技術Ⅰで学んだバイタルサインについて復習しておく テキスト2)p42、p58、p69、p80のWeb動画を視聴する 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【担当】小手川
5	<b>生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定</b> 【授業方法】演習、ディスカッション 【予習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【担当】小手川
6	<b>生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定の練習 【担当】小手川



7	<b>生命兆候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認</b> 【授業方法】 【予習】60分：血圧の測定の練習 【復習】60分：血圧の測定の練習 【担当】小手川
8	<b>生命兆候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認</b> 【授業方法】演習、ディスカッション 【予習】60分：血圧の測定の練習 【復習】60分：血圧の測定の練習 【担当】小手川
9	<b>甲状腺・リンパ系、呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環</b> 【授業方法】講義 【予習】90分：甲状腺・リンパ系についてはテキスト1)p216-219、261-262、テキスト2)p90-99、p2106☒、p2117☒、p212腋窩・鎖骨リンパ節の触診の評価、呼吸系についてはテキスト1)p193-202、テキスト2)p100-136、循環器系についてはテキスト1)p204-212、テキスト2)p138-169の熟読と、甲状腺・副甲状腺、リンパ系、呼吸器系、循環器系の構造と機能についての復習を行い、提示課題に取り組む。 【担当】隈井
10	<b>甲状腺・リンパ系、呼吸器系：胸郭・肺</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
11	<b>呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
12	<b>呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環</b> 【授業方法】演習 【予習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
13	<b>呼吸器系：胸郭・肺、循環器系：頸部・胸部・末梢循環</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む 【担当】隈井
14	<b>腹部</b> 【授業方法】演習 【予習】90分：消化器系の構造と機能についてノートにまとめる。テキスト1)p220～230、テキスト2)p170～203を熟読し、提示課題に取り組む。 【担当】添田
15	<b>腹部</b> 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】添田
16	<b>脳・神経系：意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能</b> 【授業方法】演習 【予習】120分 テキスト1)p173-176、p239-249、テキスト2)p226-325を熟読し、提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
17	<b>脳・神経系：意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能</b> 【授業方法】演習 【復習】30分 提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
18	<b>筋・骨格系：歩行の異常、関節可動域の測定、徒手筋力テスト</b> 【授業方法】演習 【予習】90分 テキスト1)p230-239、テキスト2)p326-353を熟読し、提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
19	<b>筋・骨格系：歩行の異常、関節可動域の測定、徒手筋力テスト</b> 【授業方法】演習 【復習】30分 提示課題に取り組む 【担当】鬼丸
20	<b>総合演習</b> 【授業方法】演習、ディスカッション、グループワーク 【予習】60分：テキスト1)p29～56、p132～136を熟読し、対象者とのコミュニケーションのポイントを確認する。提示課題に取り組む。 【復習】60分：提示課題に取り組む 【担当】添田
21	<b>総合演習</b> 【授業方法】演習、ディスカッション、グループワーク 【復習】60分：提示課題に取り組む 【担当】添田

22	<b>総合演習</b> 【授業方法】 演習、ディスカッション、グループワーク 【予習】 60分：提示課題に取り組む。 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
23	<b>看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、まとめ 課題フィードバック</b> 【授業方法】 講義 【復習】 60分：フィジカルアセスメントで学習した内容について復習する 【フィードバック】 演習ごとの課題と小テスト等についてのフィードバックを行う 【担当】 小手川、隈井、鬼丸、添田

## 先行履修科目

なし

## テキスト

テキスト1)茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ18版。医学書院，2021。  
テキスト2)熊谷たまき 他監修：看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント。メディックメディア，2019。

## 参考文献

山内豊明 監修：山内豊明教授のフィジカルアセスメント全巻。ビデオ・パック・ニッポン/京都科学，2006。  
山内豊明：フィジカルアセスメント ガイドブック―目と手と耳でここまでわかる。医学書院，2011。  
山内豊明：フィジカルアセスメントワークブック。医学書院，2014。  
Gerard J. Totoro, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th) 。2017, 佐伯 由香, 細谷 安彦, 高橋 研一, 桑木 共之 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）。丸善出版，2020。  
福井次矢,井部俊子,山内豊明 監修：ペイツ診察法 第2版。メディカル・サイエンス・インターナショナル,2015。  
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology. Wolters Kluwer, 2017。

## 評価方法

課題・小テスト45%、筆記試験55%

## 教員等の実務経験

様々な分野における臨床経験を有する教員が、臨床で活かせるフィジカルアセスメントの基礎について講義演習を行う。

## メッセージ

フィジカルアセスメントは、2年生で学ぶ看護過程や看護過程の展開実習につながる重要な科目です。また、人体の構造と機能、疾病と治療などの科目で学んだ知識を基礎にしてフィジカルアセスメントを行います。そのため、演習の前には、人体の構造と機能、疾病と治療、フィジカルアセスメントの方法を中心に予習を行ってください。演習後には、不足した知識の復習や技術練習に取り組んでください。  
看護技術は、演習の中だけで身につけることはできません。演習の予習復習が重要になります。予習・演習・復習を繰り返すことで、看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけてください。

## 看護コミュニケーション

更新日：2022/02/28 15:02:14

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NFU105		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	610500
担当教員	高橋 清美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護場面における援助的な人間関係を構築するための自己表現法を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	看護場面におけるコミュニケーションを振り返り、現象を説明できる。
2	他者とのかかわりの中で、自己の内面を振り返り、自身の行動を分析的に記述できる。
3	アサーティブな表現としてのDESC法について説明ができる。

## 授業計画

1	<b>看護におけるコミュニケーションについて理解する</b> 【授業内容】看護におけるコミュニケーションの意義について学修する 【授業方法】講義 【復習】30分：事前に配布した資料を参考に復習する 【担当】高橋
2	<b>プロセスレコードの概念を学ぶ</b> 【授業内容】プロセスレコードの概念を講義で学修後に、学生は課題1（プロセスレコード）を作成する。 【授業方法】講義 【予習】1時間：教科書p69-73、84-91 【復習】1時間：課題1（プロセスレコード）をExcelで作成する。作成する際は、評価票（自己評価）を参考に作成すること。 【次回授業で使用する資料】（プロセスレコード）Excel様式でポータル配信します。 【課題1の提出先】 ・第2講義終了後の教員が指定する日時に学務課メールボックスに提出（プリントアウトして提出すること） ・3,4講義のプロセスレコード検討会の資料準備のため、学生は必ず所定の日時に提出してください 【担当】高橋
3	<b>プロセスレコード検討会</b> 【授業内容】 ・3講義、4講義は1グループ4～6名程度で検討会を行う。検討会の進め方や議論の視点は事前配布資料を読み確認をしておく。 ・検討会で出た意見を参考にしながら、自分のプロセスレコードを赤で修正し検討会終了後に直接教員に提出する。 【授業方法】演習 グループディスカッション 【予習】1時間：事前配布資料を読むこと 【担当】高橋
4	<b>プロセスレコード検討会</b> 【授業内容】 ・3講義と4講義は1グループ4～6名程度で検討会を行う。検討会の進め方や議論の視点は事前配布資料を読み確認をしておく。 ・検討会で出た意見を参考にしながら、自分のプロセスレコードを赤で修正し検討会終了後に直接教員に提出する。 【授業方法】演習 グループディスカッション 【予習】1時間：事前配布資料を読むこと 【担当】高橋
5	<b>アサーティブな表現技法を理解する</b> 【授業内容】アサーティブな表現としてのDESC法を学修する。振り返りシートでの学び方を修得する 【授業方法】講義 【予習】1時間：教科書p56-67はアサーティブな表現技法を具体的に解説しているため熟読すること 【復習】1時間：振り返りシートを作成すること 【次回授業で使用する資料】振り返りシート（講義時に紙媒体で配布） 【担当】高橋
6	<b>アサーティブコミュニケーション検討会のための準備</b> 【授業内容】振り返りシートをグループ内で共有し、グループを代表するコミュニケーション場面を1事例決定する。その事例についてより良いコミュニケーションになるように検討し、第7回での発表準備を行う。 【授業方法】演習 GW 【予習】1時間：教科書p56-67 【復習】1時間：講義資料を見直し要点をまとめる 【担当】高橋

7	<p><b>アサーティブコミュニケーション検討会</b></p> <p>【授業方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループ毎による発表の後に全体検討会を行う。最優秀ポスター賞を決定する。</li> </ul> <p>【授業方法】発表</p> <p>【予習】 1時間：教科書p56-67</p> <p>【復習】 6時間：課題2を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題2レポート作成</li> </ul> <p>テーマ：自己のコミュニケーションについて分析し、どのような課題があるのか、その課題に対する自分の考えを述べなさい。（3000文字横書きword形式、設定は自由）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前配布した評価票を参考に作成すること。</li> </ul> <p>【課題2提出日時】 第8講義最初に教員に提出</p> <p>【担当】 高橋</p>
8	<p><b>ケアの場面におけるアサーティブな表現を理解する</b></p> <p>【授業方法】 コミュニケーション場面の視聴覚教材による講義と課題に対するフィードバックを行う</p> <p>【授業方法】 講義</p> <p>【予習】 30分：教科書p56-67</p> <p>【復習】 30分：講義資料を見直し要点をまとめる</p> <p>【担当】 高橋</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

高橋清美：はじめての看護実習 基礎からステップアップ看護コミュニケーション。へるす出版，2014.

## 参考文献

武藤清栄：言葉を聞く人心を聴く人—コミュニケーションとメンタルヘルス—. 中央労働災害防止協会，2001.  
 太湯好子：患者の心に寄り添う聞き方・話し方 ケアに生かすコミュニケーション。メヂカルフレンド社，2002.  
 奥田弘美：メディカル・ケアスタッフのためのコーチング25のコツ。厚生科学研究所，2006.  
 奥田弘美：かがやくナースのためのPERFECTコーチングスキル。学習研究社，2006.  
 松崎有子：もう実習で困らない！患者とのコミュニケーション。NCブックス，2005.  
 上別府圭子・森岡由起子：サイコセラピューティックな看護。金剛出版，2007.  
 Ernestine Wiedenbach：COMMUNICATION Key to Effective Nursing. 1978, 池田明子訳：新装版コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵。日本看護協会出版，2007.

## 評価方法

授業への参加度（30%）、課題1（40%）、課題2（30%）

## 教員等の実務経験

精神科看護師、病院心理士、スクールカウンセラーの経験がある教員が、その経験を生かして、看護に必要なコミュニケーションについて講義します。

## メッセージ

課題に真摯に向き合いながら、人間関係構築のための表現法を習得していきましょう。

## 看護技術Ⅰ

更新日：2022/02/10 10:30:03

開講年度	2022	学期	前期	シラバスコード	NFU102		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	610600
担当教員	阿部 オリエ, 添田 梨香, 小手川 良江						
学部/学科	大学看護学部						
備考	指導教員：隈井 寛子、鬼丸 美紀、福本 優子、鴨川 めぐみ、宇都宮 真由子、太田 純代 必修/選択：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	看護援助における生活援助技術の特性、原理・原則を説明できる
2	看護援助に共通する基本技術の意義・根拠を説明できる
3	人間の日常生活行動の意味を理解し、基本的な援助技術について考えることができる
4	看護技術を学ぶにあたり、基本的な学習姿勢を身につけることができる

## 授業計画

1	看護技術の概念と特殊性について理解する ・看護技術に共通する原理・原則とは何かについて理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1) p2-16、テキスト2) p2-8を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：授業で学んだことの理解、課題に取り組む 【担当】阿部
2	感染防止の技術：感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1) p64-82を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策についてノートにまとめる 【担当】小手川
3	環境調整技術：援助の基礎知識、援助の実際（ベッド周囲の環境整備・ベッドメイキング）、活動・休息援助技術：基本的活動の援助（ボディメカニクス） 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト2) p10-26、p104-110を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：提示課題に取り組む 【担当】添田
4	感染防止の技術：標準予防策（手指衛生、個人防護用具） 【授業方法】演習 【予習】60分：標準予防策（手指衛生、個人防護用具）が実施できるように、ポイントを学習ノートにまとめる 【復習】30分：提示課題に取り組む 【担当】小手川
5	環境調整技術：援助の基礎知識、援助の実際（ベッド周囲の環境整備・ベッドメイキング）、活動・休息援助技術：基本的活動の援助（ボディメカニクス） 【授業方法】演習 【予習】60分：ベッド周囲の環境調整、ベッドメイキング、ボディメカニクスの活用ができるように、ポイントを学習ノートにまとめる 提示課題に取り組む。 【復習】60分：ベッド周囲の環境調整、ベッドメイキングができるように練習する 【担当】添田
6	技術試験：ベッドメイキング 【授業方法】演習（技術試験） 【予習】90分：ベッドメイキング、ベッド周囲の環境調整ができるように練習する 【復習】30分：提示課題に取り組む 【担当】添田
7	活動・休息援助技術：基本的活動の援助、睡眠・休息の援助、苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持、電法 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】60分：テキスト2) p104-150、p152-160を熟読、及び視覚教材を活用しポイントをおさえる 【復習】60分：提示課題への取り組み 【担当】添田
8	活動・休息援助技術：基本的活動の援助（体位変換）、苦痛の緩和・安楽確保の技術：体位保持（ポジショニング） 【授業方法】演習 【予習】60分：テキスト2) p113-124、p152-156を熟読し、体位変換、体位保持ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】60分：体位変換、体位保持ができるように練習する、提示課題に取り組む 【担当】添田

9	<b>活動・休息援助技術：基本的活動の援助（車いす・ストレッチャーの移乗・移送）</b> 【授業方法】 演習 【予習】 60分：テキスト2) p126-140を熟読し、車いす・ストレッチャーの移乗・移送ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
10	<b>清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（入浴・シャワー浴、全身清拭）、病床での衣生活援助</b> 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 90分：テキスト2) p170-189、p224-231の熟読、及び視覚教材を活用しポイントをまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 阿部
11	<b>清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（全身清拭）、病床での衣生活援助（病衣・寝衣交換）</b> 【授業方法】 演習、GW 【予習】 60分：テキスト2) p170-189、p224-231の熟読および視覚教材を視聴し、全身清拭と寝衣交換についてのポイントをまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 阿部
12	<b>清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（全身清拭）、病床での衣生活援助（病衣・寝衣交換）</b> 【授業方法】 演習、GW 【予習】 60分：テキスト2) p170-189、p224-231を熟読し、全身清拭と寝衣交換についてのポイントをまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 阿部
13	<b>清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（洗髪・手浴・足浴）</b> 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：テキスト2) p170-177、p190-204の熟読および視覚教材を視聴し、洗髪・手浴・足浴についてのポイントをまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 阿部
14	<b>清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（洗髪・足浴）</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：テキスト2) p170-177、p190-204の熟読および視覚教材を視聴し、洗髪・手浴・足浴についてのポイントをまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 阿部
15	<b>清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（洗髪・足浴）</b> 【授業方法】 演習、討議 【予習】 60分：テキスト2) p170-177、p190-204を熟読し、洗髪・足浴の援助ができるようにポイントをまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 阿部
16	<b>食事援助技術：食事援助の基礎知識、食事摂取の介助、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（整容・口腔ケア）</b> 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 60分：テキスト2) p28-43、p207-223を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
17	<b>食事援助技術：食事援助の基礎知識、食事摂取の介助、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（整容・口腔ケア）</b> 【授業方法】 演習 【予習】 60分：車椅子への移乗またはベッド上において座位での食事の援助、整容、口腔ケアができるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田
18	<b>排泄援助技術：自然排尿および自然排便の介助、清潔・衣生活援助技術（陰部洗浄）</b> 【授業方法】 オンデマンド講義 【予習】 90分：テキスト2) p64-79、p204-207の熟読、及び視覚教材を活用しポイントをおさえる 【担当】 小手川
19	<b>排泄援助技術：自然排尿および自然排便の介助（床上排泄援助）、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（陰部洗浄）</b> 【授業方法】 演習 【予習】 90分：テキスト2) p64-79、p204-207を熟読し、床上排泄、陰部洗浄の援助が行えるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 30分：提示課題に取り組む 【担当】 小手川
20	<b>排泄援助技術：自然排尿および自然排便の介助（床上排泄援助）、清潔・衣生活援助技術：清潔の援助（陰部洗浄）</b> 【授業方法】 演習 【予習】 90分：テキスト2) p64-79、p204-207を熟読し、床上排泄、陰部洗浄の援助が行えるようにポイントを学習ノートにまとめる 【復習】 30分：提示課題に取り組む 【担当】 小手川
21	<b>バイタルサインの観察（体温・脈拍・呼吸）</b> 【授業方法】 演習、ディスカッション 【予習】 90分：テキスト1) p154-165、テキスト3) p34-59、p76-80を熟読し、バイタルサインの観察（体温・脈拍・呼吸）ができるようにポイントを学習ノートにまとめる 提示課題に取り組む 【担当】 添田
22	<b>バイタルサインの観察（体温・脈拍・呼吸）</b> 【授業方法】 演習、ディスカッション 【復習】 60分：提示課題に取り組む 【担当】 添田

23	まとめ：課題・筆記試験のフィードバック ・日常生活援助実習へのつなぎ 【授業方法】 講義 【担当】 阿部
----	--

### 先行履修科目

なし

### テキスト

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第18版．医学書院，2021．
- 2) 任和子他：系統看護学講座 専門分野1 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 第18版．医学書院，2021．
- 3) 熊谷たまき他：看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第1版．医療情報科学研究所，2019．

### 参考文献

- 1) Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to The Human Body (11th)．2019，佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
- 2) 藤本真記子 他：看護がみえる vol.1 基礎看護技術第1版．医療情報科学研究所，2018．

### 評価方法

筆記・技術試験（70％）、学習ノートの充実度や授業への参加度（30％）を総合して評価する。

### 教員等の実務経験

様々な分野における看護の臨床経験を有する教員が、その経験を活かし看護技術の講義演習を行う。

### メッセージ

本科目は、初めての看護の基盤領域の演習科目になります。今後、看護実践能力を獲得するにあたり、看護技術の目的や根拠を考える力を身につけてほしいと願っています。そのために、どのように学習していくかを自分自身で探求し、自己の課題を明確にする必要があります。受け身ではなく、積極的な取り組みを期待しています。



## 看護技術 II

更新日：2022/01/14 14:17:36

開講年度	2022	学期	前期	シラバスコード	NFU202		
学年	2	曜日/時限	一	単位数	2.0	科目コード	610700
担当教員	隈井 寛子, 鬼丸 美紀						
学部/学科	大学看護学部						
備考	指導教員：阿部 オリエ、小手川 良江、鬼丸 美紀、添田 梨香、福本 優子、西尾 美登里、福島 綾子、高瀬 理恵子、鎌田 ゆき 選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

健康障害を持った対象者に対して、個別状況を考慮した看護技術を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	個別状況を考慮した看護技術の意義と必要性を説明できる。
2	対象および看護者の安全を守る技術の必要性とその基本を説明できる。
3	感染予防技術を理解し、基本技術を実施できる。
4	与薬・活動・休息・食事・排泄・清潔について、原理原則に基づきながら個別状況を考慮した看護技術を実施できる。
5	個別状況を考慮した看護技術を評価することができる。

## 授業計画

1	概論：治療過程を支える看護技術の意義と安全を守る技術について 感染防止の技術1：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】講義 【予習】30分：既習科目「感染と防御」を復習する。テキスト「看護技術Ⅰ」p64-96を熟読する。 【担当】隈井
2	感染防止の技術2：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】講義 【復習】30分：提示課題に取り組む。 【担当】隈井
3	感染防止の技術3：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：第2回授業の復習課題の取組後、予習テストを受ける。 【復習】30分：技術練習をする。 【担当】隈井
4	感染防止の技術3：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：第2回授業の復習課題の取組後、予習テストを受ける。 【復習】30分：技術練習をする。 【担当】隈井
5	感染防止の技術4：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習（実技） 【復習】30分：授業内容を復習し、復習テストを受ける。 【担当】隈井
6	感染防止の技術4：スタンダードプリコーション、無菌操作 【授業方法】演習（実技） 【復習】30分：授業内容を復習し、復習テストを受ける。 【担当】隈井
7	与薬の技術1：与薬における安全、経口与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬 【授業方法】講義 【予習】30分：既習科目「人体と薬物」を復習し、予習テストを受ける。 【復習】30分：授業内容を復習し、復習テストを受ける。 【担当】隈井
8	与薬の技術2：注射（皮下・皮内・筋肉内注射、静脈内注射、点滴内静脈注射の管理） 【授業方法】講義 【予習】30分：既習科目「人体と薬物」を復習し、予習テストを受ける。 【復習】30分：授業内容を復習し、復習テストを受ける。 【担当】隈井



9	<p><b>与薬の技術3：注射器の取り扱い、アンプルの吸い上げ、点滴静脈内注射の準備・管理</b>  【授業方法】演習（実技）  【予習】30分：提示課題に取り組み、予習テストを受ける。  【復習】30分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】隈井</p>
10	<p><b>与薬の技術3：注射器の取り扱い、アンプルの吸い上げ、点滴静脈内注射の準備・管理</b>  【授業方法】演習（実技）  【予習】30分：提示課題に取り組み、予習テストを受ける。  【復習】30分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】隈井</p>
11	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術1：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換)</b>  【授業方法】講義、演習（グループワーク）  【予習】30分：看護技術1で学んだ環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助を復習する。  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
12	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術2：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換)</b>  【授業方法】演習（実技）  【復習】60分：提示課題に取り組む。  【担当】鬼丸</p>
13	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術2：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換)</b>  【授業方法】演習（実技）  【復習】60分：提示課題に取り組む。  【担当】鬼丸</p>
14	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術3：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換)</b>  【授業方法】演習（実技）  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
15	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術3：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換)</b>  【授業方法】演習（実技）  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
16	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術4：食事援助</b>  【授業方法】演習（実技）  【予習】30分：提示課題に取り組み、予習テストを受ける。  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
17	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術4：食事援助</b>  【授業方法】演習（実技）  【予習】30分：提示課題に取り組み、予習テストを受ける。  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
18	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術5：排泄の援助、活動援助（ポータブルトイレ、車いす、体位変換）</b>  【授業方法】演習（実技）  【予習】30分：提示課題に取り組み、予習テストを受ける。  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
19	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術5：排泄の援助、活動援助（ポータブルトイレ、車いす、体位変換）</b>  【授業方法】演習（実技）  【予習】30分：提示課題に取り組み、予習テストを受ける。  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
20	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術6：活動・休息援助</b>  【授業方法】講義、演習（グループワーク）  【予習】30分：提示課題に取り組む。  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
21	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術7：活動・休息援助</b>  【授業方法】演習（実技）  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
22	<p><b>身体可動制限のある対象への援助技術7：活動・休息援助</b>  【授業方法】演習（実技）  【復習】60分：提示課題に取り組み、課題を提出する。  【担当】鬼丸</p>
23	<p><b>全体のまとめ、課題・試験へのフィードバック</b>  【授業方法】講義  【予習】復習テスト、課題を中心に授業全体の理解不足部分の確認をする。  【担当】隈井、鬼丸</p>

---

なし

## テキスト

- 1) 茂野香おる 他：専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ．医学書院，2021．
- 2) 任和子 他：専門分野Ⅰ基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ．医学書院，2021．

## 参考文献

村中洋子 他編：学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版．医歯薬出版株式会社，2019．  
三木明德監修：人体の構造からわかる看護技術のエッセンス．医歯薬出版株式会社，2019．  
竹内修二 他：解剖生理の視点でわかる看護技術の根拠Q&A．照林社，2013．  
田中マキ子編：写真でわかる看護技術 日常ケア場面でのポジショニング．照林社，2014．  
吉田みつ子,本庄恵子監修：新訂版 写真でわかる基礎看護技術 アドバンス．インターメディカ，2020．  
藤本真記子 他監修：看護がみえるvol.1 基礎看護技術．メディックメディア，2018．  
近藤一郎 他監修：看護がみえるvol.2 臨床看護技術．メディックメディア，2018．

## 評価方法

技術到達度、課題、小テスト（55％）筆記試験（40％）授業への取り組み（5％）

## 教員等の実務経験

様々な分野における看護の臨床経験を持つ教員が、その経験を活かして看護技術の講義、演習を行っていく。

## メッセージ

本科目では、既習科目の知識を使い、より臨床で活用できるような技術の習得を目指しています。また本科目の講義や演習で学んだ知識と技術、態度は、2年前期の「看護過程の展開実習」で活用していくことが重要となります。

## 治療検査と看護

更新日：2022/02/09 11:51:18

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NFU203		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	610800
担当教員	千原 明美						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

治療や検査の概要を学び、看護職者の役割と援助方法について理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	治療・検査の目的及び方法を理解するとともに、検査・治療に伴う日常生活への影響および苦痛を述べることができる。
2	基本的な検査・治療の処置内容・実施前、実施中、実施後の観察項目・注意事項を説明することができる。
3	診療における治療・検査について、看護者が果たすべき役割を述べるができる。

## 授業計画

1	【ガイダンス】 【治療、検査の概念】 意義、目的、看護の役割 【授業方法】 講義 【予習】 60分：臨床検査「臨床検査の基礎」 p4～p74を読んでおく。 【復習】 60分：学習した検査の正常値・異常値を述べられるよう復習を行う。
2	【生体機能検査1】 検体検査と看護（尿／便／体腔内貯留液／血液／喀痰／その他） 【授業方法】 講義 【予習】 60分：臨床検査「一般検査」 p78～p184を読んで、尿・便・血液検査について目的および値をどう読み取れば良いか調べてくる。 【復習】 60分：学習した検査の正常値・異常値を述べられるよう復習を行う。
3	【生体機能検査2】 呼吸機能検査と看護（経皮的動脈血酸素飽和度測定/肺機能検査/血液ガス検査） 【授業方法】 講義（GW、発表） 【予習】 60分：呼吸機能検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：学習した呼吸機能検査の正常値および異常値を説明できるようにしておく。
4	【生体機能検査3】 循環機能検査と看護（12誘導心電図/心電図モニター） 【授業方法】 講義（GW、発表） 【予習】 60分：循環機能検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：学習した循環機能検査の正常・異常について説明できるようにしておく。
5	【生体機能検査4】 画像診断と看護（X線単純撮影/消化管造影/脳血管造影/心血管造影、CT検査/MRI検査/PET検査/核医学検査） 【授業方法】 講義（GW、発表） 【予習】 60分：画像診断の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：画像診断読影の基本的な知識を説明できるようにしておく。
6	【生体機能検査5】 内視鏡検査と看護（上部・下部消化管内視鏡検査/気管支鏡検査/膀胱尿道鏡検査） 超音波検査と看護（心エコー検査/乳房超音波検査/腹部超音波検査） 【授業方法】 講義（GW、発表） 【予習】 60分：内視鏡検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 60分：内視鏡検査前・検査中・検査後に注意すべきことを説明できるようにしておく。
7	【治療を受ける患者への看護2】 輸血療法を受ける患者への看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：臨床検査「輸血に関する検査」 P189～p192を読んでおく。 【復習】 60分：各種輸血製剤の管理・使用方法・実施前・実施中・実施後の注意点について述べられるように復習しておく。
8	【治療を受ける患者への看護3】 透析療法を受ける患者への看護 血液透析／腹膜透析 【授業方法】 講義 【予習】 60分：成人看護技術「腹膜透析」 p356～p359を読んでおく。 【復習】 60分：血液透析・腹膜透析を受ける患者の看護について述べられるように復習しておく。
9	【治療を受ける患者への看護4】 手術療法を受ける患者への看護①手術療法とは手術における生体侵襲 手術前患者の看護 【授業方法】 講義 【予習】 60分：ナーシンググラフィカ 周術期看護P12～P55を読んでおく 【復習】 60分：手術前看護について述べられるように復習しておく。
10	【治療を受ける患者への看護5】 手術療法を受ける患者への看護②手術中患者の看護 手術室の環境管理 【授業方法】 講義 【予習】 60分：ナーシンググラフィカ 周術期看護P58～p70を読んでおく。 【復習】 60分：手術中看護について述べられるように復習しておく。

11	<p>【治療を受ける患者への看護6】 手術療法を受ける患者への看護③ 手術後患者の回復を促進する看護 合併症予防と発生時の看護</p> <p>【授業方法】 講義</p> <p>【予習】 60分：ナースングラフィカ 周術期看護 P90～p118を読んでおく。</p> <p>【復習】 60分：手術後看護について述べられるように復習しておく。</p>
12	<p>【治療を受ける患者への看護8】 手術療法を受ける患者への看護⑤ 創傷管理技術 排液管理とドレーン</p> <p>【授業方法】 講義</p> <p>【予習】 60分：創傷治癒について、病理学・人体の構造と機能で習ったメカニズムを復習し、ナースングラフィカ 周術期看護 P33～P35を読んでおく。</p> <p>【復習】 60分：創傷管理・排液管理・ドレーン管理について注意すべきことを述べられるように復習しておく。</p>
13	<p>【治療を受ける患者への看護7】 手術療法を受ける患者への看護④ 排泄ケア ストーマケア</p> <p>【授業方法】 講義</p> <p>【予習】 60分：成人看護技術「排泄ケア」 p214～p222を読んでおく。</p> <p>【復習】 60分：ストーマについて、ストーマを有する患者の看護について述べられるように復習しておく。</p>
14	<p>【治療を受ける患者への看護1】 輸液療法を受ける患者への看護 ME 機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ）</p> <p>【授業方法】 演習</p> <p>【予習】 60分：輸液療法におけるME機器について調べて、使用時の注意点を説明できるようにしておく。</p> <p>【復習】 60分：演習で使用したME機器についての使用上の注意点を再度テキストを読んで復習する。</p>
15	<p>【まとめ】 治療、検査における看護のまとめ及び試験・課題のフィードバック</p> <p>【授業方法】 講義</p> <p>【予習】 60分：理解不十分な箇所について事前に学習しておく。</p> <p>【復習】 60分：治療・検査それぞれに必要な看護についてポイントを自分で説明できるようにしておく。検査値の読み取りができ、それを看護に活用できるように復習しておく。</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

奈良信雄 編：系統看護学講座 別巻 臨床検査. 医学書院, 2019.  
 野崎真奈美 他編著：看護学テキストNICE成人看護技術. 南江堂, 2017.  
 中島恵美子 他編：ナースングラフィカ 成人看護学④ 周術期看護, 2022.

## 参考文献

矢永勝彦 他編：系統看護学講座別巻 臨床外科総論. 医学書院, 2017  
 石塚睦子 編著：よくわかる周手術期看護. 学研メディカル秀潤社, 2017.  
 杉本由香 監修：Nursing Canvas Book 8 生体検査・検体検査・看護技術. 学研メディカル秀潤社, 2016.  
 写本庄 恵子 他監修：写真でわかる臨床看護技術1・2 アドバンス, インターメディカ, 2016.  
 下 正宗 編集：エビデンスに基づく検査データ活用マニュアル 改定第3版, 学研メディカル秀潤社, 2020.  
 繪本正憲 他編著：ナースングラフィカEX疾患と看護⑧ 腎/泌尿器/内分泌・代謝, メディカ出版, 2020.

## 評価方法

定期試験70%、課題30%

## 教員等の実務経験

いろいろな診療科で治療・検査を受ける患者の看護を行った経験のある看護教員が講義を担当。

## メッセージ

本科目で学んだ知識をこれからの臨地実習や看護過程展開に活かせるように、頑張って事前・事後学修をしっかりと行いながら修得して行って下さい。

# キャリアデザインⅠ

更新日：2022/01/25 14:35:38

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	NFU206		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	610900
担当教員	原田 紀美枝, 伊藤 明子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

自分の将来像を模索し、専門職としての目的意識を形成する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

## 到達目標

1	キャリアおよびキャリアデザインの基本的な考え方を理解できる。
2	自己を分析的に捉え、自身の傾向について考察できる。
3	様々な看護専門職について調べ、理解することができる。
4	専門職としてのキャリアデザインを基に、自身の将来像について考察できる。

## 授業計画

1	<b>科目オリエンテーション キャリアデザインの基本 キャリアに影響する要素</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章 (P.12-26)を精読する 【担当】原田・伊藤
2	<b>看護職としてのキャリア形成の基礎：資格と教育背景 ＊レポート課題提出</b> 【授業方法】講義 演習 (GW) 【予習】60分：看護職の様々な専門性を示す資格制度について調べ、レポートにまとめる(事前提出) 【復習】60分：キラリ看護の仕事の中で、関心がある動画を視聴し、自身のキャリアについて考える(Formsへの回答) 【担当】原田・伊藤
3	<b>看護師としての成長 看護師のクリニカルリーダー ＊1年次のPROGテスト結果持参</b> 【授業方法】講義 演習 (GW) 【予習】60分：テキスト第3章 (p.78-113) 第5章(p.163-170)を精読する 【復習】30分：1年次のPROGテストの結果を参考に自身の特徴を考えレポートを作成する(わたしの履歴書、夢・目標) 【担当】原田・伊藤
4	<b>看護職の就業状況の特徴</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：配布資料を精読する 【担当】原田・伊藤
5	<b>看護師のキャリアにおける障壁 看護師としての転機</b> 【授業方法】講義 【復習】120分：テキスト第4章(p.116-137, 148-162, 171-183)を精読する 【担当】原田・伊藤
6	<b>看護という仕事の特徴 看護師の社会的イメージ 感情労働 臨床におけるジレンマ</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：配布資料を精読する 【復習】60分：テキスト第1章 (p.27-33)、第4章 (p.138-145)を精読する 【担当】原田・伊藤
7	<b>ゲストスピーカーの講話を通して様々な看護師の働き方を学ぶ</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：今までの学習内容をもとに最終レポート課題の準備を行う 【担当】原田・伊藤、ゲストスピーカー (菊池美保)
8	<b>自身の将来像を描く 1・2回目レポートのフィードバック</b> 【授業方法】講義 演習 (GW) 【復習】180分：自身のキャリアデザインについてレポートを作成をする 【担当】原田・伊藤

## 先行履修科目

なし

## テキスト

勝原裕美子：看護師のキャリア論．ライフサポート社，2007．

## 参考文献

Benner, P./井部俊子訳：ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ。医学書院，2005。  
武井麻子：感情と看護 人のかかわりを職業とすることの意味。医学書院，2001。  
Gratton, L., Scott, A./LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略。東洋経済新報社，2016。

他、適宜提示する

## 評価方法

レポート（60%）、授業への取り組み（40%）で総合的に評価する。

## 教員等の実務経験

認定看護管理者の資格を持ち、医療機関で看護管理者として勤務経験のある教員が、キャリアに関する動向を踏まえてキャリアデザインについて講義します。

## メッセージ

キャリアという職業や仕事に関することのみを指すと思われがちですが、キャリアを考えることは自身の人生を考えることです。職業人としてまた専門職者としての可能性を探り、自身の将来像を描くことで、人生の展望を広げていきましょう。長期の「夢・目標」を設定することが、大学生活で何をどのように学んでいくのかを考えることにつながっていきます。

## キャリアデザインII

更新日：2022/03/02 18:10:52

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NFU401		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	611000
担当教員	倉岡 有美子, 西村 和美, 西山 陽子, 福島 綾子, 伊藤 明子, 小手川 良江						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護職者としての自己の課題を認識し、キャリア形成の基礎力と専門職として必要な知識を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	キャリアに関する主要理論の概要について説明できる
2	看護職としてキャリア形成していくうえで必要な基礎的知識を獲得できる
3	看護職のキャリアについて探求し説明することができる
4	自己のキャリアについて創造的にデザインすることができる

## 授業計画

1	キャリアに関する主要理論（キャリアアンカー、キャリアドリフト、トランジション等） 【授業方法】講義 【予習】15分：シラバスの内容を確認する 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】倉岡
2	看護職のワークライフバランスを支える法律・制度（はたらくサポートブック） 【授業方法】講義 【予習】30分：前回資料の確認 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】倉岡
3	看護職のキャリア①レジリエンス 【授業方法】講義 【予習】30分：卒業後の自分のキャリア像を考える 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】小手川
4	看護職のキャリア②国際救援活動 【授業方法】講義 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】伊藤
5	看護職のキャリア③起業 【授業方法】講義 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー：株式会社ホスピタリティワン代表取締役 高丸 慶
6	看護職のキャリア④看護行政 【授業方法】講義 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー：厚生労働省九州厚生局 看護指導官 向井葉子
7	看護職のキャリアの探究① 【授業方法】演習（個人ワーク）：教員が提示するテーマ（Ⅰ～Ⅳ）の中から1つを選び、個人で調べる 【予習】30分：自身の卒業後の進路と夢をまとめる 【復習】30分：調べたことをまとめる 【担当】倉岡
8	看護職のキャリアの探究② 【授業方法】演習（個人ワーク）：教員が提示するテーマ（Ⅰ～Ⅳ）の中から1つを選び、個人で調べる 【予習】30分：選択したテーマの文献を収集する 【復習】30分：調べたことをまとめる 【担当】倉岡
9	看護職のキャリアの探究③ 【授業方法】演習（発表・討議）：テーマ別のグループを形成し、個人ワークで調べたことを発表する 【予習】30分：発表資料の作成 【復習】30分：発表資料を見直す 【担当】倉岡、西村、西山、福島

10	<b>看護職のキャリアの探究④</b> 【授業方法】グループワーク：テーマ別グループごとに探究課題を設定し、調べる 【予習】30分：関連する文献を収集する 【復習】30分：調べたことをまとめる 【担当】倉岡、西村、西山、福島
11	<b>看護職のキャリアの探究⑤</b> 【授業方法】グループワーク：テーマ別グループごとに探究課題を設定し、調べる 【予習】30分：関連する文献を収集する 【復習】30分：調べたことをまとめる 【担当】倉岡、西村、西山、福島
12	<b>看護職のキャリアの探究⑥</b> 【授業方法】グループワーク：テーマ別グループで、発表準備 【予習】30分：調べたことをまとめる 【復習】30分：発表資料の仕上げ 【担当】倉岡、西村、西山、福島
13	<b>全体発表① テーマⅠ、Ⅱ</b> 【授業方法】演習（発表・討議） 【予習】30分：発表準備 【復習】30分：発表資料を見直す 【担当】倉岡、西村、西山、福島
14	<b>全体発表② テーマⅢ、Ⅳ</b> 【授業方法】演習（発表・討議） 【予習】30分：発表準備 【復習】30分：発表資料を見直す 【担当】倉岡、西村、西山、福島
15	<b>まとめとフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：発表資料を見直す 【復習】30分：レポート作成に向けて考えをまとめる 【担当】倉岡

## 先行履修科目

キャリアデザインⅠ

## テキスト

特に指定しません。

## 参考文献

金井壽宏：働くひとのためのキャリア・デザイン。PHP新書，2002。  
勝原裕美子：看護師のキャリア論。ライフサポート社，2007。  
金井壽宏，鈴木竜太：日本のキャリア研究－専門技能とキャリア・デザイン。白桃書房，2013。  
Shein, E./金井壽宏訳：キャリア・アンカー 自分のほんとうの価値を発見しよう。白桃書房，2003。

他、必要に応じて提示します。

## 評価方法

授業やワークへの参加度50％ レポート50％

## 教員等の実務経験

看護師の臨床経験を有する教員が、キャリアに関する主要理論と看護職の様々なキャリアについて講義します。

## メッセージ

皆さんの将来には、無限の可能性が広がっています。本科目で看護職のキャリアを幅広く発展的に捉え、自分らしくデザインしてください。本科目の演習では、以下の4つのテーマの中から各自が1つを選択し、同じテーマでグループを形成し、看護職のキャリアについて探求します。

- Ⅰ．看護職の新しい活躍の場の提案
- Ⅱ．看護職の新しい働き方についての提案
- Ⅲ．高度実践看護師の将来像
- Ⅳ．多様な背景をもつ対象者への看護の探究



## 日常生活援助実習

更新日：2022/03/02 13:21:37

開講年度	2022	学期	前期	シハースト	NFU103		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	611100
担当教員	阿部 オリエ, 小手川 良江, 隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 添田 梨香, 倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	指導教員：阿部 オリエ、添田 梨香、小手川 良江、鬼丸 美紀、隈井 寛子、倉岡 有美子、福本 優子 選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

病院において、治療を受けている対象者への日常生活援助の必要性や根拠を理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	日常生活援助を受けている対象者の情報を看護師から得ることができる
2	看護師と共に日常生活援助を実施する対象者に説明し同意を得ることができる
3	看護師と共に安全・安楽に日常生活援助を実施または見学することができる
4	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、日常生活援助技術の根拠が理解できる
5	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、対象者の自立や個性に応じた日常生活援助について考えることができる
6	振り返りを行い、日常生活援助技術に対する自己の課題を明らかにすることができる
7	看護技術の原理・原則（安全、安楽、自立、個別性、効率性）などに照らし合わせて、自身が行った日常生活援助を考察し記述できる

## 授業計画

## 授業方法と学修課題

### 【授業方法】

#### 1. 実習期間

8月29日（月）：実習オリエンテーション [全員集合]

Aグループ：8月30日（火）～9月2日（金）

Bグループ：9月1日（木）～9月6日（火）

Cグループ：9月5日（月）～9月8日（木）

#### 2. 実習施設

総合せき損センター、福岡赤十字病院、宗像医師会病院のいずれか1か所

#### 3. 実習配置人数

1グループ2～3名

#### 4. 実習の進め方

[学内：実習オリエンテーション]

8月29日（月） 9：00～16：00

クラスを半分に分けて、オリエンテーションと技術練習を実施する

[病院実習]

Aグループ：8月30日（火）～8月31日（水）

Bグループ：9月1日（木）～9月2日（金）

Cグループ：9月5日（月）～9月6日（火）

<病院実習の進め方>

(1)看護師より、日常生活援助を実施している対象者の情報（年齢、性別、入院の目的、援助を実施している根拠など）を聞く。聞いた情報を、【行動計画用紙〈様式1〉】に記載する。対象者は、2日間同じ方でも可、違う方でも可。

(2)学生は1～2人一組となり、聞いた情報を基に実施可能な日常生活援助を決定する。

(3)看護師と共に、一日の計画を立て【行動計画用紙〈様式1〉】に記載する。

(4)看護師と共に対象者のところへ出向き、日常生活援助を看護師と共に実施させていただくことを説明し、対象者より同意を得る（※原則、同意書は必要としない）。

(5)学生は1～2人一組となり、看護師と共に日常生活援助を実施する。

(6)日常生活援助実施前～実施後に、対象者への安全や安楽に対する配慮や、自立・個別性に即した日常生活援助について看護師よりアドバイスや指導を受ける。

(7)病院実習終了後の課題として、毎日、自宅にて【振り返りシート〈様式2〉】を記載する。その際、翌日の病院実習につながるように、評価・今後の課題を明確にしておくこと。

[学内実習：対面またはWEB]

Aグループ：9月1日（木）～9月2日（金）

Bグループ：9月5日（月）～9月6日（火）

Cグループ：9月7日（水）～9月8日（木）

<学内実習の進め方>

・倫理的課題の検討（グループディスカッション）

・レポート作成・FB後完成へ

#### 5. 実習課題

##### 1) 病院実習中課題

様式1：行動計画用紙、様式2：振り返りシート

様式1・様式2は臨地実習の期間（2日間）毎日記載する。

##### 2) 最終課題

###### (1)提出物

①評価表（実習目標評価表、実習態度評価表）

②レポート評価表（学籍番号と氏名のみ記載すること）

③実習記録（様式1：行動計画用紙2日分、様式2：振り返りシート2日分）

④課題レポート2部（同じものを提出し、1部は紐で綴じないこととする）

⑤ヒヤリ・ハット体験の報告書

###### (2)ファイルの綴じ方

提出物に関しては、配布した表紙をつけて、紐で綴じて提出をすること。

#### 6. 実習評価

##### 1) 評価方法

(1)実習目標達成度（評価表の表面）（50%）

(2)実習態度（評価表の裏面）（20%）

(3)レポート（30%）

### 【予習と復習】

ポータルサイトメールでお知らせします

1

## 先行履修科目

なし

## テキスト

特に指定しない。

## 参考文献

既習科目のテキスト・資料。特に看護技術に関する文献は、自ら収集・活用すること。

## 評価方法

実習目標の達成状況（50％）、レポート（30％）、課題への取り組みおよび授業への参加態度（20％）

## 教員等の実務経験

様々な場で看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、日常生活援助の原理・原則における思考について、臨地の場でタイムリーに指導を行います。

## メッセージ

看護大学入学後、初めての实習科目になります。主に看護技術Ⅰで学んだ知識や技術を、対象者という“個”にどのように応用していくか、いわゆる「個別性」を学ぶ機会となります。グループごとに担当教員を交えてカンファレンスを行う機会を設けます。学生それぞれが、他者の意見を聴き、自分の考えを発信できるようになることを期待しています。そして、それは、コミュニケーションの1つの形です。日常生活援助を実施するにあたり、対象者とのコミュニケーションや観察を行うことは、基本的な能力として求められます。学内で学んだことを、実習の場でどのように応用するか、かつ、更なる学習のための自己の課題は何かについて、深く考える機会にしましょう。

## 看護過程の展開実習

更新日：2022/01/17 11:24:19

開講年度	2022	学期	前期	シラバスコード	NFU204		
学年	2	曜日/時限	一	単位数	3.0	科目コード	611200
担当教員	小手川 良江, 阿部 オリエ, 隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 添田 梨香, 本田 多美枝						
学部/学科	大学看護学部						
備考	指導教員：西山 陽子、山本 孝治、鈴鹿 綾子、宇都宮 真由子、鴨川 めぐみ、衛藤 泰秀、福田 陽子、山内 多恵 選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

健康障害を持った対象者との関わりを通して、看護過程の展開方法を学ぶとともに、看護学実習における基本的学習方法を身につける。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	自分の行動を分析的に捉えることができる
2	看護過程を展開できる
3	看護実践における看護過程の意義について説明できる
4	学生として責任のある行動をとり、主体的に知識、技術を学ぶことができる
5	機会を捉え対象者の状況に応じた看護援助を実施し、振り返りを行なうことができる

## 授業計画

1	<p><b>事前課題【予習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護過程の教科書、資料、事例の看護展開を用いて、看護過程の復習を行う（取組時間：120分）</li> <li>看護技術の復習を行う（取組時間：120分）</li> <li>実習要項の看護過程の展開実習に関する箇所を熟読する（取組時間：60分）</li> </ul>
2	<p><b>実習方法と実習の進め方</b></p> <p>1. 実習方法</p> <p>1) 期間（病院・学内） 2022年7月19日～8月5日（3週間）</p> <p>2) 実習場所 おなが病院、嘉麻赤十字病院、九州病院、熊本赤十字病院、福岡赤十字病院、宗像医師会病院、門司メディカルセンター、山口赤十字病院</p> <p>3) 指導体制 一つの病棟に学生3-6名程度を配置し、担当教員と実習指導者が主に指導にあたる</p> <p>2. 実習の進め方</p> <p>1) 全体オリエンテーション 実習目的および概要を理解する（全体オリエンテーション時は必ず実習要項を持参する） &lt;予習&gt;45分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護過程の展開実習の実習要項を熟読する</li> <li>I.看護学臨床実習の意義～X.実習における注意事項、レベルII実習要項を熟読しておく</li> </ul> <p>2) 学内演習 看護技術練習 看護過程の第四段階（実施）、第五段階（評価）について理解する &lt;学修課題&gt; 120分：受持ち対象者に実施できるレベルまで看護技術を練習する 60分：看護過程の第四段階（実施）、第五段階（評価）について教科書や資料などを用いて復習する</p> <p>3) 病院実習 入院している対象者1名（もしくは2名程度）を受け持ち、看護過程の展開を行う 看護過程記録物のフィードバック 看護技術到達度表を用いた看護技術に対する学生の自己評価や教員からのフィードバック 自分が行った看護の意味について検討する &lt;学修課題&gt; 実習要項を確認し、主体的に病院実習に取り組む 看護過程の記録物は病院実習期間中に完成させる 自分が行った看護の意味について検討し、課題レポートにつなげる</p> <p>4) 学内実習 学内カンファレンス、面接、文献学習等を通して実践を振り返り、現象を探究する過程を経て、看護に対する理解を深める レポートのフィードバック 実習のフィードバック</p> <p>【担当】 小手川・阿部・隈井・鬼丸・添田・本田</p>

## 先行履修科目

日常生活援助実習

## テキスト

---

特に指定しない。

## 参考文献

---

既習科目のテキスト・資料。

その他、対象者を理解するために、必要な文献を自ら収集・活用すること。

## 評価方法

---

実習目標の達成度(80%)、実習態度(20%)により総合的に評価する。

## 教員等の実務経験

---

様々な分野での臨床経験を持つ教員が、看護過程を指導する。

## メッセージ

---

講義・演習で学んだ看護過程を基本とし、臨床の場で実際に看護過程を展開します。看護過程を展開するためには、1年生から学んだ人体の構造と機能、疾病の知識が重要になります。また、大学で学んでいないことを自分で学び看護過程につなげることも重要です。みなさんが主体的に取り組むことを期待しています。

## リハビリテーション論

更新日：2022/02/07 10:20:47

開講年度	2022	学期	前期	シバースト*	NAP301		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	620100
担当教員	千原 明美, 梶原 弘平						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

多様に展開されているリハビリテーションを保健・医療・福祉の視点から理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

## 到達目標

1	リハビリテーションの概念、リハビリテーション看護の概念について述べるができる。
2	リハビリテーションを必要とする人の特徴について述べるができる。
3	経過別・障害機能別リハビリテーションについて説明することができる。
4	リハビリテーション・チームにおける看護師の役割と多職種連携について説明することができる。

## 授業計画

1	<b>ガイダンス，リハビリテーション概論/リハビリテーション看護概論</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：2年次地域看護Ⅰで履修した、ICFについてを再度復習しておく。 【復習】60分：テキストp14～p50を読んで、リハビリテーション看護について自分のことばでまとめられるようにしておく。 【担当】千原
2	<b>各身体機能のメカニズムとアセスメント（1）呼吸・循環・運動</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学修した、呼吸・循環・運動機能のメカニズムを説明できるように復習しておく。 【復習】60分：テキストp86～p112を読み、呼吸・循環・運動のアセスメントをどのようにするか説明できるようにしておく。 【担当】千原
3	<b>身体機能のメカニズムとアセスメント（2）栄養・排泄・高次脳・性機能・感覚器</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：講義内容のkey Wordについて今まで学習したことは復習し、説明できるようにしておく。 【復習】60分：テキストp113～p178を読み、合わせて講義内容を振り返る。 【担当】梶原
4	<b>心理・社会的なアセスメントと支援</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp34～50、p180～p200を事前に読む。 【復習】60分：講義した心理・社会的なアセスメントが活用できるように、講義資料を基に振り返りを行う。 【担当】梶原
5	<b>生活の再構築へのアセスメントと援助①</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：ADL,ICF,FIM,BIについて調べて、説明できるようにしておく。 【復習】60分：テキストp202～p230を読む。 【担当】千原
6	<b>生活の再構築へのアセスメントと援助②</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：障害のある人に関する法律・施策についてテキストp52～63までを読んで、障害のある対象者への生活再構築に向けての社会資源を調べてくる。 【復習】60分：テキストp232～p309を読んで、各事例のリハビリテーション看護について理解する。 【担当】千原
7	<b>チームアプローチと看護の役割</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：p66～p84を読んで、チームアプローチの中での看護の役割を考えてくる。 【復習】60分：講義で学んだチームアプローチと看護の役割について、自分の考えをまとめる。 【担当】小倉リハビリテーション病院 地域リハビリテーションセンター センター長 森山 雅志
8	<b>リハビリテーション看護のまとめ/課題・試験のフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの講義で学んだ重要用語について説明できるように復習しておく。 【担当】千原

## 先履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

奥宮暁子他 編集：ナーシンググラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護。メディカ出版，2022。

## 参考文献

酒井郁子，金城利雄編集：リハビリテーション看護 障害をもつ人の可能性とともに歩む。改定第3版。南江堂，2021。

武田宜子他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護。医学書院，2015。

落合慈之監修：リハビリテーションビジュアルブック 第2版，学研，2016。

## 評価方法

定期試験80%、課題20%

## 教員等の実務経験

急性期・慢性期病院での臨床、及び在宅・地域でリハビリテーションを他職種連携で実践してきた看護師経験のある看護教員が講義を担当。

## メッセージ

多職種連携や在宅支援に向けた大事な科目です、テキストに使われているリハビリテーション看護での重要用語を予習・復習し今後の看護に活かせるようになりましょう。

## 慢性看護Ⅰ

更新日：2022/02/01 14:22:25

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	NAP201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	620200
担当教員	中村 光江, 山本 孝治, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

各ライフステージにわたる、慢性疾患とともに生きる人を理解するための概念を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	慢性病の特徴と生活への影響について説明できる。
2	慢性病とともに生きる人への理解や看護を支える理論や概念を説明できる。
3	慢性病とともに生きる人とその家族へのアセスメントの視点や援助方法について例を挙げて述べるができる。

## 授業計画

1	慢性病とその治療の特徴/看護の役割 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅰ章「慢性期看護とは」(p.2~39)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
2	慢性病とともに生きる人とその家族の身体的・心理社会的特徴(受け入れ過程/自己概念/役割) 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト第Ⅱ章「慢性疾患を有する人とその家族の理解」(p.42~70.)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
3	各ライフステージにおける慢性病の特徴と影響(特に成人期) 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】45分：「人間の成長発達段階」(看護学概論)を復習する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
4	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本(1)(セルフケア・セルフマネジメント能力を高める看護) 【授業方法】講義 【予習】45分：健康行動論で学んでいる理論・概念を復習する。 テキスト第Ⅰ章「慢性疾患を有する人に対する看護の役割」(p.30~39.) 第Ⅲ章「慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本」(p.72~76.p.96~101.)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
5	慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本(2)(成人教育/相談技術/社会資源の活用) 【授業方法】講義 【予習】テキスト第Ⅲ章「慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本」(p.101~127.)を読む。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
6	消化器系障害とともに生きる人への看護(1)胃・十二指腸潰瘍/肝炎/肝硬変/肝臓がん 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】45分：テキスト第Ⅴ章p281~314「胃・十二指腸潰瘍」「慢性肝炎」「肝硬変」「肝臓がん」 【復習】30分：各疾患の病態と治療、看護についてまとめる 【担当】山本
7	消化器系障害とともに生きる人への看護(2)潰瘍性大腸炎・クローン病/大腸がん 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】45分：テキスト第Ⅴ章p315~327「潰瘍性大腸炎」「クローン病」 【復習】30分：各疾患の特徴と症状・療養による生活への影響についてまとめる ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】山本
8	慢性病とともに生きる人への理解(1)療養の実際、患者会の活動について 【授業方法】講義 【予習】30分：第7回の授業内容から「クローン病の病態生理、生活への影響」についてまとめる 【復習】30分：ゲストスピーカーの講義をふまえ、「病いとともに生きること」についてまとめる 【担当】ゲストスピーカー



9	<b>呼吸器系障害とともに生きる人への看護/気管支喘息/慢性閉塞性肺疾患</b> 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】60分：テキスト第V章 熟読「気管支喘息」p.218～224. 「慢性閉塞性肺疾患」p.225～232. 「疾病と治療I」で学んだ呼吸器系の疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の復習 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】鈴鹿
10	<b>腎機能障害とともに生きる人への看護（慢性腎臓病/腎不全/人工透析）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストV-5「腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助」p.357～367.「人工透析を受ける患者の援助」p.140～150. を熟読し、「疾病と治療II」で学んだ腎疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】西山
11	<b>循環器系障害とともに生きる人への看護（高血圧/慢性心不全/虚血性心疾患）</b> 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】60分：テキスト第V章 熟読「循環器系の障害を有する人とその家族への援助」p.240～280 「疾病と治療I」で学んだ循環器系の疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の復習 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】鈴鹿
12	<b>脳・神経系障害とともに生きる人への看護/脳梗塞/パーキンソン病</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストV-7「脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助」を熟読する。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 ※ICTを用いた小テストを実施する。 【担当】西山
13	<b>慢性病とともに生きる人への理解(2)「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の理解</b> 【授業方法】講義（AL） 【予習】45分：資料「病みの軌跡」を熟読し「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の概要を理解する。 【復習】45分：授業で提示する事例の「病みの軌跡」について考え、演習用フォーマットを完成させる。 【担当】中村
14	<b>慢性病とともに生きる人への理解(3)「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の活用</b> 【授業方法】反転授業、講義 【予習】45分：完成させた「病みの軌跡」のフォーマットを見直し、疑問点を明確にしておく。 【復習】60分：事例の「病みの軌跡」についてまとめる。（課題） 【担当】中村
15	<b>小テスト、定期試験、課題に対するフィードバック/科目全体のまとめ</b> 【授業方法】講義 【復習】30分：全体の振り返り 【担当】中村、山本、西山、鈴鹿

## 先行履修科目

なし

## テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第3版. 南江堂, 2019.

## 参考文献

鈴木志津枝編：慢性期看護論 第3版. ナーヴェルヒロカワ, 2014.

Woog,P.(ed.): The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model. 1992, 黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡. 医学書院, 1995.

Strauss,A.L.et al. (ed.): Chronic Illness and the Quality of Life, 南裕子監訳：慢性疾患を生きる. 医学書院, 1987.

## 評価方法

ICTを用いた小テスト（40%）、定期試験（50%）、課題（10%）で総合的に評価する。

※小テストは、第7回、9回、10回、11回、12回で実施する。

※課題は第14回に提示する（病みの軌跡の記述）。

## 教員等の実務経験

慢性看護（腎臓内科、消化器科、糖尿病専門科など）の分野で看護師として臨床経験がある教員が講義を担当する。

## メッセージ

「慢性看護I」で学ぶ理論や概念は、2年生前期の「健康行動論」と関連させることでより看護実践に活用できるようになります。本科目での学びは、後期の「慢性看護II」の演習において具体化され、その後の「レベルIII慢性看護実習」での発展的活用につながっていきます。

※ COVID-19の感染状況によって授業内容・授業形態、評価方法に変更が生じる可能性があります。

## 慢性看護Ⅱ

更新日：2022/02/01 13:56:24

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP202		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	620300
担当教員	山本 孝治, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子, 中村 光江						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

慢性疾患の予防からセルフケア、患者会の運営、セルフケアグループの役割など、個および集団への指導や援助方法を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	様々な慢性疾患の特徴と生活への影響について説明できる。
2	慢性病をもつ人とその家族について、長期的な視点に基づいて全人的なアセスメントができる。
3	慢性病の予防から終末期までそれぞれの病期の特性に応じて、セルフケアを支えるための具体的な援助方法を説明できる。
4	事例の展開を通して、慢性病をもつ人と家族への看護を具体的に考察できる。

## 授業計画

1	<p>科目オリエンテーション/演習「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」オリエンテーション①/病みの軌跡の復習</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】45分：慢性看護Ⅰで取り組んだ病みの軌跡について振り返る</p> <p>【復習】60分：事例「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」個人課題をすすめる</p> <p>【担当】山本、中村</p>
2	<p>免疫系障害とともに生きる人への看護：関節リウマチ/全身性エリテマトーデス/ステロイド療法</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】45分：テキスト第Ⅳ章4.ステロイド療法を受ける患者の援助、Ⅴ-6の4.関節リウマチ5.全身性エリテマトーデスを熟読し、要点にマーカーを引く。</p> <p>【復習】45分：小テストの解答をテキストや講義内容から確認する。</p> <p>*ICTを用いた小テストを実施する。</p> <p>【担当】西山</p>
3	<p>代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護(1)：糖尿病の病態、症状</p> <p>【授業方法】講義 (ICT支援)</p> <p>【予習】45分：テキスト第Ⅴ章「糖尿病」, 系統看護学講座専門分野Ⅱ内分泌, のテキストを熟読する</p> <p>【復習】40分：「疾病と治療」の糖尿病の病態・治療の学修後にもう一度テキストを熟読し、要点をまとめる。</p> <p>*ICTを用いた小テストを実施する。</p> <p>【担当】鈴鹿</p>
4	<p>代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護(2)：治療、糖尿病の療養</p> <p>【授業方法】講義 (ICT支援)</p> <p>【予習】45分：テキスト第Ⅴ章「糖尿病」, 系統看護学講座専門分野Ⅱ内分泌, のテキストを熟読する</p> <p>【復習】40分：「疾病と治療」の糖尿病の病態・治療の学修後にもう一度テキストを熟読し、要点をまとめる。</p> <p>*ICTを用いた小テストを実施する。</p> <p>【担当】鈴鹿</p>
5	<p>患者会/セルフケアグループの役割</p> <p>【授業方法】講義 (ICT支援)</p> <p>【予習】45分：テキストP123～127「サポートグループやセルフヘルプグループ」を熟読、慢性看護Ⅰ第8回授業のゲストスピーカーの講義内容、資料の振り返り</p> <p>【復習】30分：サポートグループ、セルフヘルプグループの特徴をまとめる</p> <p>*ICTを用いた小テストを実施する。</p> <p>【担当】山本</p>
6	<p>「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」(1)：Response to the question</p> <p>【授業方法】講義・演習(討議、発表、ICT支援)</p> <p>全体討論・ディスカッション</p> <p>【予習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」&lt;看護問題抽出まで完成させておく&gt;</p> <p>【復習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正</p> <p>【担当】山本、西山、鈴鹿、中村</p>
7	<p>「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」(2)：全体フィードバック/オリエンテーション②</p> <p>【授業方法】講義・演習(討議、発表)</p> <p>看護過程の展開「看護問題抽出」までのポイントについて、教員からのフィードバック</p> <p>【予習】60分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正</p> <p>【復習】60分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正</p> <p>【担当】山本</p>

8	<p><b>慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（1）：指導案の実際</b>  【授業方法】講義・演習（GW、討議、発表）  グループワークによる討議，教員からのフィードバック  【予習】60分：テキスト第V章「糖尿病」，系統看護学講座専門分野内分泌のテキストを用いて，糖尿病指導案の事例についてクラスター「健康管理・健康知覚」のアセスメントを完成させておく。  【復習】45分：「健康管理・健康知覚」のクラスターについて追加修正  【担当】鈴鹿、山本、西山、中村</p>
9	<p><b>慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（2）：指導案のピアレビュー</b>  【授業方法】講義（GW、討議、発表）  グループワークによる討議，教員からのフィードバック  【予習】45分：糖尿病事例に対する指導案の「テーマ」「患者指導の目的」「患者の行動目標」，パンフレットを完成させておく。  【復習】60分：指導案、パンフレットの追加修正  【担当】鈴鹿、山本、西山、中村</p>
10	<p><b>慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実際（1）：指導案・パンフレットを用いたセルフケア指導の実際</b>  【授業方法】演習&lt;登校&gt;（GW、討議、発表）  【予習】60分：セルフケア指導実践の練習  【復習】30分：演習の振り返り  *第10・11回は同日2コマで、A/Bクラスに分かれて実施する。  【担当】鈴鹿、山本、西山、中村</p>
11	<p><b>慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実際（2）：指導案・パンフレットを用いたセルフケア指導の実際</b>  【授業方法】演習&lt;登校&gt;（GW、討議、発表）  【予習】60分：セルフケア指導の実践を振り返り，指導案・パンフレットを追加修正し指導の練習を行う。  【復習】30分：演習の振り返り  *第10・11回は同日2コマで、A/Bクラスに分かれて実施する。  【担当】鈴鹿、山本、西山、中村</p>
12	<p><b>慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実際（3）：セルフケア指導実践へのフィードバック</b>  【授業方法】講義（討議、発表、ICT支援）  【予習】60分：第10・11回の演習を振り返る。  【復習】30分：セルフケア指導における留意点をまとめる  【担当】鈴鹿</p>
13	<p><b>「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（3）：Response to the question</b>  【授業方法】講義・演習（討議、発表、ICT支援）  全体討論・ディスカッション  【予習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」&lt;看護計画立案まで完成させておく&gt;  【復習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正  【担当】山本、西山、鈴鹿、中村</p>
14	<p><b>「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」（4）：全体フィードバック/演習の振り返り</b>  【授業方法】講義・演習（討議、発表）  【予習】120分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正  看護過程の展開「看護計画」のポイントについて、教員からのフィードバック  【復習】60分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正  【担当】山本</p>
15	<p><b>科目のまとめ、小テストのフィードバック</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：第2回～5回までの小テストを振り返る  【復習】30分：科目で学んだことを慢性看護実習でどのように活かすのかまとめる  【担当】山本、西山、鈴鹿、中村</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂版第3版．南江堂，2019．

## 参考文献

鈴木志津枝編：慢性期看護論 第3版．ヌーヴェルヒロカワ，2014．

森山美知子編：新しい慢性疾患ケアモデル デイジーズマネージメントとナーシングケースマネージメント．中央法規出版，2007．

日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表第7版．文光堂，2013．

日本糖尿病教育・看護学会編：糖尿病に強い看護師育成支援テキスト．日本看護協会出版会，2008．

福井ト子監修：ライフステージから理解する糖尿病看護―事例で学ぶアセスメントのポイント―．中央法規，2013．

## 評価方法

ICTを用いた小テスト（20%）、課題（60%）、演習への取り組み（20%）で総合的に評価する。

\*小テストは第2回～第5回で実施する。

\*課題の評価内訳：指導案・パンフレット作成（25%）、病みの軌跡を用いた看護過程の展開（35%）

## 教員等の実務経験

腎臓内科、糖尿病内科等の病棟で看護師の経験がある教員が講義、演習を担当する。

## メッセージ

慢性看護Ⅱは2年生の集大成といえるレベルⅢ慢性看護実習につなぐ科目です。授業のなかで、学生間の全体討論やピアレビューを実施します、活発な意見交換をして学びを共有し深めていきましょう。課題は計画的に学習を進めていくように心がけてください。

※ COVID-19の感染状況によって、授業内容・授業形態、評価方法が変更される可能性があります。

## 母性看護 I

更新日：2022/03/09 11:07:46

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP203		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	620400
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 福田 陽子, 菊池 さよ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

女性の各ライフステージにおける健康課題、女性特有の疾患に対する看護の特性、周産期看護の基礎となる周産期学の知識を学び、女性の生涯を通じた看護や健康支援を理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	女性の健康は性周期ならびに性ホルモンの変動に大きく影響されていることを説明することができる。
2	女性のライフサイクルの各ステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）の健康課題と支援について考察することができる。
3	女性特有の疾患に対する看護の特性を説明することができる。
4	妊娠、分娩、産褥の正常経過を説明することができる。
5	新生児の生理的变化について説明することができる。

## 授業計画

1	<p><b>母性看護の基盤となる概念/リプロダクティブヘルスに関する概念・確認テスト①</b> 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「1.母性看護の基盤となる概念」、「2.リプロダクティブヘルスに関する概念」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】永松</p>
2	<p><b>母性を取り巻く社会の変遷と現状・確認テスト②</b> 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「3.リプロダクティブヘルスに関する動向」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】永松</p>
3	<p><b>リプロダクティブヘルスに関する倫理・確認テスト③</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「4.リプロダクティブヘルスに関する倫理」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】石山</p>
4	<p><b>生殖の生理・確認テスト④</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：「人体の構造と機能IV」での生殖器および受精と発生に関する学習内容の復習、およびテキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「6.生殖に関する生理（1.女性の生殖器～5.妊娠のメカニズム）」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】菊池</p>
5	<p><b>妊娠期における生理的变化・確認テスト⑤</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：「人体の構造と機能IV」での受精と発生（胎児の発達、妊娠による母親の変化）に関する学習内容の復習、およびテキスト（系統看護学講座 専門分野II 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第3章 妊娠期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田</p>
6	<p><b>分娩期における生理的变化・確認テスト⑥</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト（系統看護学講座 専門分野II 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第4章 分娩期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田</p>

7	<p><b>産褥期における生理的变化・確認テスト⑦</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第6章 産褥期における看護」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】福田</p>
8	<p><b>新生児期における生理的变化・確認テスト⑧</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第5章新生児期における看護」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】福田</p>
9	<p><b>リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援①・確認テスト⑨</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「5.リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援（1.子どもと女性の保護に関する法律～4.暴力・虐待の防止に関する法律と支援）」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】石山</p>
10	<p><b>リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援②・確認テスト⑩</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「5.リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援（5.周産期医療システム）」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】石山</p>
11	<p><b>生殖における健康問題と看護①・確認テスト⑪</b>  【授業方法】講義（討議）  【予習】60分：「疾病と治療Ⅲ」での性感染症に関する学習内容の復習、第1回目の講義内容の復習およびテキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「6.生殖に関する生理（6.性行動、性反応）」「7.生殖における健康問題と看護（2.性感染症）」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】永松</p>
12	<p><b>生殖における健康問題と看護②・確認テスト⑫</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：「疾病と治療Ⅲ」での女性生殖器系疾患に関する学習内容の復習、テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「7.生殖における健康問題と看護（1.月経異常・3.女性生殖器の腫瘍）」と「8.不妊症」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】石山</p>
13	<p><b>生殖における健康問題と看護③・確認テスト⑬</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：「疾病と治療Ⅲ」での女性生殖器系疾患に関する学習内容の復習、第12回目の講義内容の復習およびテキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「7.生殖における健康問題と看護（3.女性生殖器の腫瘍）」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】菊池</p>
14	<p><b>加齢とホルモンの変化・確認テスト⑭</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：「疾病と治療Ⅲ」での女性生殖器系疾患に関する学習内容の復習、テキスト（ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護）の「9.加齢とホルモンの変化」をよく読み、予習しておく。  【復習】60分：学習ノートに、①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。  【担当】菊池</p>
15	<p><b>母性看護Ⅰの課題・確認テストに対するフィードバック</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：これまでの講義資料を振り返り、母性看護Ⅰでの理解不十分だった箇所について整理しておく。  【担当】永松、石山、福田、菊池</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

中込さと子他：ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護（第2版）.メディカ出版,2022.  
森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論（第14版）.医学書院,2021.

## 参考文献

小林康江他：ナーシング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践（第2版）.メディカ出版,2022.  
森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論（第14版）.医学書院,2021.  
末岡浩他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器（第15版）.医学書院,2019  
仁志田博司：新生児学入門（第5版）.医学書院,2018.

## 評価方法

講義後の確認テスト（50%）、学習ノート（講義毎に作成）（50%）をもとに総合的に評価する。

### 教員等の実務経験

---

助産師として産婦人科病棟での臨床経験がある教員が、その経験を活かし、女性の生涯を通じた健康支援と妊産褥婦および新生児への看護に必要な理論基盤や知識について講義します。

### メッセージ

---

少子化、核家族化、生殖補助療法、出生前診断など、女性を取り巻く環境は大きく変化し続けています。多角的な視点から母性看護の基盤となる知識を習得し、母性看護Ⅰでの学びを深めていきましょう。



## 母性看護Ⅱ

更新日：2022/03/09 17:21:01

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	NAP302		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	620500
担当教員	福田 陽子, 石山 さゆり, 菊池 さよ						
学部/学科	大学看護学部						
備考	必修/選択：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

周産期看護に必要な理論と技術について学び、周産期を中心とした母子およびその家族の看護に必要な基礎的能力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	周産期における対象の特性に応じた看護の視点を、基礎的知識を用いて説明できる。
2	母性の看護過程の展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。

## 授業計画

1	小テスト・オリエンテーション・母性看護の基盤となる概念と看護過程の展開 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容を復習し、小テスト・講義に臨む。※なお、小テストの結果は最終評定には含めない。 【担当】福田・菊池
2	妊娠期における看護①・確認テスト① 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（妊娠期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護」をよく読み、予習しておく。 【担当】菊池・福田
3	妊娠期における看護② 【授業方法】演習（PBL, GW, 発表, 討議） 事例をもとにした問題解決のための保健指導案を作成し、グループ毎の発表と討議を行う。 【予習】120分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護 D妊婦と家族の看護 ②妊婦の健康相談・教育の実際、③親になるための準備教育」をよく読みグループ毎に、保健指導案の作成を行う。 【復習】60分：発表資料と指導案の加筆修正（要提出） 【担当】福田・菊池
4	分娩期における看護・確認テスト② 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（分娩期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第4章 分娩期における看護」をよく読み、予習しておく。 【担当】福田・菊池
5	産褥期における看護・確認テスト③ 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（産褥期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護」の身体的変化・心理的变化・社会的変化に関する内容をよく読み予習しておく。 【担当】福田・菊池
6	新生児期における看護・確認テスト④ 【授業方法】講義 【予習】60分：母性看護Ⅰでの学習内容（新生児期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第5章 新生児期における看護」をよく読み予習しておく。 【担当】福田・菊池
7	周産期における看護過程の展開① 【授業方法】演習（PBL, GW） 個人ワークで行った情報収集・アセスメントをもとに、グループで討議しながら、事例のアセスメントを行う。【予習】60分：事例をもとに、個人で情報収集・アセスメントを行い、グループワークの準備をする。 【復習】60分：グループワークをもとに、情報収集・アセスメントの加筆修正を行う。 【担当】福田・菊池
8	周産期における看護過程の展開② 【授業方法】演習（PBL, GW） 個人ワークで行った情報収集・アセスメントをもとに、グループで討議しながら、事例のアセスメントを行う。【予習】60分：事例をもとに、個人で情報収集・アセスメントを行い、グループワークの準備をする。 【復習】60分：グループワークをもとに、情報収集・アセスメントの加筆修正を行う。 【担当】福田・菊池



9	<p><b>周産期における看護過程の展開③</b>  【授業方法】演習（PBL, GW）  個人ワークで立てた看護診断と看護計画をもとに、グループで討議しながら、事例の看護診断・計画立案を行う。  【予習】60分：事例をもとに、個人で看護診断・計画立案を行い、グループワークの準備をする。  【復習】60分：グループワークをもとに、看護診断・計画立案の加筆修正を行う。  【担当】福田・菊池</p>
10	<p><b>周産期における看護過程の展開④</b>  【授業方法】演習（PBL, GW）  グループ毎に、産褥期（新生児期）に入院中の事例母子に必要な看護ケアの実践プランを立案する。提示された看護技術を用いた演習実施ができるよう準備を行う。  【予習】60分：事例をもとに、個人で看護ケアの実践プランの立案を行い、グループワークの準備をする。  【復習】60分：グループワークをもとに、看護ケアの実践プランの加筆修正を行う。  【担当】福田・菊池</p>
11	<p><b>周産期に関わる看護技術</b>  【授業方法】演習（実技, GW）グループに分かれ実施します。（日程がグループで異なります）  産褥期（全身状態・退行性変化・進行性変化の観察）、および新生児期（体重測定、バイタルサインの測定、全身状態の観察、清潔の保持）の看護技術を用いながら、立案した看護ケアプランをもとに、事例母子の情報収集とアセスメント、看護実践を行う。  【予習】120分：テキスト（ナーシンググラフィカ 母性看護学③母性看護技術）のARコンテンツから該当の動画を視聴し、事前学習課題（要提出）に取り組みながら、看護技術実践の準備を行う。  【復習】60分：演習後、演習時に収集した情報をもとに事例のアセスメント、看護計画の加筆修正を行う（要提出）  【担当】福田・菊池</p>
12	<p><b>周産期における看護過程の展開⑤</b>  【授業方法】演習（PBL, GW）グループに分かれ実施します。（日程がグループで異なります）  個人ワークをもとに、グループで討議しながら、事例に必要な保健指導案を作成する。  【予習】60分：事例の看護過程の展開をもとに、事例に必要な保健指導とその内容について個人で考え、グループワークの準備をする。  【復習】60分：グループワークをもとに、保健指導案発表の準備を行う。  【担当】石山</p>
13	<p><b>セルフケア能力を高める看護</b>  【授業方法】演習（PBL, GW, 発表, 討議）  作成した保健指導案を、グループ毎に発表し討議を行う。  【予習】120分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護 C褥婦と家族の看護、D施設退院後の看護」をよく読み、グループ毎に保健指導案の作成と発表準備を行う。  【復習】60分：保健指導案および発表資料の加筆修正（要提出）  【担当】福田・菊池</p>
14	<p><b>妊娠・分娩・新生児・産褥の異常・確認テスト⑤</b>  【授業方法】講義  【予習】60分：「疾病と治療Ⅳ」での妊娠合併症に関する学習内容の復習、およびテキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第7章妊娠・分娩・新生児・産褥の異常 I 妊娠の異常と看護」をよく読み、予習しておく。  【担当】菊池・福田</p>
15	<p><b>母性看護Ⅱの課題、確認テストに対するフィードバック</b>  【授業方法】講義（討議）  【予習】60分：母性看護Ⅱの課題や確認テストで理解不十分だった箇所について整理しておく。  【担当】福田・菊池</p>

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論（第14版）. 医学書院, 2021.  
横尾京子他：ナーシング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術（第5版）. メディカ出版, 2022.

## 参考文献

堀内成子他：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護（第2版）. 照林社, 2017.  
小林康江他：ナーシング・グラフィカ 母性看護② 母性看護の実践（第2版）. メディカ出版, 2022.  
中村幸代他：根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画. 南江堂, 2018.  
仁志田博司：新生児学入門（第5版）. 医学書院, 2018.

## 評価方法

講義後の確認テスト（30%）、課題提出（40%）、保健指導案の発表資料（妊娠期における看護②、セルフケア能力を高める看護）（30%）をもとに総合的に評価する。

## 教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟・産婦人科外来・地域での実践経験がある教員が、その経験を活かし、妊産褥婦および新生児への看護について講義します。

## メッセージ

本科目は、女性のライフサイクルの中で特に変化の大きい周産期に特化した科目になります。本科目での講義や演習課題（看護過程展開）への取り組みを通して、女性とその家族への支援について、学修していきましょう。

## 小児看護Ⅰ

更新日：2022/03/03 11:55:44

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	NAP204		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	620600
担当教員	川崎 幹子, 松中 枝理子, 太田 純代						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

子どもの成長・発達を生涯発達の視点から理解し発達の評価を学ぶ。成長・発達する子どもとその家族を含めた社会的環境との関係を理解し、健康問題の解決への手がかりを学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	子どもの成長・発達に関する理論と特徴を説明できる
2	子どものフィジカルアセスメントの特徴を説明できる
3	子どもの成長・発達の特徴を踏まえた援助を説明できる
4	子ども・家族の諸統計、家族看護理論を説明できる
5	子どもの健康に関わる法律・施策、小児看護の目標および役割を説明できる

## 授業計画

1	<p>子どもの最善の利益にかなう医療・看護/子どもの人権・確認テスト①</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P44～53 予習キーワード：子どもの権利条約、小児医療における倫理的配慮 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
2	<p>小児看護における概念と理念・確認テスト②</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P117～137、課題1に取り組む 予習キーワード：エリクソンの自我発達理論、ピアジェの認知発達理論、ボウルビィの愛着理論、マラーの分離一個体化理論、家族システム論、家族発達理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
3	<p>小児を取り巻く医療の変遷と課題・確認テスト③</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P15～38 予習キーワード：小児看護・医療の歴史、小児看護の変遷、小児看護の国際動向、小児看護・医療の課題と展望 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
4	<p>小児の成長・発達と看護（発達の基本）・確認テスト④</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P81～116 予習キーワード：成長・発達・発育の概念と定義、成長・発達の区分・原則 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
5	<p>小児の成長・発達と看護（発達評価法）・確認テスト⑤</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P81～116、課題2に取り組む 予習キーワード：遠城寺式乳幼児分析発達検査法、日本版デンバー式発達スクリーニング検査指数を用いた評価（カウプ指数、ローレル指数、肥満度） 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
6	<p>小児の成長・発達と看護（日常生活援助の視点）・確認テスト⑥</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P81～116、課題3に取り組む 予習キーワード：原始反射、姿勢反射、粗大運動、微細運動、眠る・食べる・排泄の機能 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>

7	<b>母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点・確認テスト⑦</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P57～62 予習キーワード：母子保健、子育て支援 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
8	<b>小児を守る法律と制度・確認テスト⑧</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P39～44、P65～80 予習キーワード：小児看護・医療の法律、学校保健、予防接種、難病や障害をもつ小児への保健・福祉 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
9	<b>子どもの虐待に関する小児看護の役割・確認テスト⑨</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P42～43、P62～64 予習キーワード：ネグレクト、性的虐待、身体的虐待、心理的虐待、マルトリートメント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
10	<b>子どもの事故防止と安全教育（家庭内と施設内）・確認テスト⑩</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P161、P172、P173、P191、P208、P209、第2・6回の講義内容を復習してから本講義に臨む 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
11	<b>障害をもつ子どもと家族に向けた小児看護・確認テスト⑪</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P74～79、P139、P140、P143、P144 予習キーワード：ノーマライゼーション、セルフケア理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
12	<b>発達障害のある子どもと家族の看護・確認テスト⑫</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：予習キーワード：広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、学習障害 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
13	<b>小児期にある対象の理解と看護・確認テスト⑬</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～14 予習キーワード：今までの講義を通して、「子どもとはどのような存在か」を考察する。 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
14	<b>小児看護の特質・確認テスト⑭</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～14 予習キーワード：小児看護の目標、小児看護師の役割 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
15	<b>小児看護Ⅰの総括/フィードバック</b> 【授業内容】小児看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所についてのフィードバックを行う。 【授業方法】講義 【予習】60分：小児看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所 【復習】30分：これまでの授業資料を確認しておく 【担当】川崎・松中

## 先行履修科目

なし

## テキスト

小林京子、他著：小児看護学概論 小児保健。メチカルフレンド社、2020年 第6版。

## 参考文献

厚生労働統計協会：国民衛生の動向2021/2022.厚生労働協会，2021.

二宮啓子，他著：小児看護学概論 改訂第4版。南江堂，2022.

二宮啓子，他著：小児看護技術改訂第4版。南江堂，2022.

## 評価方法

定期試験(50%)、確認テスト(20%)、提出課題 (30%)

## 教員等の実務経験

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

## メッセージ

出生から思春期もしくは青年期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために予習キーワードを提示しています。そこで、キーワードを確認し学修した上で講義に臨んでください。

提出課題については、演習ノートに記載して自己学習を行ってください。課題の詳細は、講義中に示します。また演習ノートを参考にして、復習の機会にしてください。演習ノートは、3年次科目の小児看護ⅡやレベルⅣ実習でも活用するので、今から内容が充実した演習ノートを作成しましょう。

## 小児看護Ⅱ

更新日：2022/03/03 12:02:10

開講年度	2022	学期	前期	シバースト*	NAP303		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	620700
担当教員	川崎 幹子, 太田 純代						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

小児の健康問題を理解し、病院や地域において種々の健康レベルにある子どもと家族への看護方法・技術、健康教育、継続的支援の方法を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	小児看護Ⅰで学んだ基礎的知識を踏まえて、対象の特性に応じた看護の視点を説明できる。
2	小児の看護展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。
3	小児の健康障害を持つ子どもと家族の看護の特性を説明できる。

## 授業計画

1	<p>障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護：①小児の病気に対する認識過程、②入院時、入院中の看護、③家族の反応と心理理解・確認テスト①</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P2～23、P276～277 予習キーワード：小児の療養の場、小児の病気の理解と説明、インフォームドコンセント、インフォームドアセント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
2	<p>急性的経過をたどる健康問題／障害と看護、慢性的経過をたどる健康問題／障害と看護・確認テスト②</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P125～132（急性期）、P142～155（慢性期） 予習キーワード：#8000、急性期の小児の特徴、急性状態が小児に与える影響、小児慢性特定疾病対策事業、慢性期疾患に伴う小児の状態、移行期 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
3	<p>先天的な健康問題のある小児と家族の看護、感染予防の必要がある小児と家族の看護・確認テスト③</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P205～210 予習キーワード：先天異常の定義と分類、小児の発達段階に応じた援助、心室中隔欠損症、感染経路、感染経路別予防策、急性細気管支炎 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
4	<p>周術期における小児と家族の看護、活動制限が必要な小児と家族の看護・確認テスト④</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P132～141、P178～183、P512～514 予習キーワード：周術期にある小児と家族の体験、手術が小児に与える影響、周術期の小児と家族の看護、直腸肛門奇形、活動制限の種類や目的、活動制限による影響、小児の骨折と治療 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>
5	<p>看護過程の展開・確認テスト⑤</p> <p>【授業方法】講義 【予習】30分 予習キーワード：急性期・周手術期・慢性期にある小児と家族の体験、病気や入院が小児と家族に与える影響、急性期・周手術期・慢性期の小児と家族の看護 【復習】180分：講義資料の振り返り、課題1（選択）に取り組む 【担当】川崎</p>
6	<p>小児看護に必要な看護技術・確認テスト⑥</p> <p>【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P287～346内の動画も視聴すること。 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換、身体計測、採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺、与薬、注射、輸液療法、吸引、酸素療法、経管栄養 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎</p>

7	<b>新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換①・確認テスト⑦</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：教科書P287～318、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
8	<b>新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換②・確認テスト⑧</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：教科書P287～318、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
9	<b>プレバレーション①・確認テスト⑨</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P277～285 予習キーワード：プレバレーション 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
10	<b>プレバレーション②・確認テスト⑩</b> 【授業方法】演習（実技、発表） 【予習】60分：教科書P277～285、課題3（必修）に取り組む 予習キーワード：プレバレーション 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
11	<b>低出生体重児と家族の看護・確認テスト⑪</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P26～36、P200～205、P374～402 予習キーワード：新生児の分類、ハイリスク新生児の特徴と要因、アセスメントの視点、入院中の看護 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
12	<b>心身障害のある小児と家族への看護、医療的ケアを必要としながら退院する小児と家族への看護・確認テスト⑫</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P210～224、P515～518 予習キーワード：大島分類、超重症児、てんかん、脳性麻痺、医療的ケア、経管栄養法、気管切開、入院生活から在宅への移行に向けた支援 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
13	<b>在宅・地域で医療的ケアを必要とする小児と家族への看護、家庭で療養している慢性疾患のある小児と家族への看護・確認テスト⑬</b> 【授業方法】講義 【予習】60分、教科書P235～245 予習キーワード：慢性疾患のある小児へのセルフケア支援、ネフローゼ症候群 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
14	<b>ターミナル期および災害時における小児と家族の看護・確認テスト⑭</b> 【授業方法】講義 【予習】60分、教科書P155～162、P261～267 予習キーワード：発達段階における死の概念、終末期の小児をもつ家族看護、災害による小児への影響 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
15	<b>小児看護Ⅱ全体のまとめ・確認テストに対するフィードバック</b> 【授業内容】小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題についてのフィードバックを行う。 【授業方法】講義 【予習】60分：小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

小林京子、高橋孝雄：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護。第6版、メヂカルフレンド社、2021年。

## 参考文献

小林京子、高橋孝雄：小児看護学概論 小児保健。第6版、メヂカルフレンド社、2021年。  
今野美紀他編集：小児看護技術 改訂第4版。南江堂、2022。  
荃津智子編著：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程。医歯薬出版、2012。  
岡田喜篤監修：新版 重症心身障害療育マニュアル。医歯薬出版、2015。  
鈴木康之他監修：写真でわかる重症心身障害者(児)のケア。インターメディカ、2015。

## 評価方法

定期試験（60％）、確認テスト（20％）、提出課題（20％）：【課題2】演習に関する課題（10％）、【課題3】演習に関する課題（10％）

## 教員等の実務経験

---

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

## メッセージ

---

本科目は、出生から小児期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。本科目を学習する際に、講義用ノートと小児看護Ⅰから知識を集積している演習ノートを準備してください。各回講義前の予習として学習課題に予習キーワードを挙げています。ただし、キーワードがすべて該当ページにあるとは限りませんので、事前に自身で調べておいてください。該当ページでのキーワードの予習を講義用ノートに記載した上で、講義に臨んでください。講義では、講義用ノートに必要事項を書き加えてください。演習は、事前課題と指定の視覚教材の視聴を課して、小児看護に必要な基礎的技術を習得してもらいます。

# 老年看護Ⅰ

更新日：2022/02/28 12:49:12

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP205		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	620800
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 千原 明美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

個々のもつ老年観を豊かにし、高齢者や高齢者を取り巻く社会支援システムについて理解を深め、高齢者看護の基礎的能力を養う。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	自己の老年観をみつめ、老年観の構成要素や老年看護における老年観の重要性を理解できる。
2	高齢者疑似体験を通して高齢者の身体特性を体感し、心理・社会的特性を洞察できる。
3	老化の理解と日常生活への影響を理解できる。
4	加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の疾病を理解できる。
5	高齢者に関する統計的輪郭および変遷と施策に結び付けて理解することができる。
6	高齢者が生活もしくは療養している場と関連する制度を理解できる。
7	老年看護の原理・原則および役割機能を理解できる。
8	治療を受ける高齢者の看護について理解できる。

## 授業計画

1	「古い」「老いを生きる」とはどういうことなのかを考える：1) 個々の老年観を言語化し、見つめ、洞察する/2) Agingの捉え方を理解する 【授業方法】講義 【復習】30分：老年期の特徴についてレジュメや教科書で復習する 【担当】姫野
2	高齢者疑似体験演習によりて、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（1） 【授業方法】演習（グループワーク・ディスカッション） 【復習】90分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野、千原
3	高齢者疑似体験演習によりて、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（2） 【授業方法】演習（グループワーク・ディスカッション） 【復習】90分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野、千原
4	国内外における高齢化の統計的輪郭と施策の変遷を理解する 【授業方法】講義 【復習】60分：高齢化の全体像を理解し、保健福祉政策とのつながり整理する 【担当】姫野
5	老化のメカニズムと身体機能の変化を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：老年看護病態・疾病論1章、ナーシンググラフィカ第1章pp50-66を読んでくる 【復習】60分：それぞれの器官の正常と加齢による生理的变化について復習する 【担当】姫野
6	社会の高齢化に伴う社会保障と権利擁護について理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナーシンググラフィカ第2章3高齢者を支える制度を読んでくる 【復習】60分：介護保険、権利擁護について復習する 【担当】原田
7	高齢者に関するケアシステムを理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナーシンググラフィカ第2章 5.地域包括ケアを読んでくる 【復習】60分：高齢者医療に関する制度を整理する 【担当】原田
8	認知症疾患の病態を理解する 【授業方法】講義 【予習】60分：医学書院テキスト第4章 A.認知症を読んでくる 【担当】原田



9	<b>認知症高齢者への対応方法を理解する</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：8回目の講義内容をもとに、認知症疾患の特徴を整理する。 【担当】原田
10	<b>老年医学（1）脳神経系・筋骨格系における諸機能の変化と疾病を理解する</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ脳神経・筋骨格系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】千原
11	<b>老年医学（2）呼吸器系における諸機能の変化と疾病を理解する</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ呼吸器系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】千原
12	<b>老年医学（3）循環器系における諸機能の変化と疾病を理解する</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ循環器系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】千原
13	<b>老年医学（4）感覚器系・泌尿器系における諸機能の変化と疾病を理解する</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：人体の構造と機能で学んだ感覚器・泌尿器系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】60分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】千原
14	<b>治療を受ける高齢者への看護の役割を理解する</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：治療を受ける高齢者への看護の役割を整理する 【担当】原田
15	<b>老年看護の理念・目標・原則を理解する／定期試験のフィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：高齢者看護の理念と原則、高齢者看護の役割を整理する／定期試験のフィードバックを受けた内容を復習する 【担当】原田

## 先行履修科目

なし

## テキスト

佐々木英忠著：系統看護学講座21 老年看護 病態・疾患論。医学書院，2020。  
堀内ふき他著：ナースングラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害。メディカ出版，2021。

## 参考文献

メアリーA. マテソン他：看護診断にもとづく老人看護学1～5。医学書院，1992-1995。  
E. H. エリクソン他：老年期-生き生きしたかわりあい。みすず書房，1997。  
Lawton, M.P. : Environment and other determinants of well-being in older people. Gerontologist 23(4).349-357, 1983.

## 評価方法

レポート20%、定期試験80%

## 教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、講義や演習を行います。

## メッセージ

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳおよび疾病と治療Ⅰ～Ⅳの復習をして講義に臨んでください。

## 老年看護Ⅱ

更新日：2022/02/09 08:49:54

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NAP304		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	620900
担当教員	梶原 弘平, 原田 紀美枝, 千原 明美, 山内 多恵						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の健康課題から生じる日常生活上の問題に対し、個別的援助方法を導くための視点と技術を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	高齢者特有の健康問題のメカニズムおよび看護を説明することができる。
2	生活者として的高齢者をとらえるために必要なアセスメントの視点を理解し、高齢者の個性を捉えた生活援助技術を実施することができる。
3	高齢者特有の健康問題を持つ対象のアセスメント結果から科学的根拠に基づいた看護援助方法を具体的に述べるすることができる。

## 授業計画

1	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 活動・運動/睡眠・休息パターン（転倒・廃用症候群・睡眠障害）</p> <p>【授業方法】科目オリエンテーション（老年看護における看護過程含む）、講義</p> <p>【予習】30分：テキスト第4章3睡眠障害、第5章1歩行・移動、4廃用症候群を事前に読む。</p> <p>【復習】60分：高齢者の転倒・廃用症候群・睡眠障害の看護について復習する。</p> <p>【担当】梶原</p>
2	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン①（栄養障害・浮腫）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分：テキスト第1章1低栄養、7浮腫を精読する。</p> <p>【復習】60分：高齢者の栄養障害、浮腫の特徴について整理する。</p> <p>【担当】原田</p>
3	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン②（脱水・皮膚掻痒症）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分：テキスト第1章1脱水第3章掻痒を精読する。</p> <p>【担当】原田</p>
4	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン①（抑うつ・せん妄）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分：テキスト第2章2うつ病、3せん妄を事前に読む。</p> <p>【復習】60分：高齢者のうつ病、せん妄の看護について復習する。</p> <p>【担当】梶原</p>
5	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン②（認知障害）認知症サポーター養成講座</p> <p>【授業方法】講義 演習（AL）</p> <p>【復習】120分：認知症の病態及び症状に対する看護について復習する。</p> <p>【担当】原田 キャラバンメイト：高野、藤田、濱崎（今津赤十字病院）</p>
6	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン③（コミュニケーション障害）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】120分：コミュニケーション障害の原因と種類を理解し、各々の看護について復習する。</p> <p>【担当】山内</p>
7	<p>高齢者のEnd-of-Lifeケア</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【復習】120分：終末期の看護を理解し、講義内容を踏まえてそれぞれの死生観を考察する。</p> <p>【担当】梶原</p>
8	<p>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン③（摂食・嚥下障害）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分：テキスト第1章1摂食嚥下障害を精読する。</p> <p>【復習】60分：摂食・嚥下のメカニズム及び看護について復習する。</p> <p>【担当】山内</p>
9	<p>摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法1</p> <p>【授業方法】演習（実技）</p> <p>【予習】60分：8回目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。</p> <p>【担当】山内</p>

10	<b>摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法2</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：8回目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。 【復習】60分：摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法について復習する 【担当】山内
11	<b>高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 排泄パターン（排尿障害・排便障害）</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：排泄のメカニズムについて人体の構造と機能及び看護技術で学んだ内容を復習しておく。 【復習】60分：排泄障害およびその看護について復習をする。 【担当】千原
12	<b>高齢者への排泄の援助</b> 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：11回目の授業内容の復習を行い、排泄援助の具体的な看護技術について実際に演習が行えるように考えてくる。 【復習】60分：実施した技術の振り返りを行う。 【担当】千原
13	<b>高齢者に特有な健康問題を持つ対象の看護過程の展開1</b> 【授業方法】講義・演習(AL) 【予習】60分：事前に配布された課題に取り組みGWに備える。今までの看護過程を復習する。 【復習】60分：GWでの意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】梶原 原田 千原 山内
14	<b>高齢者に特有な健康問題を持つ対象の看護過程の展開2</b> 【授業方法】演習（GW・発表） 【予習】60分：事前に配布された課題に取り組み発表に備える。 【復習】60分：発表での意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】梶原 原田 千原 山内
15	<b>老年看護Ⅱの総括およびフィードバック/事例の看護過程展開の解説</b> 【授業方法】講義 【復習】60分：老年看護Ⅱにおける学習内容で理解が不十分であった箇所の知識の整理を行う。 【担当】梶原 千原

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべきすべての科目

## テキスト

堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者の看護実践。メディカ出版，2021.

## 参考文献

上鶴 重美他：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版. 医学書院，2021.  
マージョリー・ゴードン,看護アセスメント研究会訳：看護診断マニュアル 原書第11版-機能的健康パターンに基づく看護診断-. 医学書院，2010.  
山田律子他：生活機能から見た老年看護過程. 医学書院，2012.  
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）. 照林社，2017.  
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画.メディカルビュー社，2008.  
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程.医歯薬出版株式会社，2015.  
大塚真理子:カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術. 医歯薬出版株式会社，2014.

## 評価方法

定期試験80% 課題 20%

## 教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、看護過程や高齢者の看護援助技術についての講義や実技指導を行います。

## メッセージ

本科目は、3年後期に控える老年看護実習につなげる位置づけです。老年看護実習で活用できるように知識・技術を身につけてください。

## クリティカルケアⅠ

更新日：2022/02/10 10:10:27

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NAP206		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	621000
担当教員	櫻本 秀明, 福島 綾子, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

救急看護やクリティカルケアを受ける患者およびその家族を理解するための理論や概念の学習を通して、危機的状況にある患者やその家族への看護について学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	クリティカルな状況下にある患者の身体的側面および心理的側面の特徴を述べることができる。
2	クリティカルな状況下にある患者の家族の機能と対処能力について述べるができる。
3	クリティカルな状況下にある患者への看護専門職としての援助役割について考えることができる。

## 授業計画

1	<p>【授業ガイダンス】クリティカルケアⅠの全体像、【救急看護・クリティカルケア概論と看護の特徴】</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分： ＜テキスト2＞＞第1章：救急医療の現状、第2章：集中治療の現状、第3章：救急医療・集中治療における看護、3. 救急医療・集中治療下の看護とは</p> <p>【復習】30分： 授業内容、事後課題</p> <p>【担当】櫻本</p>
2	<p>【救急看護・集中治療における看護】侵襲と生体反応</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分： ＜テキスト1＞＞第1部：急性期看護概論、2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的反応、B. 患者が体験する侵襲</p> <p>【復習】30分： 授業内容、小テスト</p> <p>【担当】櫻本</p>
3	<p>【集中治療下での看護の実際】脳・神経系障害、意識障害のアセスメントと看護（1）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分： ＜テキスト2＞＞第VIII章：事例で考える救急看護・ICU看護 4. くも膜下出血 ・既習科目の復習：意識障害、脳卒中</p> <p>【復習】30分： 授業内容、小テスト</p> <p>【担当】櫻本</p>
4	<p>【集中治療下での看護の実際】脳・神経系障害、意識障害のアセスメントと看護（2）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分： ＜テキスト1＞＞第IV章：救急看護の実際 b. 脳神経系のアセスメント ・既習科目の復習：意識障害の評価（JCS、GCS）</p> <p>【復習】30分： 授業内容、小テスト</p> <p>【担当】櫻本</p>
5	<p>【集中治療下での看護の実際】呼吸障害、呼吸器系のアセスメントと看護（1）</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】30分： ＜テキスト2＞＞第VI章：集中治療下での看護の実際 A. 呼吸機能の維持 ・既習科目の復習：呼吸のメカニズム、化学受容体、呼吸不全</p> <p>【復習】30分： 授業内容、小テスト</p> <p>【担当】櫻本</p>

6	<p><b>【集中治療下での看護の実際】呼吸障害、呼吸器系のアセスメントと看護（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト2&gt; &gt;第VIII章：事例で考える救急看護・ICU看護 3. 呼吸困難          ・既習科目の復習：肺炎、無気肺、COPD、気胸、肺塞栓症、呼吸音  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 櫻本</p>
7	<p><b>【集中治療下での看護の実際】循環障害、循環器系のアセスメントと看護（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト1&gt; &gt;第1部：急性期看護概論、2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的反応 C. ショック          &lt;テキスト2&gt; &gt;第VI章：集中治療下での看護の実際、1. 集中治療下での看護の実際、B. 循環機能の維持、第VIII章：事例で考える救急看護・ICU看護          7. ショック          ・既習科目の復習：肺循環と体循環、血圧のメカニズム、ショックの分類  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 吉原</p>
8	<p><b>【集中治療下での看護の実際】循環障害、循環器系のアセスメントと看護（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト2&gt; &gt;第VIII章：事例で考える救急看護・ICU看護 1. 激しい胸痛、4. 急性腹症          ・既習科目の復習：刺激電動系、正常心電図、心不全  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 吉原</p>
9	<p><b>【集中治療下での看護の実際】事例：意識・呼吸・循環障害のアセスメント（統合）</b>  <b>【授業方法】</b>          講義、事例へのアセスメント（G.W.）  <b>【予習】</b> 60分：          既習の脳神経系、呼吸器系、循環器系の内容  <b>【復習】</b> 60分：          授業内容、課題提出（アセスメント）  <b>【担当】</b> 櫻本、福島、鴨川、吉原</p>
10	<p><b>【集中治療下での看護の実際】栄養障害と栄養管理・看護</b>  <b>【授業方法】</b>          講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト2&gt; &gt;第VI章：集中治療下での看護の実際 E. 栄養管理          ・既習科目の復習：第2回授業内容          ・文献検索（WEB可）キーワード「クリティカルケアにおける栄養管理」  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 鴨川</p>
11	<p><b>【集中治療下での看護の実際】凝固・線溶系障害、重症感染症と看護</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト2&gt; &gt;第3章：救急医療・集中治療における看護 1. 救急医療・集中治療下の患者の特徴、B. 身体的特徴          ・既習科目の復習：血液凝固と線溶、DIC  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 福島</p>
12	<p><b>【集中治療下での看護の実際】患者の精神障害、苦痛と看護</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト1&gt; &gt;第1部：急性期看護概論 2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的特徴 D. 急性の状態にある患者と家族の心理的反応          &lt;テキスト2&gt; &gt;第VI章：集中治療下での看護の実際          C. 苦痛の緩和、D. 合併症予防          ・既習科目の復習：せん妄  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 福島</p>

13	<p><b>【救急看護・集中治療下での看護の実際】危機理論／家族看護／終末期看護</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト1&gt; 第1部：急性期看護概論 2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的特徴 E. 急性の状態にある患者と家族を理解するための概念          &lt;テキスト2&gt; 第IV章：救急患者の家族に対する看護          ・文献検索（WEB可）キーワード「クリティカルケアにおける家族看護」  <b>【復習】</b> 60分：          授業内容、課題提出（家族看護・せん妄・終末期看護のアセスメント）  <b>【担当】</b> 福島</p>
14	<p><b>【救急看護の実際】日本の救急医療、救急患者に対するアセスメントと看護（患者急変対応）</b>  <b>【授業方法】</b>          講義  <b>【予習】</b> 30分：          &lt;テキスト2&gt; 第IV章：救急看護の実際          ・既習科目の復習：一次救命処置  <b>【復習】</b> 30分：          授業内容、小テスト  <b>【担当】</b> 鴨川</p>
15	<p><b>【全体のまとめ】小テスト、定期試験に対してのフィードバック、クリティカルケアIIへの導入</b>  <b>【授業方法】</b> 前回授業・小テストのフィードバック、全体のまとめ  <b>【予習】</b> 60分：          到達目標を踏まえ、講義全体のポイントを整理する  <b>【復習】</b> 90分：          全体のまとめ          ※クリティカルケアIIに向けての事後学習  <b>【担当】</b> 櫻本、福島、鴨川、吉原</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

- 1) 林直子, 佐藤まゆみ編：成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術器看護. 南江堂, 2019.
- 2) 佐藤まゆみ, 林直子編：成人看護学 急性期間後Ⅱ 救急看護・クリティカルケア. 南江堂, 2019.

## 参考文献

- 1) 道又元裕他著：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学. 医学書院, 2020.
  - 2) 山勢博彰, 山勢善江他著：系統看護学講座 別巻 救急看護学. 医学書院, 2018.
- その他適宜提示する

## 評価方法

講義ごとに実施する小テスト50%、定期試験50%

## 教員等の実務経験

救命救急センターやICU、CCUなどの救急・集中治療領域での臨床経験のある教員が、その経験を活かしてクリティカルケア領域の看護について講義を行います。

## メッセージ

ICUやCCUなどの集中治療ユニット、救急病棟などで行われている看護は、特殊な技術を用いているように捉えられていることが多いですが、実際には看護の基礎を理解した実践が求められる領域です。病態が複雑であったり、重症で高度な治療が必要だったりするかもしれませんが、対象となる患者は其中で生活している人です。ここで学習した知識や観察の技術、日常生活援助の技術のすべてを駆使し、患者に合わせた工夫をしながら小さな変化を見逃さずにケアを行なっていくことが必要となります。まずはこの科目で正しい知識をしっかりと習得し、クリティカルケアII、クリティカルケア実習でつなげていってほしいと願っています。また、講義科目ですが習得した知識をOutputすることも重視している科目です。習得した知識を長期記憶にとどめ、さらにその知識を「活用する」ことを目指して学習していきます。そのため、復習としてMoodleでの小テストや、掲示板機能でのグループワークやディスカッションの時間も準備しています。互いに学ぶ！を合言葉に、一緒に学習していきましょう。

## クリティカルケアII

更新日：2022/03/02 18:01:36

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NAP305		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	621100
担当教員	福島 綾子, 櫻本 秀明, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

救急およびクリティカルな状況下にある患者への看護を展開するための方法を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	予測的視点を用いて患者の観察項目を見出すことができる。
2	クリティカルな状況にある患者の状態を正しい方法で観察できる。
3	得た情報をアセスメントし、患者の看護問題を抽出することができる。
4	看護問題に対して具体的・個別的な看護計画を根拠に基づいて立案することができる。
5	チームで協力しながら、主体的に課題に取り組むことができる。

## 授業計画

1	<p>【授業ガイダンス】クリティカルケアIIの全体像の説明、事前・事後課題、演習の進め方【クリティカルケアに必要な看護技術】急変時の看護、救急処置を必要とする患者への看護</p> <p>【授業方法】講義、演習（GW）</p> <p>【予習】90分： 1）クリティカルケアI資料の確認 2）事前テストへの取り組み：100点になった時点で履修可能とする</p> <p>【復習】90分： 事例患者の看護過程の展開（病態の整理、行われている検査、治療内容の学習、アセスメント）</p> <p>【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
2	<p>【クリティカルケアに必要な看護技術：必修編】モニタリング、人工呼吸器管理、意識レベルの判断、鎮痛鎮静管理</p> <p>【授業方法】講義（オンデマンド）</p> <p>【予習】90分： 事例患者の病態についてまとめ、観察項目を抽出する</p> <p>【復習】60分： 事例患者のモニタリングの内容、人工呼吸器管理の状況、意識レベルを判断する方法、鎮痛鎮静管理方法を整理する</p> <p>【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
3	<p>【クリティカルケア看護に必要な看護技術：選択編】以下の項目から2つ以上選択して受講する 水分出納の管理、口腔ケア、家族看護、せん妄ケア、ドレーン／カテーテル類の管理、早期リハビリテーション、創傷管理、血液検査データの評価、PICS、体温管理</p> <p>【授業方法】講義（オンデマンド）</p> <p>【予習】60分： クリティカルケアIおよびこれまで学習した資料の見直し</p> <p>【復習】90分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションできるようまとめる（資料作成、プレゼン準備） ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する</p> <p>【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
4	<p>【クリティカルケア看護に必要な看護技術】グループでの知識の統合（1）</p> <p>【授業方法】演習（GW、反転）</p> <p>【予習】90分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認、プレゼンテーションの準備</p> <p>【復習】90分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習</p> <p>【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
5	<p>【クリティカルケア看護に必要な看護技術】グループでの知識の統合（2）</p> <p>【授業方法】演習（GW、反転）</p> <p>【予習】90分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認、プレゼンテーションの準備</p> <p>【復習】90分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習</p> <p>【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原</p>



6	<p><b>【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習）（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技）  <b>【予習】</b> 90分：  1) フィジカルアセスメントの基本的な手技の確認  2) 必修編の講義内容を復習し、手技を実践できるようにポイントを確認する  <b>【復習】</b> 90分：  事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習  ※オフィスアワーを活用する  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
7	<p><b>【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習）（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技）  <b>【予習】</b> 90分：  1) フィジカルアセスメントの基本的な手技の確認  2) 必修編の講義内容を復習し、手技を実践できるようにポイントを確認する  <b>【復習】</b> 90分：  事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習  ※オフィスアワーを活用する  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
8	<p><b>【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察・評価（実践）（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、シミュレーション）  <b>【予習】</b> 90分：  1) 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習  ※オフィスアワーを活用する  2) 情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する  <b>【復習】</b> 90分：  得た情報をもとに事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う  ※各チームでTeamsなどを使ってのディスカッションし理解を深める  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
9	<p><b>【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（実践）（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、シミュレーション）  <b>【予習】</b> 90分：  1) 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習  ※オフィスアワーを活用する  2) 情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する  <b>【復習】</b> 90分：  得た情報をもとに事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う  ※各チームでTeamsなどを使ってのディスカッションし理解を深める  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
10	<p><b>【事例患者の看護展開：看護計画立案】 看護問題、看護目標の明確化、発表会に向けての準備（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（GW）  <b>【予習】</b> 90分：  1) 観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う  2) 事例患者の看護目標（期待される結果）を導き出す  ※各チームのTeamsなどを使ってのディスカッションし、理解を深める  <b>【復習】</b> 90分  発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
11	<p><b>【事例患者の看護展開：看護計画立案】 看護問題、看護目標の明確化、発表会に向けての準備（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（GW）  <b>【予習】</b> 90分：  1) 観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う  2) 事例患者の看護目標（期待される結果）を導き出す  ※各チームのTeamsなどを使ってのディスカッションし、理解を深める  <b>【復習】</b> 90分  発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
12	<p><b>【事例患者の看護展開：看護計画立案】 発表会にむけての準備</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（GW）  <b>【予習】</b> 90分：  発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる  <b>【復習】</b> 90分：  発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
13	<p><b>【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（プレゼンテーション）  <b>【予習】</b> 90分：  発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など  ※Teamsなどを使ってのディスカッション  <b>【復習】</b> 90分：  1) 発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正  2) 最終提出に向けての看護過程の見直し  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>



14	<p><b>【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（プレゼンテーション）  <b>【予習】</b> 90分：  発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など  ※Teamsなどを使ってのディスカッション  <b>【復習】</b> 90分：  1) 発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正  2) 最終提出に向けての看護過程の見直し  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>
15	<p><b>【まとめ】 定期テストを終えてのフィードバック、事例患者の看護過程の展開についてのフィードバック</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 60分：  クリティカルケアIIにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認（第2・3回で視聴したオンデマンド講義の再確認など）  <b>【復習】</b> 90分：  学習内容の復習（専門性強化演習Iにて小テストを実施）  <b>【担当】</b> 福島、櫻本、鴨川、吉原</p>

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

佐藤まゆみ、林直子：成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア（改訂第3版）. 南江堂、2019.

## 参考文献

- 1) 道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学. 医学書院、2020.
  - 2) 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学. 医学書院、2018.
  - 3) 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用. 日本看護協会出版会、2007.
- その他、適宜提示する

## 評価方法

定期試験40%、最終発表会とその取り組み20%、演習態度20%（ピア評価含む）、事前・事後課題20%

## 教員等の実務経験

救命救急センターやICU、CCUなどの救急・集中治療領域での臨床経験のある教員が、その経験を活かしてクリティカルケア領域の看護について講義を行います。

## メッセージ

クリティカルな状況にある患者は、その病態が複雑だったり、重症で高度な治療が必要だったりしますので、「人体の構造と機能」、「疾病と治療」や「クリティカルケアI」で学修した知識などを駆使しなければ太刀打ちできません。また、クリティカルケア領域の最新の知見についても紹介していきます。それらの知識を用いて受け持つ患者は、突然、特殊な環境に身を置かれ、そのような環境で生活をしなければならなくなった人です。病態や治療上の理由から、基本的ニードや自立・自律性が脅かされています。このような患者・家族を理解し、根拠に基づいた看護を実践するための方法について学んでいきます。みなさんには（事例）患者の受け持ち看護師として、これまで学修した知識や観察の技術、日常生活援助技術を用いて、患者に合わせた工夫を行い、小さな変化を見逃さず、その人の生活を支えて行く事を求めます。難しいことかもしれませんが、「命を救い、生を支える」というクリティカルケア看護の実践を目指してみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。一人の力だけでなく、チームとして、そして私たち教員と一緒に学んでいきましょう。

## 在宅看護Ⅰ

更新日：2022/02/10 16:10:06

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP207		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	621200
担当教員	西村 和美, 小野 ミツ						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅で提供する看護に必要な知識、方法を学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	在宅看護における歴史的変遷を理解し、地域で暮らす療養者と家族への支援のあり方を考察することができる。
2	在宅看護の目的と対象者の特性、活動の場、看護活動の特徴について説明できる。
3	医療保険および介護保険による訪問看護制度について説明できる。
4	在宅看護を取り巻く法制度や社会資源を理解し、多職種連携・協働の意義を考察することができる。
5	在宅療養者と家族の健康と暮らしを支えるケアマネジメントや地域包括ケアシステムについて説明できる。

## 授業計画

1	<b>在宅看護の概念（1）地域と生活／在宅看護の変遷</b> 【授業方法】講義（討議） 【予習】30分：地域・在宅看護論①在宅看護の概念p16-32を熟読する。 事前課題：「日本の社会的背景より在宅看護のニーズがどのように社会から求められるか」についてA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】30分：教科書と配布資料等を読み直し、「地域」と「生活」、在宅看護の変遷について理解を深める。 【担当】西村
2	<b>在宅看護の概念（2）在宅看護の基盤となる基本理念、在宅看護における倫理</b> 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：地域・在宅看護論①在宅看護の概念p33-53を熟読する。 事前課題：「日本の在宅看護特有の倫理問題」を新聞や文献等より調べてA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】30分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅看護の基盤となる基本理念と在宅看護における倫理について理解を深める。 【担当】西村
3	<b>在宅療養者と家族の支援（1）在宅看護の対象者と活動の場、在宅療養の成立要件</b> 【授業方法】講義（討議・発表） 【予習】60分：地域・在宅看護論①在宅療養者と家族の支援56-75を熟読する。 事前課題：「地域・在宅で活躍している看護職の活動」について新聞や文献等より調べてA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】30分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅看護の対象と活動の場の特性、在宅療養の成立要件について理解を深める。 【担当】西村
4	<b>在宅療養者と家族の支援（2）在宅療養者の家族への看護</b> 【授業方法】演習（GW・発表） 【予習】60分：地域・在宅看護論①在宅療養者と家族の支援p75-85を熟読する。 事前課題：地域・在宅看護論②在宅CAPD管理p171-175について学修した内容をA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】30分：教科書と配布資料等を読み直し、在宅療養者の家族への看護について理解を深める。 【担当】西村
5	<b>地域療養を支える制度（1）</b> 【授業方法】講義、小テスト（医療保険・介護保険） 【予習】60分：地域・在宅看護論①地域療養を支える制度p142-164を熟読する。 事前課題：これまで学修した制度（医療保険制度・介護保険制度）の概要について学修した内容をA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】30分：小テストの見直しと教科書・配布資料等を読み直し、地域療養を支える法・制度と社会資源について理解を深める。 【担当】西村
6	<b>在宅療養を支える訪問看護</b> 【授業方法】講義（討議・発表）、小テスト（訪問看護制度） 【予習】30分：地域・在宅看護論①在宅療養を支える訪問看護p198-227を熟読する。 事前課題：「日本の訪問看護制度の課題」について新聞や文献等より調べてA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】30分：小テストの見直しと教科書・配布資料等を読み直し、訪問看護における看護活動の特徴について理解を深める。 【担当】西村
7	<b>地域包括ケアシステムと多様な生活の場における看護（1）地域包括ケアシステム</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：地域・在宅看護論①地域包括ケアシステムp88-103を熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料等を読み直し、地域包括ケアシステムについて理解を深める。 【担当】小野

8	<b>地域包括ケアシステムにおける在宅看護（２）ケアマネジメントと権利擁護</b> 【授業方法】講義 【予習】３０分：地域・在宅看護論①在宅看護におけるケアマネジメントp121-139、高齢者施策p185-192を熟読する。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、ケアマネジメントと権利擁護について理解を深める。 【担当】小野
9	<b>地域包括ケアシステムにおける在宅看護（３）療養の場の移行に伴う看護</b> 【授業方法】講義（討議・発表） 【予習】６０分：地域・在宅看護論①p103-121、p164-184を熟読する。 事前課題：事例p192-194パーキンソン病患者の在宅復帰に向けた支援について課題と対応をA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直し、退院支援・退院調整について理解を深める。 【担当】西村
10	<b>対象に応じた在宅看護（１）移行期：在宅療養支援（生活ケア、医療的ケア）</b> 【授業方法】講義（討議） 【予習】３０分：地域・在宅看護論①在宅における援助技術p252-267を熟読する。 事前課題：地域・在宅看護論②在宅酸素療法と在宅人工呼吸療法p127-134について学修した内容をA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直しを行い、について理解を深める。 【担当】西村
11	<b>在宅看護における安全と健康危機管理：在宅看護における危機管理</b> 【授業方法】講義（討議・発表） 【予習】３０分：地域・在宅看護論①在宅看護における危機管理p234-243を熟読する。 事前課題：地域・在宅看護論②p236-237の事例を読み、在宅療養における危機管理をA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】３０分：教科書・配布資料等を読み直し、在宅看護における危機管理について理解を深める。 【担当】西村
12	<b>対象に応じた在宅看護（２）安定期：在宅療養支援（日常生活アセスメント、環境整備）</b> 【授業方法】講義（討議・発表） 【予習】３０分：地域・在宅看護論①在宅における援助技術p252-263を熟読する。 【復習】３０分：教科書・配布資料等を読み直し、脳梗塞後遺症のある高齢者への在宅看護について理解を深める。 【担当】西村
13	<b>対象に応じた在宅看護（３）終末期：在宅療養支援（症状マネジメント、ストーマ管理）</b> 【授業方法】講義（討議・発表） 【予習】６０分：地域・在宅看護論①p268-274、地域・在宅看護論②ターミナルケアp60-63、疼痛管理p175-180を熟読する。 事前課題：地域・在宅看護論②p216-219の事例を読み、事例に対する看護についてA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直しを行い、終末期のがん療養者への在宅看護について理解を深める。 【担当】西村
14	<b>在宅看護における安全と健康危機管理（２）災害対策</b> 【授業方法】講義（討議・発表） 【予習】３０分：地域・在宅看護論①p243-248、地域・在宅看護論②p188-198を熟読する。 事前課題：住んでいる地域の災害対策について調べてA4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】３０分：教科書と配布資料等を読み直しを行い、在宅療養を支える災害対策について理解を深める。 【担当】西村
15	<b>在宅看護Ⅰのまとめ一課題・定期試験等に関するフィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】３０分：教科書を読み直しを行い、在宅看護の対象や活動の場の特性、関連する法・制度、看護活動の特徴について理解を深める。 【担当】西村

## 先行履修科目

なし

## テキスト

臺有桂 他 編：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版、2022。  
臺有桂 他 編：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版、2022。

## 参考文献

河野あゆみ 編：新体系看護学全書 在宅看護論。メテカルフレンド社、2019。  
藤澤まこと 編：ナースが行う入退院支援 患者・家族の"その人らしく生きる"を支えるために。メテカルフレンド社、2020。  
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2022/2023。厚生労働統計協会、2022。  
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民の福祉と介護の動向 2022/2023。厚生労働統計協会、2022。

## 評価方法

課題（小テストを含む）30%、定期試験70%

## 教員等の実務経験

看護師として臨床経験のある教員が、地域で暮らす療養者やその家族に対しての看護活動の経験を活かして在宅看護について講義を行います。

## メッセージ

在宅看護Ⅰでは『在宅看護提供のしくみ』をよく理解することが重要です。特に、訪問看護制度や介護保険制度、在宅療養者に必要な法・制度と社会資源については事前課題を中心に資料やノートを作成しましょう。その後の在宅看護実習や国家試験対策にも効果的です。

## 在宅看護Ⅱ

更新日：2022/03/18 08:59:27

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NAP306		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	621300
担当教員	鎌田 ゆき, 西村 和美						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

在宅ケアチームの一員としての看護の役割を理解し、在宅で提供する看護の基礎的な技術を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	在宅療養者の演習事例について看護過程の展開を実施できる。
2	看護過程の展開をとおして、在宅療養者の健康と暮らしを重視した看護の必要性について説明できる。
3	在宅療養者に提供されるケアマネジメントの実際を検討し、介護サービス・福祉用具等の活用について説明することができる。
4	在宅療養者と家族を支援する多職種連携と協働について説明することができる。
5	訪問看護におけるマナーと面接技術を習得し、在宅療養者・家族との信頼関係形成の重要性を考えることができる。

## 授業計画

1	<p><b>在宅看護Ⅱガイダンス、在宅療養における看護過程の特徴</b>  【授業方法】講義、小テスト  【予習】30分：在宅看護Ⅰの復習；在宅看護論①p24-38在宅看護の基盤、p42-51在宅看護の対象者・在宅療養の成立要件、p164-176訪問看護の特徴を熟読する（小テスト範囲とする：満点取得することを履修要件とする）。  【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。  【担当】鎌田、西村</p>
2	<p><b>看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（1）</b>  【授業方法】講義（事例紹介、情報収集、アセスメント）  【予習】30分：在宅看護論② p17-24在宅療養における看護過程を熟読する。パーキンソン病の病態・症状・治療・看護を復習する。  【復習】30分：プロフィール用紙を追加・修正する。  【担当】鎌田</p>
3	<p><b>看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（2）</b>  【授業方法】演習、グループワーク（事例アセスメントの発表・意見交換）  【予習】60分：アセスメント用紙を記載する。  【復習】30分：グループワークの意見交換をふまえアセスメントを追加・修正する。  【担当】鎌田、西村</p>
4	<p><b>在宅看護におけるコミュニケーション技術</b>  【授業方法】演習、グループワーク（情報収集を目的とした訪問看護の演習）  【予習】30分：在宅看護論② p14-17家庭訪問・訪問の手順と心構え、p26-33コミュニケーションを熟読し、訪問計画を作成する。  【復習】30分：演習の学びをワークシートに記載する。情報収集した内容をプロフィール用紙、アセスメント用紙に追記する。  【担当】鎌田、西村</p>
5	<p><b>在宅療養を支える社会資源</b>  【授業方法】講義（在宅療養者が利用できる介護サービス・福祉用具）  【予習】30分：在宅看護論① p112-114社会資源の活用、p119-127介護保険制度・サービスの種類と内容、在宅看護論② p38-44環境整備・生活リハビリテーションを熟読する。  【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。  【担当】鎌田</p>
6	<p><b>看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（3）</b>  【授業方法】演習、グループワーク（看護問題・看護計画の発表・意見交換）  【予習】60分：全体像と問題リスト、看護計画を作成する。  【復習】30分：意見交換をふまえて追加修正する。  【担当】鎌田、西村</p>
7	<p><b>在宅療養初期における重症心身障害児の看護</b>  【授業方法】講義（事例について医療的ケアを必要とする児の看護、家族支援のアセスメント・看護計画）  【予習】30分：在宅看護論① p137-143障害児・障害者総合支援法、p151-153子どもの在宅療養を支える制度、p249-250事例、在宅看護論② p102-105在宅経管栄養法、p123-127在宅人工呼吸療法を熟読する。  【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。  【担当】鎌田</p>

8	<b>在宅療養継続における精神障がい者の看護</b> 【授業方法】講義（事例について自助・互助を支援するためのアセスメント・看護計画） 【予習】30分：在宅看護論① p124精神科訪問看護、p137-144 精神障害者・障害者総合支援法、p253-254事例を熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。 【担当】鎌田
9	<b>在宅療養における緩和ケア</b> 【授業方法】講義（事例について全人的苦痛を軽減するためのアセスメント・看護計画） 【予習】30分：在宅看護論① p44健康レベルからみた対象者、在宅看護論② p153-157疼痛管理、p106-109在宅中心静脈栄養法を熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。 【担当】鎌田
10	<b>在宅療養を支える看護技術（1）：演習オリエンテーション</b> 【授業方法】講義（看護計画に基づいた訪問看護を実践するための行動計画作成） 【予習】30分：演習要項を熟読する。 【復習】30分：行動計画を追加・修正する。 【担当】鎌田
11	<b>在宅療養を支える看護技術（2）：訪問看護の実践</b> 【授業方法】演習、グループワーク（実践にむけた訪問看護計画の具体化） 【予習】30分：訪問計画を作成する。 【復習】30分：意見交換をふまえて、訪問計画を具体的に記入する。 【担当】鎌田
12	<b>看護過程の展開：ADLの低下がみられるパーキンソン病の在宅療養者の事例（4）：演習のふり返り・実施評価</b> 【授業方法】演習、グループワーク（訪問看護をロールプレイで実施） 【予習】30分：訪問計画を見直し模擬練習する。 【復習】30分：訪問記録、演習の学びをワークシートに記入する。看護計画を追加・修正する。 【担当】鎌田、西村
13	<b>在宅療養におけるケアマネジメントの実際</b> 【授業方法】講義（演習事例について介護保険における居宅介護支援〔ケアプラン〕を検討） 【予習】30分：在宅看護論① p95-109ケアマネジメントを熟読する。 【復習】30分：教科書と配布資料を読み直し理解を深める。 【担当】鎌田、西村
14	<b>在宅療養における多職種連携・協働</b> 【授業方法】講義、グループワーク（演習事例について訪問看護と多職種連携・協働の実際を検討、討議） 【予習】30分：在宅看護論① p88-93在宅ケアで連携する関連事業所・職種、p125-129介護保険サービスを熟読する。 【復習】30分：意見交換をふまえて課題の追加・修正する。 【担当】鎌田、西村
15	<b>在宅看護Ⅱのまとめ/演習課題・定期試験に関するフィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】30分：フィードバックをふまえて演習課題について更に調べる。 【担当】鎌田

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

在宅看護Ⅰで使用したテキスト（下記の2冊）を使用する。

臺有佳他編：ナースングラフィカ在宅看護論①地域療養を支えるケア。第6版，メディカ出版，2019。

臺有佳他編：ナースングラフィカ在宅看護論②在宅療養を支える技術。第1版，メディカ出版，2019。

## 参考文献

河野あゆみ編集：強みと弱みからみた在宅看護過程＋総合的機能関連図。医学書院，2018。

押川眞喜子監修：写真でわかる訪問看護アドバンス。インターメディカ，2020。

河野あゆみ編集：新体系看護学全書 在宅看護論。第5版，メヂカルフレンド社，2019。

## 評価方法

定期試験（60％）、課題の提出状況と内容（20％）、演習の到達度：態度も含む（20％）

## 教員等の実務経験

訪問看護ステーションや外来などで看護師として臨床経験のある教員が、経験を踏まえ講義や演習を担当します。

## メッセージ

在宅での看護は、対象者の個性に応じると同時に、医療の提供方法に独創性を必要とします。在宅看護Ⅰの学修内容を活かして、積極的に取り組みましょう。



## 精神保健看護Ⅰ

更新日：2022/02/28 14:58:28

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP208		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	621400
担当教員	高橋 清美, 石飛 マリコ, 高瀬 理恵子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

生涯にわたるパーソナリティーの発達と各ライフステージにおける精神的危機に対する保健看護の役割を学ぶとともに、メンタルアセスメントの枠組みとなる理論と技法について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

## 到達目標

1	精神保健看護の意義、役割と機能が説明できる。
2	精神保健看護学の対象であるところの健康、こころの発達が説明できる。
3	精神の健康に影響する因子を理解し、精神の健康保持・増進への援助について述べる事が出来る。
4	精神の健康保持増進のための看護援助方法を説明できる。

## 授業計画

1	<b>精神の健康、こころの発達</b> 【授業内容】精神の健康、こころの発達について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第1章を通読すること 【復習】45分 学修した内容のノートをまとめる 【担当】高橋
2	<b>精神看護の考え方</b> 【授業内容】精神看護の考え方について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの第1章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
3	<b>治療場における看護援助</b> 【授業内容】治療場における看護援助について学修する。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱ第1章該当ページを通読すること 【担当】ゲストスピーカー（不知火病院 原看護部長）
4	<b>精神保健医療の歴史①</b> 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
5	<b>精神保健医療の歴史②</b> 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
6	<b>精神保健福祉と法制度</b> 【授業内容】精神保健福祉と法制度について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
7	<b>障害者と権利擁護</b> 【授業内容】障害者と権利擁護について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第3章（社会復帰・社会参加の項）、第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】石飛

8	<p><b>教育の場、職場におけるこころの健康</b>  【授業内容】教育の場、職場におけるこころの健康について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。  【授業方法】講義  【予習】60分  ・教育の場におけるこころの健康については、文部科学省HPで児童・生徒・学生の心の健康に関し、 自己の関心テーマを検索し学習しておくこと。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること  ・職場におけるこころの健康については、厚生労働省HPで職場における心の健康問題に関し、自己の関心テーマを検索し、学習をすること。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること  【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる</p> <p>【担当】石飛</p>
9	<p><b>地域社会とこころの健康</b>  【授業内容】地域社会とこころの健康について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。  【授業方法】講義  【予習】30分 教科書Ⅰの第6章を通読すること  【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる</p> <p>【担当】石飛</p>
10	<p><b>精神保健医療に関する社会資源</b>  【授業内容】精神保健医療に関する社会資源について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。  【授業方法】講義  【予習】30分 教科書Ⅰの第3章を通読すること  【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる  【担当】高瀬</p>
11	<p><b>リエゾン精神看護</b>  【授業内容】リエゾン精神看護について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。  【授業方法】講義  【予習】30分 教科書Ⅰの第2章を通読すること  【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる  【担当】石飛</p>
12	<p><b>精神看護援助の基本：患者一看護師関係</b>  【授業内容】精神看護援助の基本である患者一看護師関係について学修する。患者一看護師関係での気がかりな場面の取り上げ方について説明する。  【授業方法】演習 プロセスレコードを記載してみる。  【予習1】30分 教科書Ⅱの第1章を通読すること  【予習2】15分 はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション, p70-71を通読すること  【復習】120分 プロセスレコードを作成する。作成後は教員が指定する日時に提出する</p> <p>【担当】高橋</p>
13	<p><b>精神看護援助の基本：生きる力と強さへの支援</b>  【授業内容】精神看護援助の基本である生きる力と強さへの支援について学修する。  【授業方法】講義  【予習】30分 教科書Ⅱの第1章該当ページを通読すること  【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる  【担当】高橋</p>
14	<p><b>精神看護援助の基本：セルフケア理論による看護援助</b>  【授業内容】精神看護援助の基本であるセルフケア理論による看護援助について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。  【授業方法】講義  【予習】30分 教科書Ⅱの第1章該当ページを通読すること  【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる  【担当】高瀬</p>
15	<p><b>精神保健看護Ⅰ全15コマで実施した小テストの実施と主要内容に対するフィードバック</b>  【授業内容】15コマで学んだ内容について振り返りを行う  【授業方法】講義 PBL  【予習】60分 第14回までの復習、全小テスト見直し  【復習】60分 全ての学習内容の知識の整理、まとめシートにて課題解決型学習を行う  本講義のフィードバックに関しては、特に押さえてほしい内容を「まとめシート」に記載しています。まとめシートの内容に沿って自己学習を進めてください。  【担当】高橋</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

吉松和哉 他 著：第6版 精神看護学Ⅰ 精神保健学。ヌーヴェルヒロカワ、2015。  
川野雅資 他 著：第6版 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学。ヌーヴェルヒロカワ、2015。  
高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション。へるす出版、2014。  
野村総一郎 他 編集：標準精神医学 第7版。医学書院、2018。

## 参考文献

Erikson, E.H. : The Life Cycle Completed . 1982, 村瀬孝雄・近藤邦夫訳：ライフサイクル、その完結。みすず書房, 1989.

野中猛 監修：看護に必要な精神保健制度ガイド。中山書店, 2008.

野末聖香 編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために。医歯薬出版, 2004.

## 評価方法

---

参加度10%、定期試験85%、プロセスレコード課題5%

## 教員等の実務経験

---

精神科看護師、病院心理士、スクールカウンセラーの経験がある教員が、その経験を活かして、精神保健看護実践について講義します。

## メッセージ

---

講義終了後は、必ず復習を行い、学習ノートに学びをまとめてください。

各授業での知識の定着を確認することを目的に「小テスト」を実施します。小テスト内容を重点的に復習を行って下さい。

第12講のときのみ、「高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション，へるす出版，2014.」を持参してください。

疾病と治療Ⅳの内容を踏まえながら予習して授業に臨んでください。



## 精神保健看護Ⅱ

更新日：2022/03/01 16:48:51

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	NAP307		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	621500
担当教員	石飛 マリコ, 高瀬 理恵子, 高橋 清美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

精神の健康が脅かされることによって生じる様々な影響を理解し、日常生活や社会生活の回復を促進し、共生していくための支援体制や看護に必要な知識、方法を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	主な精神症状と生活障害について説明できる。
2	精神科医療で提供される医療・保健・福祉の概要が説明できる。
3	精神疾患をもつ人のセルフケアの観察とアセスメントの視点を説明できる。
4	精神疾患をもつ人に対する看護の役割について倫理観、人権の視点を含めて述べるができる。
5	地域における精神保健福祉のサポートシステムについて説明できる。

## 授業計画

1	<b>精神看護に必要な理論と看護過程</b> 【授業内容】オリエンテーションおよび精神看護に必要な理論と看護過程について学修します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 教科書Ⅱ 第1章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高橋
2	<b>精神科アセスメント（精神症状・状態像・セルフケアの把握）</b> 【授業内容】精神看護における看護過程の思考のプロセスを説明します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 教科書Ⅱ 第1章 3) 標準精神医学 第3章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高橋
3	<b>統合失調症をもつ人とその家族への看護①（急性期看護）</b> 【授業内容】統合失調症をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、隔離室の看護、精神療法、薬物療法について学修します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第12章 3) 教科書Ⅱ 第2章、第3章、第4章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高瀬
4	<b>統合失調症をもつ人とその家族への看護②（回復期・慢性期看護）</b> 【授業内容】統合失調症をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、SST、心理教育について学修します 【授業方法】講義 【予習】60分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第12章 3) 教科書Ⅱ 第2章、第3章、第4章 【復習】30分：小テストの見直し 【担当】高瀬

5	<p><b>気分・感情障害をもつ人とその家族への看護①・電気けいれん療法</b></p> <p>【授業内容】気分・感情障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、電気けいれん療法時の看護について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り</li> <li>2) 標準精神医学 第13章、第6章p.144-146</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第2章、第3章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】石飛</p>
6	<p><b>気分・感情障害をもつ人とその家族への看護②</b></p> <p>【授業内容】気分・感情障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、家族看護について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り</li> <li>2) 標準精神医学 第13章</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第3章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】石飛</p>
7	<p><b>発達障害のある人とその家族への看護</b></p> <p>【授業内容】発達障害のある人の併存症状(精神状態)とセルフケアのアセスメント、看護について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り</li> <li>2) 標準精神医学 第14章</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第5章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】高橋</p>
8	<p><b>摂食障害のある人とその家族への看護</b></p> <p>【授業内容】摂食障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り</li> <li>2) 標準精神医学 第15章</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第3章、第5章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】石飛</p>
9	<p><b>物質関連障害を持つ人とその家族への看護</b></p> <p>【授業内容】アルコール依存症を持つ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り</li> <li>2) 標準精神医学 第20章</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第3章、第5章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】石飛</p>
10	<p><b>パーソナリティ障害を持つ人とその家族への看護</b></p> <p>【授業内容】パーソナリティ障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り</li> <li>2) 標準精神医学 第10章</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第3章、第5章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】石飛</p>
11	<p><b>精神看護における安全管理</b></p> <p>【授業内容】精神科で起こりやすい副作用や合併症（誤嚥性肺炎、水中毒、悪性症候群）と看護のポイントを学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 教科書Ⅱ 第1章、第2章、第4章</li> </ol> <p>【復習】30分：小テストの見直し</p> <p>【担当】高瀬</p>
12	<p><b>アウトリーチ型精神医療と看護について</b></p> <p>【授業内容】ACTの実際について学修します</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：以下を精読し、関連文献を収集する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域移行、退院支援に関する文献を収集し目を通す</li> <li>2) 教科書Ⅰ 第3章</li> <li>3) 教科書Ⅱ 第4章</li> </ol> <p>【復習】30分：授業資料の見直し</p> <p>【担当】渡邊（ちはやACTクリニック院長）</p>

13	<b>精神障がい者とその家族の地域生活支援（精神科訪問看護、デイケアでの看護、生きる力と強さ）</b> 【授業内容】 地域で生活する精神障がい者とその家族の支援について学修します 【授業方法】 講義 【予習】 60分：以下を精読 1) 教科書Ⅰ 第3章 2) 教科書Ⅱ 第1章、第4章 【復習】 30分：小テストの見直し 【担当】 石飛
14	<b>精神疾患を持つ人とその家族の看護の実際</b> 【授業内容】 事例を用いて看護過程を学修します 【授業方法】 講義(討議)、自分で展開した看護過程(関連図と看護計画)に関して、グループワークでディスカッションし、追加修正する。(授業後に関連図と看護計画を提出。15回で返却、フィードバックを行います。) 【予習】 60分：以下を精読 1) 事例を熟読 2) これまでの授業の振り返り 【復習】 30分：これまでの授業の振り返り 【担当】 高瀬
15	<b>精神保健看護Ⅱの総括/定期試験へのフィードバック</b> 【授業内容】 定期試験の解説とまとめ 【授業方法】 講義、演習 【予習】 60分：試験終了後の復習を行い、自己の課題を明確にする 【復習】 60分：すべての学習内容 【担当】 石飛、高瀬、高橋

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

吉松和哉 他 著：精神看護学Ⅰ 精神保健学. 第6版. ヌーヴェルヒロカワ, 2016.  
川野雅資 他 著：精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学. 第6版. ヌーヴェルヒロカワ, 2016.  
野村総一郎 他 編集：標準精神医学 第7版. 医学書院, 2018.

## 参考文献

井上令一：カプラン臨床精神医学テキスト DSM-5診断基準の臨床への展開 第3版. メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016.  
中井久夫・山口直彦：第2版 看護のための精神医学. 医学書院, 2004.  
長嶺敬彦：抗精神病薬の「身体副作用」がわかる. 医学書院, 2006.  
宇佐美しおり 他：オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版. ヌーヴェルヒロカワ, 2015.

## 評価方法

参加度15%、個人ワーク(看護過程の関連図・看護計画)10%、定期試験75%にて評価する。

## 教員等の実務経験

精神科看護師の臨床経験がある教員が、その経験を活かして精神保健看護実践について講義します。

## メッセージ

授業後は、学んだ内容とそのポイントを明確にするための復習を30分程度行ってください。  
第3回講義で看護過程様式を配布します。第14回講義で、個人で看護過程展開した看護過程様式を持参してください。  
疾患とその看護に関して、講義時間内に看護過程を演習し繰り返し学習します。

## がん看護

更新日：2022/03/01 16:31:09

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NAP209		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	621600
担当教員	西山 陽子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

さまざまな健康段階にあるがん患者の身体機能、心理・社会的機能の特徴と健康問題について理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	がんの病態と治療、臨床経過を理解し、患者・家族がうける身体的、心理・社会的影響について考えることができる。
2	がん患者・家族に対しがん治療の効果を促進するために必要な看護について理解できる。

## 授業計画

1	オリエンテーション／現在のがんの医療・病態と臨床経過 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容をまとめる。
2	がん治療と看護：手術療法を受ける人への看護 【授業方法】講義（ICT支援） ※ICTを用いて小テストを行う。 【復習】30分：第3章を読み手術療法についてまとめる。
3	がん治療と看護：薬物療法を受ける人への看護 【授業方法】講義／ジグソー学習と発表のオリエンテーション（ICT支援） ※ICTを用いて小テストを行う。 【予習】30分：第3章を読み、がん薬物療法についてまとめる。
4	がんと共に生きる人への看護：胃がんと共に生きる人への看護 【授業方法】演習（ジグソー学習） 【予習】50分：課題に取り組む。課題は講義に持参する。
5	がんと共に生きる人への看護：胃がんと共に生きる人への看護 【授業方法】演習（グループ発表／フィードバック） 【予習】20分：グループで発表準備を行う。
6	がん治療と看護：放射線療法を受ける人への看護 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】20分：第3章を読み、がん放射線療法について質問を考えてくる。 【担当】ゲストスピーカー
7	がんと共に生きる人への看護：乳がんと共に生きる人への看護 【授業方法】講義（ICT支援） ※ICTを用いて小テストを行う。 【予習】30分：乳がんの治療について調べる。第4回の講義を復習する。
8	がん治療の場と看護の役割、まとめ、フィードバック 【授業方法】講義／小テストのフィードバック 【予習】30分：講義資料や自分でまとめたものに目を通し疑問点を明確にしておく。

## 先行履修科目

なし

## テキスト

小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学 第3版。医学書院，2022。

## 参考文献

必要に応じて提示する

## 評価方法

定期試験（50％）、課題（20％）、小テスト（25％）、授業参加（5％）

## 教員等の実務経験

がん患者への看護を臨床で実践した経験がある教員が担当する。

## メッセージ

この科目では、代表的ながん治療や治療経過、治療に関連する有害事象への対策など、がんの診断から治療期における患者家族への基本的な看護について学びます。がんは、日本人の約2人に1人が生涯のうちに罹患する疾患といわれ、がんとともに生きる方は増加しています。治療効果を促進し、がんサバイバーのQOLを保つために、どのような看護が必要か考えていきましょう。

## 家族看護

更新日：2022/03/04 16:58:06

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NAP210		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	621700
担当教員	西村 和美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

「家族看護とは何か」という視点を持ちつつ、家族を単位とした看護のアプローチ方法と、さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族について学ぶ。

### 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

### 到達目標

1	家族を単位として援助することの意義を説明できる。
2	家族看護を支える理論と看護のアプローチ方法を説明できる。
3	事例を通して、家族を支援するためのアセスメントの方法を説明できる。
4	家族員の健康問題が家族に与える影響や、療養生活を支える家族の体験について考察できる。

### 授業計画

1	<b>家族看護とは 家族とは</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP2～30を熟読する。 【復習】30分：家族看護、家族の定義をまとめる。
2	<b>家族看護の対象理解</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP30～83を熟読し、ワークシート（ジェノグラム・エコマップ）を作成する。 【復習】30分：家族構造の把握方法（ジェノグラム・エコマップ）、家族機能、現代家族の課題についてまとめる。
3	<b>家族を理解するための諸理論</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP86～116を熟読する。 【復習】30分：家族看護の理論についてまとめる。
4	<b>家族看護過程と実際</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP118～163を熟読する。 【復習】30分：家族看護過程の方法についてまとめる。
5	<b>家族看護と多職種連携</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストP164～186を熟読する。 【復習】30分：家族アセスメントモデルについてまとめる。
6	<b>事例を通じた家族アセスメントとアプローチの検討（1）</b> 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：テキストP251～262を熟読し、ワークシートを作成する。 【復習】60分：事例の家族アセスメントとアプローチについてまとめる。
7	<b>事例を通じた家族アセスメントとアプローチの検討（2）</b> 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：テキストP200～211を熟読し、ワークシートを作成する。 【復習】60分：事例の家族アセスメントとアプローチについてまとめる。
8	<b>事例を通じた家族アセスメントとアプローチの検討（3）まとめ、課題へのフィードバック</b> 【授業方法】講義 事例課題に対するフィードバック 【予習】30分：テキストP251～262、テキストP200～211を熟読する。 【復習】60分：家族員の健康問題が家族に与える影響や、療養生活を支える家族の体験についてまとめる。

### 先行履修科目

なし

### テキスト

上別府圭子 他：系統看護学講座 別巻 家族看護学。医学書院，2021。

### 参考文献

中野綾美・瓜生浩子：家族看護学 - 家族のエンパワーメントを支えるケア。メディカ出版，2020。

## 評価方法

定期試験50%、課題・レポート40%、授業の参加度10%

## 教員等の実務経験

病院や地域で患者および家族ケアの臨床経験をもつ教員が、その経験を活かして、家族看護活動について講義します。

## メッセージ

定型的な家族の枠組みにとらわれず、多様な家族のあり方を考える機会とします。家族を理解するには、まず自分の家族体験を振り返り、家族のイメージを描きます。自己を振り返り、患者・家族を看る目を育ててください。様々な事例の家族看護について一緒に考えていきましょう。

## 地域看護Ⅰ

更新日：2022/02/09 09:26:39

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NAP211		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	621800
担当教員	小野 ミツ, 緒方 文子, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

地域で生活する人々の疾病の予防、健康の保持・増進について、基礎的な考え方を理解し、地域看護の特性について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	地域看護の基盤となる理念や概念を理解できる。
2	地域看護活動の歴史の変遷について理解できる。
3	地域で生活する人々の疾病の予防、健康の保持・増進活動について説明できる。
4	健康危機管理に関する看護の役割について説明できる。

## 授業計画

1	<b>ガイダンス、地域看護の基盤となる概念・理念</b> 【授業方法】講義 【講義予習】30分：地域とは何か、地域看護の概念について調べる。教科書第1章、第2章を熟読する。 【復習】30分：地域で生活する人々の健康と生活の質向上に地域看護が果たす役割について、講義資料と課題をとおして理解を深める。 【担当】小野
2	<b>地域看護の歴史の変遷</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：地域看護の歴史についてまとめる。教科書の第9章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書第9章を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
3	<b>対象地域・対象者を多角的にアセスメントする必要性</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の第6章A、第6章Cを熟読する。 【復習】30分：対象とした地域や対象者を多角的にアセスメントすることの必要性について調べる。 【担当】緒方
4	<b>ヘルスプロモーション</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：地域全体の健康水準を向上させる活動であるヘルスプロモーションに活動について調べる。教科書第1章、第2章等を熟読する。 【復習】30分：講義資料と課題をとおして、理解を深める。 【担当】緒方
5	<b>エンパワメント</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：地域看護活動の目的であるエンパワメントとは、その必要性について調べる。教科書第2章、第6章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
6	<b>地域看護活動の基本的な展開の場と特性</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：あなたが住んでいる地域について調べその特徴をまとめる。教科書第3章Aを熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
7	<b>住民主体の健康づくり</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：住民を主体とした看護活動について、教科書第5章、第6章B、第7章、第8章Bを熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
8	<b>地域における健康危機管理、課題のフィードバック</b> 【授業方法】講義、ワーク 【予習】30分：あなたが住んでいる地域の感染症の発生動向について調べまとめる。教科書第9章を熟読する。 【課題】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】宮川

## 先行履修科目



なし

## テキスト

---

標 美奈子他 編：標準保健師講座 1 第6版. 公衆衛生看護学概論. 医学書院, 2022

## 参考文献

---

上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版. 中央法規, 2021

厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向,2021/2022. 厚生労働統計協会, 2021

## 評価方法

---

筆記試験 (50%), 課題 (40%), 授業参加度(10%)

## 教員等の実務経験

---

看護師や保健師の臨床経験のある教員が、地域で生活する人々の健康への支援について講義を担当します。

## メッセージ

---

地域で生活する人々への疾病予防、健康の保持・増進のための看護活動を学び、日常生活の中で、個々人が自らの健康に関心を持ち、地域で健康課題を解決できるように支援していくための看護職の役割について、学び考えていきましょう。

## 地域看護Ⅱ

更新日：2022/02/09 09:41:50

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NAP308		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	621900
担当教員	宮川 淳子, 小野 ミツ, 緒方 文子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

地域で生活する様々なライフステージにある人々の健康課題、健康に関連する行動や生活と環境の特性を理解し、生涯にわたる継続的な健康支援とプライマリヘルスケアシステムの重要性、地域における看護活動を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2	プライマリヘルスケアの概念について説明できる。
3	看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
4	各ライフステージにおける健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
5	リスクの高い人々の健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
6	国内外の社会情勢に応じた健康ニーズについて説明できる。

## 授業計画

1	<b>プライマリヘルスケアと地域看護の概要</b> 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：「地域看護Ⅰ」の内容を復習しておく。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
2	<b>母子保健（親子保健）（1）</b> 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：自分が住んでいる市町村の広報を持参する，母子が利用できる制度や社会資源について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
3	<b>母子保健（親子保健）（2），児童虐待</b> 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：乳幼児の成長・発達について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
4	<b>学校保健</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第9章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
5	<b>成人保健（1）</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第2章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
6	<b>成人保健（2）</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第2章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
7	<b>健康危機管理（1）感染症保健</b> 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：予防接種について調べまとめる。 【復習】30分：教科書第7章を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川
8	<b>健康危機管理（2）感染症保健と災害保健</b> 【授業方法】講義，ワーク 【予習】30分：教科書第7章，第12章を熟読する。結核の病態生理を復習する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】宮川

9	<b>産業保健（1）</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第10章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
10	<b>産業保健（2）</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第10章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
11	<b>高齢者保健福祉</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第3章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
12	<b>障がい児・者保健福祉</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第5章を熟読する。 【課題】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】宮川
13	<b>精神保健福祉</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第4章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
14	<b>難病保健福祉</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第6章を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
15	<b>地域看護Ⅱの講義のまとめと定期試験のフィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】30分：第1～14回の講義のまとめ/定期試験の見直し 【担当】宮川

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

松田正己他 編：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動 第4版．医学書院，2020．  
標美奈子他 編：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 第6版．医学書院，2022．  
（2年後期「地域看護Ⅰ」で使用したテキスト）  
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022．厚生労働統計協会，2021．

## 参考文献

上野昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版．中央法規，2021．

## 評価方法

定期試験50％，課題40％，授業参加10％

## 教員等の実務経験

保健師・看護師の臨床経験のある教員が、地域で生活する人々へのさまざまな保健活動について講義を担当します。

## メッセージ

地域で生活する様々な健康レベル・ライフステージにある人々への保健活動がどのようなヘルスケアシステムの中で実施されているかを理解し、地域を体系的にとらえることができるように学修していきます。  
既習の科目「保健統計学」「慢性看護Ⅰ」「地域看護Ⅰ」「在宅看護Ⅰ」などで学修した内容を復習しておきましょう。

## 看護技術Ⅲ

更新日：2022/02/09 10:32:24

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP212		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	622000
担当教員	西山 陽子, 山本 孝治, 鈴鹿 綾子						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

健康障害を持った対象者に対して、個別状況に応じた看護技術を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	看護技術を安全に実施するための手順を経験し、理解できる。
2	看護技術の実施前・中・後に合併症やアクシデントを予測したアセスメントを実施できる。
3	健康障害を持つ対象者の個別状況に応じ、安案を考慮して看護技術を実施できる。

## 授業計画

1	<b>科目オリエンテーション、食事の看護技術/経管栄養法（1）</b> 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：①経管栄養法に関連した人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p47-54）およびMoodleに提示される動画を視聴して、経管栄養法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：①オンデマンド講義を踏まえ、経管栄養法の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。②テキストp56のゼミナール「復習と課題」についてまとめる。 【担当】山本、西山
2	<b>食事の看護技術/経管栄養法（2）</b> 【授業方法】演習(実技、グループワーク) *演習終了後に小テスト①を実施する。 【予習】40分：①経管栄養法に関連した人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p47-54）およびMoodleに提示される動画を視聴して、経管栄養法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：①経管栄養法の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。②テキストp56のゼミナール「復習と課題」についてまとめる。 【担当】山本
3	<b>創傷管理技術：創傷のアセスメント・処置/褥瘡予防(1)</b> 【授業方法】講義(反転授業、ICT支援) 演習(実技、グループワーク) 【予習】30分：①皮膚・粘膜の構造と機能を復習②指定された動画を視聴し、創傷の処置の手順、褥瘡予防のケアについてまとめる（テキストp262～p272、p277～p284） 【復習】30分：演習を振り返り、創傷処置の手順とポイントをまとめる。 【担当】鈴鹿
4	<b>創傷管理技術：創傷のアセスメント・処置/褥瘡予防(2)</b> 【授業方法】演習(実技、グループワーク) *演習終了後に小テスト②を実施する。 【予習】30分：①皮膚・粘膜の構造と機能を復習②指定された動画を視聴し、創傷の処置の手順、褥瘡予防のケアについてまとめる（テキストp262～p272、p277～p284） 【復習】30分：演習を振り返り、創傷処置の手順とポイントをまとめる。 【担当】鈴鹿
5	<b>呼吸循環を整える看護技術：酸素吸入療法、一時的吸引（1）</b> 【授業方法】講義(反転授業、ICT支援)・演習(実技、グループワーク) 【予習】60分：①呼吸に関する人体の構造と機能を復習する。②Moodleに提示された講義動画を視聴し、酸素吸入療法、一時的吸引の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。 【担当】西山
6	<b>呼吸循環を整える看護技術：酸素吸入療法、一時的吸引（2）</b> 【授業方法】演習(実技、グループワーク) *終了後に小テスト③を行う。 【復習】30分：演習を通して学んだことをノートに加筆・修正する。 【担当】西山
7	<b>症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（1）</b> 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：今まで学修したテキスト・講義資料を用いて、インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習する。血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。 【復習】40分：血糖測定とインシュリン自己注射の手順とポイントを修正・加筆し、演習が想起できるようにする。 【担当】鈴鹿

8	<p><b>症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（2）</b>  【授業方法】講義(反転授業、ICT支援) 演習(実技、グループワーク)  【予習】40分：インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習し、血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。演習の手技を想起できるようにする。  【復習】40分：それぞれの演習を評価し、手順とポイントを修正・加筆する。  *第8・9回は同日2コマで実施する。  【担当】鈴鹿</p>
9	<p><b>症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（3）</b>  【授業方法】演習(実技、グループワーク) *講義終了後に小テスト④を実施する。  【予習】40分：インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習し、血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。  【復習】30分：それぞれの演習を評価し、手順とポイントを修正・加筆する。  *第8・9回は同日2コマで実施する。  【担当】鈴鹿</p>
10	<p><b>排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（1）</b>  【授業方法】演習(実技、グループワーク)  【予習】40分：看護技術IIで学んだ無菌操作の原理原則をテキスト、講義資料で復習する。Moodleに提示された動画を視聴し一時的導尿の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。  【担当】西山</p>
11	<p><b>排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（2）</b>  【授業方法】演習(実技、グループワーク)  【復習】60分：手順を暗記、実施できるよう練習する。  【担当】西山</p>
12	<p><b>排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（3）</b>  【授業方法】演習(実技) *技術テスト  【予習】60分：手順を復習し暗記、練習する。  【復習】30分：教員からのフィードバックを振り返り、理解が不十分な部分はテキスト、講義資料を確認する。  【担当】西山・山本・鈴鹿</p>
13	<p><b>排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（4）</b>  【授業方法】演習(実技) *技術テスト  【予習】90分：手順を復習し暗記する。手技を復習し、練習する。  【復習】30分：教員からのフィードバックを振り返り、理解が不十分な部分はテキスト、講義資料を確認する。  【担当】西山・山本・鈴鹿</p>
14	<p><b>排泄の看護技術：浣腸、坐薬</b>  【授業方法】講義(反転授業、ICT支援)・演習(実技、グループワーク)  【予習】40分：①排便に関連する人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト(p61-65,p80-85)およびMoodleに提示される動画を視聴して、浣腸と坐薬の与薬方法手順とポイントをまとめる。  【復習】30分：浣腸、坐薬の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。  【担当】山本</p>
15	<p><b>科目全体のまとめ：小テスト、技術テストについてのフィードバックと技術の要点を振り返る。</b>  【授業方法】講義(グループワーク)  【予習】60分：各技術のポイントを振り返り、疑問点を明確にする。  【復習】60分：講義を通して確認した要点をテキストや参考図書で確認する。  【担当】西山・山本・鈴鹿</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

有田清子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版. 医学書院, 2021.

## 参考文献

浅野浩一郎他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[2]呼吸器 第15版. 医学書院, 2019.  
南川雅子他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[5]消化器 第15版. 医学書院, 2019.  
黒江ゆり子他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[6]内分泌・代謝 第15版. 医学書院, 2019.  
今井亜矢子他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[8]腎・泌尿器 第15版. 医学書院, 2019.

## 評価方法

筆記テスト(50%)、小テスト(15%)、技術テスト(15%)、事前学習(14%)、授業態度(6%)、で総合的に評価する。  
\*小テストは5回実施、技術テストは1回実施する。技術テストは別途評価表を配布する。  
\*事前学習：事前学習はノートにまとめ演習に持参する。教員が内容を確認し評価する。  
\*授業態度：講義全体の主体性、協調性等について評価する。演習では、臨地実習に準じた身だしなみやマナーについても評価対象とする。

## 教員等の実務経験

臨床で看護師として様々な対象者へ看護技術を実践した経験を持つ教員が担当する。

## メッセージ

演習は、チームであることを意識し、グループダイナミクスを発揮して、主体的に周囲と協力、意見を交換しながら共に学びを深めていきましょう。看護技術Ⅰ・Ⅱで行った自己学修をこの科目でも継続してください。ポイントは、解剖・生理、疾病の成り立ち、治療検査時の看護、看護技術Ⅰ・Ⅱなどの学びを想起しながら、この科目の学修とつなげることです。技術の手順・留意点は、解剖生理学的な背景と関連があります。ただまとめるだけでなく、考えながらまとめるようにすると理解しやすくなります。



## 看護技術Ⅳ

更新日：2022/02/28 10:34:26

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	NAP309		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	622100
担当教員	福島 綾子, 鴨川 めぐみ, 山内 多恵, 吉原 駿						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

健康レベル、ライフステージ、個もしくは集団など、対象の特性に対して、適切な看護を行うための看護技術を習得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	侵襲度の高い看護技術を適切に実施するために必要な基本的知識と、科学的根拠に基づいた原理原則について説明できる。
2	援助の必要性を判断し、侵襲度の高い看護技術を対象の特徴に合わせて安全に実施できる。
3	実施した結果を患者の状況に合わせて評価することができる。

## 授業計画

1	<p><b>授業ガイダンス：看護技術を適切に実践するための要素とは、【与薬の技術：注射】筋肉内注射</b></p> <p>【授業方法】講義（一部オンデマンド講義）</p> <p>【予習】60分：</p> <p>1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅰ序章「看護技術を学ぶにあたって」 p2～16</p> <p>2) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ「看護技術の基盤」 p2～8</p> <p>3) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「注射」 p301～310、「筋肉内注射」 p316～320</p> <p>【復習】90分：</p> <p>事例患者の病態、治療の理解</p> <p>【担当】 福島・鴨川・山内・吉原</p>
2	<p><b>【与薬の技術：注射】筋肉内注射（1）</b></p> <p>【授業方法】演習（実技、討議）</p> <p>シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う</p> <p>互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする</p> <p>【予習】60分：</p> <p>1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「注射」 p301～310、「筋肉内注射」 316～320</p> <p>2) 筋肉内注射チェックリストの作成</p> <p>【復習】60分：</p> <p>1) 自らの手技を確認し、チェックリストに自分の課題と工夫を追加する</p> <p>2) 事後課題</p> <p>【担当】 福島・吉原</p>
3	<p><b>【与薬の技術：注射】筋肉内注射（2）</b></p> <p>【授業方法】演習（実技、討議）</p> <p>シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う</p> <p>互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする</p> <p>【予習】60分：</p> <p>1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「注射」 p301～310、「筋肉内注射」 316～320</p> <p>2) 筋肉内注射チェックリストの作成</p> <p>【復習】60分：</p> <p>1) 自らの手技を確認し、チェックリストに自分の課題と工夫を追加する</p> <p>2) 事後課題</p> <p>【担当】 福島・吉原</p>
4	<p><b>【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（1）</b></p> <p>【授業方法】演習（実技）</p> <p>筋肉内注射の技術テストに向けての準備をする（手技の確認、根拠の確認など）</p> <p>【予習】60分：</p> <p>1) 筋肉内注射チェックリストの見直し</p> <p>2) 事例患者の問題点とその問題を解決するための看護技術、実施後の評価のポイントをまとめる</p> <p>【復習】60分：</p> <p>技術テストに向けての準備（オフィスパワーを活用する）</p> <p>【担当】 福島・吉原</p>

5	<p><b>【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技）          筋肉内注射の技術テストに向けての準備をする（手技の確認、根拠の確認など）  <b>【予習】</b> 60分：          1) 筋肉内注射チェックリストの見直し          2) 事例患者の問題点とその問題を解決するための看護技術、実施後の評価のポイントをまとめる  <b>【復習】</b> 60分：          技術テストに向けての準備（オフィスパワーを活用する）  <b>【担当】</b> 福島・吉原</p>
6	<p><b>【与薬の技術：注射】技術テスト</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（技術テスト）  <b>【予習】</b> 60分：          技術テストに向けての準備（オフィスパワーを活用する）  <b>【復習】</b> 60分：          1) 筋肉内注射に関連した事後課題          2) 小テスト  <b>【担当】</b> 福島・鴨川・山内・吉原</p>
7	<p><b>【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査</b>  <b>【授業方法】</b> オンデマンド講義  <b>【予習】</b> 60分：          系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「症状・生体機能管理技術の基礎知識」p374～375、「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382  <b>【復習】</b> 60分：          1) 静脈血採血チェックリストの作成          2) 静脈血採血を行う目的、採血実施前後の患者の安全と観察の視点を確認する  <b>【担当】</b> 鴨川</p>
8	<p><b>【与薬の技術：注射】静脈内注射／点滴静脈内注射</b>  <b>【授業方法】</b> オンデマンド講義  <b>【予習】</b> 60分：          系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336  <b>【復習】</b> 60分：          1) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成          2) 点滴静脈内注射を行う目的、点滴静脈内注射実施前、投与中、実施後の患者の安全と観察の視点を確認する  <b>【担当】</b> 山内</p>
9	<p><b>【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、討議）          シミュレーターを用いて採血の実践を行う          互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする  <b>【予習】</b> 60分：          1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382          2) 静脈血採血チェックリストの作成  <b>【復習】</b> 90分：          1) 静脈血採血のチェックリストの追加修正と事後課題          2) 小テスト  <b>【担当】</b> 鴨川</p>
10	<p><b>【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、討議）          シミュレーターを用いて採血の実践を行う          互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする  <b>【予習】</b> 60分：          1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382          2) 静脈血採血チェックリストの作成  <b>【復習】</b> 90分：          1) 静脈血採血のチェックリストの追加修正と事後課題          2) 小テスト  <b>【担当】</b> 鴨川</p>
11	<p><b>【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（3）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、討議）          シミュレーターを用いて採血の実践を行う          互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする  <b>【予習】</b> 60分：          1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ11章「検体検査」①血液検査（静脈血採血、動脈血採血、血糖測定）p375～382          2) 静脈血採血チェックリストの作成  <b>【復習】</b> 90分：          1) 静脈血採血のチェックリストの追加修正と事後課題          2) 小テスト  <b>【担当】</b> 鴨川</p>



12	<p><b>【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、討議）  シミュレーターを用いて静脈内注射／点滴静脈内注射の実践を行う  互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする  <b>【予習】</b> 60分：  1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336  2) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成  <b>【復習】</b> 90分：  1) 静脈内注射／点滴静脈内注射のチェックリストの追加修正と事後課題  2) 小テスト  <b>【担当】</b> 山内</p>
13	<p><b>【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、討議）  シミュレーターを用いて静脈内注射／点滴静脈内注射の実践を行う  互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする  <b>【予習】</b> 60分：  1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336  2) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成  <b>【復習】</b> 90分：  1) 静脈内注射／点滴静脈内注射のチェックリストの追加修正と事後課題  2) 小テスト  <b>【担当】</b> 山内</p>
14	<p><b>【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射（3）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、討議）  シミュレーターを用いて静脈内注射／点滴静脈内注射の実践を行う  互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする  <b>【予習】</b> 60分：  1) 系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ第9章「静脈内注射」p320～336  2) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストの作成  <b>【復習】</b> 90分：  1) 静脈内注射／点滴静脈内注射のチェックリストの追加修正と事後課題  2) 小テスト  <b>【担当】</b> 山内</p>
15	<p><b>演習を終えてのフィードバック／事後課題・小テストに対するフィードバック</b>  <b>【授業方法】</b> 講義  <b>【予習】</b> 60分：看護技術Ⅳにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認  <b>【復習】</b> 90分：全体の学びを整理  <b>【担当】</b> 福島・鴨川・山内・吉原</p>

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野1基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ．医学書院，2020.  
茂野香おる 他：系統看護学講座専門分野1基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ．医学書院，2020.

## 参考文献

適宜、提示する。

## 評価方法

技術テスト30%、演習態度20%、事前・事後課題30%、小テスト20%

## 教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、臨床看護技術について教授します。

## メッセージ

看護技術Ⅳで取り扱う技術は、患者にとって侵襲度の高い看護技術です。そのため、単に手技を実施するのではなく、その技術に関する正しい知識に基づき、看護職者としての責任を自覚した態度で演習に臨んで下さい。3年次の科目ですので、演習の準備から片付け、および演習の進行についても学生主体で取り組んでもらいます。

個人の学習にとどまらず、チームで課題に取り組み、互いに高め合いながら学修していくことを希望します。

# 専門性強化演習Ⅰ

更新日：2022/03/03 11:45:28

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NAP310		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	622200
担当教員	原田 紀美枝, 鴨川 めぐみ, 石飛 マリコ, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 永松美雪, 石山 さゆり, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 西村 和美, 太田 純代, 福島 綾子, 福田 陽子, 松中 枝理子, 鎌田 ゆき, 菊池 さよ, 高瀬 理恵子, 千原 明美, 橋本真貴子, 山内 多恵, 吉原 駿						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

各専門領域の実習に必要な知識、技術、態度を強化する。

実習の体験で得られた看護の現象について探求し、課題としてとらえた看護の現象について言語化・抽象化・概念化といった思考過程を繰り返しながら、次の看護実践の方向性を見出す能力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	各専門領域における技術演習を通して、レベルⅣ実習に向けて必要となる知識、技術、態度を主体的に身につけることができる。
2	実習中に直面しうる倫理的問題について、看護の視点から考えることができる。
3	実習での体験をもとに、看護の現象に潜む探究課題を見出すことができる。
4	探究課題を明らかにするために必要な情報資源を収集、活用することができる。
5	看護実践の探求を通して、看護実践の言語化、抽象化、概念化するための方法を学ぶことができる。

## 授業計画

1	<p>コースガイダンス：レベルⅣ実習に必要な援助技術、看護学実習における倫理とは</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>コースガイダンス①</p> <p>各専門領域における実習に必要な技術演習の到達目標や演習の進め方、事前課題などを理解し、主体的に演習に参加するための準備を整える。</p> <p>コースガイダンス②</p> <p>ケースメソッドによる倫理的課題の検討の進め方を理解し、討議に参加するための準備を整える。</p> <p>【復習】60分：講義内容および倫理に関する既習学習も参考にしながら、これまでの実習における倫理的課題について振り返る。</p> <p>【担当】原田・鴨川</p>
2	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
3	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
4	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
5	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
6	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>

7	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
8	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
9	<p>【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域）</p> <p>【授業方法】演習と講義（実技）</p> <p>【予習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【復習】30分：各担当領域から提示される課題</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
10	<p>【学内一斉週】看護倫理・ケースメソッド法について</p> <p>【授業方法】講義</p> <p>1. 看護倫理に関する既習学習内容を振り返る</p> <p>2. ケースメソッドの目的・手法を学ぶ</p> <p>【復習】30分：ケースメソッド法における学習方法の目的を理解するため講義内容を整理する。</p> <p>【担当】小松 原田 鴨川</p>
11	<p>【学内一斉週】倫理的問題や場面の振り返り</p> <p>【授業方法】演習（グループワーク）</p> <p>前半クールの実習で体験した倫理的問題についてグループで振り返る。</p> <p>【予習】120分：グループ内で有意義なディスカッションができるよう取り組むための準備として、レベルⅣ実習で直面した倫理的問題について既習の学習内容と照らし合わせまとめておく。</p> <p>【復習】120分：ディスカッションした内容を自己の学習内容としてまとめる。</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
12	<p>【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する①</p> <p>【授業方法】講義・演習（グループワーク）</p> <p>1. ケースメソッドの進め方</p> <p>2. 検討事例紹介</p> <p>提示された事例について倫理的課題の様相を見出し、その様相に対する考えを確立できるよう自己学習を行う。</p> <p>【復習】60分：事例を精読し、論理的課題を理論立て見出し、講義資料や文献検索をしながら、自身の考えを整理し全体討議で発言ができるよう準備する。</p> <p>【担当】小松 原田 鴨川</p>
13	<p>【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する②</p> <p>【授業方法】演習（グループワーク）</p> <p>個人学習で導き出した学習内容と意見交換が必要な事項をグループ内に提示する。主に自己の考えを確立するに至る文献などを検索し、根拠を持ち事例検討を行う。</p> <p>【予習】120分：グループワークで意見交換ができるように文献検索を行なう。</p> <p>【復習】120分：事例の設問に対する自分なりの考えを整理し、意見交換ができるようにメモを準備する。</p> <p>【担当】レベルⅣ担当教員</p>
14	<p>【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する③</p> <p>【授業方法】演習（討議）グループ討議へのフィードバック</p> <p>ディスカッション設問に対しグループ内で討議する。自己学習で準備してきた自分なりの考えを述べ、他者の意見を聞くことで共通点や相違点を明らかしつつ全体討議に向けた準備を行う。</p> <p>【予習】120分：自己学習を基盤に、グループ討議に向けて自身の考えを整理する。</p> <p>【復習】60分：グループ討議を基盤にさらに自身の考えを整理し、全体討議に向けた準備を行う。</p> <p>【担当】原田 鴨川 レベルⅣ担当教員</p>
15	<p>【レベルⅣ実習終了後】倫理的問題においてケースメソッドを展開する④</p> <p>【授業方法】演習（討議）全体討議へのフィードバック</p> <p>グループ討議において、その問題に関連する記述や資料に関連付け自己の解釈として導いた自己の倫理観を発言する。</p> <p>【予習】60分：グループ討議を基盤にさらに自身の考えを整理し、全体討議に向けた準備を行う。</p> <p>【復習】120分：最終レポートを作成する。</p> <p>【担当】小松 原田 鴨川 レベルⅣ担当教員</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

必要時、資料を配布する。

## 参考文献

適宜、提示する。

## 評価方法

各領域における技術演習での取り組み状況（30%）、グループディスカッションへの参加状況（20%）、ケースメソッドへの自己学習に対する取り組み状況（20%）、レポート（30%）

## 教員等の実務経験

看護の各専門領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、さまざまな看護活動について講義します。

## メッセージ

レベルⅣ実習では、約3か月という短い時間で対象や場の特徴が異なる5領域、6つの実習でそれぞれの実習目的を達成しなければなりません。一方で、レベルⅣ実習での各専門領域における実習は、実践を通し経験することで「看護」についての意味を考え、看護観を形作るという大切な場所になるのではと思っています。ぜひ各領域での学びが深まることを期待しています。

自らの経験についてじっくりと振り返ることは、難しい作業となるかもしれませんが、その作業の中でしか気づくことのできない言動の意味、自身の思考などは、みなさんが自分自身の「看護」を発展させていく上で大きな味方ともなってくれるはずです。この科目では、みなさんの「もっと成長したい」気持ちを伸ばしていくことをモットーに、レベルⅣ担当教員全員でサポートしていきます。コロナ禍の実習で、学生同士で討議する機会も少なくなっています。学生同士で討議することで学びを深めていきましょう。苦しい作業になるかもしれませんが、じっくり、しっかり「考え」、「討議し」それぞれの問いの答えを見つけていきましょう。

## 慢性看護実習

更新日：2022/03/02 18:06:01

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP213		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	3.0	科目コード	622300
担当教員	鈴木 綾子, 山本 孝治, 西山 陽子, 中村 光江						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

慢性期にある対象の特徴や日常生活への影響を理解したうえで、看護実践を通して、継続的な支援を必要とする対象のニーズを把握し、個別性に応じた看護を提供できる能力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	慢性病を持つ対象者の健康問題に対して適切に看護を展開できる。
2	慢性病を持つ対象者とその家族に必要な支援について考えることができる。
3	包括的医療における看護の役割を理解し、多職種との協働について考えることができる。
4	分析的に自己を捉え、自主的に実習に取り組むことができる。

## 授業計画

1	<b>授業方法と学習課題</b> <b>【授業方法】実習</b> <b>【予習】18時間</b> ＊予習の必要時間は個々で異なるため時間はあくまで目安である ・「病みの軌跡」と「看護過程の展開」の振り返り ・主として「慢性看護Ⅰ・Ⅱ」、「健康行動論」、「看護技術Ⅲ」、「人体の構造と機能」、「がん看護」、「疾病と治療」における知識や理解に関し、自己の課題を克服するための学習 ・代表的な慢性疾患である以下について、事前学習を行っておく ＜糖尿病、慢性腎不全、慢性心不全、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、慢性肝炎・肝硬変＞ ・行動変容を促す看護技術 <b>【復習】6時間</b> ・受け持ち対象者の疾患および病態生理に関する知識の整理 ・対象者への看護実践の振り返り（指導内容と指導方法を含む） ・実習で明らかとなった自己の課題への取り組み <b>【担当】鈴木・山本・西山・中村</b>
2	<b>実習方法</b> 1) 実習期間 臨地：2023年1月16日（月）～1月31日（火） 学内もしくはオンライン実習：2023年2月1日（水）、2月2日（木） 2) 実習場所 複数の医療施設での実習を予定している。 3) 実習の進め方 (1) 学内オリエンテーション 10月、12月、1月に複数回実施する (2) 学内演習 臨地実習において実施可能な看護援助及び研鑽が必要な看護技術の演習を計画・実施・評価する。 (3) 施設での実習 入院中あるいは外来受診中の慢性病をもつ対象者1人を受け持ち、看護を実践する。 (4) 学内実習 学内カンファレンス・面接等を通して実践を振り返り、現象を探究する過程を経て、看護に対する自身の考えを深める。 担当教員との面談を通し、実習の到達目標の達成状況、課題についてフィードバックを受ける。  ＊状況によっては施設実習ではなく、オンライン・学内実習など実習方法が変更される可能性がある。 その場合は科目担当者から別途連絡をおこなう。

## 先行履修科目

レベルⅡ 看護過程の展開実習

## テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第3版．南江堂，2019  
 鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂版 第3版．南江堂，2019．  
 松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎—生活習慣病を中心に．医歯薬出版，2002．  
 田村恵子他編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第3版．医学書院，2020．  
 小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学 第2版．医学書院，2019．

## 参考文献

Woog,P.(ed.) : The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model. 1992, 黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡. 医学書院, 1995.

宗像恒次：最新 行動科学からみた健康と病気. メチカルフレンド社.1996.

授業で配布された資料

## 評価方法

実習目標の達成度（69%）、課題レポート（15%）、実習態度（16%）

## 教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員の指導の下、慢性病をもつ対象者に対する看護を実践する実習を行う。

## メッセージ

慢性病を持つ人々は年々増加し、一人が複数の慢性病を持つことも一般的になってきました。病気や障害とともに生きる過程を全人的に理解し、長期的な視点を持って個別性に応じた看護を学びます。病気と折り合いをつけつつ、その人らしく生きていくことについて、ご本人や家族とともに考えましょう。対象者の「病みの軌跡」に対する理解を看護実践にも活かしてください。

レベルIII実習になりますので、主体的かつ積極的に学ぶ姿勢を期待します。

COVID-19の感染状況によって、実習の方法について変更が生じる可能性があります。

## 成育看護実習

更新日：2022/03/09 16:53:22

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NAP311		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	3.0	科目コード	622400
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 川崎 幹子, 松中 枝理子, 福田 陽子, 太田 純代, 菊池 さよ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

リプロダクションサイクルにある人々の健康と次代を担う子どもが健やかに育つための看護を提供できる能力を獲得する。

### 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

### 到達目標

1	リプロダクションサイクルにある対象者（周産期・小児期における母子およびその家族）を、成長発達過程をふまえ、連続的に身体的、心理・社会的存在として説明できる。
2	リプロダクションサイクルにおける対象者の健康状態を、身体的、心理・社会的特性をふまえて明確にし、健康の保持増進と発達を促すような看護を展開できる。
3	リプロダクションサイクルにある対象者の人権を尊重し、倫理的態度で関わる重要性を理解し、考察することができる。
4	看護と保健医療・福祉・教育などの関連諸機関との連携について説明できる。
5	自己を内省し、主体的・積極的に実習に取り組むことで、リプロダクションサイクルにある対象者と援助的人間関係を構築するためのアプローチを考察できる。

### 授業計画

1	<b>授業方法</b> <b>【授業方法】</b> 臨地実習もしくは学内実習 <b>【担当】</b> 永松・石山・川崎・松中・福田・太田・菊池
2	<b>I. 実習方法</b> 1. 実習期間 3週間 2. 実習場所 臨地実習もしくは学内実習 3. 実習の進め方 1) 母性看護実習（1週間）： 周産期の母子と家族を対象とした看護過程の展開を行う。 2) 小児看護実習（1週間）： 健康問題または障がいをもって入院する子どもと家族を対象とした看護過程の展開を行う。 3) 成育実習（1週間）： 地域で生活する乳幼児期の子どもの成長・発達の特徴を理解し、 乳幼児期の子どもと援助的人間関係を築くためのコミュニケーション の特徴について説明できることを目標に、保育所もしくは幼稚園で実習を行う。 ＊学習の進捗状況に応じて、実習指導教員が実習記録物や課題レポートに 関するフィードバックを行う。 4. 実習時間 9：00～16：00
3	<b>II. 実習上の留意点</b> 対象の特性から感染防止には特に注意しなければならない。学生自身が感染媒介となることを防止するために体調不良時には必ず医療機関を受診する。
4	<b>III. 学修課題</b> <b>【予習】</b> 取り組み時間：5時間 内容：事前課題に取り組み、課題ノートにまとめる。 母性、小児看護学の講義内容および演習内容を振り返る。 母性、小児領域の主な疾患について病態を振り返る。  <b>【復習】</b> 取り組み時間：40時間 内容：成育看護実習で課されている記録をまとめる

### 先行履修科目

3年前期に開設する全ての必修科目

### テキスト

1. 母性看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料

(1) 森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論（第14版）. 医学書院, 2021.

(2) 横尾京子他：ナースング・グラフィカ母性看護学③ 母性看護技術（第5版）. メディカ出版, 2022.

2. 小児看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料

(1) 小林京子、高橋孝雄：小児看護学概論 小児保健（第6版）. メテカルフレンド社, 2020.

(2) 小林京子、高橋孝雄：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護（第6版）. メテカルフレンド社, 2019.

## 参考文献

堀内成子他：パーフェクト臨床実習ガイド 母性看護（第2版）．照林社，2017．  
石黒彩子 編：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図（第2版）．医学書院，2012．  
山元恵子 編：写真でわかる小児看護技術（第3版）．インターメディカ，2015．  
鈴木康之，舟橋満寿子 編：写真でわかる重症心身障害児(者)のケア．インターメディカ，2017．  
倉田慶子，市原真穂，仁宮真紀 編：ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護計画．へるす出版，2017．

## 評価方法

①母性看護実習評価40％ ②小児看護実習評価40％ ③成育実習評価20％

成育看護実習は母性看護実習、小児看護実習、成育実習にて構成されていることから、本実習の単位取得は総合評価とする。

## 教員等の実務経験

助産師または看護師として、成育看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、成育看護実習の指導を行います。

## メッセージ

成育看護実習は母性看護学、小児看護学、成育実習にて構成されています。本科目の病棟実習はそれぞれ1週間であり、その1週間の中で受け持ち対象者の看護展開を行う必要があります。それまでの実習と比べると戸惑いを覚えるかもしれませんが、実際には、成育看護の対象となる人々の状態変化は著しく、入院期間も短いことが一般的です。したがって、その看護展開には十分な準備と予測的視点を持って臨むことが求められます。とくに母性看護Ⅱと小児看護Ⅱは実習を想定した授業内容になっており、母性看護Ⅱと小児看護Ⅱで学んだ知識を総動員して実習に臨んでほしいと思います。



## 老年看護実習

更新日：2022/02/09 11:47:06

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NAP312		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	622500
担当教員	原田 紀美枝, 梶原 弘平, 千原 明美, 山内 多恵						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

療養が必要となった高齢者を包括的に捉え、尊厳や生命の維持およびQOLの向上を目指す援助を実践できる能力を獲得する。

### 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

### 到達目標

1	高齢者および家族と良好な援助関係を築くことができる。
2	高齢者の身体的・心理的・社会的特性を踏まえ、個性を尊重した看護を展開することができる。
3	高齢者の医療を支える職種の役割・機能および看護師の役割・機能を理解することができる。
4	看護の現象を振り返り、それに基づいたそれぞれの老年観および看護観を言語化できる。
5	自らの課題を認識し、課題解決に向けた目標を持ち、主体的に行動することができる。

### 授業計画

1	<b>授業方法と学修課題</b> <b>【授業方法】実習</b> <b>【予習】8時間：事前課題に取り組む。</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老年医学の講義内容の振り返り</li> <li>・高齢者に起こりやすい健康問題の講義内容の振り返り</li> <li>・高齢者に関連する社会保障制度について</li> <li>・看護過程</li> </ul> <b>【担当】原田・梶原・千原・山内</b>
2	<b>I. 実習方法</b> 1. 実習期間 2週間 2. 実習場所 福岡赤十字病院、今津赤十字病院、嘉麻赤十字病院、福岡聖恵病院、遠賀中間医師会おかがき病院 3. 実習の進め方 1～2名の患者を受け持ち、看護過程の展開を行う。 <b>【スケジュール】</b> 1日目(学内)：オリエンテーション/受け持ち患者概要説明、実習の個人目標の確認 2日目(臨地)：病棟オリエンテーション、受け持ち患者を決定し情報収集 3日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 4日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 5日目(学内)：看護計画立案 6日目(臨地)：看護計画発表 7日目(臨地)：看護計画実施・実習個人目標中間評価 8日目(臨地)：看護計画実施・評価発表 9日目(臨地)：病院実習のまとめ 10日目(学内)：全体でのまとめ ※看護過程の展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜教員からフィードバックを受けながら進める。また実習中間時期に、実習個人目標の中間評価を行い、教員のフィードバックを受け自己課題を明確にする。
3	<b>II. 実習上の留意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習スケジュールは、施設や祭日の状況に応じ調整をしながら進行するため、教員の指示を確認する。</li> <li>・臨地実習においては、自分の健康管理を行うこと。特に新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関しては、別途示す対策を遵守する。対策の順守ができていない場合は、臨地実習を中止せざるを得ないことがあることを十分に理解しておく。</li> <li>・受け持ち対象者へのケアの実施に関しては、患者の安全を確保するため、単独では実施しない。</li> </ul>

### 先行履修科目

3年前期に開設するすべての必修科目

### テキスト

堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害。メディカ出版，2021。

堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者の看護実践。メディカ出版，2021。

鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護 病態・疾患編。医学書院，2018。

### 参考文献

山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2018．  
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017．  
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画．メディカルビュー社，2008．  
奥宮暁子他：生活機能のアクセスメントに基づく老年看護過程．医歯薬出版株式会社，2015．  
大塚真理子：カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2018．  
上鶴重美他：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版．医学書院，2021．  
マージョリー・ゴードン，看護アクセスメント研究会訳：看護診断マニュアル 原書第11版-機能的健康パターンに基づく看護診断-．医学書院，2010．  
その他、実習中に適宜提示する。

## 評価方法

---

看護過程ルーブリック評価（DP問題解決力）52％  
実習目標達成度（DP人間の尊厳を擁護する力・自己教育力・チームで働く力・看護の専門性を探究する力）48％

## 教員等の実務経験

---

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして臨地での実習指導を行います。

## メッセージ

---

受け持ち対象事例は、疾患や障害を持ちながら生活をされています。対象者が、健やかにその人らしい老年期を過ごすために、どのような援助が必要なのかを考えてほしいと思います。

# クリティカルケア実習

更新日：2022/02/10 10:14:21

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP313		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	622600
担当教員	櫻本 秀明, 福島 綾子, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

救急およびクリティカル状況下で集中治療・看護を受ける患者および家族の危機状態に対する看護を提供できる能力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	救急およびクリティカルな状況下にある患者や家族への看護に必要な態度を身につけることができる。
2	患者やその家族の身体・心理・社会的危機状況についてアセスメントすることができる。
3	患者の生命を守るために行われている治療・検査を理解し、必要な看護を実施できる。
4	救急およびクリティカルな状況下での看護における看護師の役割と専門性について述べるることができる。

## 授業計画

1	<b>授業方法と学修課題</b> 1. 授業方法；実習  2. 事前課題：10～15時間（予習の目安は個々でことなるため、あくまで目安である） 1) 夏季課題を提示（8月上旬、実習オリエンテーション時を予定） 2) クリティカルケアⅠ、クリティカルケアⅡの内容についての復習 3) フィジカルアセスメントの技術についての復習（オフィスアワーを活用する） 4) 実習要項をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 また、実習の心構えをよく読み、目的・目標を達成するための自己の課題を明らかにしておく。  3. 実習概要 1) 実習時間 2週間（90時間） 2) 実習施設 福岡赤十字病院、熊本赤十字病院、飯塚病院、小倉記念病院のICU、CCU、HCU、SCU、救急病棟 救命救急センターや救急外来 3) 実習スケジュール 1週目 月：【学内】実習オリエンテーション／学内演習 火～金：【病院】臨地実習（木の午後：記録の整理） 2週目 月～木：【病院】臨地実習（水の午後：記録の整理） 金：【学内】学びの共有／記録の整理／面接 など ※実習のスケジュールは、新型コロナウイルス感染症等の状況により、計画変更する可能性がある。 4) 実習方法 ・各実習施設の救急・集中ケアのユニットにおいて実習を行う。 ・学生は複数名のチームでクリティカルな状況にある患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を実践する。 ・救命救急センターや救急外来では見学実習を行う。
---	---

## 先行履修科目

3年前期に開講する全ての必修科目

## テキスト

佐藤まゆみ、林直子：成人看護学急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア（改訂第3版）. 南江堂、2019.

## 参考文献

- 1) 道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学. 医学書院、2020.
- 2) 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学. 医学書院、2018.
- 3) 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用. 日本看護協会出版会、2007

その他、実習中に適宜提示する

※学生自信で実習に関連する書籍・文献等も収集し活用する。

※実習用図書として準備したものを活用できる。

## 評価方法

実習評価表（ルーブリック）に基づき評価する。

実習目標の達成度 実習態度（25%：ピア評価を含む）、看護の実践、記録物 75%

なお、遅刻・早退は1点、欠席は2点の減点となる

## 教員等の実務経験

クリティカルケア領域（ICU、CCUなどの集中治療ケアのユニット、救急病棟）に従事する高い専門性をもつ臨地実習指導者と、クリティカルケア看護の臨床経験のある教員が協力し、その経験を活かしてクリティカルケア領域の看護について実習指導を行います。

## メッセージ

クリティカルケア実習では、クリティカルな状況下で集中治療・看護を受ける患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を展開します。クリティカルケアⅠ／Ⅱおよびその他、既習の知識や理論を用いて患者を全人的に捉え、顕在および潜在する問題に対して予測的な視点と科学的根拠に基づいた看護を実践し、評価していきます。

また、クリティカルケア実習では「受け持ち看護師」としての責任を持った行動を求めます。患者に対して必要となる看護は何かを臨地実習指導者や日々の担当看護師、実習担当教員を含めた看護チームで常に意見交換を行いながら、最善の看護を検討し実践してください。そのため、学生は複数名で1名の患者を受け持ち、常に学生同士のチーム間で意見交換をしつつ、看護チームの一員という自覚を持って実習に取り組むことを期待します。また、自己教育力を育成・向上するために、自己分析を繰り返し常に自己の課題を明確にしながら、目標達成のために継続的に取り組む事を期待します。

## 在宅看護実習

更新日：2022/03/18 09:00:04

開講年度	2022	学期	後期	シバコード	NAP314		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	622700
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、訪問看護で提供する看護援助の方法を学ぶ。また、在宅ケアシステムにおける専門職種間の連携・協働を理解するとともに、その中で果たす看護職の役割を考える。

### 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

### 到達目標

1	在宅療養者とその家族が安全で安心に暮らすことができ、QOL向上をはかるための看護を展開することができる。
2	在宅療養を支える保健・医療・福祉の社会資源について理解を深め、多職種間の連携・協働の必要性を説明できる。
3	在宅ケアにおける訪問看護ステーションの機能と訪問看護師の役割を説明できる。
4	在宅療養者とその家族の看護に必要な態度を身につけることができる。

### 授業計画

1	<b>授業方法と学修課題</b> <b>【授業方法】</b> 実習 <b>【事前課題】</b> 予習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季課題提示（取り組み時間は24時間が目安） <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅医療・看護・福祉に関する知識の確認</li> <li>2. 訪問看護制度（医療保険、介護保険等）に関する知識の確認</li> <li>3. 教科書②事例の病態・治療・看護、社会資源等の確認</li> <li>4. 在宅看護過程</li> </ol> </li> <li>・事前課題は実習に活用されるものであり、実習中の自己学習も追加していくこと</li> <li>・自己の実習目標について「在宅看護実習で学びたいこと」をA4用紙1枚にまとめる（取組時間：60分）</li> <li>・在宅看護実習の実習要項を熟読し、実習目的、目標を理解する（取組時間：30分）</li> </ul>
2	<b>実習方法</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習期間：2022年10月11日（火）～12月23日（金） 2週間</li> <li>2. 実習場所：福岡県内の訪問看護ステーション、学内</li> <li>3. 実習の進め方：臨地実習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受け持ち療養者1名を担当し、看護過程を展開する</li> <li>・受け持ち療養者以外の同行訪問では、多様な対象者の生活と看護ケアを学ぶ</li> <li>・多職種連携と協働について学びを深める</li> <li>・臨地実習でのカンファレンスは、週1回（中間・終了）の計2回行う <ul style="list-style-type: none"> <li>＊日時は実習指導者と担当教員と調整する</li> <li>＊カンファレンスは、学生が主体で行い、事前準備や司会進行を行う</li> </ul> </li> <li>・学内実習では、小テストと目標に沿ったグループディスカッションを実施する</li> </ul> </li> <li>4. 実習担当教員：西村、鎌田</li> </ol>
3	<b>実習上の注意事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前課題の提出は、実習の前提条件となるので留意する。</li> <li>・報告・連絡・相談は適切なタイミングで、メールや指定された方法で行う。</li> </ul>

### 先行履修科目

3年前期に開設する全ての必修科目

### テキスト

在宅看護Ⅰ・Ⅱで使ったテキストおよび資料

### 参考文献

実習に関連する文献は学生各自で収集し、活用する

### 評価方法

ルーブリック評価（90％）、小テスト（10％）

### 教員等の実務経験

訪問看護ステーションや外来で看護師として臨床経験のある教員が、在宅看護での経験を活かして実習指導を担当します。

## メッセージ

これまでの学びを臨地で確認するとともに、臨地でなければ学べない在宅場面での看護活動を学修していきましょう。在宅療養者と家族の暮らしや価値観を尊重した個性や、「その人らしさ」を支える看護について考えていきましょう。

## 精神保健看護実習

更新日：2022/02/09 17:47:05

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NAP315		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	622800
担当教員	高瀬 理恵子, 石飛 マリコ, 高橋 清美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

精神疾患をもつ人々とその家族に対する精神看護の展開方法ならびに基礎的能力を獲得する。

### 本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

### 到達目標

1	精神に障害をもつ人の尊厳を重視した倫理的行動の重要性を説明することができる。
2	患者一看護者関係の発展過程や治療的関わりを通してよりよい援助的人間関係を築くことができる。
3	自己を分析的に捉え、自主的かつ自律的に実習に取り組むことができる。
4	多職種連携における看護の役割を認識し、チーム内での自己の役割を実践できる。
5	精神疾患をもつ対象者および家族の抱える問題をアセスメントし、主体性を尊重した看護を展開できる。
6	精神疾患をもつ人とその家族に対する看護の役割と専門性について述べるができる。

### 授業計画

1	<b>授業方法と学修課題</b> 【授業方法】実習 【事前課題】夏季課題提示（8月上旬に配布） 1. 精神保健福祉に関する知識の確認 2. 主な精神疾患の病態・治療・検査・看護の確認 3. プロセスレコードの記載方法の確認 ＊取り組み時間は24時間が目安 ＊事前課題は実習に活用されるものであり、実習中の自己学習も追加していくこと。実習中の自己学習が追加されたものを最終提出すること。実習中に追加された自己学習分は、参加度で評価する。 【復習】毎日の実習のまとめと、翌日の実習の準備を十分に行うこと。 ＊復習取組時間は特に指定しない 【担当】高瀬・石飛・高橋
2	<b>I. 実習方法</b> 1) 実習期間 2022年9月26日～2021年12月23日 2) 実習場所 ・精神科病院 2週間。最終日は個別にフィードバック面接を行う。 3) 実習の進め方 ・受け持ち患者1名を担当し、看護過程を展開する。 ・事例カンファレンスを実施し、対象理解を深める。またプロセスレコードを記入、検討し、自己洞察を深める。 ・実習で体験した内容をふまえて、精神障害をもつ人の権利擁護と倫理的配慮についてレポートを記述し考察する。

### 先行履修科目

3年前期に開設するすべての必修科目。

### テキスト

講義で使用したテキストおよび配布資料。

### 参考文献

適宜、提示します。

### 評価方法

実習到達度および実習態度 72点

事前課題A 12点

参加度 10点

レポート 6点（形式分のみ。内容は実習到達度で評価する）

### 教員等の実務経験

精神科病棟で臨床経験のある教員が実習指導を担当する。

### メッセージ

精神保健看護実習では、看護における倫理観や倫理的行動について十分に学修を深めてほしい。





## 災害と看護

更新日：2022/03/01 13:16:58

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NIN406		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	630100
担当教員	小川 里美						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

災害サイクルの特徴を概観し、各サイクルにおける健康課題や看護ニーズ、看護職者の役割について理解するとともに、災害看護に必要な基礎的能力を習得する。

### 本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

### 到達目標

1	災害および災害医療・災害看護に関する基礎的知識について理解できる。
2	災害サイクルに応じた被災者の特性と看護について理解できる。
3	トリアージの基本的知識および方法について理解できる。
4	災害時における看護職者の役割について理解できる。

### 授業計画

1	災害とは、災害の種類と特徴、災害と法律について 【授業方法】講義 【予習】30分：最近、日本および世界で起こった災害を調べる。 【担当】小川
2	災害と健康、災害サイクルと災害医療、災害時要援護者、要配慮者について 【授業方法】講義 【復習】60分：災害サイクルの特徴と健康課題について復習する。 【担当】小川
3	災害急性期の看護—赤十字医療施設・救護班の活動 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp101～119、p.201～220を精読する。 【担当】小川
4	災害急性期の看護—DMATについて① 【授業方法】講義 【予習】30分：DMATについて各自で調べる。 【担当】ゲストスピーカー
5	災害急性期の看護—DMATの活動の実際 【授業方法】講義 【予習】30分：DMATについて各自で調べる。 【担当】ゲストスピーカー
6	災害慢性期の看護—仮設住宅・復興住宅における健康問題と看護 【授業方法】講義 【復習】60分：テキストp. 121～131を精読する。 【担当】小川
7	災害静穏期・準備期の看護① 【授業方法】講義 【復習】60分：テキストp.133～142を精読し、課題に取り組む。 【担当】小川
8	災害時のこころのケア 【授業方法】講義 【復習】30分：テキストp.171～188を精読する。 【担当】小川
9	災害静穏期・準備期の看護② 【授業方法】講義 【復習】60分：提出された課題に取り組む 【担当】小川
10	災害静穏期・準備期の看護③ 【授業方法】講義 【復習】60分：提出された課題に取り組む 【担当】小川

11	<b>災害支援ナース、受援について</b> 【授業方法】講義 【復習】30分：各自で災害支援ナースの活動、受援について調べる。 【担当】小川
12	<b>災害看護演習（トリアージ）①</b> 【授業方法】演習（GW） 【復習】30分：これまでの講義内容およびstart法について復習しておく。 【担当】小川
13	<b>災害看護演習（災害対応マニュアルについて考える）②</b> 【授業方法】演習（GW） 【復習】30分：これまでの講義内容を復習しておく。 【担当】小川
14	<b>災害看護演習（災害対応マニュアルについて考える）③</b> 【授業方法】演習（GW） 【復習】30分：これまでの講義内容を復習しておく。 【担当】小川
15	<b>災害と看護のまとめ フィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの講義・演習での学びを振り返り、理解を深めておく。 【担当】小川

### 先行履修科目

なし

### テキスト

竹下喜久子 他：系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 [3] 災害看護学・国際看護学 第4版. 医学書院, 2021.  
その他、必要に応じて資料を配付する。

### 参考文献

小原真理子：いのちとこころを救う災害看護．学研, 2008.  
小原真理子：演習で学ぶ災害看護．南山堂, 2010.  
小原真理子 他：災害看護 心得ておきたい基本的な知識 改訂3版．南山堂, 2019.  
その他、必要に応じて紹介する。

### 評価方法

授業への参加度10% 課題への取り組み40% レポート50%で総合的に評価する。

### 教員等の実務経験

災害救護活動の経験のある教員が、その経験を活かして、災害看護について講義・演習を行います。

### メッセージ

講義の他、演習を通じて災害看護について考えていきます。積極的な取り組みを期待します。

## 国際保健・看護Ⅰ

更新日：2022/03/01 13:42:55

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NIN202		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	630200
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

日本を含む世界各国における保健衛生の現状や課題、関連する要因について基礎的な理解を深め、人々の健康増進に関与する国際保健・看護の特性について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

## 到達目標

1	グローバル社会における健康課題とその要因について説明できる。
2	人々の生命・健康・生活の課題とそれらに取り組む国際的な支援の枠組みや活動について説明できる。
3	グローバル社会における保健医療と看護の役割について説明できる。

## 授業計画

1	<b>国際看護概論</b> 【授業内容】 授業の進め方、国際看護コースについて 【授業方法】 講義 【予習】 30分：国際看護とは何かを調べる。 【担当】 小川
2	<b>国際保健概論</b> 【授業内容】 国際保健・グローバルヘルスとは、グローバルヘルスに関連する主要概念 【授業方法】 講義 【予習】 30分：世界で話題になった健康問題について調べる 【担当】 宇都宮
3	<b>グローバルヘルスの課題（1）</b> 【授業内容】 健康の決定要因、グローバルヘルスの課題、ヘルスシステムなど 【授業方法】 講義 【復習】 30分：講義内の興味のあるテーマについて調べる 【担当】 宇都宮
4	<b>グローバルヘルスの課題（2）</b> 【授業内容】 保健指標の種類と読み方、活用など 【授業方法】 講義 【復習】 30分：関心のある国の健康課題について調べる 【担当】 宇都宮
5	<b>在日外国人の保健医療/異文化理解とケア</b> 【授業内容】 在留・訪日外国人に対する保健医療のしくみなど 【授業方法】 講義 【予習】 15分：日本人出国者と外国人入国者の推移について調べる 【復習】 15分：在留・訪日外国人への県内の取り組みや課題について調べる 【担当】 宇都宮
6	<b>国際看護概論の概念と理論</b> 【授業内容】 国際看護の概念、原理、活動など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：看護の定義、対象、健康の定義など復習しておく 【担当】 小川
7	<b>紛争と看護</b> 【授業内容】 戦傷外科、国際人道法、赤十字国際委員会の活動など、 【授業方法】 講義 【予習】 30分：紛争中の国や地域を調べる 【担当】 小川
8	<b>難民と看護</b> 【授業内容】 難民・国内避難民、スフィアプロジェクトなど 【授業方法】 講義 【復習】 60分：難民の生活、健康などについて調べる 【担当】 小川

9	<b>開発と看護/看護の将来的展望</b> 【授業内容】国際看護の課題（労働力移動、看護の人材育成など）開発の概念、開発協力と赤十字など 【授業方法】講義 【予習】30分：国際看護師協会（ICN）/開発協力（外務省、NGO等）について調べる 【担当】小川
10	<b>ケーススタディ 事例提示</b> 【授業方法】講義/演習 【復習】30分：事例を読みこみ、必要な情報を収集する。 【担当】小川、宇都宮
11	<b>グループワーク①</b> 【授業方法】演習（討議、GW） 【復習】30分：グループワークで抽出された問題に対して自分の考えをまとめる。 【担当】小川、宇都宮
12	<b>グループワーク②</b> 【授業方法】演習（討議、GW） 【復習】30分：資料内容の検討と提出資料の作成 【担当】小川、宇都宮
13	<b>グループワーク③</b> 【授業方法】演習（発表） 【予習】30分：発表資料を準備する。 【担当】小川、宇都宮
14	<b>グループワーク④</b> 【授業方法】演習（発表） 【予習】30分：発表資料の作成 【担当】小川、宇都宮
15	<b>フィードバック</b> 【授業方法】講義 【復習】30分：国際看護についての考えをまとめる。 【担当】小川、宇都宮

## 先行履修科目

なし

## テキスト

一戸 真子編集：看護学テキスト 統合と実践 国際看護。学研メディカル秀潤社、2016。

## 参考文献

国際保健医療学会編：国際保健医療学第3版。杏林書院、2013。  
人間の安全保障委員会：安全保障の今日的課題 - 人間の安全保障委員会報告書。朝日新聞社、2003。  
中村安秀、河森正人編：グローバル人間学の世界。大阪大学出版会、2011。  
Basch,P. : Text of International Health. 1999, 梅内拓生（監修）その他：バッシュ国際保健学講座、2001。  
Leininger M. : Transcultural Nursing. Masson international nursing publications, 1979。  
G.ホフステード：多文化世界。有斐閣、1995。  
Skolnik R : Essentials of Global Health. Jones & Bartlett Pub, 2008。

## 評価方法

授業への参加度（30%）

授業中に課された課題への取り組み（40%）

課題提出物（30%）

## 教員等の実務経験

国際赤十字やJICAでの救援や開発協力の経験のある教員が、その経験を活かして、講義・演習を担当します。

## メッセージ

本科目では、前半はグローバル化の進展に伴う多様化・複雑化する世界の健康問題の現状、わが国における在日外国人の保健医療の課題、保健医療の国際協力等、国際看護に必要な基礎知識を学びます。後半は、具体的な状況判断が必要な事例の検討を通して、グローバルヘルスの課題と国際看護を実践的に深く学びます。国際看護や国際協力について考え、他者に伝えられる機会を提供します。

## 国際保健・看護Ⅱ

更新日：2022/01/26 13:55:11

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NIN301		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	630300
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

グローバル化の進展に伴い、多様化・複雑化する世界の健康問題について、海外研修を通して学習し、保健医療分野、特に看護の役割・課題について考察する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因について調べ、まとめることができる。
2	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因を訪問国の看護学生らと討議し、課題解決に向けた取り組みを考え、実施できる。
3	日本および国際交流協定校のある国の保健医療・看護の実情と課題や課題解決への取り組みについて、自己の考えをまとめ発表できる。

## 授業計画

1	<p>国際交流協定校のある国に関する事前学習、先方の学生との討議の準備を行い、資料をまとめる。</p> <p>【授業内容】 第1回~第9回：準備活動（対面もしくはオンライン） GW、発表、討議 コースガイダンスおよび活動内容を決める。 事前学習を行い、その内容をまとめ、発表する。 【学修課題：復習60分】 訪問国の概要（政治・経済、医療システム、健康指標等）を調べ、まとめる。</p> <p>第10回~第40回：国際交流協定校の学生との討議（オンライン） グループワーク・プレゼンテーション 学習目的、討議内容を英語で伝える。日本の文化や看護について説明する（英語）。事前学習・準備を活かし、国際交流協定校の看護学生らと健康課題への取り組みについて討議する。 【学修課題：復習60分】 日々の研修内容をふりかえり、各自で学修成果をまとめる。</p> <p>第41回~第45回：研修レポートおよび報告書の作成、フィードバック（対面もしくはオンライン） 国際交流協定校との一連の活動で、学習、経験したことをまとめる。研修全般を通して、自己の体験・考えをまとめる。報告書を期日までに編集する。</p>
---	--

## 先行履修科目

2年前期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

## 参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には目を通す。訪問国や研修内容に基づいて、必要な文献を読む。

## 評価方法

事前学習（30%）  
研修中の活動への参加度（30%）  
レポート（40%）

## 教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員が、研修を担当します。

## メッセージ

本科目は国際看護コース履修者を対象にしています。  
研修に必要な英語力を修得するよう、例えば、英語IIIの履修やTOEIC700点など目標を掲げ、意図的に英語の学習をすることが必要です。

研修国を知るためにも、保健医療・看護に限らず、様々な文献を調べるとともに、英語の文献も積極的に読むようにして下さい。

## 国際保健・看護Ⅲ

更新日：2022/01/26 14:31:38

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NIN401		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	630400
担当教員	小川 里美, 宇都宮 真由子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

自ら企画した研修を通して国内外の健康問題を多角的に探究し、保健医療、看護の役割・課題について考察する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	知的興味や関心に基づき、研修で取り組むテーマを明確にできる。
2	研修目標を設定し、その達成に向けた具体的な計画を立案できる。
3	研修を遂行するために、関係機関との交渉ができる。
4	研修計画に基づいた実践ができる。
5	研修成果をまとめ・発表し、レポートとして記述できる。
6	自己の研修目標を適切に評価できる。

## 授業計画

1	<p>学生自身が選択したテーマに基づき研修計画を立案し、主体的に研修を行う。 【研修方法】(訪問もしくはオンライン)</p> <p>1. 研修期間：現地での研修は、原則として5日間以上10日間以内で行う。</p> <p>2. 研修場所：国際交流協定校を含む国内外の施設</p> <p>3. 研修の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら選択したテーマに基づき実施可能な研修計画を立案する。 (日本語・英語)</li> <li>・研修テーマに関連する事前学習を行い、発表資料を作成する。 (英語)</li> </ul> <p>・先方と調整しながら現地での研修を行う。 研修終了後、学修成果をレポートにまとめ、研修目標の達成度を評価する。</p> <p>・教員よりフィードバックを行う。</p> <p>【学修課題】</p> <p>事前学習として研修テーマに関連する文献や統計資料等を読み込み、日本と訪問国・地域の状況についてまとめる。(予習180分)</p> <p>現地研修では、最終日に学修成果を発表することになるので、日々学修したことをまとめ、発表資料の作成につなげる。(復習180分)</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

特に指定しない

## 参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には、目を通す。研修内容に必要な文献を検索し読む。

## 評価方法

研修計画書 (30%)

研修への取り組み姿勢 (20%)

研修目標の達成度 (30%)：学生各自が自己の研修目標に沿って評価表を作成し評価する

課題レポート (20%)

## 教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員が担当します。

## メッセージ

---

本科目は国際看護コース履修者の選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ」の単位修得していることが望ましいです。

研修には相当な準備と事前学習が必要です。興味・関心のある国内外の健康・保健医療・看護の課題を見出し、自分で研修を企画・立案し、実践することで、将来のキャリアを考えるきっかけにしてほしいと考えています。



# 看護とリスクマネジメント

更新日：2022/01/19 11:59:45

開講年度	2022	学期	前期	シバコード*	NIN201		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	630500
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

医療現場におけるリスクの特性やヒューマンエラーに関する基礎知識を学習し、看護業務におけるリスクの予見と対応方法を理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】 集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

## 到達目標

1	医療安全についての概要を知り医療安全を学ぶ意味を説明できる。
2	医療現場で起こりやすい医療事故について危険を予知し、対策を立案できる。
3	医療事故発生のメカニズムと事故後の対応について説明できる。
4	医療事故防止のためのコミュニケーションスキルについて説明できる。
5	実習中に看護学生に求められるリスクマネジメントについて考察できる。

## 授業計画

1	<b>医療安全とリスクマネジメントの概念</b> 1) 医療安全と看護の理念 2) 医療安全への取り組みと医療の質の評価 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキスト第1章第2章を読み、インシデント・アクシデントの定義を調べておく。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡
2	<b>起こりやすい医療事故と対策1【日常生活援助編】危険予知訓練(KYT)</b> 【授業方法】 講義、演習（グループワーク） 【予習】 60分：日常生活援助実習におけるヒヤリ・ハット事例を振り返る。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡
3	<b>起こりやすい医療事故と対策2【診療補助編】危険予知訓練(KYT)</b> 【授業方法】 講義、演習（グループワーク） 【予習】 60分：テキスト第5章を読んでくる。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡
4	<b>医療事故の発生のメカニズムとリスクマネジメント</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキスト第3章を読んでくる。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡
5	<b>医療事故後の対応/医療従事者の安全を脅かすリスクと対策</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキスト第7章を読んでくる。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡
6	<b>医療安全とコミュニケーション（Team STEPPS）</b> 【授業方法】 講義、演習（グループワーク） 【予習】 60分：事前に配布する資料を読んでくる。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡
7	<b>医療事故に対する看護師の法的責任と倫理的課題</b> 【授業方法】 講義 【予習】 60分：テキスト第1章を読んでくる。 【復習】 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】 倉岡

8	<p><b>看護学生の実習と医療安全/定期試験へのフィードバック</b></p> <p>【授業方法】講義</p> <p>【予習】60分：テキスト第8章を読んでくる。</p> <p>【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。</p> <p>【担当】倉岡</p> <p>定期試験後に、ポータルにてフィードバックします。</p>
---	--

### 先行履修科目

なし

### テキスト

松下由美子他編集：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全第4版。メディカ出版，2021.

### 参考文献

河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー．医学書院，2014．  
 相馬孝博：ねころんで読めるWHO患者安全カリキュラムガイド．メディカ出版，2013．  
 兵藤好美，細川京子：医療安全に活かすKYT，メテカルフレンド社，2012．

### 評価方法

グループワークなど授業への参加度（20％）、定期試験（80％）により総合的に評価する。

### 教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、安全に看護を提供するための基礎的知識について講義します。

### メッセージ

人間はエラーを誘発しやすい特性を持っています。看護師は24時間・365日ベッドサイドで看護を行ない、患者の最も近くにいる存在です。患者も私たち看護師も安全で安心な環境で過ごすことができるように、医療安全の知識を深めていきましょう。

## 看護政策

更新日：2022/03/02 18:08:17

開講年度	2022	学期	後期	シバコード*	NIN407		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	630600
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護行政・政策の概要を理解し、国民によりよい看護サービスを提供するための仕組みについて理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	政策に関する基本概念をふまえたうえで、医療や看護に関する政策はどのように決定されるのか、例を挙げて説明できる。
2	現在の日本における保健医療福祉行政の課題を批判的に吟味し、解決のための方法（これからの自分の行動を含む）を具体的に提案することができる。
3	政策決定において看護職として意見を反映させる方法を述べることができる。

## 授業計画

1	看護における政策過程：よりよい看護の提供と看護制度・政策の関係 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
2	保健師助産師看護師法 【授業方法】講義 【予習】60分：第4章、コラムp68を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】ゲストスピーカー（田村やよひ）、倉岡
3	診療報酬改定への看護職の関与 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章第4章、コラムp110～111を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
4	日本看護協会、日本看護連盟と看護政策 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章第4章、コラムp46、48、65、75を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
5	政策提言コンペティションの準備①（個人での文献検討とグループ形成） 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】60分：教員が提示したテーマから1つ選び、関連する文献を調べる。 【担当】倉岡
6	政策提言コンペティションの準備②（グループでの検討） 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：グループで検討した政策を洗練させる。 【担当】倉岡
7	政策提言コンペティションの準備③（グループで発表資料作成） 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：発表資料の作成 【担当】倉岡
8	政策提言コンペティション/レポートへのフィードバック 【授業方法】講義（プレゼンテーション・討議） 【予習】60分：発表資料の作成 【担当】倉岡 レポート提出後にフィードバックします。

## 先行履修科目

なし

## テキスト

見藤隆子他著：看護職者のための政策過程入門第2版。日本看護協会出版会，2017。

## 参考文献

日本看護協会出版会編：日本看護協会の政策提言活動．日本看護協会出版会，2010．  
田村やよび著：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法第2版．日本看護協会出版会，2015．

## 評価方法

授業への参加度（20%）、プレゼンテーションの内容（20%）、レポート（60%）で評価する。

## 教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、政策決定において看護職として意見を反映させるための基礎的知識について講義します。

## メッセージ

学生の皆さんにとって政策は、なじみがうすく、看護とのつながりも分かりにくいかもしれません。しかし、看護師がベッドサイドで提供する看護に、政策は大きく影響しています。対象者によりよい看護を提供したいと考えたときに、今ある制度や政策を変えること（政策的アプローチ）で実現できる可能性も大きくあります。皆さんが、将来、政策的アプローチで看護を変えていけるよう、本科目では看護政策の基礎的知識を学びます。さらに、本科目は社会と看護とのつながりを考えるよい機会にもなります。

本科目の演習では、以下の4つのテーマの中から各自が1つを選択し、政策提言します。

- I．私が、厚生労働省看護技官なら、新たにこんな制度を作りたい
- II．今後の診療報酬・介護報酬改定で、新たに加えるべき看護サービス(看護行為)はこれだ
- III．保健師助産師看護師法または看護師等の人材確保の促進に関する法律のここを改正したい
- IV．私が日本看護協会労働政策部の職員なら、看護師の働き方のここを変えたい

## 看護教育

更新日：2022/01/31 13:18:25

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NIN408		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	630700
担当教員	阿部 オリエ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護学教育の歴史の変遷を踏まえ、その目的、達成に向けた看護教育制度および教育課程について基礎的な理解を深め、看護学教育の今日的課題について考察する。

## 本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

## 到達目標

1	看護学教育を学ぶ意義について理解できる
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題について説明できる
3	看護教育制度の歴史の変遷を理解し、社会情勢との関連において説明できる
4	看護教育の仕組みと課題を理解し、看護学を大学で学ぶ意味について説明できる
5	看護学教育を具体化するためのカリキュラムの概要について説明できる
6	看護学教育の今日的課題について考察し、今後の展望について自己の考えを述べることができる

## 授業計画

1	看護教育学を学ぶ意義について理解する/看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（1） 【授業方法】講義 【予習】60分：看護職は専門職といえるのか、文献などを活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（2） 【授業方法】講義 【予習】60分：制度も含め、新人看護職員に対する支援がどのように行われているか調べる 【担当】阿部
3	看護教育制度の歴史の変遷（1） 【授業方法】講義 【予習】60分：看護六法を参照し、看護制度の変遷について概要をまとめる 【担当】阿部
4	看護教育に関するTOPICS 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：看護大学が増えた理由について、統計などの資料を活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
5	看護教育の仕組みと課題（1） 【授業方法】講義 【予習】60分：最も興味のある国の看護教育制度について調べ、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
6	看護教育の仕組みと課題（2） 【授業方法】講義、ディスカッション 【予習】60分：看護基礎教育における課題について、自己の考えをまとめる（課題レポートにつなげる） 【担当】阿部
7	看護学教育を具体化するためのカリキュラムについて 【授業方法】講義、グループワーク 【予習】60分：カリキュラムとは何かについて調べる 【復習】60分：本学カリキュラムの良い点と改善点について、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
8	看護学教育の今日的課題と今後の展望について考える・課題のフィードバック 【授業方法】講義、グループワーク 【予習】90分：課題レポートのテーマについて考え、必要な文献・資料を収集する 【復習】180分：課題レポートの作成を行う 【担当】阿部

## 先行履修科目

なし

## テキスト

看護行政研究会編：看護六法 令和3年版．新日本法規，2021．

## 参考文献

---

開講時、文献リストを配布する

## 評価方法

---

授業への参加度・予習（40％）、課題レポート（60％）により総合的に評価する

## 教員等の実務経験

---

看護師の臨床経験があり、看護教育学を探究している教員が、その経験を活かして、看護の統合科目である『看護教育』について講義を行います

## メッセージ

---

看護と教育がどのように関係し合っているか、皆さんは考えたことがありますか？看護教育とは、いつ、どこで、誰が、何の目的で始めたのでしょうか？看護教育が始まる前に、看護は存在していなかったのでしょうか？この授業では、皆さんがこれまで学習してきたこと、これから学習していくことをふまえ、看護教育の歴史の変遷、現在、将来的な展望について考察を深める授業となります。よって、選択科目ではありますが、看護学生として、皆、受講してもらう必要がある科目と考えています。看護は学習することで成立します。学習とは、専門職である以上、生涯かけて行う営みです。現在だけでなく、今後、看護職としてどのように学習していけばよいのかを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。きっと、社会に出た時に役に立ったり、拠り所になると思います

## 緩和ケア

更新日：2022/03/04 11:16:10

開講年度	2022	学期	前期	シバスコド*	NIN302		
学年	2	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	630800
担当教員	鈴鹿 綾子, 西山 陽子						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

苦痛を有する患者および家族の特徴を理解し、患者や家族にとってできる限り望ましいQOLを実現するために必要な理論、ケア技術について学ぶ。また、緩和ケアチームにおける看護職者の役割を理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

## 到達目標

1	緩和ケアの特徴と意義を理解できる。
2	生命を脅かす病苦を持つ人およびその家族の特徴を理解できる。
3	全人的ケアについて理解できる。
4	緩和ケアにおけるチームアプローチと看護の役割について理解できる。
5	緩和ケアにおける倫理的課題について理解できる。

## 授業計画

1	<b>緩和ケアの特徴と意義、療養の場</b> 【授業方法】講義(ICT支援)※ICTを用いた小テストを実施する。 【予習】30分：テキスト第1章を精読。 【復習】30分：授業内容をまとめる。 【担当】鈴鹿
2	<b>全人的ケアの実践（1）身体的ケア・心理的ケア・コミュニケーション</b> 【授業方法】講義(ICT支援) ※ICTを用いた小テストを実施する。 【予習】20分：テキスト第3章、第5章A、Bを精読。 【復習】20分：授業内容をまとめる。小テストの復習。 【担当】西山
3	<b>全人的ケアの実践（2）社会的ケア・スピリチュアルケア</b> 【授業方法】講義(ICT支援) ※ICTを用いた小テストを実施する。 【予習】20分：テキスト第5章C、Dを精読。 【復習】30分：授業内容をまとめる。小テストの復習。 【担当】西山
4	<b>全人的ケアの実践（3）家族へのケア、緩和ケアにおけるチームアプローチ</b> 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】30分：テキスト第2章、第8章を精読。 【復習】30分：授業内容をまとめる。 【担当】鈴鹿
5	<b>全人的ケアの実践（4）臨床における緩和ケアの実践</b> 【授業方法】講義（ICT支援、GW） 【予習】20分：第4回までのテキスト、配布資料、自己学習を見直す。 【復習】20分：授業内容をまとめる。 【担当】ゲストスピーカー、西山
6	<b>緩和ケアの広がり—様々な疾患—</b> 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】30分：テキスト第6章を精読。 【復習】30分：授業内容をまとめる 【担当】鈴鹿
7	<b>緩和ケアの広がり・倫理的課題</b> 【授業方法】講義(ICT支援)※ICTを用いた小テストを実施する。 【予習】30分：テキスト第6章を精読。 【復習】30分：授業内容をまとめる。 【担当】鈴鹿
8	<b>臨死期のケア・小テストへのフィードバック</b> 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】30分：テキスト第7章を精読。 【復習】30分：科目全体の総復習。 【担当】鈴鹿、西山

## 先行履修科目

なし

## テキスト

田村恵子他編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第3版. 医学書院, 2020.

## 参考文献

梅田恵編他：緩和ケア 尊厳ある生と死, 大切な生活をつなぐ技と心 改訂第2版. 南江堂, 2018.  
Kübler - Ross, E. : On Death and Dying. 1969, 鈴木晶 訳：死ぬ瞬間—死とその過程について. 中央公論新社, 2001.  
広瀬寛子：悲嘆とグリーフケア. 医学書院, 2011.  
小西恵美子他：看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ 改訂第3版. 南江堂, 2021.  
(監修)日本赤十字社医療センター看護部, 古川裕子他：看護スキルアップシリーズ 臨終時のケア, 2011. (DVD)

## 評価方法

定期試験 (80%)、小テスト (20%)

※ 授業形態の変更がある場合、評価方法についても変更の可能性があります。

## 教員等の実務経験

緩和ケア、ターミナルケアの分野で看護師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。

## メッセージ

現在の日本は超高齢社会であり多死社会でもあります。最後まで自分らしく生きることについて考える人々が増え、緩和ケアやエンド・オブ・ライフケアへのニーズも高まっています。本科目では既習の看護学およびその他諸学の知識を活かして、緩和ケアおよびエンド・オブ・ライフケアについて考えます。自らの死生観および看護者としての姿勢を問い直し、より深い人間理解に基づいた看護を目指しましょう。



## 看護管理

更新日：2022/03/02 18:06:08

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	NIN304		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	630900
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

質の高い看護サービスを提供するための、システムやマネジメントに必要な基礎知識を学習し、リーダーシップやマネジメントを理解する。

## 本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

## 到達目標

1	看護管理のプロセスについて説明できる。
2	看護師の仕事とその管理、看護管理に求められる能力について説明できる。
3	看護の質向上のために必要な知識について説明できる。
4	看護職の教育制度と人材育成について説明できる。
5	看護活動を取り巻く法律・制度を説明できる。

## 授業計画

1	<b>看護管理の基本となるもの①</b> 1. 看護管理とは 2. 看護管理の基盤となる知識 3. 看護管理のプロセス 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章、第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
2	<b>看護管理の基本となるもの②</b> 4. 市民・多職種との連携・協働 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
3	<b>看護師の仕事とその管理</b> 資源管理 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
4	<b>看護管理に求められる能力</b> 1. 集団に働きかけるスキル 2. 看護管理能力の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第5章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
5	<b>看護職の教育制度と人材育成</b> 1. 看護の教育体系 2. 看護職としてのキャリア 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第6章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡
6	<b>看護の質保証</b> 1. 看護管理と倫理 2. 医療・看護の質と評価 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第4章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】倉岡

7	<b>看護活動を取り巻く法律・制度</b> 1. 医療保険制度 2. 看護管理に関連する法律 <b>【授業方法】</b> 講義 <b>【予習】</b> 60分：テキスト第7章、第8章を読んでくる。 <b>【復習】</b> 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 <b>【担当】</b> 倉岡
8	<b>看護管理の総括（学生によるプレゼンテーションと討議）/定期試験へのフィードバック</b> <b>【授業方法】</b> 講義（発表・ディスカッション） <b>【予習】</b> 60分：プレゼンテーションの準備をする。 <b>【復習】</b> 30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 <b>【担当】</b> 倉岡 定期試験後、ポータルにてフィードバックします。

### 先行履修科目

なし

### テキスト

吉田千文他編：ナースング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理（第4版）。メディカ出版，2020.

### 参考文献

上泉和子他：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践（1）第9版。医学書院，2013.  
 他、授業中に適宜紹介する。

### 評価方法

授業参加度（授業中の発言など）（15%）、プレゼンテーションの内容（5%）、定期試験（80%）で評価する。

### 教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、組織的に質の高い看護サービスを提供するための基礎的知識について講義します。

### メッセージ

看護管理は、看護管理者だけに必要な知識ではなく、一人一人の看護師にも必要とされる知識やスキルです。基礎教育での最終段階でこの科目を学ぶことは今後、看護職者として働く皆さんの実践をよりよいものにすると考えます。  
 各回で、皆さんに考えていただきたいポイントを提示します。看護管理に関する理論を深く理解するために、能動的に参加してください。

## 看護研究方法

更新日：2022/03/01 13:22:03

開講年度	2022	学期	通年	シバースト <sup>®</sup>	NIN303		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	631000
担当教員	梶原 弘平, 石飛 マリコ						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

看護研究の特徴、研究の組み立て方、および研究倫理の知識を獲得する。あわせて、国内外の看護関連論文（原著）のクリティークを通して、批判的思考能力の獲得を目指す。

## 本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

## 到達目標

1	看護研究の特徴、意義、研究デザイン、研究方法について説明できる。
2	研究の倫理的配慮の必要性を理解し、それを確保する方法を説明できる。
3	研究を計画する際に検討を必要とする事項を理解し、研究計画書作成のプロセスを経て、模擬研究計画書を作成できる。
4	研究の進め方、論文の書き方、研究結果の活用方法について説明できる。
5	看護研究論文のクリティークが実施できる。

## 授業計画

1	<b>看護研究の意義と役割/研究の基本的な考え方</b> 【授業方法】科目オリエンテーション、講義 【予習】60分：テキスト第1章「看護研究とは」を事前に読む 【復習】30分：研究の基本的事項をまとめる 【担当】梶原
2	<b>論文の種類と読み方/論文検索</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章「情報の探索と吟味」を事前に読む 【復習】30分：論文の種類と特徴をまとめる 【担当】梶原
3	<b>研究プロセスの概観/研究の問い（研究課題）/研究枠組みと仮説</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第2章「研究のはじめ方」、第9章「研究を伝える」を事前に読む 【復習】30分：Research Questionについてまとめる 【担当】梶原
4	<b>研究デザインの位置づけ/研究デザインの種類</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第5章「研究デザイン」を事前に読む 【復習】30分：Research Questionと研究デザインの関係についてまとめる 【担当】梶原
5	<b>論文の構成/論文の書き方/研究倫理の確保（倫理的配慮）</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第1章D「研究における倫理の考え方と対応」、E「研究対象者の権利と倫理審査体制」、第9章C「研究論文の構成方法」を事前に読む 【復習】60分：論文の構成、論文の書き方（研究倫理の確保を含む）をまとめる 【担当】石飛
6	<b>量的研究① データの収集、母集団と標本</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第6章「データの収集」を事前に読む 【復習】60分：量的研究の特徴、データの種類と質問紙法 【担当】梶原
7	<b>量的研究② データの分析/記述統計</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第7章「データの分析」を事前に読む 【復習】60分：記述統計と推定統計、仮説の立て方 【担当】梶原

8	<b>量的研究③ 推定統計</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：第7回の内容を整理し、テキスト第7章「データの分析」を読む 【復習】60分：推定統計の種類を提示し、どういう場合に用いるのか事例を考える 【担当】梶原
9	<b>質的研究① 質的研究とは/質的研究の特徴</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第5章A・C・Dを事前に読む 【復習】60分：質的研究の特徴についてまとめる 【担当】石飛
10	<b>質的研究② 質的研究のデータ/質的研究の課題</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第6章B・C・D、第7章Aを事前に読む 【復習】60分：質的データの特徴及び収集方法についてまとめる 【担当】石飛
11	<b>よい論文とは/論文クリティーク</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト第3章「情報の探索と吟味」を事前に読む 【復習】60分：提示された2つの研究論文（量的研究・質的研究）を熟読し、クリティークの準備をする 【担当】梶原
12	<b>指定論文（量的研究）のクリティーク</b> 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】120分：指定論文（量的研究）の熟読/クリティーク 【復習】60分：指定論文（量的研究）に対するクリティークをまとめ、期日（講義内で説明）までに提出する 【担当】梶原 石飛
13	<b>指定論文（質的研究）のクリティーク</b> 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】120分：指定論文（質的研究）の熟読/クリティーク 【復習】60分：指定論文（質的研究）のクリティークをまとめ、期日（講義内で説明）までに提出する 【担当】石飛 梶原
14	<b>研究計画書の書き方</b> 【授業方法】講義・研究計画書作成課題の提示 【予習】60分：テキスト第8章「研究計画書の作成」を事前に読み、指定論文の計画書部分を調べる 【復習】60分：研究計画書作成の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成開始 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】梶原
15	<b>研究倫理の確保/研究計画書への倫理的配慮の記載</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第4章A「研究における倫理的配慮の原則」B「依頼書と同意書の書き方」C「特別な配慮が必要な場合の対応」を事前に読む 【復習】60分：研究計画書に必要な倫理的配慮、および量的研究、質的研究の特徴に応じた研究倫理の確保の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】石飛
16	<b>研究計画書作成（文献検索・リサーチクエスションについて熟考）①</b> 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習 【復習】60分：研究計画書作成 ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】梶原 石飛
17	<b>研究計画書作成（文献検索・リサーチクエスション及び研究目的の決定）②</b> 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習/文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成）/リサーチクエスションの検討 ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【復習】60分：自身の疑問と文献検討に基づいてリサーチクエスションを明確化し、研究目的を決定し記述する 【担当】梶原 石飛
18	<b>研究計画書作成（文献検索・研究目的に応じた研究方法の検討）③</b> 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習/文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成） ※ 文献検討は、主として、研究目的に応じた研究方法を検討するため 【復習】60分：研究目的に応じた研究方法を検討する。決定した内容を研究計画書に記述する 研究計画書第1回目を期日（講義内で説明）までに提出 【担当】梶原 石飛
19	<b>指定論文（量的研究）のクリティークへのフィードバック</b> 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：提出した指定論文（量的研究）のクリティークの見直し 【復習】60分：クリティークの復習、研究計画書作成継続 【担当】梶原

20	<b>指定論文（質的研究）のクリティークへのフィードバック</b> 【授業方法】講義・個人ワーク 【予習】30分：提出した指定論文（量的研究）のクリティークの見直し 【復習】60分：クリティークの復習、研究計画書作成継続 【担当】石飛
21	<b>研究計画書へのフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：提出した研究計画書を見直し、自身の研究目的を達成できる最適の研究計画とし、研究全体の一貫性を確保するためにはどのように修正すればいいのか検討しておく。 【復習】120分：研究計画書修正に必要な文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成）を実施したうえで研究計画書を修正する。 ※ 修正した最終の研究計画書を期日(講義内で説明)までに提出 【担当】梶原 石飛
22	<b>看護研究のプロセスについてのまとめ/研究計画書へのフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】60分：研究を計画するうえでの重要事項を整理する 【担当】梶原 石飛
23	<b>優秀論文から学ぶ</b> 【授業方法】優秀論文の発表会に参加し、看護研究を実施するうえでの留意点を学ぶ 【予習】60分：授業全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】60分：優秀論文から学んだ内容をレポートにまとめる 【担当】梶原 石飛

## 先行履修科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

## テキスト

坂下玲子他：系統看護学講座 別巻 看護研究。東京、医学書院、2016。

## 参考文献

南裕子他編：看護における研究 第2版。東京、日本看護協会出版会、2017。

黒田裕子：黒田裕子の看護研究 Step by Step 第5版。東京、医学書院、2017。

ビヴァリー M. ヘンリー：看護研究ハンドブッケーヘルスケアの質改善のために。東京、医学書院、2004。

他、適宜提示する

## 評価方法

1～21回は前期に、22、23回目は後期に開講する。

評価はレポート（100%）で、内訳は、クリティークに関するレポート（20%）、研究計画書（提出1回目20%、2回目50%）、レポート：優秀論文から学んだこと（10%）とする。

レポートの提出は、前期に2回（クリティークに関するレポート2編、研究計画書1回目）後期に2回（研究計画書最終提出、レポート：優秀論文から学んだこと）とする。レポートの提出の期日は講義内で説明しますので、提出期限は厳守する。

## 教員等の実務経験

看護研究を継続してきた教員が、その経験を活かして看護研究方法の授業を実施する。

## メッセージ

本科目受講の前提として、データベース検索の理解は不可欠です。図書館での指導（データベースガイダンスを受講）も活用し、文献データベースの利用方法を習熟して授業に臨んでください。

4年次の卒業研究のためだけでなく、就職後も看護の質を向上させるための研究を自身で進めていくことができるように、基礎をしっかり学びましょう。

## 卒業研究

更新日：2022/01/14 10:28:47

開講年度	2022	学期	通年	シバースト*	NIN402		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	631100
担当教員	柳井 圭子, 高瀬 文広, 中山 晃志, 木村 涼平, 小川 里美, 倉岡 有美子, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 中村 光江, 永松美雪, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 小野 ミツ, 阿部 オリエ, 石飛 マリコ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 西村 和美, 原田 紀美枝, 小手川 良江, 太田 純代, 西山 陽子, 福田 陽子, 福島 綾子, 山本 孝治, 宇都宮 真由子, 鬼丸 美紀, 鎌田 ゆき, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 千原 明美, 橋本真貴子, 宮川 淳子, 山内 多恵, 吉原 駿						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

4年間の学習過程で培われた自己の問題意識を、既習知識と文献検索の結果を活用して、研究上の問い、研究テーマへと発展させ、それらへの答えを探索する過程を通し、論理的・科学的探究方法の基礎的能力を育成する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

## 到達目標

1	これまで体験した看護実践を踏まえてResearch Questionを立てることができる。
2	Research Questionを明らかにするための研究計画を立案することができる。
3	研究のプロセスに沿って自らを律し積極的に研究を遂行することができる。
4	研究における倫理的問題を考慮し、基本的人権を擁護することができる。
5	研究結果を論文にまとめることができる。

## 授業計画

1	<p>学生は、主体的かつ計画的に下記のとおり研究を実施する。実施過程において、適宜教員にアポイントを取り、助言を受けながら進める。</p> <p>【授業方法】演習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Research Questionの設定 授業科目「看護研究方法」で学修した内容を踏まえ自ら関心のあるResearch Questionを設定する。</li> <li>研究計画書作成【提出期限：5月9日（月）13時】 <ol style="list-style-type: none"> <li>設定したResearch Questionについて研究計画書作成例に基づき研究計画書を作成する。</li> <li>研究計画書は提出期限までに指導教員に提出する。</li> <li>研究対象が患者、住民、家族などの人を対象とする場合は本学研究倫理審査委員会および臨床側が指定する研究倫理審査機関の規定に基づき倫理審査申請を行う。</li> </ol> </li> <li>データ収集・分析 作成した研究計画書に基づき実施する。</li> <li>論文作成および抄録の提出【提出期限：10月31日（月）13時】 <ol style="list-style-type: none"> <li>研究論文本文と抄録は作成規定に従い作成する。</li> </ol> </li> <li>卒業研究へのフィードバック 提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰する。12月に全体に対するフィードバックと全学年対象に優秀論文の発表会を開催する。</li> </ol>
---	---

## 先行履修科目

なし

## テキスト

特に指定しない。

## 参考文献

看護研究方法で使用したテキスト

## 評価方法

卒業研究ルーブリック評価（ディプロマポリシーにもとづく）（40%）、研究計画書（20%）、論文本文および抄録（40%）

## 教員等の実務経験

看護職の臨床経験のある教員やリベラルアーツの各分野に精通した教員が、その経験を活かして、卒業研究の指導を行います。

## メッセージ

提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰します。選ばれた学生には、12月の優秀論文発表会で研究への取り組みと結果について発表していただきます。

## 看護技術 V

更新日：2022/02/08 19:56:20

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	NIN409		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	631200
担当教員	福島 綾子, 福田 陽子, 鴨川 めぐみ, 倉岡 有美子, 阿部 オリエ, 川崎 幹子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

専門性のある看護職者として必要な知識・技術等の能力が身につけているか客観的評価を行うとともに、自らの課題解決に向けて取り組む。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	自己の看護実践能力を明らかにしたうえで、課題解決および能力の向上に向け、実践的な看護を学ぶ取り組みができる。
2	状況判断を行い、既習の知識や技術、経験をもとに必要な臨床技術を考え、観察、実践、報告できる。
3	客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination:OSCE)への取り組みを通して、専門性のある看護職者としての今後の課題を明確にできる。

## 授業計画

1	<p><b>【授業ガイダンス】OSCEとは、事例提示</b>  <b>【授業方法】</b> 講義            授業の概要の説明、OSCEについての説明を行う。  <b>【予習】</b> 60分：            看護技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳで学修してきた看護技術の内容について確認する。            （これまで作成したノートなどを確認する）  <b>【復習】</b> 90分：            事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査、関わる関係法規など）  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
2	<p><b>【事例に基づく技術演習①】看護技術を実践するために必要な観察の技術（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.、シミュレーション）            事例に対して必要な観察項目の立案、観察の実施、実施結果の評価を行う。  <b>【予習】</b> 60分：            1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）            2) 患者の状態を判断するために必要となる観察の技術：フィジカルアセスメント、モニタリングなど  <b>【復習】</b> 60分：            1) フィジカルアセスメント、身体観察の技術の確認            2) 観察の結果から患者の状態を判断する  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
3	<p><b>【事例に基づく技術演習①】看護技術を実践するために必要な観察の技術（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.、シミュレーション）            事例に対して必要な観察項目の立案、観察の実施、実施結果の評価を行う。  <b>【予習】</b> 60分：            1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）            2) 患者の状態を判断するために必要となる観察の技術：フィジカルアセスメント、モニタリングなど  <b>【復習】</b> 60分：            1) フィジカルアセスメント、身体観察の技術の確認            2) 観察の結果から患者の状態を判断する  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
4	<p><b>【事例に基づく技術演習①】看護技術を実践するために必要な観察の技術（3）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.、シミュレーション）            事例に対して必要な観察項目の立案、観察の実施、実施結果の評価を行う。  <b>【予習】</b> 60分：            1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）            2) 患者の状態を判断するために必要となる観察の技術：フィジカルアセスメント、モニタリングなど  <b>【復習】</b> 60分：            1) フィジカルアセスメント、身体観察の技術の確認            2) 観察の結果から患者の状態を判断する  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>



5	<p><b>【事例に基づく技術演習②】患者の状態に合わせた日常生活を支援するための技術（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）  事例患者の日常生活を支援する上で必要となる看護技術について、グループ内で検討し実践する。互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループ内で共有し、より安全・安楽な方法を検討しながら実践を繰り返し技術の習得を目指す。</p> <p><b>【予習】</b> 60分：  1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）  2) 安全で安楽な日常生活を支援するための看護技術の方法、注意点をノートにまとめる</p> <p><b>【復習】</b> 60分：  1) 事後課題  2) 事例患者の病態に合わせて、必要な看護援助技術を実践するうえでの注意点をまとめる</p> <p><b>【担当】</b> 福田、福島、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
6	<p><b>【事例に基づく技術演習②】患者の状態に合わせた日常生活を支援するための技術（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）  事例患者の日常生活を支援する上で必要となる看護技術について、グループ内で検討し実践する。互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループ内で共有し、より安全・安楽な方法を検討しながら実践を繰り返し技術の習得を目指す。</p> <p><b>【予習】</b> 60分：  1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）  2) 安全で安楽な日常生活を支援するための看護技術の方法、注意点をノートにまとめる</p> <p><b>【復習】</b> 60分：  1) 事後課題  2) 事例患者の病態に合わせて、必要な看護援助技術を実践するうえでの注意点をまとめる</p> <p><b>【担当】</b> 福田、福島、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
7	<p><b>【事例に基づく技術演習③】患者の状態に合わせた日常生活を支援するための技術（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）  事例患者の日常生活を支援する上で必要となる看護技術について、グループ内で検討し実践する。互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループ内で共有し、より安全・安楽な方法を検討しながら実践を繰り返し技術の習得を目指す。</p> <p><b>【予習】</b> 60分：  1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）  2) 安全で安楽な日常生活を支援するための看護技術の方法、注意点をノートにまとめる</p> <p><b>【復習】</b> 60分：  1) 事後課題  2) 事例患者の病態に合わせて、必要な看護援助技術を実践するうえでの注意点をまとめる</p> <p><b>【担当】</b> 鴨川、福島、福田、倉岡、阿部、川崎</p>
8	<p><b>【事例に基づく技術演習③】患者の状態に合わせた日常生活を支援するための技術（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）  事例患者の日常生活を支援する上で必要となる看護技術について、グループ内で検討し実践する。互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループ内で共有し、より安全・安楽な方法を検討しながら実践を繰り返し技術の習得を目指す。</p> <p><b>【予習】</b> 60分：  1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）  2) 安全で安楽な日常生活を支援するための看護技術の方法、注意点をノートにまとめる</p> <p><b>【復習】</b> 60分：  1) 事後課題  2) 事例患者の病態に合わせて、必要な看護援助技術を実践するうえでの注意点をまとめる</p> <p><b>【担当】</b> 鴨川、福島、福田、倉岡、阿部、川崎</p>
9	<p><b>【事例に基づく技術演習④】患者の状態に合わせた日常生活を支援するための技術（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）  事例患者の日常生活を支援する上で必要となる看護技術について、グループ内で検討し実践する。互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループ内で共有し、より安全・安楽な方法を検討しながら実践を繰り返し技術の習得を目指す。</p> <p><b>【予習】</b> 60分：  1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）  2) 安全で安楽な日常生活を支援するための看護技術の方法、注意点をノートにまとめる</p> <p><b>【復習】</b> 60分：  1) 事後課題  2) 事例患者の病態に合わせて、必要な看護援助技術を実践するうえでの注意点をまとめる</p> <p><b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
10	<p><b>【事例に基づく技術演習④】患者の状態に合わせた日常生活を支援するための技術（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）  事例患者の日常生活を支援する上で必要となる看護技術について、グループ内で検討し実践する。互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループ内で共有し、より安全・安楽な方法を検討しながら実践を繰り返し技術の習得を目指す。</p> <p><b>【予習】</b> 60分：  1) 事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査など）  2) 安全で安楽な日常生活を支援するための看護技術の方法、注意点をノートにまとめる</p> <p><b>【復習】</b> 60分：  1) 事後課題  2) 事例患者の病態に合わせて、必要な看護援助技術を実践するうえでの注意点をまとめる</p> <p><b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>

11	<p><b>【事例に基づく技術演習⑤】OSCEに向けての練習（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）          これまで演習してきた内容の復習を行い、OSCEに向けて知識・技術・態度面についての準備をする。  <b>【予習】</b> 60分：          これまで演習してきた看護技術のポイントを整理し、ノートにまとめる  <b>【復習】</b> 60分：          1) OSCEに向けての技術練習          ※オフィスアワーを活用する          2) これまで取り扱った患者の解剖生理、病態、治療・検査などの復習  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
12	<p><b>【事例に基づく技術演習⑥】OSCEに向けての練習（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）          これまで演習してきた内容の復習を行い、OSCEに向けて知識・技術・態度面についての準備をする。  <b>【予習】</b> 60分：          これまで演習してきた看護技術のポイントを整理し、ノートにまとめる  <b>【復習】</b> 60分：          1) OSCEに向けての技術練習          ※オフィスアワーを活用する          2) これまで取り扱った患者の解剖生理、病態、治療・検査などの復習  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
13	<p><b>OSCE</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（OSCE）          提示された事例に対して、適切な看護実践を検討し実践する。  <b>【予習】</b> 90分：          OSCEに向けての技術練習          ※オフィスアワーを活用する  <b>【復習】</b> 60分：          1) OSCEの評価を受けて、自己の課題を明確にする          2) 14・15回目の演習に向けての自己の演習計画の立案  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
14	<p><b>【まとめ】OSCEのフィードバック、フィードバックを受けて技術の再確認（1）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）          OSCEの自己の振り返りとフィードバックの内容を踏まえ、事例患者に対して必要となる看護技術の振り返りを行う。グループの学生と意見交換しながら、より安全で安楽な方法を検討する。  <b>【予習】</b> 60分：          演習計画の立案  <b>【復習】</b> 90分：          OSCEのフィードバックを受け、卒業時の到達度レベルに達していない技術についての演習を行う  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>
15	<p><b>【まとめ】OSCEのフィードバック、フィードバックを受けて技術の再確認（2）</b>  <b>【授業方法】</b> 演習（実技、G.W.）          OSCEの自己の振り返りとフィードバックの内容を踏まえ、事例患者に対して必要となる看護技術の振り返りを行う。グループの学生と意見交換しながら、より安全で安楽な方法を検討する。  <b>【予習】</b> 60分：          演習計画の立案  <b>【復習】</b> 90分：          OSCEのフィードバックを受け、卒業時の到達度レベルに達していない技術についての演習を行う  <b>【担当】</b> 福島、福田、鴨川、倉岡、阿部、川崎</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

これまでに使用した講義・演習に関連するテキスト

## 参考文献

適宜提示する

## 評価方法

OSCE 40%、演習への取り組み状況 40%、事前・事後課題 20%

## 教員等の実務経験

看護の各専門領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして指導します。

## メッセージ

大学生活最後の看護技術の演習です。この科目では、単に決められた手技ができることを目指しているわけではありません。これまで学修した知識を根拠に状況を判断し、看護師として適切な態度に基づき、患者の状況に合った看護技術の実践ができることを目指します。そして、自らの課題を達成するために、チームで協力したり、適切なリソースを活用したりしながら主体的に学習を深めていってください。そのためのサポートを、科目担当を含め関わる全ての教員でお手伝いします。



## 専門性強化演習Ⅱ

更新日：2022/03/18 09:02:25

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	NIN403		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	631300
担当教員	石飛 マリコ, 西村 和美, 高瀬 理恵子, 小野 ミツ, 倉岡 有美子, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 中村 光江, 永松美雪, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 阿部 オリエ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 川崎 幹子, 梶原 弘平, 原田 紀美枝, 太田 純代, 小手川 良江, 西山 陽子, 福田 陽子, 福島 綾子, 松中 枝理子, 山本 孝治, 鬼丸 美紀, 鎌田 ゆき, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 添田 梨香, 千原 明美, 橋本真貴子, 宮川 淳子, 山内 多恵, 吉原 駿						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

- 健康課題を持つ人々への看護を探究するために、これまで学んだ知識や技術を統合させ、専門的な技能を獲得する。
- 地域で生活する人々への看護を探究するために、地域包括ケアシステムを学び、多職種連携・協働およびケアマネジメントについて理解する。

### 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

### 到達目標

1	自身の看護実践に対する興味・関心や自己の課題に基づき、実習で取り組む看護実践を明確にできる。
2	実習目標を設定し、その達成に向けた実習計画を具体的に立案できる。
3	地域包括ケアの必要性を説明できる。
4	ケアマネジメントの概念とプロセスについて説明できる。
5	地域で生活する人々の健康レベルや健康状態に応じた支援について説明できる。

### 授業計画

1	<p>専門性強化演習Ⅱコースガイダンス（看護の統合実習・地域包括ケア実習合同）</p> <p>【授業方法】演習</p> <p>【予習】60分：実習要項を読み、自己課題を整理してくる。</p> <p>【担当】石飛・西村</p>
2	<p>既習の臨地実習や学内実習を通して学んだ看護を学生カンファレンスや教員からの指導を受けてリフレクションし、自己の学習課題を明確にする</p> <p>学習課題を明確にするためにリフレクションを行う。</p> <p>【授業方法】演習（GW）</p> <p>※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること</p> <p>【予習】60分：実習計画書の作成</p> <p>【復習】30分：実習計画書の修正</p> <p>【担当】実習指導担当教員</p>
3	<p>看護の統合実習計画立案1（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目的の明確化と実習目標の設定）</p> <p>自己の学習課題を明確にし、実習目的の明確化と実習目標の設定を行う。演習の中で、実習目的や実習目標に関するフィードバックを行う。</p> <p>【授業方法】演習（GW）</p> <p>※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること</p> <p>【予習】60分：実習計画書の作成</p> <p>【復習】30分：実習計画書の修正</p> <p>【担当】実習指導担当教員</p>
4	<p>看護の統合実習目標達成に向けて必要な知識の習得</p> <p>関心のある看護実践について文献等で学習をする。演習の中で、学習した内容に関してフィードバックを行う。</p> <p>【授業方法】演習（GW）</p> <p>※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること</p> <p>【予習】60分：実習計画書の作成</p> <p>【復習】30分：実習計画書の修正</p> <p>【担当】実習指導担当教員</p>
5	<p>看護の統合実習計画2（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案）</p> <p>実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを行う。</p> <p>【授業方法】演習（GW）</p> <p>※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること</p> <p>【予習】60分：実習計画書の作成</p> <p>【復習】30分：実習計画書の修正</p> <p>【担当】実習指導担当教員</p>
6	<p>看護の統合実習計画3（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案）</p> <p>実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを行う。</p> <p>【授業方法】演習（GW）</p> <p>※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること</p> <p>【予習】60分：実習計画書の作成</p> <p>【復習】30分：実習計画書の修正</p> <p>【担当】実習指導担当教員</p>

7	<p><b>看護の統合実習計画4（学生カンファレンスや教員・臨床指導者からの指導を受け実習計画を修正する）</b>  学生カンファレンスや教員・臨床指導者の指導をもとに実習計画を修正する。演習の中で、実習計画の修正に関してフィードバックを行う。  【事前学習】学生カンファレンスや教員・臨床指導者より指導を得るための実習計画書案を作成する。  【授業方法】演習（GW）  ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること  【予習】60分：実習計画書の作成  【復習】30分：実習計画書の修正  【担当】実習指導担当教員</p>
8	<p><b>学生カンファレンスや教員の指導に基づき実習計画を完成させる</b>  【授業方法】演習  【事前準備】60分：助言・指導を受けた内容をまとめ、実習計画書の改善点を明らかにする。  【復習】60分：実習計画書の修正  【授業方法】実習計画書の改善点を反映させ、実習計画を完成させる。  ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること  【担当】実習指導担当教員</p>
9	<p><b>地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得1</b>  既習の臨地実習や講義等を通して学んだ看護を学生・教員間のカンファレンスでリフレクションし、地域包括ケア実習における自己の課題を明確にする。  【授業方法】演習 GW 発表  【予習】120分：地域包括ケアシステムの構築の取り組みの実際について、所定の資料から2事例を選択し自分なりに工夫して3200字程度で述べる。  【復習】120分：地域包括ケアシステムの必要性（人口構成、疾病構造、家族構成・機能の変化、経済の変化、価値観の変化、2025年問題、2040年問題）についてまとめる。カンファレンスで明確になった自己の学修課題を抽出する。実習担当教員と相談しながら計画的に事前学修を行う。自己の課題の達成状況を評価する。  【担当】実習担当教員</p>
10	<p><b>地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得2（ケアマネジメントについて）</b>  【授業方法】演習 GW 発表  【予習】120分：ケアマネジメントの目的・プロセス・評価、ケアマネジャーの活動（倫理綱領・相談・面談の技術を含む）などを文献で学修し自分の言葉で1600字程度に要約する。  <input type="checkbox"/>急性期病院・慢性期病院で入退院支援を必要とする対象のケアマネジメント  <input type="checkbox"/>障がいを持つ対象のケアマネジメント  <input type="checkbox"/>高齢者に対するケアマネジメント（介護保険非該当、要支援、要介護）  を通して健康レベル・健康状態に応じたケアマネジメントの特徴を理解する。  【復習】120分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。自己の課題の達成状況を評価する。  【担当】実習担当教員</p>
11	<p><b>地域包括ケア実習目標達成に向けて必要な知識の習得3（多職種連携/協働、チームアプローチについて）</b>  【授業方法】演習 講義  【予習】60分：包括型地域生活支援プログラム、チームアプローチのモデルの特徴・構成要素、パーソンセンタードケア、アウトリーチ、リハビリ、ストレンクス、国際生活機能分類（ICF）について学修し、自分の言葉で1600字程度に要約する。  【復習】120分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。チームアプローチにおける看護職の役割をまとめる。自己の課題の達成状況を評価する。  【担当】実習担当教員</p>
12	<p><b>地域包括ケア実習に必要な知識の習得4（福祉活動の実際について）</b>  【授業方法】演習 講義  【予習】60分：社会福祉 障がい児者の福祉、ノーマライゼーション、地域共生社会などについて学修し、自分の言葉で1600字程度に要約する。  【復習】60分：講義・演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。自己の課題の達成状況を評価する。  【担当】ゲストスピーカー、実習担当教員</p>
13	<p><b>地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得4（地域包括ケアシステム構築の取り組みの実際）</b>  【授業方法】演習 GW 発表  【予習】120分：実習施設の理念、活動内容、対象（健康レベル・健康状態）、職員（職種とその役割）を整理する。実習施設を利用する対象のケアマネジメント、多職種連携/協働を所定の用紙に記述する。  【復習】120分：地域包括ケアシステムにおける実習施設の役割についてまとめる。  演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。自己の課題の達成状況を評価する。  【担当】実習担当教員</p>
14	<p><b>地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得（実習施設と実習施設所在地の概況）</b>  【授業方法】演習 GW 発表  【予習】120分：統計資料を活用して実習施設所在地の概況を全国・福岡県と比較し特徴を述べる。  【復習】120分：地域包括ケアシステムにおける実習施設の役割を所定の用紙に記述する。自己の課題の達成状況を評価する。  【担当】実習担当教員</p>
15	<p><b>地域包括ケア実習の目標達成に向けて必要な知識の習得（演習のフィードバック、実習オリエンテーション）</b>  【授業方法】演習 GW 発表  【予習】60分：演習で学んだことを活用して地域包括ケア実習（臨地・学内）における実習目標を検討する。  【復習】60分：臨地及び学内で学びたい具体的な内容を所定の用紙に記述する。  演習のフィードバック、実習オリエンテーションを行う。  【担当】実習担当教員</p>

## 先行履修科目

なし

## テキスト

看護の統合実習のための演習 特に指定しない。  
地域包括ケア実習のための演習 (地域包括ケア実習で使用するテキスト)

## 参考文献

---

実習テーマに関する文献は、学生各自で収集し、活用する。  
宇都宮宏子：退院支援ガイドブック。2018，学研プラス。  
地域看護Ⅰ・地域看護Ⅱで使用したテキスト

## 評価方法

---

看護の統合実習のための演習 (2回から8回)：実習計画書作成30% 取り組み姿勢20%  
地域包括ケア実習のための演習 (9回から15回)：課題レポート30% 取り組み姿勢20%

## 教員等の実務経験

---

看護の臨床経験のある教員がその経験を活かして講義演習を行います。

## メッセージ

---

講師の都合により、講義の順序が変更に可能性がある。

## 地域包括ケア実習

更新日：2022/02/10 16:50:53

開講年度	2022	学期	前期	シバコード	NIN404		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	631400
担当教員	西村 和美, 小野 ミツ, 緒方 文子, 鎌田 ゆき, 宮川 淳子						
学部/学科	大学看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動の実践について、多職種連携/協働によるチームアプローチの視点から学ぶとともに健康に寄与する看護職の役割を理解する。

また、地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアの意義を学ぶとともに、将来の地域ケアシステムのあり様を考える。

### 本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

### 到達目標

1	地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動における多職種連携/協働によるチームアプローチを説明できる。
2	地域で生活する人々に対するケアマネジメントと看護職の役割を説明できる。
3	地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアについて説明できる。
4	地域で生活する人々の健康レベルや健康段階に応じた将来の地域ケアシステムのあり様を考察することができる。

### 授業計画

1	<b>授業方法と学修課題</b> <b>授業方法】実習</b> <b>【予習】</b> 1. 地域包括ケアシステムと地域住民・看護職としての役割(2時間) 2. ケアマネジメントと看護職の役割(4時間) 1) 入退院支援を必要とする対象へのケアマネジメント 2) 高齢者に対するケアマネジメント 3) 障がい児者に対するケアマネジメント 3. チームアプローチと看護職の役割(2時間) 4. 地域ケアシステムと地域住民・看護職としての役割(2時間) 5. 自分が実習する施設所在地の概要(2時間) 6. 自分が実習する施設の概要と看護職の役割(2時間) 7. 実習施設・地域包括ケアに関連した法律・制度(医療法、健康増進法、介護保険法、障害者総合支援法、災害対策基本法など)(2時間)
	<b>【復習】</b> 毎日の実習で学んだことを実習目的・目標を参考に整理する。(1時間) 臨地実習で明らかになった自己の課題に取り組む。(1時間)
2	<b>1. 実習期間</b> 1クール：2022年5月16日(月)～5月27日(金) 2クール：2022年5月30日(月)～6月10日(金)
3	<b>2. 実習方法</b> 実習期間は2週間(10日間)で臨地8日間学内2日間で構成する。 事前課題、臨地実習、学内実習を通して地域保健医療福祉活動と看護職が行うケアマネジメント及び多職種連携/協働によるチームアプローチの実践と現状の課題について総合的に学ぶ。また、地域包括ケアシステムの現状と課題及び将来の地域ケアシステムのあり様を考える。
4	<b>3. 実習場所</b> 宗像市、福岡市、北九州市などの保健医療福祉施設とし、詳細は別途資料を配布する。原則、学生1名につき2か所の臨地実習施設での実習を行う。 1) 医療機関の地域医療連携室、入退院支援センターなど 2) 居宅介護支援事業所 3) 地域包括支援センター 4) 在宅ケア関連施設(入所施設・通所施設) 5) 地域で生活する障がい児者への地域支援サービス

### 先行履修科目

3年次後期までに開講されているすべての必修科目の単位をすべて修得していること。

### テキスト

藤澤まこと：ナースが行う入退院支援 患者・家族の“その人らしく生きる”を支えるために。株式会社メチカルフレンド社，2020。

### 参考文献

宇都宮宏子：退院支援ガイドブック。学研プラス，2018

厚生労働統計協会 編：厚生指針 増刊 国民衛生の動向2020/2021.厚生労働統計出版会，2020。

佐々木明子他 編：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学. メテカルフレンド社, 2019.

標美奈子他 編：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論. 医学書院, 2019.

実習に関する文献は学生各自で収集し、活用する。

## 評価方法

---

ルーブリック評価

ディプロマポリシー(実習目標に基づく) 50%

レポート評価 50%

## 教員等の実務経験

---

臨床・公衆衛生看護の経験のある教員の支援の下、保健医療福祉活動の対象や地域の特性に合わせたケアマネジメントの実際に関する実習を行います。

## メッセージ

---



## 看護の統合実習

更新日：2022/02/16 11:27:24

開講年度	2022	学期	前期	シラバスコード	NIN405		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	3.0	科目コード	631500
担当教員	石飛 マリコ, 高瀬 理恵子, 高橋 清美, 倉岡 有美子, 櫻本 秀明, 本田 多美枝, 中村 光江, 永松美雪, 姫野 稔子, 阿部 オリエ, 石山 さゆり, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 原田 紀美枝, 小手川 良江, 太田 純代, 西山 陽子, 福田 陽子, 福島 綾子, 山本 孝治, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 添田 梨香, 千原 明美, 橋本真貴子, 山内 多恵, 吉原 駿						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

### 授業の目的

病院や施設で、臨床に即した看護を経験する中で、専門職者として必要な知識・技術・態度を統合できる能力を獲得する。

### 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

### 到達目標

1	自己の看護実践に対する探求課題に基づき、実習目標の設定と計画立案ができる。
2	実習計画を遂行するために、必要な関係者との交渉・調整ができる。
3	人間の尊厳と人権の擁護に配慮しながら、対象者の持つ健康問題に対して実習計画に基づき看護実践ができる。
4	チームアプローチや多職種連携の視点をを用いて、医療チームの一員として看護師の役割を理解できる。
5	創造的に看護を探求するために、実習で経験した看護実践を記述して分析し、その成果をレポートにまとめることができる。

### 授業計画

1	<b>授業方法と学修課題</b> 【授業方法】実習 【予習】 60分：シラバスをよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 2週間程度：自らが選択したテーマに関連する領域の知識・技術を十分に振り返った上で臨地実習や学内実習へ臨む。 【担当】実習担当教員
2	<b>実習方法</b> 実習計画を立案し、主体的に実習を行う。 1. 実習期間 臨地および学内での実習は、原則として2022年6月13日～7月15日の期間とする。 2. 実習場所 病院・施設・学内 3. 実習の進め方 立案した計画に基づき看護展開を行う。展開した看護を分析し、創造的に看護を探求した成果をレポートにまとめる。看護過程に関しては日々の指導の中でフィードバックを行い、展開した看護を分析し、創造的に看護を探求した成果に関してはレポートの指導を通し、フィードバックを行う。

### 先行履修科目

3年次後期までに開設されている必修科目の単位をすべて修得していること。

### テキスト

特に指定しない。

### 参考文献

関連する文献は学生各自で収集し、活用する。

### 評価方法

実習目標の達成度（50％）、実習への取り組み姿勢：（20％）、課題レポート（30％）を総合して評価を行う。

### 教員等の実務経験

看護師・助産師・保健師として勤務経験を持つ教員がその経験を生かし、指導にあたります。

### メッセージ

大学生活最後の実習になります。卒業までに解決すべき自己課題を明確にし、実践に即した実習ができるように、綿密な実習計画を立案し、より多くのことを吸収してきてほしいと思います。臨床指導者や担当教員とコミュニケーションを図り、充実した実習にしていきたいと思います。

## 公衆衛生看護Ⅰ

更新日：2022/03/01 11:02:01

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	PHN301		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	640100
担当教員	緒方 文子, 小野 ミツ, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

地域で生活を営む対象(個人・家族・集団・地域)の健康に影響を及ぼす要因を理解し、地域特性と健康課題をアセスメントする方法を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	地域の健康課題を明確化するための方法やプロセスを理解することができる。
2	地域特性を把握するために必要な既存資料を収集することができる。
3	既存資料や住民インタビューの結果を分析・統合して地域特性を把握することができる。

## 授業計画

1	公衆衛生看護の基盤となる理論1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」 【担当】小野、緒方、宮川
2	公衆衛生看護の基盤となる理論2 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」 【担当】小野、緒方、宮川
3	地域組織活動の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「7章：地域組織活動の展開」 【担当】小野、緒方、宮川
4	地域ケアシステムの構築とネットワーク化 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「8章：地域ケアシステムの構築とネットワーク化」 【担当】小野、緒方、宮川
5	地域特性の把握1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法C」 【担当】宮川、小野、緒方
6	地域特性の把握2 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法C」 【担当】宮川、小野、緒方
7	情報収集とアセスメント 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法C」 【担当】緒方、小野、宮川
8	福岡県及び宗像市の特性について：情報収集とアセスメント 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】緒方、小野、宮川
9	情報の分析及び統合と診断 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：地域特性の把握」 【担当】緒方、小野、宮川
10	福岡県及び宗像市の特性について：情報の分析及び統合と診断 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】緒方、小野、宮川
11	健康課題の抽出 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：地域特性の把握」 【担当】緒方、小野、宮川

12	<b>福岡県及び宗像市の特性について：健康課題の抽出</b> 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 緒方、小野、宮川
13	<b>診断結果の発表1</b> 【授業方法】 演習（プレゼンテーション） 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 宮川、小野、緒方
14	<b>診断結果の発表2</b> 【授業方法】 演習（プレゼンテーション） 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 宮川、小野、緒方
15	<b>福岡県及び宗像市の特性について：フィードバック</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：福岡県及び宗像市のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【担当】 緒方、小野、宮川

## 先行履修科目

なし

## テキスト

標美奈子 編：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版．医学書院，2022．  
中村裕美子他 編：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第4版．医学書院，2020．  
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022 厚生労働統計協会，2021．

## 参考文献

井伊久美子他 編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2022．  
佐伯和子 編：地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド 第2版 地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案，医歯薬出版株式会社，2020．  
都築千景 編：地域特性がみえてくる 地域診断 地域包括支援センターの活動充実を目指して，医歯薬出版株式会社，2020．  
金川克子他 編：地域看護診断 第2版．東京大学出版会，2011．  
Anderson, E., McFarlane, J. M.: Community as partner: theory and practice in nursing. 2004, 金川克子, 早川和生監訳：コミュニティアズパートナー：地域看護学の理論と実際（第2版）．医学書院，2007．

## 評価方法

課題（70％）、授業参加度（30％）

## 教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、地域診断についての講義を担当します。

## メッセージ

この科目では講義の一部でデータ処理を行うため、情報機器の操作で学んだ内容を復習し、使い慣れた状態で講義に臨んでください。また、集計した結果を分析・統合して地域特性を把握する際には、既習科目で学んだ統計学や疫学Ⅰ、保健統計学の知識や技術が必要となります。

## 公衆衛生看護Ⅱ

更新日：2022/03/01 11:07:52

開講年度	2022	学期	後期	シバースト <sup>®</sup>	PHN302		
学年	3	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	640200
担当教員	緒方 文子, 小野 ミツ, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

地域において健康課題を持つ個人や集団にアプローチやエンパワメントするための知識を深め、看護活動方法や技術を学習する。

## 本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

## 到達目標

1	地域に暮らす個人・家族・集団が持つ健康への力を向上するための保健活動について理解できる。
2	地域で生活している個人の健康課題を明確化し、保健指導による支援活動の展開が理解できる。
3	地域で生活している家族に対し家庭訪問の場における支援活動の展開が理解できる。
4	地域で生活している集団に対し健康教育による支援活動の展開が理解できる。
5	地域の健康課題を解決するための施策化へのプロセスが理解できる。

## 授業計画

1	公衆衛生看護における機能と技術、公衆衛生看護における対象の理解 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「1章：公衆衛生看護における機能と技術」、「2章：公衆衛生看護における対象の理解」 【担当】小野、緒方、宮川
2	公衆衛生看護の基盤となる理論 【授業方法】講義（AL） 【予習】30分：テキスト熟読「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」 【担当】小野、緒方、宮川
3	対人支援活動の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「4章：対人支援活動の展開」 【担当】小野、緒方、宮川
4	対人支援活動の展開 【授業方法】演習（ロールプレイ） 【予習】30分：テキスト熟読「4章：対人支援活動の展開」 【担当】小野、緒方、宮川
5	対人支援活動の展開：フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「4章：対人支援活動の展開」 【担当】小野、緒方、宮川
6	家庭訪問による支援の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【担当】宮川、小野、緒方
7	家庭訪問による支援の展開：母子（親子）への支援① 【授業方法】演習（ロールプレイ） 【予習】30分：テキスト熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【担当】宮川、小野、緒方
8	家庭訪問による支援の展開：母子（親子）への支援② 【授業方法】演習（ロールプレイ） 【予習】30分：テキスト熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【担当】宮川、小野、緒方
9	家庭訪問による支援の展開：母子（親子）への支援：フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【担当】宮川、小野、緒方
10	健康教育の展開 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：健康教育の展開」 【担当】緒方、小野、宮川

11	<b>健康教育の展開：企画書と指導案の作成</b> 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 30分：テキスト熟読「6章：健康教育の展開」 【担当】 緒方、小野、宮川
12	<b>健康教育の展開：シナリオと教材の作成</b> 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 30分：テキスト熟読「6章：健康教育の展開」 【担当】 緒方、小野、宮川
13	<b>健康教育の展開：シナリオと教材の作成</b> 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 30分：テキスト熟読「6章：健康教育の展開」 【担当】 緒方、小野、宮川
14	<b>健康教育の展開：健康教育の実施</b> 【授業方法】 演習（ロールプレイ） 【予習】 30分：テキスト熟読「6章：健康教育の展開」 【担当】 緒方、小野、宮川
15	<b>まとめ/フィードバック</b> 【授業方法】 講義 【予習】 30分：これまでに使用した資料を読んで授業に参加する。 【担当】 緒方、小野、宮川

### 先行履修科目

なし

### テキスト

中村裕美子他 編：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第4版 医学書院，2020。  
松田正巳他 編：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版 医学書院，2020。  
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022 厚生労働統計協会，2021。

### 参考文献

井伊久美子他 編：新版 保健師業務要覧 第4版。日本看護協会出版会，2022  
村嶋幸代他 編：最新 保健学講座2 公衆衛生看護支援技術。メヂカルフレンド社，2022  
村嶋幸代他 編：最新 保健学講座3 公衆衛生看護活動展開論。メヂカルフレンド社，2022

### 評価方法

課題（70%）、授業参加度（30%）

### 教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、公衆衛生看護技術について講義・演習を担当します。

### メッセージ

実践の場面では対象と課題により支援手法が異なるため、既習科目の看護コミュニケーションや健康行動論を復習して講義に臨んでください。

## 公衆衛生看護Ⅲ

更新日：2022/02/09 10:20:32

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	PHN401		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	640300
担当教員	小野 ミツ, 緒方 文子, 宮川 淳子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

公衆衛生看護管理の目的および機能を理解し、公衆衛生看護管理の実際、保健師の担うべき役割について学ぶ。

## 本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

## 到達目標

1	地域診断の概念、課程、実際について説明できる。
2	事業計画、保健福祉計画の策定のプロセスと仕組みが理解できる。
3	公衆衛生看護管理の特色、諸相について述べるができる。
4	健康危機管理と保健活動が理解できる。
5	地域ケアシステムの発展過程について理解できる。

## 授業計画

1	<b>地域看護診断</b> 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書の「6章：公衆衛生看護活動の展開方法」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】緒方
2	<b>保健事業計画と保健師の役割</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「6章：公衆衛生看護活動の展開方法B 公衆衛生看護活動の計画・実践・評価」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】緒方
3	<b>保健福祉計画策定と予算</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「7章：保健医療福祉における事業化と施策化」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】緒方
4	<b>公衆衛生看護管理</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「8章：公衆衛生看護管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】宮川
5	<b>健康危機管理</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】宮川
6	<b>健康危機管理</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】宮川
7	<b>地域ケアシステムづくり</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「5章4地域へのアプローチ」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】小野
8	<b>まとめとフィードバック</b> 【授業方法】講義 【予習】30分：これまでの授業内容を復習して授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】小野

**先行履修科目**

なし

**テキスト**

標美奈子他 編：標準保健師講座1 公衆衛生看護概論 第6版．医学書院，2022（地域看護Ⅰで使用したテキスト）  
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2021/2022．厚生労働統計協会，2021

**参考文献**

平野かよ子 編：最新 保健学講座 5 第4版 公衆衛生看護管理論．メヂカルフレンド，2022  
井伊久美子 編：新版 第4版 保健師業務要覧．日本看護協会出版会，2022  
社会保険実務研究所 編：週刊 保健衛生ニュース．社会保険実務研究所．2022

**評価方法**

定期試験（50％）、課題（40％）、授業参加度（10％）

**教員等の実務経験**

保健師の臨床経験のある教員が、公衆衛生看護管理について講義を担当します。

**メッセージ**

取り組まれている看護管理について、国内外の動向を新聞や雑誌、ニュースなどから情報収集を行いましょう。

## 公衆衛生看護実習

更新日：2022/02/07 11:05:49

開講年度	2022	学期	前期	シバースト <sup>®</sup>	PHN402		
学年	4	曜日/時限	—	単位数	5.0	科目コード	640400
担当教員	宮川 淳子, 小野 ミツ, 緒方 文子						
学部/学科	大学 看護学部						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目						

## 授業の目的

これまでの学修を踏まえ、地方自治体を中心に、地域における対象（個人・家族・集団・組織・地域）の健康課題をアセスメントし、地域住民のQOL向上のために行われるヘルスプロモーション活動を学び、地域での看護実践を行う意義を理解するとともに基本的能力を獲得する。

## 本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

## 到達目標

1	地域の健康課題や強みを把握する方法を修得することができる。
2	公衆衛生活動が地域住民の健康課題に果たしている役割を理解することができる。
3	対象の健康ニーズを捉え、特性に応じた援助方法を修得することができる。
4	地域の保健・医療・福祉、その他の関係機関の役割と連携の実際を理解することができる。
5	住民の主体的な保健組織活動の実際を学び、健康施策への住民の参画の意義を理解することができる。

## 授業計画

1	<b>授業方法</b> 【授業方法】実習 【予習】18時間：以下の課題を事前に実施し実習に臨む 1) 実習目標および実習計画を作成する。 2) 実習する保健所管轄地域および市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を明確化する。 3) 参加する保健事業の事業内容と法的根拠について学習する。 4) 健康教育の企画立案、指導案、シナリオ案、媒体案を作成する。 5) 実習に必要な知識・技術の復習をする。 【担当】緒方・宮川・小野
2	<b>1) 実習期間</b> 2022年8月1日（月）～8月5日（金），8月22日（月）～9月16日（金） 225時間（5単位）
3	<b>2) 実習施設</b> 学外の実習施設は、福岡県内の保健福祉環境事務所（保健所）および市区町村（保健センター等）である。
4	<b>3) 実習配置</b> 別途配布
5	<b>4) 指導体制</b> 学外実習では実習施設の指導者と教員が連携して指導を行う。
6	<b>5) 実習の進め方</b> 実習の流れは市町村、保健所によって実習時間等の実習の進め方や留意点等が異なるため実習オリエンテーションで提示する。 実習目標および実習計画に沿って、毎日の行動計画を立案し主体的に学習をすすめる。
7	<b>学修課題</b> 以下の課題を事前に実施し実習に臨む (1) 実習目標及び実習計画を作成する。 (2) 実習する保健所管轄地域及び市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を抽出する。 (3) 参加する保健事業の法的根拠と内容について学習する。 (4) 健康教育の企画立案、指導案、シナリオ案、媒体案を作成する。 (5) 実習に必要な知識・技術の復習をする。
8	<b>フィードバック</b> 実習終了後に公衆衛生看護実習での学習成果をまとめた成果報告会を実施する。

## 先行履修科目

保健師国家試験受験に必要なすべての科目(公衆衛生看護実習を除く)。

## テキスト

特に指定しない。

## 参考文献

それぞれの政策に関する法律に関連する文献などは各自で検索・収集し、実習に活用する。



## 評価方法

---

実習参加度（健康管理含む）（10%），学習到達度，学習態度，実習記録等についてのルーブリック評価（90%）による総合評価とする。

## 教員等の実務経験

---

保健師としての臨床経験のある教員が，実習指導を担当します。

## メッセージ

---

地域診断や健康教育の準備では，グループメンバーと協力して計画的に進めていくように心がけてください。また，主体的に実習指導者や担当教員とコミュニケーションを図り，積極的な姿勢で実習に臨んでください。